

平成20年度

松阪市主要施策の成果及び実績報告書

三重県松阪市

# 目 次

一 般 会 計	3
平成20年度 松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表	4
平成20年度 一般会計歳入決算状況	6
平成20年度 一般会計歳出目的別・性質別決算状況	7
(款) 1 議会費	8
(項) 1 議会費	8
(款) 2 総務費	11
(項) 1 総務管理費	11
2 徴税費	39
3 戸籍住民基本台帳費	44
4 選挙費	48
5 統計調査費	52
6 監査委員費	53
(款) 3 民生費	54
(項) 1 社会福祉費	54
2 老人福祉費	68
3 児童福祉費	73
4 生活保護費	82
5 災害救助費	84
(款) 4 衛生費	85
(項) 1 保健衛生費	85
2 清掃費	100
(款) 5 労働費	109
(項) 1 労働諸費	109
(款) 6 農林水産業費	111
(項) 1 農業費	111
2 林業費	123
3 水産業費	130
(款) 7 商工費	133
(項) 1 商工費	133
(款) 8 土木費	139
(項) 1 土木管理費	139
2 道路橋りょう費	140
3 河川費	143
4 港湾費	145
5 都市計画費	146
6 住宅費	152
(款) 9 消防費	154
(項) 1 消防費	154
(款) 10 教育費	156
(項) 1 教育総務費	156
2 小学校費	164
3 中学校費	168
4 幼稚園費	171
5 社会教育費	174
6 保健体育費	186
7 青少年教育費	195
(款) 11 災害復旧費	197
(項) 1 農林水産業施設災害復旧費	197
2 公共土木施設災害復旧費	199

(款)12 公債費	.....	200
(項) 1 公債費	.....	200
(款)14 諸支出金	.....	202
(項) 1 基金費	.....	202
<b>特別会計</b>	.....	204
競輪事業	.....	204
国民健康保険事業	.....	207
老人保健事業	.....	210
介護保険事業	.....	212
後期高齢者医療事業	.....	216
簡易水道事業	.....	219
戸別合併処理浄化槽整備事業	.....	221
農業集落排水事業	.....	222
住宅新築資金等貸付事業	.....	224
ケーブルシステム事業	.....	225
定額給付金給付事業	.....	226
<b>地方自治法第241条第5項の規定による書類</b>	.....	227
基金の運用状況	.....	228

# 一 般 会 計

平成20年度 松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表

(歳入)

(単位：千円)

区 分	予算現額	収入済額	総額に対する割合	予算現額と収入済額との比較
1 市 税	22,160,055	22,271,455	40.2%	111,400
2 地 方 譲 与 税	775,420	775,420	1.4%	0
3 利 子 割 交 付 金	110,946	110,946	0.2%	0
4 配 当 割 交 付 金	45,588	45,588	0.1%	0
5 株式等譲渡所得割交付金	15,516	15,516	0.0%	0
6 地方消費税交付金	1,482,288	1,482,288	2.7%	0
7 ゴルフ場利用税交付金	107,969	107,969	0.2%	0
8 自動車取得税交付金	471,171	471,171	0.8%	0
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	215	215	0.0%	0
10 地方特例交付金	298,824	298,824	0.5%	0
11 地 方 交 付 税	12,447,710	12,447,710	22.5%	0
12 交通安全対策特別交付金	33,352	33,352	0.1%	0
13 分担金及び負担金	837,020	825,341	1.5%	△11,679
14 使用料及び手数料	827,193	870,186	1.6%	42,993
15 国 庫 支 出 金	5,976,336	5,235,220	9.4%	△741,116
16 県 支 出 金	3,649,172	3,616,173	6.5%	△32,999
17 財 産 収 入	127,039	129,757	0.2%	2,718
18 寄 附 金	248,792	248,791	0.5%	△1
19 繰 入 金	353,936	353,125	0.6%	△811
20 繰 越 金	780,713	780,713	1.4%	0
21 諸 収 入	735,710	781,165	1.4%	45,455
22 市 債	4,767,274	4,537,174	8.2%	△230,100
歳 入 合 計	56,252,239	55,438,099	100.0%	△814,140

(歳 出)

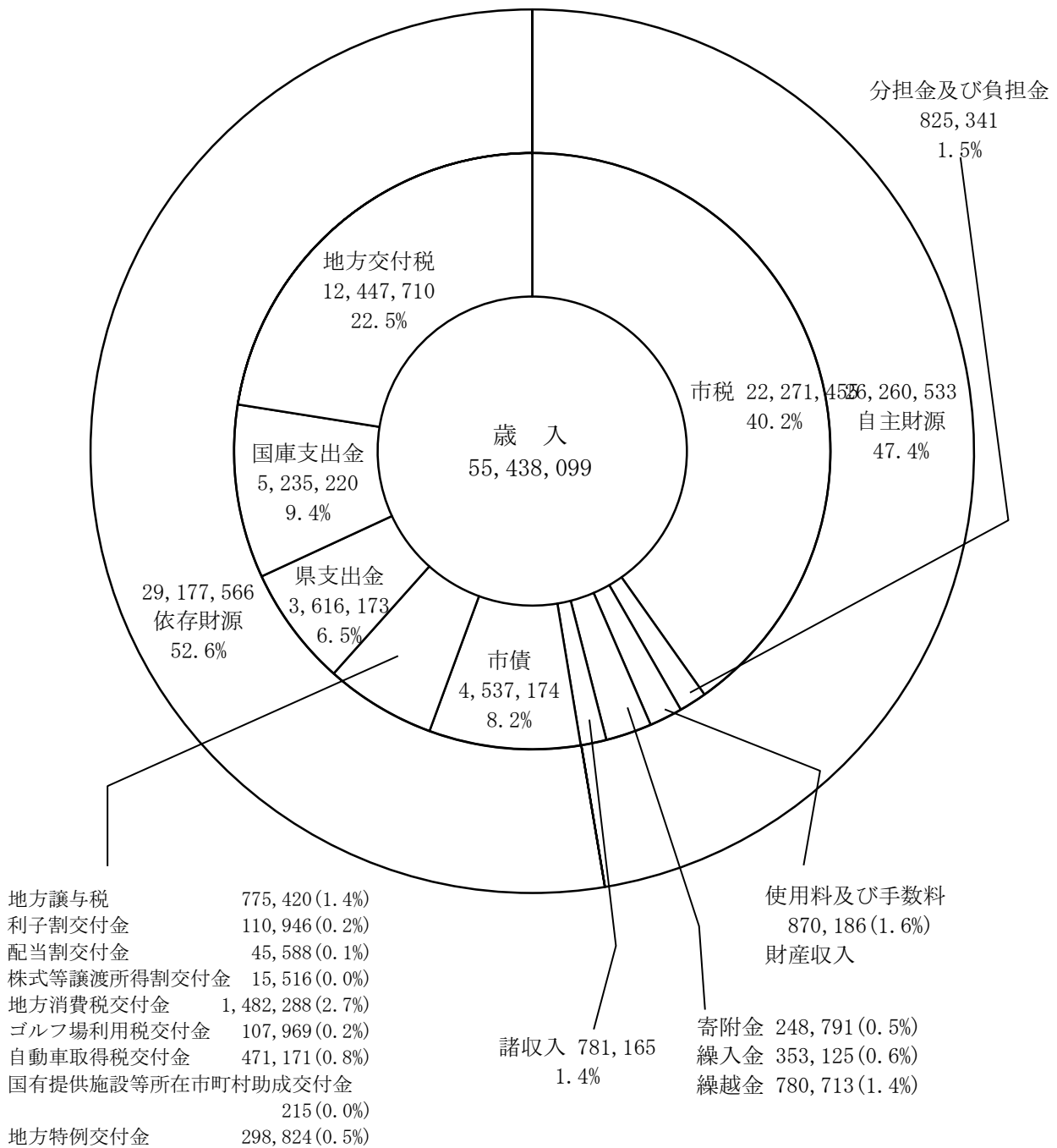
(単位：千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	総 額 に 対 する 割 合	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1 議 会 費	369,366	366,467	0.7%		2,899
2 総 務 費	7,780,355	7,388,268	13.5%	291,313	100,774
3 民 生 費	17,616,681	17,295,121	31.6%	163,592	157,968
4 衛 生 費	5,278,251	5,223,927	9.5%		54,324
5 労 働 費	139,014	138,351	0.2%		663
6 農 林 水 産 業 費	2,250,426	2,246,698	4.1%		3,728
7 商 工 費	484,318	475,186	0.9%		9,132
8 土 木 費	6,171,860	5,888,299	10.7%	168,060	115,501
9 消 防 費	2,470,755	2,419,571	4.4%	47,907	3,277
10 教 育 費	6,136,521	5,779,614	10.6%	255,186	101,721
11 災 害 復 旧 費	45,047	34,995	0.1%	4,527	5,525
12 公 債 費	7,116,645	7,112,727	13.0%		3,918
13 予 備 費	30,000	0	0.0%		30,000
14 諸 支 出 金	363,000	363,000	0.7%		0
歳 出 合 計	56,252,239	54,732,224	100.0%	930,585	589,430

歳 入 歳 出 差 引 額	705,875
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源	109,635
実 質 収 支 額	596,240

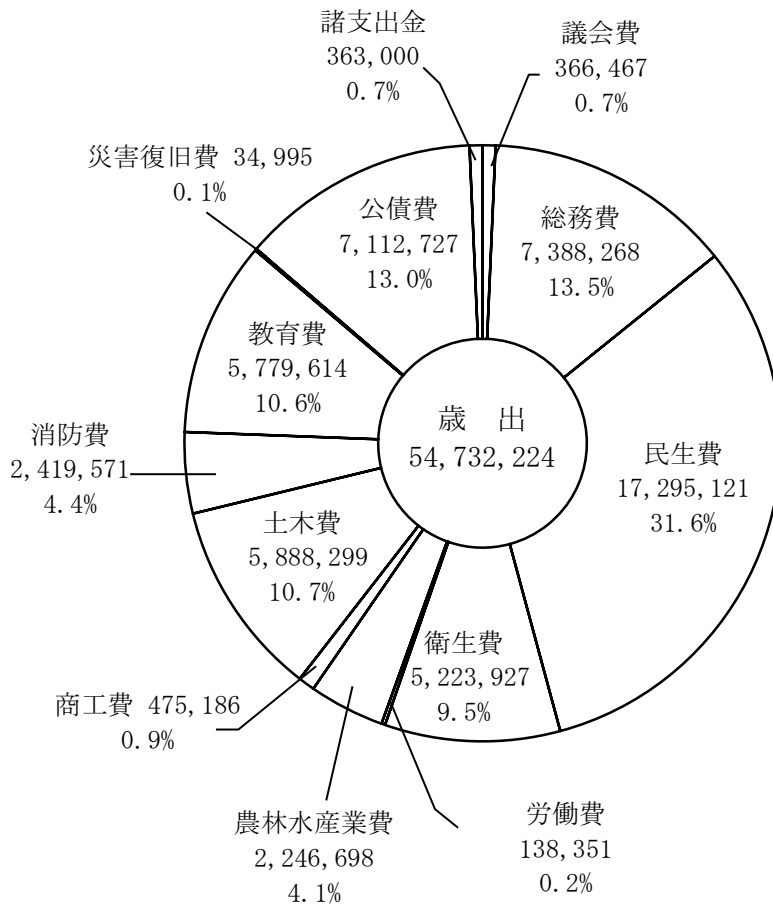
平成20年度 一般会計歳入決算状況

(単位：千円)

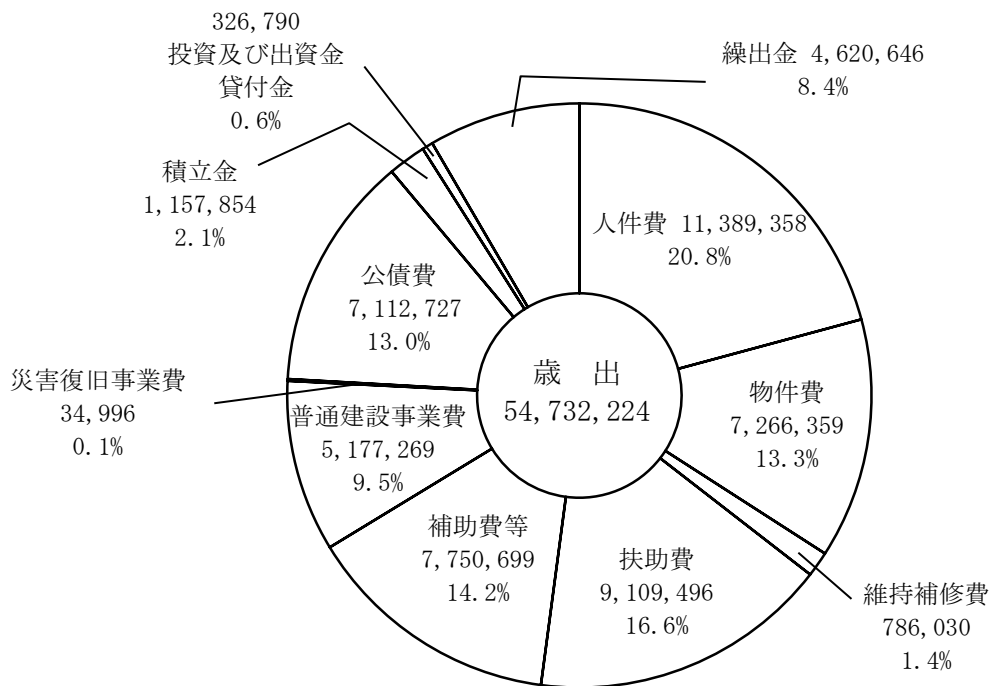


平成20年度 一般会計歳出目的別決算状況

(単位：千円)



平成20年度 一般会計歳出性質別決算状況





## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 議会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
366,467				5	366,462

## ○ 議員報酬・期末手当 239,415

(4月～12月：議員33名、1月～3月：議員32名)

## ○ 議員共済会負担金 29,622

(74,250円×33名×9か月) + (74,250円×32名×3か月) + 事務費 442,000円

市議会議員の退職年金、遺族年金等を支給することを目的とした市議会議員共済会に対して、公費負担分を支出した。

## ○ 一般職員給 68,511

## ○ 議長交際費 33

議会を代表した議長の対外的な活動を行った。

区 分	件 数	金 額
慶 弔 費	1 件	10,000円
会 費	2 件	10,000円
協 賛 金	3 件	13,000円
計	6 件	33,000円

## ○ 議会活動事業費 5,307

都市の繁栄を図るため、各種議長会へ出席した。また、議員の政策能力向上並びに行政へのチェック機能を高めるため、行政視察の実施、セミナーへの参加を行った。

- ・ 各委員会行政視察旅費 3,401
- ・ 各種議長会出席等旅費 537
- ・ 各種議長会負担金等 1,369

## ○ 政務調査費補助金 8,613

市政の発展に寄与するため、議会における会派(7会派)及び会派に所属しない議員(1名)が、他市への行政視察の実施、各種研修会等への参加など、市政に関する調査研究を行った。

## ○ 議会広報事業費 3,804

議会運営並びに議会活動についての内容を掲載した市議会だよりを作成した。

松阪市議会だよりの印刷 (6回)

第19号	2月定例会号	平成20年 6月発行	62,800部
第20号	6月定例会号	平成20年 9月発行	64,000部
第21号	8月臨時会号	平成20年10月発行	64,000部
第22号	9月定例会号	平成20年12月発行	64,000部
第23号	11月臨時会号	平成21年 1月発行	64,000部
第24号	11月定例会号	平成21年 3月発行	64,000部

## 施策の成果及び執行実績

### ○ 会議録作成事業費 2,748

本会議、全員協議会及び各常任委員会、特別委員会の会議内容を記録整理し、会議録を作成した。

- ・ 本会議会議録作成 1,888
  - 第13号 1月臨時会 (8ページ)、2月定例会 (484ページ)
  - 第14号 6月定例会 (344ページ)
  - 第15号 7月臨時会 (26ページ)、8月臨時会 (106ページ)、9月定例会 (350ページ)
  - 第16号11月臨時会 (98ページ)、11月定例会 (448ページ)
- ・ 全員協議会会議録作成 (75ページ) 81
- ・ 委員会会議録作成 779
  - 総務生活委員会 (160ページ)
  - 環境福祉委員会 (263ページ)
  - 文教経済委員会 (153ページ)
  - 建設水道委員会 (159ページ)
  - 決算調査特別委員会 (220ページ)
  - 中心市街地活性化対策調査特別委員会 (47ページ)

### ○ 会議録検索システム事業費 384

本会議及び全員協議会の会議録検索システム用データを作成し、ホームページ上で会議録の公開検索ができるようインターネットで配信を行った。

- ・ インターネット配信及び保守管理業務 41
- ・ データ作成業務 343

### ○ 議会放映事業費 2,097

市民に議会の審議状況を提供するため、本会議における一般質問についてケーブルテレビによる生中継と録画放送を実施した。

- ・ 収録用テープ 260
- ・ 放送機器操作業務委託 1,345
- ・ 光ファイバーケーブル等利用料 492
  - 一般質問 生中継 12日間、録画放送 24日間

### ○ 議会一般経費 5,933

- ・ 正副議長及び各会派等パソコン借上料 421
- ・ 委員会室マイク設備借上料 889
- ・ その他 (法令追録代等) 4,623

施策の成果及び執行実績

※ 会議開催状況

- ・ 本会議 定例会 開催回数 4回（会期日数89日 実会議日数 26日）  
臨時会 開催回数 3回（会期日数17日 実会議日数 7日）

区 分	定例会	臨時会	区 分	定例会	臨時会
議 案	138件	11件	請 願	12件	—
原案可決	124件	9件	採 択	9件	—
承 認	6件	—	不採択	3件	—
同 意	1件	1件	選 挙	1件	13件
認 定	3件	1件	選 挙	1件	9件
賛 成	4件	—	選 任	—	4件
報 告	16件	2件	修正動議	1件	—
報 告	16件	2件	否 決	1件	—
発 議	17件	3件	その他	—	2件
原案可決	16件	1件	承 認	—	2件
否 決	1件	—			
許 可	—	2件			

・ 委員会

区 分	開催回数		区 分	回 数
	常任委員会	協議会		
総務生活委員会	6回	13回	議会運営委員会	36回
環境福祉委員会	6回	13回	中心市街地活性化対策調査特別委員会	3回
文教経済委員会	9回	7回	決算調査特別委員会	5回
建設水道委員会	6回	15回	市議会だより編集委員会	9回

・ その他会議

区 分	回数
全員協議会	2回
会派代表者会議	22回

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 一般管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,613,263		20,245		166,307	1,426,711

- 特別職給 45,767
- 一般職員給 1,325,104
- 市長交際費 118

市政の円滑な推進に資するため、各種会合の会費などを支出した。

区分	件数	金額
会費	2件	13,000円
慶弔費	9件	85,000円
賛助金	2件	10,000円
贈答費	1件	10,000円
計	14件	118,000円

- 市長会等事業費 3,040

県下、東海、全国各市間の連絡調整を図り、地方自治の伸展に関する市からの要望や意見を国政に反映させるとともに、国政からの情報を得、市政の運営に資することができた。

- ・全国市長会負担金 837
- ・三重県市長会負担金 2,029
- ・旅費 他 174

- 市政功労等顕彰事業費 35

市に対して高額の寄附をされた方々を市政特別協力者団体として顕彰した。

市政特別協力者・団体表彰 2名・4団体

- 大学奨学金事業費 5,344

- ・大学奨学金給付事業費 4,800

社会に有為な人間の育成を目的として、奨学金を給付した。

月額 30,000円×12か月×8人 (県外大学奨学生)

月額 20,000円×12か月×8人 (県内大学奨学生)

- ・大学奨学生選考委員会事業費 22

委員会開催 1回 (平成20年度選考奨学生：県外大学生2人 県内大学生2人)

- ・大学奨学基金積立金 522 (平成20年度末現在高 84,713)

- 情報公開事業費 1,543

- ・平成20年度情報公開実施状況

請求(申出)件数 186件 請求延人数 172人

公開 103件 部分公開 97件 非公開 5件 公文書不存在 4件 計 209件

不服申立件数 2件

- ・情報公開審査会の開催 1回

- 個人情報保護事業費 272

- ・平成20年度個人情報保護制度実施状況

開示請求件数 34件 利用停止等請求 9件 請求延人数 43人

開示 17件 部分開示 15件 不開示 1件 不存在 1件 消去9件 計 43件

不服申立件数 3件

- ・個人情報保護審査会の開催 3回

- ・個人情報保護制度研修会 (11/25～11/26)

講師 中京大学法科大学院教授 皆川治廣氏 出席人数 508人

施策の成果及び執行実績

- 弁護士法務支援事業費 2,712  
 適正な行政運営を行うために、市業務の法務上、あるいは政策選択上の相談を専門家へ行った。  
 定期法務相談件数 125件 臨時法務相談件数 128件
- 文書管理事業費 4,629
  - ・ 郵便物等の取扱い 147,441件
  - ・ 公文書廃棄処理 28.78トン
  - ・ 廃棄文書のリサイクル化（トイレットペーパー 44,000巻）
- 指定寄附基金積立金 147,531（平成20年度末現在高 155,300）
- 通送車運行事業費 5,103  
 市の本庁と各施設との連絡文書等の集配業務 35箇所
- 電子入札システム事業費 42,431  
 入札・契約に係る業務の大幅な効率化、速報性の向上による更なる透明性の確保とともに、事業者（入札参加者）においても入札事務の省力化を目的に、平成16年度から本格導入した建設工事に係る電子入札システム（工事委託は平成17年度から）において、平成20年度に456件を実施した（郵便入札を含む全体488件における率は93.4%）結果、業務の効率化及び人為的ミスの排除が実現されるとともに、受注者側からも入札手続事務の軽減が図られ好評を得た。
- 入札等監視委員会事業費 259  
 入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性及び公正性の確保を目的とし、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の指針に基づき設置する第三者機関であり、平成20年度は全工事契約から84件を抽出して入札参加資格の条件設定理由および経緯等について審議し、主要な意見をさらに入札制度の改善につなげるべく具申案件として整理した。
- 秘書一般経費 3,240  
 秘書業務を円滑に進めることができた。
- 総務一般経費 22,779  
 集中浄書 7,729 法令書籍追録 2,801 例規集データベース更新業務委託 9,220 ほか
- 契約監理一般経費 1,853
  - ・ 工事関係入札件数 488件（工事411件、委託74件、不調3件）

平成14年度から導入した入札制度の実施により、平成20年度の入札差金が約18億円生じるなど、不正行為の徹底排除ならびに適正な公共調達が行われた。

平成20年度入札実施件数 (単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木	3	14	18	31	15	23	22	16	36	27	1		206
建築		3	5	12	1	2	4	2	6	6	1	2	44
水道本管、給水管		3	7	12	4	5	6	4	3	1			45
舗装	1	3	6	2		5	3	5	5	9	4		43
電気		1	1	3	1	1	3	2	2	1			15
造園	9						2	1	2				14
その他	1	4	3	1	6	1	5	4	5	6	1	1	38
委託	8	13	7	13	3	6	5	7	7	5	1		75
計	22	44	48	74	31	43	50	43	66	55	9	3	488

施策の成果及び執行実績

- ・ 工事検査件数 485件（工事340件、委託 78件、外67件）

建設工事検査規則第2条の規定に基づく専任の検査員4名と併任検査員27名を配し、建設工事、業務委託等の完成検査及び契約履行途中の中間・出来高検査、並びに補助金交付、物品調達において技術的な確認が求められるものについて検査を行った。

また、完成検査において松阪市請負工事成績評定要綱に定められた評価基準に基づき評価を行い、優良工事を施工した業者には優遇措置を、不良工事を施工した業者には処分規定を設け、受注業者の指導、育成に努めている。

平成20年度工事検査実施件数

（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木関係	1	2	4	6	6	16	15	11	28	11	21	93	214
建築関係			2	4	6	11	5	2	4	1	8	22	65
水道関係		1			7	2	6	3	8	3	5	26	61
委託関係					4	6	3	1	8	2	12	42	78
その他	1	2	6	7	3	8	9	2	2		1	26	67
計	2	5	12	17	26	43	38	19	50	17	47	209	485

※区分欄の「その他」は、補助金交付に係る履行確認、物品調達に係る納品確認、設備修繕の完成確認及び工事における中間、出来高検査とする。

- ・ 物品業務委託関係入札等件数 366件（条件付一般競争入札100件、指名競争入札49件、見積合せ11件、定時見積合せ206件）

調達係では、庁用物品の購入契約による低価格の確保とグリーン購入の推進を図った。調達係にて取扱う単価契約で「グリーン購入対象商品」の導入を図り、単価契約物品93品目中対象物品51品目を導入した。また、各課には購入物品の選択で「グリーン購入対象商品」を優先するよう指導した。

平成20年度 物品入札件数

（単位：件）

区分	条件付き一般競争入札	指名競争入札	見積合せ	定時見積合せ	計
リース、賃借	46	27			73
一般印刷	7	3	1	41	52
消耗品	17	10	5	36	68
電算帳票印刷		1	5		6
備品	29	8		117	154
原材料	1				1
燃料				12	12
合計	100	49	11	206	366

平成19年6月から定時見積合わせをインターネットを通じて公募することとした。また、平成20年4月よりインターネットを使用し、条件付き一般競争入札を試行した。

○ 行政経営推進事業費 1,503

- ・ 市政マネジメントシステム

委員会の開催 危機管理対策委員会 1回

市政経営戦略会議の実施

事務事業評価シートの作成 平成19年度評価 261事務事業

危機管理対策委員会を開催し、リスクに対する意識の高揚を図った。

さらに、各部局にて危機管理マニュアルの見直しを行い、危機管理マニュアル関連図の見直しを全庁的に行った。

また、市政経営戦略会議を開催し、庁議メンバーに加え各部局代表の課長級職員も参加して部局の枠を越えて論議することにより、お互いの理解が深まった。

施策の成果及び執行実績

・ 行政経営品質向上活動

委員会開催内訳

委員会等名	開催回数
行政経営品質改善委員会	7回
2008のりなが活動発表会検討委員会	3回
アセッサー会議	6回

研修会開催内訳

研修会名	開催回数
セルフアセッサー研修	1回
行政経営品質職員研修	2回

行政経営品質改善活動「2008のりなが活動発表会」の開催 発表チーム6チーム

認定セルフアセッサーの養成 1人

研修及び会議 東京都千代田区、秋田県横手市、愛知県名古屋

アンケートアセスメントの実施 6部局

行政経営品質向上活動導入後6年を経過し、改善・改革に成果を挙げたものを発表することにより、職員間での意識の高揚を図ることができた。

・ 行財政集中改革プラン

委員会開催内訳

委員会名	開催回数
民間委託等検討委員会	1回
民間委託等推進委員会	6回
広告審査委員会	4回
広告掲載推進委員会	2回

懇談会の開催 松阪市行財政集中改革プラン（案）に係る議員懇談会 1回

行財政集中改革プラン実施プログラム進行管理ヒアリング 27回

非常に厳しい財政状況に対応するため、全ての部局が行財政集中改革プラン実施プログラムを作成し、議員懇談会で意見や助言をいただく機会を設け、その後公表した。

(目) 2 広報費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
214, 776				14, 170	200, 606

○ 広報松阪発行事業費 95, 190

市民への情報提供を充実するため毎月1回の広報紙を発行し、主に自治会を通して配布した。

- ・ 月例号 12回発行（平成20年5月号～平成21年4月号）  
A4版 32ページ 発行部数 64, 500部

○ ケーブルシステム事業特別会計繰出金 117, 215

松阪ケーブルシステム事業を円滑に推進した。

○ 広報一般経費 2, 371

広報業務及び記者クラブ運営を円滑に推進した（加入している広報関係団体への負担金及び記者クラブ非常勤職員賃金等を含む）。

施策の成果及び執行実績

※ 市長定例記者会見

市政の重要事項について明らかにし、市政への理解を求めるとともにPRに努めた。

※ 松阪市ホームページバナー広告

市の新たな財源確保のため市の資産を広告媒体として活用するもので、2年目を迎え、1,920,000円の広告料を得られた。

- ・ 広告料：20,000円（1月、1枠）
- ・ 8枠
- ・ 12か月（平成20年2月募集開始、平成20年4月掲載開始）

(目) 3 公平委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
469					469

○ 公平委員会事業費 469

不利益処分に関する不服申立 1件

区 分	開催日	場 所	参加委員
全国公平委員会連合会東海支部総会及び事務研究会	5/13	岐阜市	1人
全国公平委員会連合会本部研究会	7/3,4	東京	2人
松阪市公平委員会	7/10	市役所	3人
三重県公平委員会連合会総会及び事務研修会	10/17	名張市	2人
全国公平委員会連合会通常総会	10/24	東京	1人
松阪市公平委員会	2/19	市役所	3人
松阪市公平委員会	3/30	市役所	3人

(目) 4 人事管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,046,537				20,669	2,025,868

○ 退職手当 1,534,746

退職手当70人分 一人平均 21,925

区分	人数	うち定年退職
特別職	2人	
行(一)	44人	18人
行(二)	19人	17人
教 育	5人	4人
計	70人	39人

○ 公務災害補償費 37

「松阪市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例」による支給  
公務災害補償（療養補償費） 対象者 2人（非常勤職員）

○ 産休等代替賃金 63,724

産休・育休・病休等職員の代替非常勤職員の賃金を支給した。

区分	人数	賃金	共済費
産休・育休代替	47人	48,864,114円	6,511,013円
病休代替	10人	3,479,905円	293,431円
欠員補充	5人	4,128,708円	446,338円
その他	0人	0円	0円
計	62人	56,472,727円	7,250,782円



施策の成果及び執行実績

○ 職員研修事業費 8,753

職員の人材育成及び職務能率の向上のため、総合的な職員研修の実施と研修機関への派遣、また自己啓発、職場研修（OJT）の支援を行った。

区分	内容	人数等	金額
集合研修	階層別研修	740人	2,971
	特別研修	1,711人	1,192
	専門研修	89人	1,004
	諸経費等		166
	小計	2,540人	5,333
派遣研修	自治大学校	1人	460
	市町村アカデミー	3人	263
	国際文化アカデミー	5人	114
	人権大学講座	1人	172
	三重県自治会館	162人	237
	青年の船（香港）	1人	254
	県、民間、その他	110人	989
	団体会費等		60
	小計	283人	2,549
自己啓発研修	職場研修専門講師利用	17職場	865
	職員提案制度（褒章）		6
	小計		871
合計		—	8,753

○ 健康診断事業費 8,120

労働安全衛生法に基づき、職員（再任用、第1種・第2種非常勤職員を含む）の定期健康診断を実施した。

※三共済組合員については、健康事業の巡回ドックを利用

・ 定期健康診断

	定期健康診断結果	
	受診人員	1,165人
要治療	111人	9.5%
要二次検査	437人	37.5%
経過観察	449人	38.6%
軽度異常	85人	7.3%
異常なし	83人	7.1%

○ 職員採用試験事業費 466

平成21年度採用の職員採用試験を行った。

・ 職員採用試験の実施（人事試験研究センターに一部委託）

一次試験 … 平成20年9月21日（日） 場所：三重中京大学

二次試験 … 平成20年10月27日（月）、29日（水）、30日（木） 場所：市庁舎5階等

受験者数	事務職	事務職 （身障）	技術職 （土木）	技術職 （建築）	幼教・ 保育士職	計
一次試験	118人	2人	7人	12人	50人	189人
二次試験	13人		3人	3人	14人	33人

施策の成果及び執行実績

- 職員作業服等貸与事業費 1,850  
 労務職員に対して作業服を貸与した。  
 男子作業服〔夏〕：上衣 303着、下衣 268着  
 男子作業服〔冬〕：上衣 159着、下衣 159着

- 各種補助金 1,741

事業名	事業費	内容等
自主研究活動事業補助金	9	行政課題について自主研究をする5名以上の職員サークルに対し、活動費用の補助を行った。 ・1サークル 「人事政策研究会」
市職員通信教育講座受講補助金	104	職員の自己啓発意欲の支援のため、通信教育修了者に対し受講費用の1/2を補助した。 ・受講講座修了の15人に対し補助
市職員組合自治研集会補助金	400	自治労松阪市職員組合が開催する自治研集会開催費用の一部を補助した。 ・平成20年10月12日 第44回自治研集会 テーマ 「災害に強いまちづくり」 開催
市職員専門研修参加費助成補助金	28	業務に関連する専門知識を身につけるため、専門研修を受講した職員に対して受講費用の1/2を補助した。(4人)
三重中京大学大学院派遣支援事業補助金	1,200	三重中京大学大学院政策科学研究科へ大学院生として派遣する職員に対して、学費の補助を行った。 ・2人派遣 うち1人が修士(政策科学)課程修了
計	1,741	

- 職員退職手当基金積立金 404,796 (平成20年度末現在高 1,400,987)
- 長期勤続退職者記念品事業費 307  
 長期勤続退職者(定年退職又は在職25年以上)63人に記念品を授与した。
- 市職員福利厚生事業費 8,000  
 職員の親睦、保健、元気回復などの福利厚生事業等業務を松阪市職員共済組合に委託した。
- 人事給与システム事業費 2,483  
 人事管理・給与計算に必要なシステムの整備を行った。
- 安全衛生委員会事業費 353  
 安全衛生委員会等に関連する活動及び相談事業を行った。  
     産業医委託 180  
     こころの健康相談 165  
     職場巡視時運転委託 8
- 人事・給与厚生業務等委託事業費 6,421  
 職員課の一部業務を松阪市職員共済組合に委託した。
- 当直関連業務事業費 4,174  
 市役所本庁舎の当直職員(4人)の賃金を支給した。  
     (通常) 11,370円×359日 (年末年始) 15,350円×6日
- 人事管理一般経費 566
  - ・ 書籍・追録加除 192
  - ・ 郵送料 102
  - ・ その他一般事務費 272

施策の成果及び執行実績

(目) 5 恩給及び退職年金費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,325				4	6,321

○ 扶助料 4,653

昭和37年11月以前の退職者の遺族に対して扶助料を支給した。

扶助料受給者 6人

○ 旧恩給組合負担金 1,672

昭和37年11月以前に旧4町で退職した職員及びその遺族に支給される通算退職年金・通算遺族年金に関する負担金を支払った。

(目) 6 財政管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,889					13,889

○ 地方公営企業等金融機構出資金 13,000

地方公営企業等金融機構法第4条第1項に定めるとおり、地方公営企業等金融機構設立のために出資した。

○ 財政管理事業費 889

起債申請・借入、交付税算定、財政公表、予算編成事務等経費

・平成21年度当初予算編成事務説明会の開催

開催日	開催場所	出席者数
H20. 10. 29(水)	産業振興センター3階研修ホール	139人

(目) 7 財産管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
190,881				44,354	146,527

○ 庁舎等維持管理事業費 123,025

- ・ 本庁舎等光熱水費(電気・ガス・水道・下水道) 41,565
- ・ 本庁舎等維持修繕費 4,499
- ・ 本庁舎電話代等 12,913
- ・ 本庁舎管理業務等手数料 1,529
- ・ 建物等保険料 16,003
- ・ 本庁舎管理等委託料 39,872
- ・ 使用料及び賃借料等その他経費 6,644

○ 市有財産管理事業費 8,105

- ・ 測量登記、不動産鑑定評価書作成等手数料 1,311
- ・ 草刈清掃等業務、立木所有者等調査業務委託料 3,961
- ・ 旧機殿出張所跡井戸敷修繕料 252
- ・ その他非常勤職員賃金、消耗品等 2,581

施策の成果及び執行実績

- 車両管理事業費 17,791
  - ・ 車検、点検等修理代 1,645
  - ・ 自動車燃料費 4,290
  - ・ 自動車借上料 3,581
  - ・ 自動車保険料等 8,275
- 花岡官林道管理保全事業費 4,083

工事名	工事内容	工事費
花岡官林道法面整備工事費	花岡官林道の法面の一部で崩落の恐れがあり、隣接地への対策のため法面整備工事を実施。 施工箇所：駅部田町地内 主な工事内容：施工延長27m、ブロック積工105㎡	4,083

- 基金積立金 37,596
  - ・ 土地開発基金積立金 3,414（平成20年度末現在高 2,159,915）
  - ・ 財政調整基金積立金 31,837（平成20年度末現在高 6,163,265）
  - ・ 減債基金積立金 2,345（平成20年度末現在高 215,552）
- 各種団体等負担金 39
- 財産管理一般経費 242

(目) 8 会計管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,550				216	4,334

- 各種団体等負担金 10
- 会計管理一般経費 4,540

(目) 9 企画費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,711				7,017	6,694

- 総合計画策定事業費 186  
総合計画策定のための先進地視察及び調査研究等の活動を実施した。

先進地視察 66

多治見市(市民参画の仕組み等) H21年2月17日 3人

川西市(総合計画と予算との連動等) H21年3月26日 3人

策定事業研究会 120

総合計画策定事業研究会を次の講師の指導により4回実施した。  
三重中京大学現代法経学部 寺本博美教授、村林守教授、高橋保幸教授  
参加者 政策課 まちづくり推進課 経営推進室 職員

回	開催日	内容	場所	出席人数
1	H21. 2. 17	総合計画の評価	三重中京大学 6号館615号室	14人
2	H21. 3. 3	計画策定の方法と評価		13人
3	H21. 3. 17	地方分権の諸問題と総合計画		8人
4	H21. 3. 26	自治基本条例の策定と総合計画		12人

施策の成果及び執行実績

○ 地域審議会事業費 285

市総合計画に基づく実施計画の進捗状況を検証するとともに、今後の住みよいまちづくりに向けて地域課題について協議し、意見書として市長に提出した。

松阪地区地域審議会 285

回	開催日	場所	出席人数
正副会長会議	H20. 5. 28	嬉野生涯学習センター	2人
1	H20. 7. 18	市議会 第3、4委員会室	12人
2	H20. 11. 26		10人
3	H21. 2. 13		14人
正副会長会議	H21. 3. 19	市役所5階右会議室	2人

○ ふるさと振興基金積立金 2,223 (平成20年度末現在高：800,521)

○ まちづくり型セカンドステージ大学事業費 2,421

市民が地域の担い手として参加できる仕組みづくりや、地域が交流活動の場として活用される仕組みづくりのため、退職された方、育児を終えられた方など、人生の転機を迎えた市民を対象に、「まちづくり」を進めるための「ひとづくり」をテーマとして、市民が仕事や生活の中で得た知識や技能を、まちづくりに活かすためのスキルアップや、活躍の場の提供、市民活動に取り組む市民や団体のネットワークづくりをねらい、「ネクストドア」のネーミングで講座等を実施した。

委託料 2,337 (運営事務局をNPO法人「Mブリッジ」へ委託)

ネクストドア講座の開催 (17テーマ 24講座の開催)

講座名	講師名	参加者数
定年退職士3年講座	河合 和	14
自分らしい仕事の創り方講座	三田泰久	22
会議の達人が明かす～会議上達の裏技とコツ	釘山健一	37
その他 (14テーマ)	—	334

まつさかセカンドステージ大学運営会議・事務局選定会議 84

回	開催日	場所	出席人数	内容
	H20. 6. 4	市役所5階特別会議室	5人	事務局選定会議
1	H20. 7. 29	市役所地下会議室	8人	運営会議
2	H20. 11. 5	市役所5階特別会議室	8人	
3	H20. 12. 18	市役所地下会議室	8人	
4	H21. 3. 26	市役所5階左第1会議室	7人	

○ 南三重活性化協議会負担金 10

南三重地域の自治体、団体、機関、企業、大学等が結束・連携し、活性化施策の推進や魅力ある地域づくりを推進していくことを目的としている。

通常総会や研修会の開催、氏郷まつりにおける南三重「秋の観光・味覚フェア」の開催、また、ホームページによるトピックス、会員情報、観光情報の発信などを行った。

○ 地域SNS構築・活用事業費 566

市民交流の機会を増やし、地域コミュニティの活性化を促進するとともに、地域情報を市内外へ発信することで地域情報の共有化を進め、地域の一体化を醸成することを目的とした地域SNS「松阪ベルネット」を運営している。

会員が健康、環境、子育てなど様々な分野のコミュニティを立ち上げたり、日記などで意見交換を行い、会員が企画するイベントへ参加して実際に交流するなど、会員の情報発信のみではなく、様々な交流のツールとして利用され、地域活性化に繋がった。

また、全国規模で開催されるフェアやフォーラムに出展・参画したことにより、松阪地域の宣伝を効果的に行うことができた。

施策の成果及び執行実績

平成20年度事業内容

- ・自治体総合フェア2008への出展（総務省主催、東京）
- ・地方自治情報推進フェア2008への出展（地方自治情報センター主催、東京）
- ・市民団体と連携して、街道ウォーキングなどオフ会の実施
- ・第2回まつさか地域情報化フォーラムの開催（参加者100名）  
2月21日 産業振興センター テーマ：伝わる・響く・情報発信  
基調講演1：和崎宏氏（地域SNS最前線）  
基調講演2：小暮都氏（なぜ紙芝居か）  
ディスカッション（伝わる・響く・情報発信）  
山守一徳氏、和崎宏氏、小暮都氏、米山哲司氏、山中光茂市長
- ・第4回全国SNS情報化フォーラムへの参画（京都府）

利用実績 平成21年3月31日現在（483日間）

- ・会員数 646人（市内会員75.9%）
- ・コミュニティ総数 123（記事コメント総数8,277）
- ・日記総数 8,487（コメント数92,485）
- ・総アクセス数 3,203,787（一日平均6,630）

まつさか地域SNS運営委員会 50

回	開催日	場所	出席人数
1	H20. 11. 5	市役所5階特別会議室	5人
2	H21. 2. 4	市役所5階特別会議室	4人

まつさか地域情報化フォーラム 103

地域SNSに関するサポートサービス等委託料 413

○ 各種団体等負担金 200

- ・全国半島振興市町村協議会負担金 20
- ・全国過疎地域自立促進連盟会費及び三重県ふるさと振興協議会会費 147
- ・伊勢湾口道路建設促進期成同盟会負担金 33

○ 企画一般経費 301

○ 国際交流促進事業費 550

民間の立場から松阪地域で国際交流を進める松阪国際交流協会の活動に助成と参画をすることにより、市民と連携した国際化施策の推進を図った。

○ 国際交流事業補助金 2,196

松阪市国際交流基金を活用して、青少年等が学校行事等で海外研修に派遣される時、経費の一部助成を行った。平成20年度においては、以下のとおり助成を行い、青少年等の国際理解及び国際交流に役立てた。 補助金額：36,000円/人

松阪市青少年等国際交流事業補助金 2,196

学校名	派遣者数	研修先
皇學館高等学校	1人	オーストラリア
松阪工業高等学校	5人	オーストラリア
津西高等学校	3人	ニュージーランド
津高等学校	5人	マレーシア
相可高等学校	2人	中国（台湾）
三重高等学校	8人	オーストラリア
宇治山田商業高等学校	2人	韓国
昴学園高等学校	1人	シンガポール
セトビ7女子学園高等学校	6人	カナダ
久居高等学校	2人	オーストラリア

施策の成果及び執行実績

学校名	派遣者数	研修先
松阪高等学校	21人	イギリス
松阪商業高等学校	2人	オーストラリア
高田高等学校	3人	オーストラリア
計	61人	

○ 生活オリエンテーション事業費 1,533

非常勤職員として、タガログ語通訳者1人、ポルトガル語通訳者1人を雇用し、週3日・午後市役所1階ロビーで外国人住民からの生活相談に応じるための窓口を開設した。場合により現場への出張通訳にも応じている。

【主な相談内容】

- ・ 初めて松阪市に来られた方への行政サービスの説明（税、教育、保険、健診等）
- ・ 納税相談通訳
- ・ 福祉相談通訳（保育園・幼稚園への入園、医療費等）
- ・ 生活保護相談通訳
- ・ 市営住宅入居相談通訳
- ・ 母子保健同行訪問通訳 等

その他、公文書の翻訳業務等も行っている。なお、平成20年12月24日から経済状況の悪化に対応する緊急生活相談窓口の開設に伴い、週4日の対応を行った。

延べ889名の利用者があった。

非常勤職員賃金 1,511

筆耕翻訳料等事務費 22

○ 地域国際化推進事業費 55

松阪市の国際化を推進するにあたり、外国人住民を対象とした懇談会を開催し意見の聴取を行った。

また、松阪国際交流協会、松阪にほんごの会、国際交流インディアンエレファント、華友会、松阪フィリピン協会などの参加による、松阪市地域国際化推進会議を開催し、各団体間の意見交換及び各団体としての国際化に対する意見の聴取を行った。

松阪市地域国際化推進会議 55

○ 友好都市交流事業費 3,032

平成19年度に松阪市国際交流推進会議から友好都市提携の候補地として中国無錫市濱湖区が報告されたことに基づき、平成20年度に友好都市提携の諸条件について双方で協議を行った。この結果、平成20年10月22日に友好都市提携の調印式並びに関連行事を濱湖区で行い、市長以下関係者が訪中した。

無錫市濱湖区との友好都市提携事業 3,000

松阪市国際交流推進会議 32

開催日	場所	出席人数
H21. 3. 27	市役所5階右会議室	11人

○ バリアフリーのまちづくり活動事業費 153

高齢者、障がい者等が自由に行動でき、安全で快適に生活できる社会を実現するため、松阪市民バリアフリー推進チームを設置し、市民の視点でバリアフリーの点検調査及び意見提案を行うとともに、啓発活動等を実施した。

バリアフリー推進チーム会議及び現地確認 153

施策の成果及び執行実績

回	開催日	場所 (対象)		内容	出席人数
1	H20. 5. 13	現地	近畿日本鉄道伊勢中川駅 (駅構内エレベーター設置工事)	現地調査	11人
		会議	嬉野保健センター会議室	調査結果話合	
2	H20. 10. 16	現地	京町一区 (松阪駅松阪港線道路整備工事) 宝塚古墳 (宝塚古墳整備事業)	現地調査	11人
		会議	市役所地下会議室	調査結果話合	
3	H21. 2. 16	現地	近畿日本鉄道伊勢中川駅 (駅構内エレベーター設置工事)	現地調査	13人
		会議	嬉野中央研修センター2階会議室	調査結果話合 図面審査※	

※図面審査：松阪市リサイクルセンター新築工事

(目) 10 IT推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
595,932	17,335		28,600	62,207	487,790

○ 庁内OA化推進事業費 48,542

庁内イントラネット及び職員用パソコンの高度利用を図り、インターネットや電子メール等が安定して利活用できるシステム運用に取り組んだ。さらに情報セキュリティポリシーに基づく組織的なセキュリティ対策として、情報セキュリティセルフチェックおよび情報セキュリティ研修を実施した。

- ・ 通信機器、各種サーバ及びシステム保守委託料 7,329
- ・ 情報セキュリティ研修・セキュリティセルフチェック委託料 849
- ・ 職員用パソコン賃借料 35,181
- ・ 通信機器、各種サーバ等賃借料 4,897 ほか

○ システム管理事業費 217,467

住民記録、福祉医療、学齢簿、市営住宅などの適用業務についてデータを管理し、電算処理を行うとともに情報照会などのサービス提供を行った。  
また、主管課からの依頼により40件余りの法・制度改正への対応や機能追加のための修正を行った。

- ・ OA用紙等消耗品費 2,208
- ・ 電算業務運営管理委託料 170,100
- ・ その他システム、機械等保守委託料 1,248
- ・ 機械等賃借料 39,945 ほか

○ 地域情報事業費 151

インターネット公共端末の維持管理等

- ・ 公共端末専用線利用料 57
- ・ 公共端末賃借料 86 ほか

○ 移動通信用鉄塔施設整備事業費 32,759

情報通信格差是正事業（地方単独事業）による移動通信用鉄塔施設の整備  
整備地区：松阪市飯高町栢谷地区、蓮ダム湖周辺地区、赤桶西奥地区

- ・ 土地測量業務手数料等 851
- ・ 無線電力設備物品供給業務委託料 18,740
- ・ 無線電力設備設置業務委託料 8,935



施策の成果及び執行実績

- ・ 無線電力設備設計監理業務委託料 3,125
- ・ 無線基地局間光ネットワーク接続及び開通試験業務 1,059
- ・ 土地購入費 11 ほか
- 総合行政ネットワーク事業費 5,312  
 全国の地方自治体を相互に結ぶ総合行政ネットワーク（L G W A N）への接続・運用を行った。
  - ・ 回線使用料 365
  - ・ システム保守委託料 2,935
  - ・ 接続機器賃借料 2,012
- 総務管理事務システム事業費 88,548  
 グループウェア、文書管理、財務会計、職員申請、勤休管理、人事・給与等を統合したパッケージシステムを運用した。
  - ・ バッテリー交換代 171
  - ・ システム保守委託料 34,070
  - ・ パッケージ賃借料 54,288 ほか
- 庁内ネットワーク管理事業費 184,983  
 本庁及び各地域振興局間の情報ネットワークの管理・運用並びにインターネット、電子メールを利用する環境のシステムを運営した。  
 また、本庁、外局、地域振興局を接続する広域情報ネットワークの構成を見直すとともに、機器等の更新を行った。
  - ・ L A N配線移設修繕費 756
  - ・ 光幹線利用料 33,558
  - ・ ネットワーク運用支援委託料 28,350
  - ・ 外局用ネットワーク機器等保守委託料 3,763
  - ・ ネットワーク機器等賃借料 118,551 ほか
- 住民情報システム再構築事業費 17,335  
 住民情報システムに係る経費節減と維持・管理に係る人員の削減のため住民情報システムの再構築を平成20年度から平成21年度にかけて実施する。  
 平成20年度、新しい住民情報システムの設計を行い、構築作業に着手した。
  - ・ 住民情報システム設計業務委託料 17,335
- 各種団体等負担金 300
- I T推進一般経費 535

(目) 11 まちづくり推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
145,818				2,492	143,326

- 市民対話活動事業費 1,025  
 「市政バス」の実施  
 市内施設等を見学し、市政に対する関心と理解を深めていただくことを目的に実施した。  
 実施回数 28回、参加人数 717人  
 広聴業務  
 市政に対する市民の意識・要望等を相談専用ファックス・電子メールなどにより、広く把握して市政運営の一助にした。また、市政に対する関心や参加意識の高揚を図るため、出前講座を開催した。  
 「市民の声」 127件（Eメール91件、ファックス6件、電話13件、手紙5件、来課他12件）  
 「市長への手紙」 45件（Eメール19件、ファックス10件、手紙16件）  
 「出前講座」 52回、参加人数 2,152人

施策の成果及び執行実績

- 広報広聴補助業務等委託事業費 68,438  
 松阪市自治会連合会に、ポスターの掲示、回覧物の周知、懇談会、説明会等への参集呼びかけ等、業務委託を行った。
- 松阪市自治会連合会補助金 6,563  
 地域の円滑な発展と住民自治の確立に寄与するために、松阪市自治会連合会に補助した。  
 総会1回、役員会理事会21回、研究会等20回、理事視察研修1回  
 交通事故撲滅市民大会の開催、自治連だより発行等
- 掲示板設置補助金 699  
 公共の目的をもって市民への広報に寄与するために設置する新規の掲示板の設置に対し、1基当たり23,000円を上限に補助した。(設置数 34基)
- 地域マネジメント推進事業費 542  
 住民協議会設立に向けて設立準備会等が立ち上げられた地区の会議や勉強会へ参加し助言するなど支援を行った。また、住民協議会の企画立案や計画作成に役立つようにワークショップの研修会を開催した。
- 自治基本条例策定事業費 837  
 自治基本条例審議会を継続して開催し、条例制定に向け審議を進めた。並行して梅村学園(三重中京大学)との共同研究を行った。  
 審議会 5回 共同研究会 21回
- 地区集会所建設補助金 30,956  
 地区においてのコミュニティ活動の拠点となる集会所の整備を補助することにより、地区のまちづくりを推進した。(20地区集会所)

内訳	種別	実施件数	補助額
	新築	5件	24,634
	改修等	15件	6,322
	計	20件	30,956

- 住民協議会設立促進支援補助金 1,500  
 地域マネジメントにおける住民協議会設立の促進が図れるよう、住民協議会の設立年度の活動にかかる経費に対して支援を行った。  
 3地区(川俣、有間野、仁柿)住民協議会×500,000円
- 住民協議会活動交付金 5,275  
 住民協議会の運営及び事業の活性化と適正化を図り、地域の住民自治の拡充に資するため、設立2年目以降の住民協議会の活動に対して交付した。  
 7地区(嬉野中川・朝見・掃水・漕代・波瀬・森・宮前)住民協議会
- 市民活動センター管理運営事業費 29,771  
 市民活動センターについて指定管理者制度を活用し、管理・運営を行った。
  - ・ 管理・事業運營業務委託料 16,900
  - ・ 市民活動センター賃借料 12,871
- 指定管理者選定委員会事業費 60  
 市民活動センターの指定管理者の選定を行った。  
 選定委員報酬 56 その他 4
- 地域づくり事業基金積立金 152 (平成20年度末現在高 20,979)

施策の成果及び執行実績

(目) 12 地区市民センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
336,776				1,036	335,740

- 一般職員給 268,061
- 地区市民センター管理運営事業費 44,504  
地区市民センター21館の維持・管理・事務経費。  
嘱託職員賃金等 13,548  
光熱水費 13,198 修繕料 4,520 維持管理等委託料 5,143 その他経費 8,095
- 地区市民センター施設整備事業費 24,211  
駐車場舗装工事(花岡) 1,271 駐車場用地取得経費(徳和) 22,940

(目) 13 地域振興局費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
366,326		3,000	23,700	107,082	232,544

- 一般職員給 58,352
- 地域振興局管理事業費 104,018  
各地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

区分	事業費	内 訳					
		賃金	需用費	役員費	委託料	使用料	その他
嬉野地域 振興局管 理事業費	30,752	1,570	13,588	3,731	7,473	3,999	391
三雲地域 振興局管 理事業費	24,414	6,981	11,842	2,480	1,187	858	1,066
飯南地域 振興局管 理事業費	20,416	8,786	7,093	1,596	949	1,247	745
飯高地域 振興局管 理事業費	28,436	6,401	14,114	2,519	2,350	2,156	896
合計	104,018	23,738	46,637	10,326	11,959	8,260	3,098

- 飯高山岳救助隊支援事業補助金 270  
飯高管内における山岳救助活動を行う飯高山岳救助隊の支援を行った。  
遭難発生件数 0回 登山口巡視 2回 登山ルート安全確認作業 1回 迷い人等出動 3回
- 緊急山岳救助活動拠点施設整備事業費 3,439  
伐開工 324㎡ 切土 盛土工 52㎡ ヘリポート18m四方の四角形 324㎡  
工事請負費 3,439  
飯高町蓮地内コクマタ山山頂付近に山岳救助用緊急ヘリポートを建設した。  
この設置工事により、これまで徒歩で3~4時間かけてヘリポート付近まで行き、それから捜索していたのが、ヘリで10分に短縮することができ、遭難者の早期救助と救助隊員の安全確保に繋がった。

施策の成果及び執行実績

○ 嬉野史編さん事業費 13,954

嬉野管内の文化・民俗・遺跡等の資料等を収集し、系統的に嬉野史の編さんを行うことにより、後世に守り伝えるとともに、市民生活の文化的向上を目指す。  
20年度については、21年度の「通史編」の印刷製本に向けての資料等の追加及び再調査や、原稿の集約を行い、今後の編さん事業が円滑に進むよう事業を進めた。

1. 会議等

- ・ 編さん会議 (1回)

通史の編さんに係る骨格や、編さん事業終了後の資料の保存管理について審議し、基本的な考え方を精査した。

- ・ 歴史史料部会 (5回)

「通史編」関連の文献史料に基づく、内容の精査及び追加資料の内容検討を行った。

- ・ 通史部会 (1回)

「通史編」を構成する自然・考古・歴史・文化財の各専門分野の代表により、「通史編」の編集についての検討を行った。

2. 調査事業

- ・ 文献調査

新出史料の調査及び「史料編(上・下)」を基礎とした関連史料の補足調査。  
史料数の多い「多賀家」、「在間家」、「加藤家」等を再チェックや検討を行い、江戸時代(紀州藩領)の生業のあり方や変遷について調査を行った。

- ・ 現地調査

「文化財・民俗編」を基礎とし、関連文化財の補足調査(寺院・神社所蔵の文化財等)特に江戸時代の嬉野管内の寺社については、紀州藩の政策下にあるため政治・文化的影響が強いため、この観点から金石文(石造文化財)関連の調査を行った。

- ・ 県外関連調査

戦時教育資料関連で戦前戦中に建設され、天皇皇后の御真影と教育勅語を納めた建物の「奉安殿」関係の調査のため、国立公文書館、岡崎市歴史資料館、岡崎市立夏山小学校へ出向き、当該資料の調査を行った。

3. 資料整理事業

文書史料のカード化及びデータベース化、文化財等の記録資料(文化財調査台帳・写真等)、マイクロフィルム資料の整理を行い、今後の資料活用に備えた。

4. 嬉野史普及啓発事業

史料編(上)の執筆者による、調査成果報告と解説関連の講演会

第1回 5/25 「文字史料に見る古代の嬉野」 参加人数 19名

第2回 7/27 「嬉野の中世」 参加人数 26名

第3回 9/28 「流行病と村の医療 ～幕末から明治～」 参加人数 22名

第4回 11/23 「中村川と井堰」 参加人数 25名

第5回 1/25 「近・現代の嬉野 ～多賀家文書を中心に～」 参加人数 21名

○ 地域審議会事業費 1,277

- ・ 嬉野地区地域審議会 327

総合計画、実施計画の進捗状況など、松阪市及び嬉野地域の今後の住みよいまちづくりに向けた施策について審議を行った。

また、地域の様々な問題や課題を掘り起こし、ソフト面、ハード面から地域の将来を展望した論議を行い、2年間の成果を「意見書」にまとめ市長に提出した。

回等	開催日	場 所	出席人数
正副会長会議	H20. 5. 28	嬉野生涯学習センター	1人
1	H20. 7. 31	嬉野保健センター	14人
2	H20. 12. 5		12人
3	H21. 2. 25	嬉野生涯学習センター	17人
正副会長会議	H21. 3. 19	市役所5階右会議室	2人

施策の成果及び執行実績

・ 三雲地区地域審議会 280

前回の意見書を基に三雲管内の状況を鑑みて、項目の追加、削除、肉付けについて協議、取りまとめを行い、今期の意見書を作成、市長に提出して内容の説明を行った。また、三雲自治会長会と共催で「地域づくり講演会」を開催し、地域に何が必要で、どのように地域づくりを実践するのかを学習し、「住民協議会」の役割、必要性などを認識した。

回等	開催日	場 所	出席人数
正副会長会議	H20. 5. 28	嬉野生涯学習センター	1人
1	H20. 7. 28	三雲地域振興局 大会議室	12人
2	H20. 11. 27		12人
3	H21. 3. 4		12人
正副会長会議	H21. 3. 19	市役所5階右会議室	2人

・ 飯南地区地域審議会 315

平成17年度に飯南自治会連合会が実施した住民アンケートを基に公共施設の有効利用について審議を行い、意見書を取りまとめて市長に提出した。

回等	開催日	場 所	出席人数
正副会長会議	H20. 5. 28	嬉野生涯学習センター	1人
1	H20. 8. 4	飯南地域振興局大会議室	15人
2	H20. 12. 25		15人
3	H21. 2. 12		13人
正副会長会議	H21. 3. 19	市役所5階右会議室	1人

・ 飯高地区地域審議会 355

総合計画、実施計画の進捗状況、地域福祉計画などについて、住みよいまちづくりに向けた施策について審議した。地域住民の日常生活に直結する多くの課題について、地域間格差を解消するため、飯高の声として意見書にまとめて市長に提出した。

回等	開催日	場 所	出席人数
正副会長会議	H20. 5. 28	嬉野生涯学習センター	2人
1	H20. 7. 15	飯高地域振興局大会議室	15人
2	H20. 11. 26		16人
3	H21. 2. 20		15人
正副会長会議	H21. 3. 19	市役所5階右会議室	2人

○ 国際交流員（CIR）事業費 927

国際交流教室の開催、保育園・小中学校への訪問、CIRとの海外体験旅行(応募者8人参加)、まちづくり交流事業を開催することで国際交流を図り、また、行政チャンネルでも国際交流のPRを行った。

○ 地域づくり支援事業補助金 32,799

市民の自発的なまちづくり活動事業を支援し、活力あるまちづくりを推進した。

	補助額	団体数	内 容
嬉野管内	13,000	37団体	嬉野おおきん祭り、宇気郷まつり、元気おこし事業等
三雲管内	8,010	48団体	武四郎まつり、笠松かんこ踊り、七夕笹かざり等
飯南管内	5,962	26団体	ほたるの里づくり、生ごみ堆肥化・美化活動等
飯高管内	5,827	17団体	各種地域活性化のためのまちづくり、イベントの開催等
計	32,799	128団体	

○ 飯高総合開発センター管理事業費 6,862

教育・文化の中心的な施設として、また、地域のコミュニティの拠点施設として多くの利用があった。

20年度利用件数 666件、 利用人数 11,978人

施策の成果及び執行実績

- 飯南コミュニティセンター管理事業費 2,285

地域コミュニティの拠点施設として、地域住民等の利用の促進を図った。

利用状況 研修室 124件 延べ2,309人、トレーニング室 130件 延べ1,798人

- 出張所管理事業費 11,925

地域振興局管内の各出張所の適正な維持管理に努め、地域住民サービスに従事した。□

地域	出張所	事業費
嬉野	宇気郷出張所（簡易郵便局費用含む）	286
	中郷出張所	115
飯南	柿野出張所	464
飯高	波瀬出張所	447
	森出張所	1,158
	川俣出張所	1,532
事務補助員賃金等3人（宇気郷、中郷、柿野）		7,923
計		11,925

- 地域集会所施設整備事業費 26,999

老朽化に伴う地域集会所の整備を実施した。（飯南地域振興局）

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	負担金	事務費
相津集会所新築工事（過疎対策事業）	相津集会所新築工事（飯南） 木造平屋建 延面積104.55㎡	23,817	22,913	815	89	0

利用者の高齢化に伴い利便性の向上のため洋式便器を設置するとともに、水洗化の推進により合併浄化槽を設置した。（飯高地域振興局）

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	負担金	事務費
田引集会所トイレ改修工事	面積 11.2㎡ 洋式便器 2か所 小便器 2か所 男女トイレの個別化	3,182	3,070		112	0

- コミュニティ助成事業補助金 2,400

（財）自治総合センターが認めた地域コミュニティの醸成となる施設の整備を実施し、コミュニティの健全な発展を図った。

飯高町宮前区 宮前農村公園施設整備

- 地域交流センター管理運営事業費 228

市民の交流促進と地域活動の活性化を図ることを目的として設置され、平成21年4月から供用開始に向けた準備を行った。

事業名	事業費	事業費内訳				
		需用費	役員費	委託料	使用料	その他
地域交流センター管理運営事業費	228	103	0	7	13	105

- 地域集会所管理事業費 99

田引集会所アスベスト分析を実施した。 29

田引集会所2階の壁改修を行った。 70

- ふれあい夢広場管理事業費 492

ふれあい夢広場ゲートボール場防砂ネットの設置等修繕を実施した。

高さ 1.2m × 長さ 62.3m

施策の成果及び執行実績

- 中川新町地域交流センター基金積立金 100,000 (平成20年度末現在高 100,000)  
 松阪市中川新町地域交流センターに要する経費に充てるため、嬉野町中川駅周辺土地区画整理組合から寄付を受けたことにより、基金として積み立てた。

(目) 14 防災対策費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
156,293	4,800	9,470	86,100	3	55,920

- 防災対策事業費 28,178  
 災害時において、初動体制の充実を図り、本部と振興局の円滑な連携を図ることで市民の生命・財産への被害を最小限に抑えるため、「非常用備蓄品」の購入、「防災無線設備」の強化・更新・整備等に努めた。
  - ・非常用備蓄品 9,000  
 (毛布620枚、非常食12,200食、災害用トイレ51基、保存水822本)
  - ・無線設備等維持管理委託 6,944
  - ・防災行政無線(移動・固定)等修繕料 1,232
  - ・災害時メール一斉送信システム 256
  - ・災害対策本部用PC購入 251
  - ・ろ水機保守点検委託 212
  - ・災害応急対策GISシステム保守 630
  - ・その他防災経費(電気代、電話・無線利用料等) 9,653
- 防災啓発事業費 520  
 市民の防災意識高揚を図る為、防災講座等を実施した。
  - ・啓発物品購入 505
  - ・備品購入 15
- 総合防災訓練事業費 2,621  
 総合防災訓練を実施し、各防災機関との連携をより強固なものとし、災害発生時の迅速な対策の確立に努めた。  
 開催日：平成20年10月5日 開催場所：松阪県民センター駐車場、鎌田中学校、  
 参加者：約1,900人 済生会病院、各地域振興局等
- 一般木造住宅耐震診断事業費 5,760  
 昭和56年5月31日以前に建てられた一般木造住宅の耐震診断を実施し、家屋倒壊の被害の減少に努めた。(耐震診断戸数：125戸)
- 自主防災組織資機材整備費補助金 1,950  
 自主防災組織の結成促進及び育成強化を図り、防災資機材等の整備を図った。  
 (H20年度補助金交付団体数：11団体)

交付金額	件数	自主防災隊名
150,000円	7件	飯南(舟戸、仲組、長野組)、飯高(乙栗子、美滝、波瀬)、本庁(下蛸路)
200,000円	3件	嬉野(さつき苑)本庁(パークタウン、レインボー田村)
300,000円	1件	桜町

- 松阪市防災会議事業費 279  
 地域防災計画の見直しを各関係機関を交え行った。  
 松阪市防災会議：平成20年7月15日  
 平成21年3月13日
  - ・委員報酬 273 (39人分)
  - ・その他事務経費 6

施策の成果及び執行実績

- 一般木造住宅耐震補強補助事業費 10,354  
 昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で、耐震診断を受け耐震補強が必要と判断された家屋の耐震補強補助を実施し、家屋倒壊被害の減少に努めた。(耐震補強補助交付戸数：14戸)
- 自主防災組織育成推進事業費 303  
 自主防災組織の活動を支援するための研修資材等を購入した。
- 防災無線整備事業費 96,994 (平成20年度～平成22年度)  
 防災無線(デジタル同報系及びデジタル移動系)の親局機器及び海岸部に屋外子局17基を設置し、地域住民等に迅速な情報を伝達できる防災施設整備を行った。
  - ・ 防災行政無線親局無線工事等 92,215
  - ・ 備品購入 1,914
  - ・ 防災無線設計監理委託 2,520
  - ・ 検査旅費 104
  - ・ 負担金 241
- 高齢者世帯家具等転倒防止支援事業費 495  
 65歳以上及び身体障害者のみで構成されている世帯の家具等の転倒防止を図り、人的被害の防止に努めた。(家具固定世帯：55世帯)
- 国民保護法推進事業費 236  
 松阪市避難実施要領を作成し、有事に備えた。  
 松阪市国民保護協議会：平成20年10月30日
  - ・ 委員報酬 126 (18名分)
  - ・ その他事務経費 110
- 各種団体負担金 8,603
  - ・ 三重県防災航空隊負担金 4,951
  - ・ 三重県防災行政無線運営協議会分担金 3,642
  - ・ 中越大震災ネットワークおぢや協議会会費 10

(目) 15 交通安全対策費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
82,969				58,935	24,034

- 放置自転車対策事業費 8,687  
 松阪駅及び中川駅周辺における放置自転車を排除し、都市美観と道路交通環境を保持するため、巡視員による放置自転車の確認業務、市営自転車駐車場の受付及び整理業務を行った。

・ 放置自転車の撤去・保管・処分の徹底  
 (撤去台数 352台)

区 分	台数
引き取り台数	159台
リサイクル台数	203台
清掃事業課にて処分	48台
計	410台

・ 自転車駐車場登録件数

月	件数	月	件数
4	88件	10	83件
5	90件	11	83件
6	88件	12	78件
7	93件	1	75件
8	79件	2	71件
9	82件	3	69件
		計	979件



施策の成果及び執行実績

○ 交通死亡事故ゼロ対策事業費 4,133

悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも少なくするため、関係機関・団体等との連携を密にして、幼児から高齢者または地域へと、幅広く周知できる交通安全啓発を行った。

- ・ 県、市交通安全の日（毎月11日）の啓発活動（年12回） 早朝街頭指導・広報パトロール
- ・ 交通事故死ゼロを目指す日（4月10日、9月30日）の啓発活動
- ・ 春、夏、秋、年末の交通安全運動の実施（公用車広報用貼付マグネット）
- ・ 中学校交通安全推奨像リレー 5校
- ・ 市民参加によるキャンペーンの開催

内 容	実施日
健康フェスティバル2008	9月14日
交通安全ふれあいレター事業	9月15日
高齢者安全運転自転車大会	9月26日
交通事故撲滅市民大会への参加 （松阪市自治会連合会主催）	10月15日
交通安全わくわく広場 （ワークセンターフェスティバル2008）	10月19日
氏郷まつり	11月3日

・ 啓発活動

交通事故抑止啓発チラシの配布、市広報誌への掲載  
 交通安全啓発スポット事業（FM三重ラジオコマーシャル）  
 啓発広報用横断幕の取替え  
 「後部座席のシートベルト着用」マグネットシートの市公用車への貼付  
 交通安全標語入り年賀スタンプコーナーを庁舎内に設置（12月1日～12月26日）  
 保育園・幼稚園新入園児鈴りボンの配布（60園、5,927個）

○ 交通安全対策委員会事業費 94

交通死亡事故を減少させるため、交通安全教育の高揚、交通安全施設及び交通災害等の諸対策を推進し、調査審議を行い、市長に報告または意見・具申を行った。

- ・ 松阪市交通安全対策委員会 平成20年 8月11日（委員18人出席）

○ とまどーず交通安全強化事業費 9,028

市民一人ひとりに交通安全意識を浸透させ、正しい交通ルールやマナーを周知徹底するために、交通安全教育指導員「とまどーず」を活用して、市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校での交通安全教育や高齢者に対する交通安全教室を開催するとともに各地で開催されるイベント等各種行事に参加して交通安全啓発等を行った。

・ 交通安全教室の開催

幼・保・小・中学校（181回 14,927人）  
 高齢者（公民館・地区老人会）（82回 3,862人）  
 一般その他（19回 1,249人）  
 新入学児童保護者に対する教室（一日入学）（26校）

○ 交通安全対策事業基金積立金 56,805（平成20年度末現在高 56,805）

三重県交通災害共済事業廃止に伴い、各市町に配分された交付金を松阪市交通安全対策事業基金を設置して交付金を積み立てた。

○ 各種団体等負担金 1,898

松阪多気地区交通安全対策会議負担金

○ 交通安全対策一般経費 2,324

市民の交通安全意識の高揚、道路交通環境整備等交通安全の確保に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るよう努めた。

- ・ 交通指導員の設置 43人（週3回程度） 地域での交通安全指導  
研修会 4月4日

施策の成果及び執行実績

(目) 16 交通災害共済受託事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,334		15,582			752

○ 交通災害共済受託事業事務費 754

- 交通災害共済加入状況

加入者数 47人 (平成20年4月1日～平成20年9月30日現在)

- 交通災害共済加入掛金額 11,175円
- 交通災害共済の廃止

三重県交通災害共済廃止により、平成20年10月から、新規加入募集は行っていない。

○ 交通災害共済見舞金 15,580

交通事故による遺族及び負傷者へ見舞金を支給した。

三重県交通災害共済支給見舞金支給状況

等 級		見 舞 金 額	件 数	支 給 金 額
1	死亡	1,200	5件	6,000
2	自賠法令第1級障害	1,200 追加給付 1,120	2件 ①件	2,400 1,120
3	自賠法令第2級障害	800	1件	800
4	自賠法令第3級障害	600	—	—
5	自賠法令第4級障害	400	—	—
6	自賠法令第5級障害	200	—	—
7	3～6等級が2つ以上の障害		—	—
8	入通院180日以上のうち入院90日以上	150	1件	150
9	入通院140日以上のうち入院70日以上	90	1件	90
10	入通院90日以上のうち入院45日以上	80 追加給付 25	12件 ①件	960 25
11	入通院60日以上のうち入院30日以上	55	8件	440
12	入通院28日以上のうち入院14日以上	45	16件	720
13	入通院15日以上のうち入院8日以上 (又は入通院合計90日以上)	35	25件	875
14	入通院7日以上	25	80件	2,000
—	葬祭費	30万円～50万円以内 の必要経費	—	—
計			153件	15,580

①は追加給付件数です。

(目) 17 人権啓発費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,581		2,310			10,271

○ 人権啓発活動推進事業費 6,266

すべての市民が心と心のネットワークで結ばれ、人権尊重の輪が一層広がることを願い、さまざまな啓発活動等を展開した。

- 人権問題啓発冊子「希望と誇りあふれるまちへ⑤」 20,000部作製
- 全国研究集会等への参加
- 松阪人権擁護委員協議会への助成 (H19.4.1現在人口×7円)

施策の成果及び執行実績

- ・人権等相談業務の実施 256件
- ・弁護士人権相談の実施 33件
- ・人権標語の募集 応募総数560件 小学校の部5、中学校の部5、一般の部3作品が入選。

○ 人権啓発事業費 1,728

多くの人に人権問題について理解と認識を深めていただくため、6月を人権啓発強調月間と定めると共に、12月の人権週間にあわせて街頭啓発や講演会、コンサート、映画会、子どもたちの作品展等のさまざまな催しを開催し啓発に努めた。また、戦争の悲惨さと平和への尊さを広く訴え、恒久平和の実現に向けて「戦争と平和を考えるパネル展」を開催した。

【人権啓発強調月間】

区分	内 容
街頭啓発	6月2日（月）に松阪駅、伊勢中川駅、6月3日（火）市内大型店舗7ヶ所、6月15日（日）松阪ショッピングセンターマームにて、人権擁護委員、法務局職員、県民センター職員、市職員が啓発物品（人権啓発標語入りフリーザーパック等）を手渡し、人権尊重の大切さを訴えた。啓発物品・・・4,660個 ・その他の街頭啓発・・・11月16日（日）飯南ふれあい祭において、人権擁護委員とともに啓発物品を手渡し広く市民の方々に人権尊重を訴えた。
人権を考える写真展	6月2日（月）～6日（金）市役所1階ロビー、6月9日（月）～15日（日）松阪ショッピングセンターマーム1階セントラルコート、6月21日（土）市民文化会館において、三重県人権センター所有の第6回人権フォトコンテスト入賞作品を借用し、展示を行った。
人権講演会	6月21日（土）松阪市民文化会館で、常田富士男さんを迎え「語りは祈りの心～民話の世界と人権のお話～」と題して講演会を開催した。 ・入場者数・・・650人 ・啓発物品・・・人権啓発標語入りフリーザーパック、啓発冊子を配布。
人権啓発ビデオの放映	6月15日（日）～21日（土）の間、午前9時と午後7時の2回、松阪ケーブルテレビシステム i ウェーブまつさかにて、人権啓発ビデオ「心のキャッチボール」を放映。
その他	・人権啓発強調月間のチラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布。 チラシ・・・62,715枚 ・人権啓発標語入りマグネットシートを公用車110台に貼付して道行く人に人権尊重の大切さを訴えた。 ・市庁舎前懸垂幕、告知板の活用。 ・市街地循環バスコミュニティボードの活用（5/26～6/21） ・松阪市行政チャンネルの活用。（5/28～6/21） ・広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページの活用。

【戦争と平和を考えるパネル展】

8月1日（金）～15日（金） 松阪市文化財センターにて

日本非核宣言自治体協議会のパネル及び松阪市保有の「人間と原爆展」のパネル展示など。又、8月1日（金）～10日（日）の間、同場所にて画家後藤勝美氏による「負の世界遺産を描く・展」を併設した。 入場者数・・・489人

【人権文化フェスティバル松阪】

区分	内 容
人権のつどい、コンサート、映画会、保・幼稚園児の作品展等	12月5日（金）飯高総合開発センター 李政美トーク&コンサート 12月6日（土）嬉野ふるさと会館 ・人権のつどいうれしの（人権作文、標語の発表、表彰） ・アイヌレブルズトーク&コンサート ・保育園児、幼稚園児の作品展 12月6日（土）飯南産業文化センター 田中ゆかトーク&コンサート 12月7日（日）松阪コミュニティ文化センター ・人権標語の表彰及び人権啓発映画会「明日への遺言」を上映

施策の成果及び執行実績

区分	内 容
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発チラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布。 チラシ・・・7,648枚</li> <li>・市庁舎前懸垂幕、告知板の活用。</li> <li>・広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページの活用。</li> </ul>

○ 人権施策推進事業費 2,800

人権施策を推進していくために、人権文化フォーラムを各公民館単位で開催し、啓発に努めた。また、人権に関する職員等の実践力を高めるため、人権関係職員等養成講座を開催した。

区分	開催日	開催場所	講座内容	参加人数
人権文化フォーラム	H20.6～ H21.3	各公民館 15ヶ所	身近な人権問題、同和問題、外国人問題など	延べ454人
人権関係職員等養成講座	8/1、8、 22、29、 9/5の 5日間 (10講座)	市教育委員会事務局教育委員会室及び松阪公民館1階ホール	女性の人権、障がい者の人権、子どもの人権、在日外国人の人権、人権問題総論、人権行政、インターネットと人権、ファシリテーター、ワークショップなど	1講座毎30人 延べ269人

○ 人権施策審議会事業費 385

人権施策基本方針（案）についての審議を行った。

- ・人権施策審議会開催 開催日 6月2日、10月7日、1月23日、3月16日 4回 延べ39人
- ・人権施策策定調整会議開催 開催日 7月30日、9月24日、12月19日 3回 延べ60人  
審議会会長、副会長、《庁内人権担当課長（18人）》
- ・専門部会開催 開催日 10月28日、11月21日 2回 延べ13人  
審議会委員（第1回目7人、第2回目6人）

○ 多文化共生推進事業補助金 800

在住外国人と日本人住民が異なる文化や習慣を理解・尊重し、互いに協力し合って共生社会づくりを行う取り組みの推進に対する補助を行った。

- ・ 交付先・・・松阪市多文化共生ネットワーク

○ 各種団体等負担金 75

- 三重県人権・同和行政連絡協議会負担金 15
  - ・ 交付先・・・三重県人権・同和行政連絡協議会
- 日本非核宣言自治体協議会負担金 60
  - ・ 交付先・・・日本非核宣言自治体協議会

○ 人権啓発一般経費 527

新聞・雑誌購読料、通信運搬料、一般事務用品代、OA機器等保守点検委託料等

(目) 18 男女共同参画費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,404				8	3,396

○ 男女共同参画審議会事業費 210

男女共同参画の推進を図るため、施策の基本的事項及び重要事項について審議を行った。  
男女共同参画審議会委員 20人 2回開催 委員報酬 計 30人

施策の成果及び執行実績

○ 男女共同参画行政推進事業費 480

男女共同参画社会実現に向けて、さまざまな事業を実施し、市民啓発を行った。

- ・男女共同参画さしすせセミナーの開催

年月日	講師	内容	会場	人員
H20. 10. 28	三重県男女共同参画・NPO室職員	みんなでチャレンジ！男女共同参画	飯南産業文化センター	18人
H20. 11. 3	松井真理子	男女共同参画とまちづくり	三雲地域振興局	34人
H20. 11. 14	中川祥子	日常に潜む暴力の芽をつむ	飯高総合開発センター	44人
H20. 11. 17	中川祥子	日常に潜む暴力の芽をつむ	産業振興センター	30人
H20. 11. 28	松阪市保健部職員	わたしたちの老後どうなるの？	嬉野生涯学習センター	101人
参加者合計				227人

- ・男女共同参画情報紙の発行

市民スタッフにより男女共同参画情報紙「ひまわり」12号を 10,000部作成。  
平成21年2月松阪フォーラムでの配布や各自治会を通じて各戸回覧を行った。

- ・日本女性会議への参加

公募市民 4名と市職員 1名で日本女性会議（富山市）に参加した。

○ 男女共同参画支援事業費 731

- ・松阪フォーラムの開催（平成21年2月7日開催 会場：産業振興センター 参加者：約400人）

男女の社会参加の促進及びその機会づくりを提供することを目的として松阪フォーラム実行委員会に事業運営委託を行って実施した。

（主な内容）

シンポジウム「ええことやに、エコ生活」

講演 三遊亭歌之介 「感謝のプラス志向」

男女共同参画資料展示コーナー

松阪大好き男も女もわたしの自慢アンテナショップ（バザー）

手芸品、食品、農産物、お弁当等の販売

喫茶・試食コーナー 松阪市食生活改善推進協議会

アイデアエコバッグ展示・表彰

- ・男女共同参画グループ学習会

男女共同参画について学習意欲のあるグループに対して、男女共同参画の視点を取り入れた学習会開催への講師料を支援した。

年月日	講師	内容	開催者	人員
H21. 2. 1	張 琳琳 張 楚含 内川 オンマー ムエエン 李 志友 池 春原 ドゥン ゴック タイン 計6名	多文化を知ろう！	UDうれしの	15人
H21. 3. 23	石阪督規	まちづくりは人づくり	嬉野アイリス	36人
参加者合計				51人

○ 男女共同参画一般経費 1,983

非常勤職員賃金、男女共同参画社会づくりに向けての全国会議・男女共同参画検討セミナー等の参加旅費、その他消耗品費・郵送料等。

施策の成果及び執行実績

(目) 19 プラザ鈴費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,503				488	35,015

- 一般職員給 18,696
- プラザ鈴管理運営事業費 10,760

男女共同参画社会実現に向け、男性も女性も共に協力してつくる豊かな社会づくりのための学習の拠点として、職業生活・家庭生活に必要な知識、教養、技能の習得の場を提供し、福祉の増進を図った。

- ・ 各種講座の開催 997  
主催講座、育成講座、共催講座に分け51講座を実施した。
- ・ プラザ「鈴まつり」の開催 280  
平成20年11月15日～16日の2日間開催し、965人の参加があった。
- ・ プラザ鈴利用状況（開館日数243日 来館利用者一日平均87.1人）

区 分	件 数	利用者数
主催講座	112件	1,557人
共催講座	1件	20人
育成講座	1,130件	13,283人
自主グループ講座	538件	3,352人
託児	191件	357人
図書利用等	84件	143人
プラザ「鈴まつり」	2件	965人
相 談	パート相談	1,470件
	女性なやみごと相談	19件
計	3,547件	21,166人

- プラザ鈴運営委員会事業費 77  
・ 報酬（5人、6/16、6人、2/20 2回開催）
- プラザ鈴施設整備事業費 5,920  
・ プラザ鈴窓ガラス日射対策他工事 2,735  
・ プラザ鈴風除室改修他工事 3,185
- 各種団体等負担金 50

(目) 20 諸費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,435					23,435

- 防犯灯設置等補助金 9,918  
自治会等が設置する防犯灯の費用補助を行った。  
・ 電柱等：548灯（1灯につき15,000円を限度とし補助）  
・ ポール：56灯（1灯につき35,000円を限度とし補助）  
交付自治会数：290自治会（交付決定自治会数：291自治会）
- 安全・安心施策推進協議会事業費 420  
「安全・安心な松阪づくり」を目指し、安全・安心施策推進協議会を開催し、『生活安全・安心基本計画』の策定に取り組んだ。  
松阪市安全・安心施策推進協議会：平成20年5月29日  
：平成20年7月22日  
：平成20年10月23日

施策の成果及び執行実績

- ・委員報酬 182 (26人分)
- ・基本計画印刷製本費 195
- ・その他事務経費 43

○ 防犯対策事業費 4,260

市管理防犯灯の維持管理等を行い、夜間の防犯対策、犯罪の未然防止に努めた。また、新入学児童等への防犯小旗の配布を行い、防犯意識の普及・高揚を図った。

- ・市管理防犯灯電気代 3,168
- ・市管理防犯灯修繕費 1,008
- ・新入学児童等への防犯小旗の配布 84

○ 各種団体等負担金 8,837

- ・暴力追放松阪地区市町民会議負担金 868
- ・松阪地区生活安全協会地域安全部会負担金 7,547
- ・みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 422

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 税務総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
515,082		259,452		9,102	8,761

- 一般職員給 497,219
- 税務証明交付事業費 895
  - ・ 税務証明の交付に係る経費

## 税務証明等の申請件数

区 分	件 数	区 分	件 数
評価証明	10,498件	非課税証明	2,184件
公課証明	1,054件	事業証明	295件
課税証明	164件	納税証明(一般)	2,813件
住宅用家屋証明	775件	納税証明(法人)	636件
建築確認証明	235件	完納証明	655件
車庫証明	9件	納税証明(車検用)	8,231件
比隣地証明	123件	税務照会	2,459件
仮評価証明	454件	税務閲覧	850件
所得証明	17,357件	その他	1,402件
所得課税証明	2,517件		
課税証明	1,113件	計	53,824件

- 固定資産評価審査委員会事業費 118

## 固定資産評価審査申出 1件

区 分	開催日	場 所	参加委員
松阪市固定資産評価審査委員会	5/16	市役所	3人
松阪市固定資産評価審査委員会	5/19	市役所	3人
松阪市固定資産評価審査委員会	6/3	市役所	3人
固定資産評価審査委員会運営研修会	8/22	岐阜市	1人
松阪市固定資産評価審査委員会	10/6	市役所	3人

- 税務一般経費 16,850
  - ・ 課税業務作業における一般経費

## (目) 2 賦課徴収費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
545,058		113,316		5,563	426,179

- 個人市民税賦課事業費 63,584
  - ・ 個人市民税の賦課業務に係る委託料、特別徴収事務綴り等の印刷費等
- 法人市民税賦課事業費 2,020
  - ・ 法人市民税の賦課業務に係る委託料、借上料等
- 軽自動車税賦課事業費 10,321
  - ・ 軽自動車税の賦課業務に係る委託料等
- 税務総合システム運用事業費 50,294
  - ・ 本庁、振興局の課税・徴収・証明事務を総合的に管理するシステム運用管理委託料等



施策の成果及び執行実績

○ 個人市民税年金特別徴収システム改修事業費 25,304

- ・ 個人市民税の公的年金からの特別徴収制度導入に伴うシステム改修業務委託料等

※ 市税の調定状況（現年度分）

税 目	調 定 額			
	20年度	19年度	増 減	伸び率
市民税	10,091,553,934円	10,021,103,811円	70,450,123円	0.7%
個人	8,388,151,834円	8,196,111,211円	192,040,623円	2.3%
法人	1,703,402,100円	1,824,992,600円	▲121,590,500円	▲6.7%
軽自動車税	360,565,500円	348,970,100円	11,595,400円	3.3%
市たばこ税	1,058,090,727円	1,106,895,696円	▲48,804,969円	▲4.4%
計	11,510,210,161円	11,476,969,607円	33,240,554円	0.3%

・ 市民税

個人市民税			法人市民税		
区分	納税義務者数	調 定 額	区分	調 定 額	
特別徴収	38,771人	5,308,289,428円	法人数	均等割	412,307,900円
普通徴収	40,618人	3,079,862,406円		法人税割	1,291,094,200円
計	79,389人	8,388,151,834円	3,920社	計	1,703,402,100円

・ 軽自動車税、市たばこ税

税 目	内 訳	件 数	調 定 額
軽自動車税	納税義務者数	57,434人	360,565,500円
	課税台数	77,533台	
市たばこ税	課税本数	323,246,228本	1,058,090,727円

○ 固定資産税賦課事業費 68,176

- ・ 固定資産税、都市計画税の土地、家屋、償却資産の賦課を行うための課税計算業務委託や図面等の作成業務、その他賃借料等。

○ 固定資産税評価替事業費 27,390

- ・ 平成20年度は評価替え基準年度の3年度目であるが、毎年の土地下落に伴う時点修正業務を行い土地評価の均衡を進め適正な賦課を行った。  
また、21年度評価替えのための土地評価計算業務等の委託を行い、評価分析項目の見直しやシステム内容のチェック、さらに、公正公平な評価額設定のため各制度改正等の内容の精査などを行った。

・ 固定資産税等の課税件数及び調定内訳

税 目	内 訳	件 数	調 定 額
固定資産税	土地	評価筆数	367,206筆
	家屋	評価棟数	141,210棟
		(うち新增築棟数)	1,352棟
	償却資産	申告者数	3,356人
	土地・家屋・償却	納税義務者数	69,736人
	交付金	対象件数	7件
土地保有税	対象件数	0件	
都市計画税	土地	評価筆数	56,369筆
	家屋	評価棟数	50,742棟
		(うち新增築棟数)	548棟
	土地・家屋	納税義務者数	32,407人

施策の成果及び執行実績

- 納税啓発事業費 382
  - ・ 納期一覧表・自治会回覧を作成し納期内納付の周知を図った。
- 納税貯蓄組合事務事業費 226
  - ・ 補助金事務取扱のあらましを作成し、補助金事務説明会を開催。（開催日 H21.2.18）
- 市税等過誤納還付金 181,498

過誤納還付金			還付加算金		
単位：件、円			単位：件、円		
税目	件数	金額	税目	件数	金額
市県民税（特徴含）	918	20,691,349	固定資産税	11	624,600
市県民税（税源移譲）	3,272	109,562,030	法人市民税	203	1,239,200
軽自動車税	24	116,080	合計	214	1,863,800
固定資産税	101	4,907,300			
法人市民税	380	44,357,080			
合計	4,695	179,633,839			

- 口座振替事業費 10,254

口座振替の状況					単位：件、円	
加入者数	取扱件数	引落額	納付率（%）			
64,930人	市県民税	60,378	2,616,298,104	97.77		
	軽自動車税	32,134	130,660,300	97.68		
	固定資産税	164,131	5,055,390,640	97.90		
	国民健康保険税	118,809	2,292,850,920	96.05		
	合計	375,452	10,095,199,964	97.44		

- 松阪たばこ販売協同組合補助金 306
  - 喫煙環境の浄化活動事業に対する補助 環境美化活動 7回
    - ・ たばこ販売協同組合が実施した事業
    - 未成年喫煙防止キャンペーン 3回

- 松阪市納税貯蓄組合連合会補助金 1,100
  - 組織の拡大、拡充、啓発活動等に対する補助
    - ・ 納税貯蓄組合連合会が実施した主な事業
    - 納税貯蓄組合だより（毎月）、「納貯松阪」の発行
    - 納税のPR、組合長研修会の開催、税制親子バスの運行他

納税貯蓄組合の状況		納税貯蓄組合納付状況（平成21年3月末現在）			単位：円	
組合数	組合員数	税目	調定額	納付額	納付率（%）	
66	6,588人	市県民税	183,549,200	176,339,600	96.07	
		軽自動車税	18,316,600	18,109,700	98.87	
		固定資産税	312,835,600	305,526,837	97.66	
		国民健康保険税	223,456,200	210,372,260	94.14	
		合計	738,157,600	710,348,397	96.23	

- 三重地方税管理回収機構負担金 15,458
    - 収納状況
- | 単位：円 |      |            |            |        |
|------|------|------------|------------|--------|
| 移管年度 | 徴収年度 | 移管滞納額      | 徴収額        | 徴収率（%） |
| 19   | 20   | -          | 13,756,111 | -      |
| 20   | 20   | 86,299,653 | 9,466,389  | 11.0   |
| 合計   |      | 86,299,653 | 23,222,500 | -      |

- 電話催告システム事業費 17,780
    - 納付実績
- | 単位：円   |        |       |             |
|--------|--------|-------|-------------|
| 架電回数   | 架電人数   | 納付人数  | 納付金額        |
| 53,682 | 26,663 | 6,804 | 218,954,490 |

施策の成果及び執行実績

○ 収納消込業務事業費 1,890

- ・ 収納管理システムの管理委託会社と収納消込業務委託を締結。  
委託したことにより職員1人分の給料のうち5,990,000円を削減。

○ コンビニ収納業務事業費 8,071

平成20年度より開始したコンビニ収納の委託費、手数料  
利用可能納付書 軽自動車税当初納付書・再発行納付書・督促状

納付状況

単位：件

		市県民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	計
当初納付書	利用件数			8,028		8,028
	全体件数			35,456		35,456
	利用率(%)			22.6		22.6
督促状	利用件数	2,421	1,181	1,020	1,855	6,477
	全体件数	23,426	18,651	7,522	35,605	85,204
	利用率(%)	10.3	6.3	13.6	5.2	7.6
再発行納付書	利用件数	926	613	369	961	2,869
	全体件数	4,816	4,327	1,378	6,200	16,721
	利用率(%)	19.2	14.2	26.8	15.5	17.2
合計		3,347	1,794	9,417	2,816	17,374

平成20年度は、当初納付書は軽自動車税のみ対応。

○ インターネット公売事業費 109

自動車の差押用道具としてタイヤロック、記録用としてデジタルカメラを購入  
タイヤロック 2台、デジタルカメラ 1台

○ 徴収一般経費 56,347

市税の徴収実績(平成21年5月末現在)

単位：円

区分	現年課税分	滞納繰越分	合計
調定額	22,505,118,361	2,420,041,643	24,925,160,004
収入額	21,834,326,937	437,127,908	22,271,454,845
収納率(%)	97.02	18.06	89.35

日曜窓口相談(振興局含む)

単位：人、件、円

	実施日数 12日間 対応者 526人	徴収実績(本税のみ・県民税を含む)			
		区分	人数	件数	税額
平日の来課困難者のために日曜日の窓口相談を実施		市税	142	275	4,556,286
		保険税	54	186	2,033,820
		合計	182	461	6,590,106

夜間窓口相談(振興局含む)

単位：人、件、円

	実施日数 12日間 対応者 154人	徴収実績(本税のみ・県民税を含む)			
		区分	人数	件数	税額
平日昼間の来課困難者のために夜間の窓口相談を実施		市税	37	64	1,063,910
		保険税	15	85	531,594
		合計	48	149	1,595,504

施策の成果及び執行実績

応援徴収の徴収実績（振興局含む）

単位：人、件、円

区分	実施月	日数	応対者数	職員数	徴収金額	納付誓約額
第3次応援	H20.5	2	934	224	1,288,400	348,340
第1次応援	H20.9	2	594	168	408,180	2,960,240
第3次応援	H20.12	2	1,008	216	1,623,580	624,900
合計		6	2,536	608	3,320,160	3,933,480

差押の執行

滞納処分（本庁で一括処理・ただし納付誓約のみ振興局分含む・本税のみ）

単位：人、件、円

	市税 (県民税含む)	保険税	区分	人数	件数	税額
			差押執行	137人 2,188件 172,842,903円	74人 2,070件 41,951,562円	不動産
			預貯金	72	1,639	42,377,136
			給与	1	3	33,400
			債権	22	694	22,988,539
			計	143	4,258	214,794,465
	市税 (県民税含む)	保険税	区分	人数	件数	税額
			換価	109人 498件 7,792,975円	36人 327件 4,134,690円	不動産
			預貯金	75	626	8,538,439
			給与	29	57	683,806
			債権	16	142	2,705,420
			計	120	825	11,927,665

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 戸籍住民基本台帳費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
285,873	11,530	157		60,680	213,506

○ 一般職員給 208,074

○ 戸籍システム管理事業費 20,939

戸籍事務の効率化を図り、迅速に証明書を発行し、住民サービスの向上に努めた。

○ 自動交付システム管理事業費 5,164

自動交付機により住民票の写し・印鑑登録証明書・外国人登録原票記載事項証明書を発行し、窓口での混雑緩和と待ち時間の短縮を図った。

## 平成20年度自動交付機利用状況

区 分	件数等	備 考
証明書総交付件数(本庁窓口含む)	118,998 件	
自動交付機交付件数(再掲)	47,717 件	40.1 %
印鑑登録証明書	30,763 件	57.79 %
住民票の写し	16,367 件	26.27 %
外国人登録原票記載事項証明書	587 件	16.91 %
時間外交付件数	7,932 件	自動交付機全交付件数に対する割合 16.62%
時間内平均交付件数(自動交付機)	164 件/日	
平日時間外平均交付件数	10 件/日	
休日平均交付件数	48 件/日	
市民カード発行枚数	7,390 枚	

## H21.3.31現在

市民カード全発行者数	107,808 人	
暗証番号登録者数	71,751 人	暗証番号登録割合 66.55 %

○ 住民基本台帳ネットワークシステム管理事業費 5,478

コミュニケーションサーバーにより、他市町村と転入通知の送受信を行うとともに、住民票の写しの広域交付、住民基本台帳カードの発行を行った。特に住民基本台帳カードの発行については、10月に市内各金融機関に案内チラシの配布を依頼したり、市施設等にポスターを掲示する等周知を図り、1,270件の発行となった。

## 住民票広域交付件数

松阪市での交付分	78 件	他市町村での交付分	98 件
----------	------	-----------	------

施策の成果及び執行実績

		住民基本台帳カード発行数				(単位：件)			
年齢	男性				女性				
	写真有		写真無		写真有		写真無		
	写真付本人 確認書類有	写真付本人 確認書類無	写真付本人 確認書類有	写真付本人 確認書類無	写真付本人 確認書類有	写真付本人 確認書類無	写真付本人 確認書類有	写真付本人 確認書類無	
10代未満	0	0	0	0	0	0	0	0	
10代	0	12	1	0	0	11	0	1	
20代	3	20	30	0	2	26	27	1	
30代	9	25	75	0	1	19	36	0	
40代	10	13	91	0	3	12	45	0	
50代	25	27	88	0	5	42	41	0	
60代	29	25	134	2	8	76	46	0	
70代	16	32	40	1	3	87	16	1	
80歳以上	2	10	14	1	3	20	2	1	
写真付本人 確認書類有無計	94	164	473	4	25	293	213	4	
写真有無計	258		477		318		217		
性別計	735				535				
総発行計	1,270								

○ 公的個人認証サービス管理事業費 947

インターネットでの行政手続に必要な「電子証明書」を発行した。「電子証明書」の発行は、住民基本台帳カード内の公的個人認証サービス領域にデータを格納し、同写しを申請者に交付するものである。

平成20年度電子証明書発行件数 843 件

○ 外国人登録システム管理事業費 1,136

外国人登録システムの適正な運用により、事務の正確化・効率化を図った。

外国人登録事務取扱件数

区 分	件 数
原票の写し・記載事項証明書交付	3,471 件
自動交付機交付件数	587 件
新規登録申請	376 件
切替・引替・再交付申請	557 件
居住地変更登録申請	2,961 件
居住地以外の変更登録申請	4,821 件
その他	1,610 件
計	13,796 件

(全体に対する割合 16.91%)

○ 印鑑登録システム管理事業費 15,384

データ入力及びカード発行管理を適正に行った。

印鑑登録事務取扱件数

7,390 件

○ 住民記録バックアップシステム管理事業費 12,008

I T推進課ホスト及び自動交付機の障害発生時にバックアップシステムにより住民票等の証明書を発行する等、リスクの軽減を図った。

施策の成果及び執行実績

○ 窓口証明書発行システム管理事業費 4,519

本庁・4振興局・4出張所のFAXをネットワークで結び、システム化できない平成原附票・届書の写し等紙帳票の証明書発行事務の効率化を図った。

○ 窓口受付番号システム管理事業費 658

平成19年9月よりサービスを開始し、窓口受付から証明書等の交付までを番号で管理することにより、状況の把握ができ、窓口対応の充実が図られた。

○ 各種団体等負担金 53

戸籍住民基本台帳事務、外国人登録事務の改善進歩のため、事務研究や連絡調整、相互理解を図り、適正な事務の執行及び職員の資質の向上に資するため、研究会等に参加した。

○ 戸籍住民基本台帳一般経費 11,513

- ・ 届書受付カウンターへ衝立を設置し、個人情報保護に努めた。
- ・ 住所異動に関係する各課に協力を求め、3月の最終日曜日と4月の第1日曜日の2日間、日曜窓口を開設した。
- ・ 新生児への記念品として、絵本またはフォトフレームを進呈した。

※戸籍住民基本台帳関係取扱件数

戸籍届書	8,614 件
戸籍附票事務	7,512 件
新戸籍編製その他	5,106 件
住民基本台帳事務（異動届）	16,191 件
住民基本台帳事務（各種通知）	5,441 件
住民基本台帳カード	1,270 件
人口動態調査	4,530 件
外国人登録事務	13,796 件
既決犯罪人・身上調査他	4,491 件
破産人名簿	0 件
印鑑登録関係	7,390 件
埋火葬許可証	1,663 件
自動車臨時運行許可証	951 件
新生児記念品	1,519 件
計	78,474 件

※各種証明書等発行件数

区 分		件 数
有 料	本庁	166,245 件
	嬉野地域振興局	19,386 件
	三雲地域振興局	14,964 件
	飯南地域振興局	5,954 件
	飯高地域振興局	5,099 件
公用	21,611 件	
無料	479 件	
計		233,738 件

(フォトフレーム 673件、絵本 846件)

施策の成果及び執行実績

(参考) 戸籍附票事務 7,512 件

出生	1,455 件
婚姻	1,808 件
死亡	1,753 件
離婚	471 件
養子縁組	164 件
養子離縁	56 件
入籍	402 件
法77条の2	185 件
転籍	848 件
分籍	27 件
氏・名変更	30 件
復氏	5 件
帰化	3 件
訂正更正	224 件
その他	81 件

新戸籍編製他 5,106 件

新戸籍編製	1,350 件
戸籍全部消除	1,255 件
違反通知	9 件
非本籍地届書発送	2,492 件

住民基本台帳事務取扱状況

異動によるもの 16,191 件

転入	4,690 件
転出	4,877 件
転居	2,545 件
世帯変更	834 件
職権記載	95 件
職権消除	3 件
出生	1,526 件
死亡	1,621 件

印鑑登録事務

7,390 件

通知によるもの 5,441 件

住民票記載事項通知	506 件
附票記載事項通知	4,502 件
戸籍照合通知	10 件
本籍転属通知	294 件
その他	129 件

人口動態 4,530 件

出生	1,619 件
死亡	1,606 件
婚姻	919 件
離婚	347 件
死産	39 件

既決犯罪に関する事務 1,698 件

既決犯罪通知	236 件
仮釈放期間満了通知	15 件
自由刑等執行終了通知	19 件
財産刑執行終了通知	24 件
公職選挙法第11条通知	64 件
民刑事項通知	289 件
刑の消滅照会	1,047 件
その他	4 件

破産者に関する事務 0 件

破産宣告確定通知	0 件
免責決定確定通知	0 件
民刑事項通知	0 件

その他 2,793 件

身上照会	2,320 件
その他	473 件

埋火葬・臨時運行許可 2,614 件

埋火葬許可証	1,663 件
自動車臨時運行許可証	951 件



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 選挙管理委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
40,208		21			40,187

- 一般職員給 35,842
- 選挙管理委員会事業費 4,366
  - 選挙管理委員会委員報酬(4人、25回開催) 2,184

- ・ 三重海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の調製  
平成20年9月1日現在

登録者数				調査員数 7人
世帯数	男	女	計	
215	269人	172人	441人	

- ・ 農業委員会委員選挙人名簿の調製  
平成21年1月1日現在

登録者数				郵便により調査
世帯数	男	女	計	
6,474	7,080人	5,345人	12,425人	

- ・ 選挙人名簿の定時登録  
年4回(6月、9月、12月、3月)登録

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
6月 1日現在	64,924人	71,662人	136,586人
9月 1日現在	64,900人	71,676人	136,576人
12月 1日現在	64,972人	71,712人	136,684人
3月 1日現在	64,985人	71,743人	136,728人

- ・ 在外選挙人名簿の登録(随時)

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
3月3日現在	26人	31人	57人

## (目) 2 選挙啓発費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
177					177

- 選挙啓発事業費 177
  - ・ 三重県明るい選挙推進連合会総会及び市町推進協会会長等研修会出席  
平成20年6月17日 津市 三重県総合文化センター大会議室  
参加者 松阪市明るい選挙推進協議会会長、副会長、事務局の3人出席  
明るい選挙推進のための諸方策について研究討議
  - ・ 明るい選挙啓発ポスター作品募集  
応募点数 小学校 41点、中学校 156点 合計 197点  
優秀作品45点のうち、委員長賞と協議会長賞と入選20点を県に提出。内特選に2人、入選に2人選ばれた。県に提出した作品については表彰式にて賞状、副賞を授与

施策の成果及び執行実績

- ・ 新成人のつどい選挙啓発活動  
平成21年1月11日（日）松阪市民文化会館にて実施
- ・ 未来の有権者啓発活動  
市選管主催で中学生生徒会選挙を実際の備品を使って3月16日西中学校で実施し、低年齢層から選挙への関心を促した。  
3月13日三雲中学校にて県選管主催で同様にて実施

(目) 3 市長選挙費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
49,271					49,271

○ 市長選挙費 49,271

平成21年2月5日任期満了による松阪市長選挙  
1月18日告示、1月25日選挙期日（投票日）

定数 1人、立候補者 2人

- ・ 開票システム用パソコン購入 476

期日前投票・不在者投票

期日前投票は公示日の翌日から投票日の前日まで	6日間
投票管理者	延30人
投票立会人	延60人
事務従事者(兼務書記)	延151人
事務従事者(アルバイト)	延86人

期日前投票者数	6,346人
不在者投票者数	711人
病院等	690人
滞在地等	6人
郵便	15人

投票

投票所	95か所
投票管理者	95人
投票立会人	190人
事務従事者 (うちアルバイト)	375人 1人

区分	男	女	計
名簿登録者数	65,010人	71,774人	136,784人
当日有権者数	64,355人	71,215人	135,570人
投票者数	32,934人	36,924人	69,858人
投票率	51.18%	51.85%	51.53%

開票

開票管理者	1人
開票立会人	3人
事務従事者	140人

開始	25日 午後9時30分
終了	25日 午後11時30分
場所	松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター

選挙公報の配布

1月21日の朝刊（中日、朝日、伊勢、毎日、読売の各新聞）に折り込みによる方法で60,880部配布した。

投票所の借上げ

95投票所の内43か所については、民間投票所を借り上げた。

臨時啓発

- ・ 広報まつさかにおいて松阪市長選挙の啓発を行った。
- ・ 市役所駐車場前において啓発看板を設置。
- ・ 市役所、各振興局において啓発懸垂幕を掲出。
- ・ 鈴の音バスコミュニティボードに掲示。
- ・ 松阪市ホームページに啓発掲載。
- ・ アイウェブ松阪において、投票の説明とお願いを放映。

施策の成果及び執行実績

- ・ 臨時街頭啓発  
マームショッピングセンター・アピタ三雲店・嬉野ユーストア・飯南ミセススマート・飯高駅において啓発物品を配布。
- ・ 選挙公報を新聞折込みで配布した。
- ・ 広報車による投票総参加の呼びかけを行った。
- ・ 夕刊三重にて投票の啓発広告を掲載

(目) 4 松阪市農業委員会委員選挙費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,605					4,605

○ 松阪市農業委員会委員選挙費 4,605

平成20年7月19日任期満了による松阪市農業委員会委員選挙

平成20年6月29日告示、7月6日選挙期日（投票日）

定数 40人（第1選挙区→5人・第2選挙区→6人・第3選挙区→5人・第4選挙区→4人・第5選挙区→5人・第6選挙区→5人・第7選挙区→4人・第8選挙区→3人・第9選挙区→3人）

立候補 第6選挙区→6人 他は定数（無投票）

第6選挙区

期日前投票・不在者投票

期日前投票は公示日の翌日から投票日の前日まで	6日間
投票管理者	延6人
投票立会人	延12人
事務従事者(兼務書記)	延18人

期日前投票者数	335人
---------	------

投票

投票所	1か所
投票管理者	1人
投票立会人	2人
事務従事者	9人

区分	男	女	計
名簿登録者数	1,448人	895人	2,343人
当日有権者数	1,442人	892人	2,334人
投票者数	700人	329人	1,029人
投票率	48.54%	36.88%	44.09%

開票

開票管理者	1人
開票立会人	4人
事務従事者	23人

開始	6日 午後7時00分
終了	6日 午後7時32分
場所	嬉野社会福祉センター

臨時啓発

- ・ 広報まつさか6月号において啓発を行った。
- ・ 第6選挙区において選挙のお知らせを配布
- ・ 第6選挙区において防災行政無線で投票の啓発を行った

(目) 5 三重海区漁業調整委員会委員選挙費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,116		1,116			0

施策の成果及び執行実績

○ 三重海区漁業調整委員会委員選挙費 1,116

7月22日告示、7月31日選挙期日（投票日）

定数9人 立候補者11人

投票所入場券郵送件数 231世帯

期日前投票・不在者投票

期日前投票は公示日の翌日から投票日の前日まで	8日間
投票管理者	延8人
投票立会人	延16人
事務従事者(兼務書記)	延48人

期日前投票者数	20人
---------	-----

投票

投票所	2か所
投票管理者	2人
投票立会人	4人
事務従事者	14人

選挙区	男	女	計
名簿登録者数	308人	196人	504人
当日有権者数	301人	195人	496人
投票者数	171人	97人	268人
投票率	56.81%	49.74%	54.03%

開票

開票管理者	1人
開票立会人	3人
事務従事者	25人

開始	31日 午後8時00分
終了	31日 午後8時20分
場所	松阪市役所 本庁 5階 会議室

臨時啓発

- ・ 漁業者の皆さんに投票のチラシを配布した。
- ・ 当日広報車で啓発テープを放送しながら投票所を巡回した。

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 統計調査総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,023					9,023

○ 一般職員給 8,228

○ 統計調査一般経費 795

## (目) 2 指定統計調査費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,118		11,118			0

○ 各種指定統計調査事業費 11,118

・ 各統計調査別経費内訳

調 査 名	事業費	成 果
住宅・土地統計調査	7,998	調査期日 平成20年10月1日現在 調査員 113人 指導員 19人 調査区 272調査区
漁業センサス	1,435	調査期日 平成20年11月1日現在 調査員 13人 調査区 15調査区 調査世帯 223世帯
工業統計調査	1,329	調査期日 平成20年12月31日 調査員 43人 指導員 1人 調査区 430調査区
経済センサス基礎調査調査区設定	29	平成21年経済センサス基礎調査の実施に対して調査区の設定を行う。実際の調査は行わず、地図修正等のやりとりを県統計室と行った。
経済センサス基礎調査準備	22	平成21年経済センサスの実施に向けての準備を行った。※実際の調査は伴わない作業。
学校基本調査	27	調査期日 平成20年5月1日現在(休校除く) 幼稚園 24園 小学校 38校 中学校 13校 各種・専修学校 5校
人口推計調査	278	調査期日 毎月末日 松阪市の人口・世帯数の報告
計	11,118	

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 監査委員費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
46,965					46,965

- 特別職給 10,532
- 一般職員給 32,300
- 監査委員報酬 3,108
  - 識見監査委員 1人 2,400
  - 議選監査委員 1人 708
- 監査委員活動事業費 366
  - ・ 旅費 197
  - ・ 工事調査委託料 163
  - ・ 負担金 6
- 各種団体等負担金 64
  - ・ 全国都市監査委員会会費 45
  - ・ 東海地区都市監査委員会会費 10
  - ・ 三重県都市監査委員会会費 9
- 監査一般経費 595

## ※ 監査時期等

区 分	部 署 等	時 期
例月現金出納検査	出納室、水道部、市民病院、下水道部	毎月
決算審査 財政健全化審査 経営健全化審査	一般・特別会計	20年8月～10月
	企業会計	20年6月～7月
定期監査(1次)	全課、室、局、出先機関等	20年6月～10月
定期監査(2次)	保育園、幼稚園、小・中学校、 地区市民センター	21年1月
随時監査	工事 3件	20年10月
財政援助団体等に 対する監査	補助金・出資団体及び公の施設の 指定管理者 5件	20年6月～7月

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 社会福祉総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,641,188	50,691	407,585		16,435	1,166,477

○ 一般職員給 302,947

○ 各種補助金 204,378

事業名	市補助金	交付先	実績・効果
社会福祉協議会補助金	186,675	松阪市社会福祉協議会	
社会福祉協議会運営費(人件費)補助金	150,756	—	職員39名分の人件費。
社会福祉大会補助金	444	—	社会福祉功労者の顕彰と研修により社会福祉事業の推進を図った。
ボランティア事業補助金	5,404	—	ボランティア活動の体制整備と地域における福祉コミュニティの形成を図った。
地域福祉活動計画事業補助金	11,214	—	ふれあいまちづくり事業の相談活動や地区福祉会活動の推進を図った。
社会福祉センター運営補助金(嬉野)	6,348	—	当施設は社会福祉事業の充実と地域福祉の向上を図っており、施設の維持管理・運営は全て社協が担っている。
デイサービスセンター建設借入償還金補助金(嬉野)	12,509	—	当施設は老人・身障者ともに地域の拠点サービス施設としての役割を担っており、建設主体は社協となっている。
保護司会補助金	811	松阪保護司会	犯罪予防活動の推進指導、総会、研修会、街頭指導、社会を明るくする運動等に必要な経費を補助した。
遺族会補助金	1,595	松阪市遺族会連合会	戦没者遺族の福祉の向上、戦没者遺族の相談、援護活動等に要する経費を助成した。
各種厚生団体補助金	257		
傷痍軍人会運営費補助金	212	傷痍軍人会	援護相談、戦傷病者療養訓練、各種サービス等の相談に応じ、戦傷病者の福祉の向上と利便を図るとともに、傷痍軍人会の組織の発展と傷痍軍人相互の交流を図った。
	144		
	68		
母親大会運営費補助金	45	松阪地区母親大会実行委員会	社会の動きを敏感にとらえ、問題の解決に向けて学習し、行動する母親運動を推進した。
民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金	15,040	松阪市民生委員児童委員協議会連合会	民生委員児童委員任務遂行のための各種研修会、諸活動に対する助成を行った。
計	204,378		

○ 福祉医療事業協力交付金 29,000

松阪市の保健・医療・福祉事業を円滑に推進するため、協力金を交付した。

交付先	交付額
(社)松阪地区医師会	27,000
(社)松阪地区歯科医師会	2,000

施策の成果及び執行実績

○ 民生委員児童委員事業費 22

松阪市民生委員児童委員連合会事務局の一般経費。

○ 社会福祉統計調査事業費 68

厚生省報告例、社会福祉施設等調査、国民生活基礎調査などの社会福祉統計調査を実施した。

○ 戦没者追悼式事業費 737

松阪市内の戦没者及び戦災死没者の冥福を祈り、平和を祈念する追悼式を開催した。

日時 平成20年11月21日（金）10：00～11：00  
 場所 松阪コミュニティ文化センター（松阪市川井町690番地）  
 参加者 松阪市遺族会連合会関係者及び来賓 約500名

○ 中国残留邦人生活支援給付事業費 2,229

永住帰国した中国残留邦人に対して、老後の生活安定のため老齢基礎年金の満額支給を実施することとし、満額の老齢年金を受給してもなお生活の安定が十分に図れない者に対して、老齢基礎年金制度による対応を補完する生活支援を行った。また、中国残留邦人等に理解が深く、中国語等のできる支援・相談員を配置した。

※支援給付の状況

被支援給付世帯数	1世帯
世帯員数	2人

区分	生活支援給付	1,332,512円
	住宅支援給付	139,200円
	医療支援給付	586,920円
計		2,058,632円

※支援相談員賃金等 170,716円

○ 保健医療福祉総合センター建設検討事業費 1

○ 保健医療福祉総合センター建設基金積立金 10,522（平成20年度末現在高 1,180,251）

○ 飯南ふれあいセンター事業費 11,506

高齢者・障がい者及び住民の福祉を増進するための施設を平成18年度より指定管理者制度により松阪市社会福祉協議会に委託した。

・ 指定管理制度にかかる委託料 11,096 施設修繕費 410

○ 社会福祉一般経費 2,035

社会福祉に関する一般経費（戦没者遺族援護、帰還者援護に関することも含む）。

○ 国民健康保険事業特別会計繰出金 1,077,743

保険基盤安定繰入金	607,841
出産育児一時金等繰入金	56,200
人件費等繰入金	265,244
財政安定化支援事業	138,096
特定健診・保健指導	10,362
合計	1,077,743



施策の成果及び執行実績

(目) 2 身体障害者福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
40,118		6,624		1,866	31,628

○ 各種扶助事業費 17,028

事業名	事業費	事業内容等
障害者住宅改造費助成事業費	1,040	障がい者が住みやすくするために住宅改造をするにその経費の一部を助成する。 助成対象 4件 助成額 1,039,900円 改造総額 1,488,217円
重度身体障害者自動車燃料費助成事業費	5,530	重度身体障がい者が自ら運転する場合の燃料費の一部を助成する。 ガソリン50円/ℓ 軽油30円/ℓ 1月上限40ℓ 利用者316人
重度心身障害者タクシー料金助成事業費	7,472	重度心身障がい者に対し、市内のタクシー料金の一部を助成する。 1乗車620円 年間48枚 利用者 461人
重度身体障害者福祉タクシー料金助成事業費	1,570	重度身体障がい者に対し、市内のリフト付タクシー料金の一部を助成する。 1乗車3,000円 年間24枚 利用者 70人
障害者(児)通所施設等医療的ケア支援事業費	348	医療的ケアが必要とする障がい児者が授産施設等通所施設を利用するときに、看護師を派遣し、保護者等の介護負担を軽減させる。 対象者 1名 派遣回数 延74回
介護保険障害者ホームヘルプサービス利用者支援事業費	209	介護保険適用障がい者の自己負担金1割のうち7%分を補助する。 対象者 25人
重度障害者(児)紙オムツ給付事業費	780	重度障がい者に紙オムツを薬剤師会を通じて給付する。 対象者 24人 給付件数 延257件
難病患者等日常生活用具給付事業費	79	政令で定める難病患者に日常生活用具を給付する。 対象者 1人 給付件数 延1件
計	17,028	

○ 身体障害者相談員設置事業費 134

三重県から委嘱された身体障害者相談員に、市内に居住する身体障がい者の生活相談等を依頼し、安定した生活を提供できた。

設置人員 7人(視覚障がい者1人、聴覚障がい者1人、肢体不自由者5人)

○ 障害者団体運営費補助金 2,042

経済的基盤が脆弱な身体障害者団体に運営費の一部を補助することによって、団体活動の円滑な運営を支援できた。

松阪市身体障害者福祉協会、松阪市視覚障害者協会、松阪市ろうあ福祉協会  
松阪市肢体不自由児者父母の会、松阪市障害者団体連合会

○ 障害者計画策定事業費 603

平成21年3月に第2期松阪市障がい者計画を策定できた。

○ 難病患者等居宅支援事業費 27

難病患者に身体介護等のサービスを提供し、居宅における日常生活を営むための支援ができた。

施策の成果及び執行実績

- 緊急通報装置貸与事業費 310  
一人暮らしの障がい者に対して、急病などに適切に対応できるように、緊急通報装置を貸与することによって、地域で安心と安全の生活を確保させることができた。  
貸与件数 6件
- 身体障害者小規模作業所運営事業費 19,974  
経済的基盤が脆弱な小規模作業所の運営費を補助することによって、身体障がい者の福祉的就労の場を安定的に提供でき、当該障がい者の地域での生活を支援することができた。  
補助対象施設:希望の園、ポケットハウス

(目) 3 知的障害者福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,576		8,049		69	17,458

- 知的障害者相談員設置事業費 77  
三重県から委嘱された知的障害者相談員に、市内に居住する知的障がい者の生活相談等を依頼し、安定した生活を提供できた。  
設置人員 4人
- 心身障害者扶養共済掛金助成金 132  
三重県心身障害者扶養共済加入者に対し、世帯の課税状況に応じて、共済掛金の一部を助成することによって、低所得世帯加入者の経済的負担を軽減できた。  
助成対象者 5人
- 障害者団体運営費補助金 579  
経済的基盤が脆弱な障害者団体に運営費の一部を補助することによって、団体活動の円滑な運営を支援できた。  
松阪市手をつなぐ親の会
- サマースクール事業費 1,203  
障がい児を対象に夏休み期間中、地区市民センターなどで児童デイサービスを提供した。  
開催日数 16日 会場 5会場  
参加者 延230人 ボランティア等 延348人  
委託先 特定非営利活動法人 エールの会  
内容 音楽療法やレクリエーションをボランティア等の協力を得て実施。
- 知的障害者・障害児サークルM事業費 162  
音楽療法を中心に障がい者児の心と身体の発達を支援し、協調性や社会性を習得させ、保護者の心のケアの場を提供できた。飯南地区及び飯高地区を中心に実施した。  
開催日数 延12日 参加人数 26人(障がい児10人、家族16人) 延参加者65人
- 心身障害者小規模作業所運営事業費 22,134  
経済的基盤が脆弱な小規模作業所の運営費を補助することによって、心身障がい者の福祉的就労の場を安定的に提供でき、当該障がい者の地域での生活を支援することができた。  
指定管理委託 委託先:社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会  
対象施設:夢風船、サンウィングスみくも  
運営補助対象:工房やまの風、ワークショップピッピ

施策の成果及び執行実績

- 通所授産施設通所費補助金 916  
市内路線バスを利用して通所授産施設や小規模作業所に通所している障がい者に対し、通所経費（定期券、回数券）の半額を助成し、福祉的就労の確保を支援できた。  
助成対象者 28人 通所利用施設 3施設
- 他市町小規模作業所等負担金 123  
市内在住の障がい者が、他市町の小規模作業所、小規模通所授産施設に通所する際の当該施設の運営費の一部を負担し、障がい者の福祉的就労の提供ができた。
- 知的障害者通所授産施設運営事業費 250  
知的障害者通所授産施設嬉野ゆうゆうの施設用地を地元自治会から借用。年間の借上料を負担した。  
借用先 嬉野八田自治会 借用地面積 1,932㎡

(目) 4 精神障害者福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
187					187

- 障害者団体運営費補助金 95  
経済的基盤が脆弱な障害者団体に運営費の一部を補助することによって、団体活動の円滑な運営を支援できた。  
補助対象団体 松阪地域家族会 まつの会
- 精神障害者デイケア事業費 92  
精神障がい者の社会復帰支援として、料理教室やスポーツ等を通じて生活訓練を提供できた。  
開催日数 22日 参加者数 延177人

(目) 5 障害者自立支援費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,637,524	719,306	408,756		1,689	507,773

- 日中活動支援給付事業費 20,000  
障害者小規模通所授産施設の運営を支援し、障がい者の日中活動の場を確保できた。  
[指定管理制度適用]  
対象施設 身体障害者小規模通所授産施設飯高共同作業所じゃんぷ  
委託先 社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会  
通所利用者数 延2,975人  
[運営補助]  
対象施設 精神障害者小規模通所授産施設 松阪工作所  
委託先 社会福祉法人 フレンド  
通所利用者数 延5,419人
- 障害者自立支援特別対策事業費 5,302  
障害者自立支援法の着実な定着を図るために、特別対策事業を実施した。  
・ 障害者福祉・障害者自立支援福祉サービスシステム導入経費 5,302  
システムリース料： ノートパソコン8台、レーザープリンター5台、スキャナ1台  
サーバー1台、複合機1台

施策の成果及び執行実績

○ 障害者社会参加促進事業費 5,204

松阪市障害者福祉センターで障がい者の社会参加を促進するために、日常生活訓練、社会適応訓練、スポーツレクリエーションなどを実施した。

委託先：社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会、松阪市手をつなぐ親の会  
音訊グループまつさか

1. 社会参加促進事業

創作的活動	8講座	延1,210人	社会適応訓練	11講座	延1,481人
日常生活訓練	1講座	延413人	屋外事業等	10事業	延970人
送迎事業	延698回	延1,953人			

2. 障がい者スポーツレクリエーション

障がい者体育レクリエーション

日時：平成20年10月19日 場所：松阪市立殿町中学校 参加者471人

知的障がい者体育レクリエーション

日時：平成20年10月12日 場所：松阪市立第五小学校 参加者280人

3. 声の広報発行事業

発行：年間12回（毎月発行）

○ 生活訓練等支援事業費 1,820

重度肢体不自由者児の身体機能低下の予防訓練、知的障がい者の生活訓練・集団訓練などを通じ、社会参加の促進をさせた。

1. 障がい者等機能訓練事業	51回	参加者	延420人
2. 重度身体障がい者生活訓練事業	13回	参加者	延292人
3. 知的障がい者生活訓練事業	16回	参加者	延198人

○ 障害者相談支援事業費 27,092

障がい者の相談支援のために、市内障がい者施設に障害者相談支援員を配置し、地域に在住の障がい者等の一次相談を支援するとともに、専門機関への支援連携を図った。また、障がい者ケアマネジメント強化事業として、専門職員の配置をおこない、困難な事例に対応した。

1. 障害者相談支援員の配置 配置人員数 13人 施設数 13か所

2. 障がい者ケアマネジメント強化事業

委託先 社会福祉法人 三重県厚生事業団（三重県いなば園）

派遣 派遣職員1名（配置：福祉課）

○ コミュニケーション支援事業費 4,642

市内在住の聴覚及び音声言語障がい者に対し、手話通訳者、要約筆記者を派遣し、意思疎通を円滑に行う。また、市福祉課に手話通訳ができる職員を配置し、聴覚及び音声言語障がい者が来所したときに、必要に応じて手話通訳等を行い、意思疎通を円滑に行うことで、社会参加の促進が図れた。

派遣回数 延429回 派遣時間 延1173時間50分

市窓口通訳回数 272件 対応時間 延310時間55分

○ 地域活動支援センター事業費 15,960

障害者自立支援法の地域生活支援事業の地域活動支援センターI型を設置し、障がい者の生活相談、訪問指導などを行い、社会復帰、社会参加の促進が図れた。

委託先 社会福祉法人 愛恵会

電話相談 988件 訪問指導 314件 来所相談 210人

昼食サービス提供 2,584人 スポーツ・クラブ活動 441件

○ 在宅身体障害者訪問入浴サービス事業費 2,174

在宅の身体障がい者であって、身体状況によって通所による生活介護事業所の利用ができない場合に、入浴設備を当該障がい者宅に持ち込み、入浴サービスを提供することによって、当該障がい者の衛生保持が図れた。

利用人員数 4人 利用回数 215回

施策の成果及び執行実績

○ 障害者自立支援認定審査事業費 9,041

障害者自立支援法に基づき、介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、同法に規定する障害福祉サービスを利用するための障害程度区分審査及び支給量等の意見審査を行った。

審査会委員 36人 認定調査員 10人  
 審査会回数 23回 審査件数 312件

○ 地域自立支援協議会事業費 282

障害者相談支援事業の効果的推進、障がい者相談支援ネットワークの構築、地域の障がい者支援の推進のため、障害者団体等の関係者によって、事業の進捗状況の把握と事業評価を行った。

協議会委員 29人  
 協議会全体会 3回 個別ケア会議 3回  
 障害者相談支援研修会 1回

○ 社会福祉費国県支出金返還金 11,958

平成20年度

国庫支出金	障害者自立支援給付等負担(補助)金	7,455
	障害程度区分認定等事務費補助金及び障害者地域生活支援事業費補助金	2,730
	特別障害者手当等給付費負担金	73
県支出金	障害者自立支援給付等負担(補助)金	1,256
	介護保険障害者ホームヘルプサービス等利用負担軽減事業費補助金	444

○ 障害者自立支援一般経費 4,471

障害者自立支援業務に関する経費

○ 障害者居宅福祉サービス利用支援事業費 440

低所得世帯(住民税非課税世帯)に属する障がい者であって、障害福祉サービスを利用する必要がある者の利用支援を行うため、当該利用者負担の半額を助成することにより、円滑なサービス利用を支援できた。

支給人数 33人 延利用件数 305件

○ 障害者グループホーム移行支援補助金 3,848

障がい者の施設入所支援から地域生活への移行を円滑にするため、グループホーム又はケアホームを利用するときの家賃の一部を補助し、低所得者の経済的負担の軽減が図れた。

対象者:住民税非課税者又は住民税所得割課税年間16万円未満者

対象者:42人

○ 障害者グループホーム施設整備事業補助金 25,000

障害者グループホーム・ケアホームの施設整備を図ることで、障がい者の地域での居住支援が推進された。

施設整備 2ヶ所(愛恵会、日本ネクストタウンズ・クルセード)

○ 各種扶助事業費 1,500,290

障がい者に各種扶助事業を実施することによって、経済的負担の軽減、社会参加の促進を図ることができた。

事業名	事業費	事業内容等
居宅支援給付事業費	179,057	在宅の障がい者(身体、知的、精神)・障がい児が利用する居宅介護。短期入所等の介護給付費を支給する。 ・居宅介護 延利用者数 1,919人 延利用時間 48,235時間 ・重度訪問介護 延利用者数 24人

施策の成果及び執行実績

(つづき)		延利用時間 13,748時間 ・短期入所 延利用者数 347人 延日数 1,976日
日中活動支援給付事業費	552,757	障がい者・障がい児が日中活動の場として利用するサービスの介護給付費を支給する。 ・生活介護 延利用者数 1,494人 ・療養介護 延利用者数 121人 ・療養介護医療 延利用者数 121人 ・身体障害者通所施設 延利用者数 138人 ・知的障害者通所施設 延利用者数 1,352人 ・就労継続支援（B型） 延利用者数 658人 ・児童デイサービス 延利用者数 532人 ・地域活動支援センター 延利用者数 36人 ・更生訓練費 延利用者数 10人 ・通所等支援事業 延対象者数 2,748人
居住支援給付事業費	534,949	在宅生活が困難な障がい者（身体、知的、精神）の施設入所支援として介護給付費を支給し、生活および就労の場を提供できた。 ・身体障がい者関係分 旧療護施設 延利用日数 13,893日 旧授産施設 延利用日数 594日 旧更生施設 延利用日数 198日 ・知的障がい者関係分 旧更生施設 延利用日数 26,393日 旧通勤寮 延利用日数 718日 ・施設入所支援 延利用日数 20,785日 ・自立訓練（機能訓練） 延利用日数 835日 ・就労移行支援 延利用日数 647日 ・共同生活介護 延利用日数 19,994日 ・共同生活援助 延利用日数 5,797日 ・強度行動障害加算 60日 ・福祉ホーム 延利用月数 12月
自立支援医療給付事業費	93,132	障害の除去・軽減などの医療費を給付。 人工透析 64人 腎移植・抗免疫 11人 肢体関係 10人 免疫治療 6人 計 91人

施策の成果及び執行実績

事業名	事業費	事業内容等
障害者補装具給付事業費	36,102	身体障がい者・児に、義肢、装具、補聴器などを支給する。 交付件数 283件 修理件数 131件
障害者自立支援特別対策事業費	26,578	障害者自立支援法の着実な定着を図るため特別対策事業を実施。 ①事業所激変緩和措置 784件 ②通所サービス利用促進 15,445回
障害者日常生活用具給付等事業費	26,793	在宅の障がい者に、日常生活用具を給付する。 用具 特殊寝台、特殊便器 ストーマ用具 など 給付件数 2,736件
障害者日中一時支援事業費	6,095	障がい者等の日中活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援又は日常的介護をしている家族の一時的休憩を確保することができた。 利用者 79人 回数 1,549回
障害者社会参加促進事業費	584	自動車運転免許取得費又は自動車改造費の一部を助成し、社会参加の促進がはかれた。 自動車運転免許取得費助成 2人 自動車改造費助成 5人
移動支援事業費	40,793	屋外での移動が困難な障がい者・障がい児に対し、外出のための支援をするときに支援費を支給し、社会参加の促進ができた。 利用者 130人 利用時間 15,593時間
職親委託措置事業費	3,450	知的障がい者に職業訓練指導をする職親に支援費を支給し、就労の機会の確保ができた。 職親事業所 6事業所 利用人員数 10人
	1,500,290	

(目) 6 特別障害者手当等給付費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
68,627	50,254				18,373

○ 特別障害者手当等給付事業費 66,767

重度の障害のために、特別の介護を必要とする障がい者・児に手当を支給し、経済的負担を軽減をさせることができた。

1. 特別障害者手当	月額 26,440円	受給者数	延1,849人
2. 障害児福祉手当	月額 14,380円	受給者数	延1,146人
3. 福祉手当(経過措置)	月額 14,380円	受給者数	延101人

施策の成果及び執行実績

- 重度心身障害児福祉年金給付事業費 1,540

特別児童扶養手当、障害児福祉手当が所得制限によって受給できなくなった保護者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ることができた。

月額 5,000円 受給者数 延308人

- 給付事務費 320

手当給付事務に関する経費

- ※ 特別児童扶養手当給付事務

国の制度により、県が実施主体である特別児童扶養手当の申請進達事務、所得状況などの現況届の受付進達事務、手当支給認定にともなう各種通知事務を行っている。

受給者数 312人

(目) 7 心身障害者医療費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
387,395		188,215		53	199,127

- 医療費助成事業費 387,395

区 分	65歳未満	65歳以上 (老人保健法)
医療費助成金(手数料含)	193,786,654円	189,940,400円
その他事務経費		3,668,102円

区 分	65歳未満	65歳以上 (老人保健法)
助成件数	35,912件	60,094件
受給者数の月平均	1,822人	2,207人
年間一人当たりの医療費助成金	106,359円	86,063円
1件当たりの医療費助成金	5,396円	3,161円

(目) 8 障害者福祉センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,500				28	21,472

- 一般職員給 11,889

- 障害者福祉センター管理運営事業費 8,822

障がい者の福祉増進のための創作的活動や社会適応訓練等を通じて、社会的自立を図るとともに、いきがいを高めるための施設として管理運営をする。

障害者社会参加促進事業 305回 延3,130人

障害者等機能訓練事業 51回 延420人

送迎事業 698回 延1,953人

貸館業務 165件 延1,931人

- 障害者福祉センター施設整備事業費 789

障がい者の福祉増進のための施設整備として、機能訓練室の改修を行った。



施策の成果及び執行実績

(目) 9 福祉会館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
47,654				7,555	40,099

- 一般職員給 29,895
- 福祉会館管理運営事業費 8,438

障がいのある方の施設として、日常生活訓練、機能回復訓練の場と社会福祉に奉仕しようとする団体等の活動、研修、会場の場を提供した。

福祉会館利用状況

利 用 団 体	利用回数	利用人員
各種福祉団体等関係	79回	1,219人
ボランティア関係	607回	8,735人
社会福祉協議会関係	789回	6,362人
行政・法律相談関係	97回	742人
計	1,572回	17,058人

- 福祉会館施設整備事業費 816  
福祉会館屋上防水改修工事
- 療育センター運営事業費 8,505

障がい児の通園施設として、支援費制度指定事業所の指定を受け、保護者と障がい児がともに通園し、機能回復訓練と基本的な生活習慣や集団生活への適応などの療育を実施した。

利 用 内 容	開所日数	利用人員
心身障がい児の療育	242日	1,336人

(目) 10 隣保館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
85,656		31,326		1,023	53,307

- 一般職員給 47,655
- 隣保館管理運営事業費 20,657

隣保館施設の運営・管理にかかる経費。福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターを目指すに当たり、良好な施設環境の維持に努め、積極的に利用促進を図った。

- 隣保館運営委員会事業費 3,987

隣保館運営についての審議及び年間事業計画についての協議を行い、これを踏まえ事業を推進した。また、先進地の視察も実施した。

- ・ 第一隣保館 829  
委員数 11名

実施日等	行事内容	事業費	参加人数(延べ)
H20.4～H21.3	運営委員会(3回開催)	282	27人
H20.4～H21.3	常任委員会(3回開催)	63	9人
H20.12.12	3館合同運営委員会	60	6人
H20.10.18～19	先進地視察 大阪市「リバティ大阪」 福山市「福山市人権平和資料館」	424	6人
計		829	48人

施策の成果及び執行実績

・第二隣保館 2,408

委員数 17名

実施日等	行事内容	事業費	参加人数(延べ)
H20.4～H21.3	運営委員会(8回開催)	922	126人
H20.4～H21.3	五役代表者会議(12回開催)	413	59人
H20.12.12	3館合同運営委員会	156	16人
H20.10.25～26	先進地視察 淡路市「北淡震災記念公園」 高知市「高知市立自由民権記念館」	917	17人
計		2,408	218人

・中原文化センター 750

委員数 10名

実施日等	行事内容	事業費	参加人数(延べ)
H20.4～H21.3	運営委員会(2回開催)	122	28人
H20.12.12	3館合同運営委員会	62	10人
H20.12.7～8	先進地視察 大阪市「リバティおおさか」・京都市内	566	8人
計		750	46人

○ 隣保館施設整備事業費 1,730

・第一隣保館

自動火災報知設備他改修工事 1,048

受電設備改修工事 682

○ 各種団体等負担金 414

隣保館連絡協議会への負担金。隣保館運営にかかる改善、交渉など、各隣保館の抱える課題の解決へ向け組織的に取り組むとともに職員研修の実施から資質向上を目指した。

○ 隣保館事業費 9,501

地域に密着したコミュニティセンターとして総合的な事業を行い、住民の社会福祉の向上や人権課題の解決を図るための事業を実施した。目的達成に向け次の柱に基づき事業を推進した。

- (1) 地域住民の自立支援に関する事業(相談事業)
- (2) 人権課題に関する啓発・広報事業
- (3) 地域福祉事業
- (4) 地域交流事業
- (5) 教育・学習(子ども)に関する事業
- (6) 関係行政機関との連携による事業

・ 地域住民の自立支援に関する事業 627

(相談事業)

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	45	法律相談、就職相談、健康相談	1,279人
第二隣保館	45	法律相談、農業相談、健康相談	1,892人
中原文化センター	—	各種相談	—

(健康事業)

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	39	肺ガン検診、健康講座、健康機器使用等 保健だより発行(月300部)	7,529人
第二隣保館	21	結核検診、医師講演会、健康機器使用等 保健だより発行(月1,530部)	4,834人

施策の成果及び執行実績

(高齢者福祉)

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	271	ふれあい交流会、第4回ふれあいの集い	123人
第二隣保館	168	高齢者福祉講座、高齢者健康講座	176人
中原文化センター	38	健康講座	56人

・ 人権課題に関する啓発・広報事業 738

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	262	人権講演会、親子人権学習会、啓発ビデオ・図書等 隣保館だより発行(300部)	871人
第二隣保館	161	人権学習・講演会、啓発ビデオ・図書貸出 隣保館だより発行(1,530部)	99人
中原文化センター	315	人権啓発映画上映、図書貸出 センターだより発行(1,100部)	190人

・ 地域交流事業 6,019

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	2,020	生花講座等各種講座、地域文化祭	2,292人
第二隣保館	2,764	編物講座等各種講座、文化祭等	2,710人
中原文化センター	1,235	大正琴講座等各種講座、ふれあい文化祭等	1,292人

・ 調査、研究事業 229

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	76	運営委員・講師研修会、視察、職員研修	22人
第二隣保館	95	運営委員・講師研修会、視察、職員研修	54人
中原文化センター	58	運営委員・講師研修会、視察、職員研修	29人

・ 教育、学習(子ども)に関する事業 1,888

	事業費	事業内容	参加人数
第一隣保館	1,120	もくよう教室、土曜クラブ等	1,408人
第二隣保館	538	集中学習会、土曜活動	795人
中原文化センター	230	なかよし会、ふれあい活動	713人

○ 広域隣保活動相談員報酬 1,140

住民の生活全般についての相談及び関係行政機関と連携を保ちながら助言・指導を行い、また人権教育・啓発事業を推進した。

○ 広域隣保活動事業費 453

隣保館が設置されていない地域において、「人権課題の解決」をめざし、隣保事業を推進した。

	事業費	事業内容	相談人数
若葉団地集会所	27	相談事業	35人
			参加人数
	21	地域福祉事業	20人
	331	啓発及び広報活動事業	286人
	38	地域交流事業	42人
	36	事務管理・運営	—

○ 社会福祉費国県支出金返還金 119

施策の成果及び執行実績

(目) 11 国民年金事務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
62,910	39,888				23,022

- 一般職員給 43,519
- 国民年金事務事業費 19,391

- ・ 国民年金窓口相談・資格異動事務

被保険者の受給権の相談、資格異動関係の手続き及び、年金制度を理解していただくための総合的な業務であり、被保険者が年金制度について理解し、将来の生活の保障である年金が受給できるよう指導を行った。『年金特別便』が送付されたことにより窓口へ確認・相談等に来られる方も多く、無年金者の防止に努めるとともに、年金記録に漏れの可能性のある方については慎重、かつ丁寧に指導、対応を行った。

資格取得	619件	転 居	1,583件
再 取 得	2,810件	氏名変更	489件
資格喪失	676件	資格訂正	70件
転 入	1,098件	その他	1,769件
転 出	1,319件	計	10,433件

- ・ 裁定請求事務

被保険者から提出される書類や添付書類等の点検を正確、迅速に行うとともに、書類不備等については適切に指導し、受給権の確保に努めた。

老齢基礎年金	91件	未支給年金	465件
障害基礎年金	73件	死亡届	23件
遺族基礎年金	3件	特別障害給付金	0件
寡婦年金	3件	その他	81件
死亡一時金	39件	計	778件

- ・ 免除制度の促進

低所得者対策、年金受給権の確保、無年金者対策として免除制度は大変重要な役割を占めている。免除制度の内容を広く市民に理解していただくため、窓口での啓発はもちろんのこと、広報等を通じて制度周知を行うとともに、利用の拡大を図った。

申請免除	3,116件	法 定 免 除	1,590件
(全額免除)	(2,613件)	学生納付特例	1,721件
(3/4免除)	(289件)	若年者納付猶予	324件
(1/2免除)	(153件)		
(1/4免除)	(61件)	計	6,751件

- ・ 福祉年金事務

老齢福祉年金、特別障害給付金受給者に係る各種届出、所得状況調査票を三重社会保険事務局へ送付した。

死亡届	4件
未支給年金	4件
計	8件

- ・ 受給権者現況届受付事務

障害基礎年金（年金コード 2650・6350）受給権者の現況届を受け付け、適正に処理を行い、所得状況届とともに松阪社会保険事務所へ送付した。

現況届受付件数 1,034件

- ・ 年金制度の周知

被保険者並びに受給者の権利保護を図るためには、制度の内容を周知し理解を得るための広報が必要であることから、窓口で啓発冊子を常備するとともに、「広報まつさか」に、毎月テーマを定め、年金制度の周知を目的としたコーナーを設け掲載した。

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 老人福祉総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,578,802	105,000	214,711		42,597	3,216,494

○ 一般職員給 50,489

○ 在日外国人高齢者福祉給付金支給事業費 1,410

在日外国人高齢者の方で、国民年金や他の公的年金を受けることができない方に対して福祉給付金を支給することにより、当該高齢者の福祉の増進を図った。

支給延人員 141人 (月平均 11.8人)

○ 後期高齢者医療事業特別会計繰出金 1,464,747

○ 介護保険事業特別会計繰出金 1,735,755

○ 老人福祉事業費 25,670

事業名	事業の目的・成果	事業費
老人クラブ活動助成事業補助金	健全で豊かな老後を送るため、社会奉仕活動や生きがいを高める各種活動や健康づくり活動を行う老人クラブに助成を行った。 クラブ数 162クラブ 国補助対象クラブ (148クラブ) 市補助金のみクラブ (14クラブ)	12,863
満100歳長寿者敬老事業費	・満100歳になられた高齢者を市長が訪問し、記念品と祝い状を贈呈した。(対象者 29人・訪問者 20人) ・昨年末で満100歳以上の高齢者全体には、9月上旬に実施した。(対象者 27人・訪問者 22人)	507
敬老会開催事業費		8,872
嬉野	高齢者を敬い、永年の労苦に対する感謝と慰労を目的に、75歳以上の高齢者を対象に敬老の日のイベントを開催した。 平成20年9月15日開催、嬉野ふるさと会館、746名参加	2,617
三雲	高齢者を敬い、永年の労苦に対する感謝と慰労を目的に、75歳以上の高齢者を招いて、プロによる演芸を開催した。 平成20年9月13日開催、ハートフルみくも 243名参加	2,310
飯南	75歳以上の高齢者を対象に実施した。内容は、プロと町内サークル出演者による演芸。 平成20年10月11日開催、飯南体育センター、286名参加	2,125
飯高	老人週間において、高齢者を敬い、多年にわたり社会に貢献された方々に敬意を表すことを目的に、飯高管内における75歳以上の高齢者を招き、敬老会を開催し、長寿をお祝いした。 平成20年9月13日開催、宮前小学校体育館、289名参加	1,820
離島等地域特別加算利用者負担額軽減措置事業費	離島等地域においては、介護サービスについて、15%相当の特別地域加算が行われることから、利用者負担についても15%相当分増額されることになる。このため、離島等地域でない地域の住民との負担均衡を図る観点から、利用者負担の一部を減額した。	85
高齢者地域福祉基金積立金	高齢者福祉活動の促進と快適な生活環境の形成等を図るため、基金を設置し、高齢者福祉施策の実施に要する経費に充当することを目的に積立てを行った。(平成20年度末現在高 170,218)	941

施策の成果及び執行実績

事業名	事業の目的・成果	事業費
福祉有償運送運営協議会事業費	NPOや社会福祉法人等の非営利法人が高齢者や障がい者等、公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通院・通所・レジャー等を目的に有償で行う車両による送迎サービスである「福祉有償運送」の適法性・安全性の確保のために運営協議会を設置した。 福祉有償運送運営協議会…2回開催	125
老人福祉費国県支出金返還金	平成19年度県支出金精算返還金 ホームヘルプ利用者負担軽減事業費補助金返還金	748
老人福祉一般経費	事務補助員賃金 708、消耗品費 232 ほか	1,529
計		25,670

○ 老人在宅福祉事業費 81,724

事業名	事業の目的・成果	事業費
生きがい活動支援通所事業費	家に閉じこもりがちな高齢者に対してデイサービスセンターにて各種サービスを提供し、要介護状態への進行防止を図った。 吉祥苑、さくら園、南勢カトリック、なでしこ苑、さわやか苑、たいよう、協和苑、青葉、うきさと憩センター、社協、農協、カトレア「嬉野」 年間利用延べ人数 9,709人 内、ふれんどデイ 2,666人 サテライト 2,939人 いきいきサロン1,784人 うきさと憩センター1,098人	43,332
外出支援サービス事業費	高齢者が、生活管理指導短期宿泊事業を利用する場合に自宅と施設の送迎を行った。 年間利用回数 4回（片道3回・往復1回）	1
高齢者住宅改造助成事業費	在宅の要介護高齢者等の居住環境の改善を図り、住宅を高齢者に適するよう改造する費用の一部を補助した。 補助件数 22件	4,751
緊急通報装置貸与事業費	一人暮らしの高齢者が急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報装置を貸与した。 新規設置台数…93台 平成21年3月31日現在設置台数…828台	31,872
ひとり暮らし高齢者等生活支援事業費	在宅で一人暮らしの高齢者等に対して、軽易な日常生活援助を行うことにより自立した生活を送れるようにするとともに、要介護状態への進行予防を図った。 シルバー人材センター 49時間・11人 三重県健康福祉生活協同組合 308時間・40人 三重中高年雇用福祉事業団 9時間・4人 まほろば 0時間・0人	655
寝具丸洗乾燥事業費	一人暮らしの高齢者や寝たきりの低所得高齢者の寝具を無料で年1回、丸洗い乾燥、消毒を行った。 実施人数 510人 利用枚数 974枚（敷布団 280枚、掛布団 270枚、毛布 424枚）	1,087

施策の成果及び執行実績

事業名	事業の目的・成果	事業費
訪問理美容サービス事業費	老衰、心身の障がい及び疾病等の理由により、理髪店等に出向くことが困難な高齢者に対して、居宅で手軽に整髪等のサービスを受けられるように出張理美容のサービスを提供した。技術料は自己負担とし、出張に係る経費を支出した。 利用者数…5人、17回	26
計		81,724

○ 老人各種給付事業費 8,531

事業名	事業の目的・成果	事業費
敬老記念品贈呈事業費	敬老の日に因んで満80歳以上の高齢者に記念品を贈呈し、長寿をお祝いした。対象者数…8,045人	7,845
日常生活用具給付等事業費	おおむね65歳以上の火の元の心配な要援護高齢者に対して、日常生活用具の給付を行ない、日常生活を支援した。 火災報知器 24台 電磁調理器 32台 自動消火器 12台	686
計		8,531

○ 老人施設福祉事業費 145,476

事業名	事業の目的・成果	事業費
老人ホーム入所判定委員会事業費	老人ホーム入所判定委員会を開催し、老人ホーム入所措置の要否判定を行った。 開催回数…10回	201
老人ホーム入所措置事業費	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を措置した。 平成21年3月31日現在入所者数 10施設 88人	105,163
老人ホーム民営化事業者選定委員会事業費	養護老人ホーム「市立延寿院」を民営化するにあたり、移管先である社会福祉法人を選定するための委員会を設置し、移管するにふさわしい社会福祉法人を選定できた。開催回数…4回	112
公的介護施設等整備費補助金	平成18年4月法改正により、身近な市町村において提供されることが求められるサービスとして、市町村が策定する13圏域の施設整備計画に対し国の交付金を整備事業所に補助した。 社会福祉法人むつみ福祉会 小規模特別養護老人ホーム	40,000
計		145,476

○ 公的介護施設等整備費補助金（繰越分） 65,000

平成18年4月法改正により、身近な市町村において提供されることが求められるサービスとして、市町村が策定する13圏域の施設整備計画に対し国の交付金を整備事業所に補助した。

社会福祉法人太陽の里  
社会福祉法人さくら福祉会

(目) 2 延寿院費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
158,008				25,681	132,327

○ 一般職員給 112,755

施策の成果及び執行実績

○ 延寿院嘱託医師報酬 744

入所者の健康管理を目的とし、嘱託医による月2回の検診と年2回全員に対して健康審査を実施、本年度は特にインフルエンザ感染予防指導を行い、入所者の健康管理を図った。

○ 延寿院管理運営事業費 43,000

養護老人ホーム延寿院入所者の養護と福祉に万全を期し、健康管理を徹底するため、次のことを実施し、安全及び健康の維持増進を図った。

・入所者の安全管理

①火災時の消防署への自動通報装置の改修。

②地震発生時の避難出口確保のため、静養室非常口の窓ガラスに飛散防止用フィル加工を行う。

・入所者の健康管理

①風呂場の衛生管理向上のための湯沸設備の改修。

②外出時マスク着用、手洗い実施の徹底を行い、ノロウイルス、インフルエンザ等感染予防対策を実施。

区分	年間延措置人員	措置費年額
松阪市	468人	78,464
受託分	87人	15,012
計	555人	93,476

・行事の実施状況

行事名	年月日	場 所	参加人員
お花見	H20. 4. 4	阪内川親水公園	19人
墓苑祭	H20. 6. 12	篠田山墓苑	16人
運動会	H20. 10. 1	延寿院	全 員
市内バス旅行	H20. 10. 28	飯高	36人
彼岸、盆の墓参り	年3回	篠田山墓苑	75人
誕生祭	毎月1回 第3木曜日	延寿院	全 員
防災訓練	年12回	延寿院	全 員

○ 延寿院施設整備事業費 1,350

延寿院バリアフリー化改修工事

- ・風呂洗い場等の段差解消及び滑り止め加工
- ・入所者居室ドア等の鍵をレバー式に改修

○ 各種団体等負担金 159

(目) 3 老人福祉センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
62,320				368	61,952

○ 一般職員給 17,927

○ 松寿園管理運営事業費 10,434

老人に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の保持、教養の向上及びレクリエーションの利便性を総合的に提供した。

年間利用者数 12,096人

年間利用団体数 431組



## 施策の成果及び執行実績

- 松寿園運営委員会事業費 63  
松寿園の管理運営について協議をした。  
運営委員 15人・年1回開催(平成20年7月11日)
- 飯南高齢者生活福祉センター管理事業費 11,917  
高齢者に対して、介護支援機能・居住機能及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図った。また平成18年度から指定管理者制度を導入し、松阪市社会福祉協議会に委託した。  
居住事業入居者 3人、指定管理者制度にかかる委託料 11,392  
施設設備修繕料 525
- 飯高高齢者生活福祉センター管理事業費 13,864  
高齢者に対して、介護支援機能・居住機能及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援し、高齢者の福祉の増進を図った。また平成18年度から指定管理者制度を導入し、松阪市社会福祉協議会に委託した。  
居住事業入居者 3人、指定管理者制度にかかる委託料 13,684  
施設設備修繕料 180
- 飯南老人憩の家管理運営事業費 1,471  
高齢者を対象に、教養の向上、レクリエーション等のための場を提供する施設の管理運営を行った。  
利用者数 延べ1,148人、老人憩の家使用料収入 13,200円
- 飯高老人福祉センター管理運営事業費 6,588  
高齢者や地域住民に対して、各種の相談、教養の向上、レクリエーション等のための施設管理を行った。  
開館日数 298日、利用件数 1,013件、利用延べ人数 11,724人  
センター使用料収入 269,955円
- 飯高老人福祉センター運営委員会事業費 56  
飯高老人福祉センターの管理運営について協議をした。  
運営委員 10人・年1回開催(平成20年7月28日)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 児童福祉総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,295,758	819,781	407,994	12,900	445	1,054,638

○ 一般職員給 127,403

○ 放課後児童クラブ施設耐震事業費 411

大規模地震災害から児童の生命・身体を守るため、中原小学校区放課後児童クラブが利用している旧こだま保育園の耐震診断を実施した結果、耐震性に問題がないことを確認した。

○ 女性保護事業費 61

要保護女子の早期発見ならびに一般女子の福祉増進および配偶者等からの暴力の防止等を図り、関係機関と連携して女子を保護し、自立支援を行った。

<相談主訴別>	来所	電話	巡回	その他	計	
人間関係	夫等	40件	65件	15件	2件	122件
	子ども	9件	8件	2件	0件	19件
	親族	0件	3件	1件	0件	4件
	その他	4件	10件	0件	0件	14件
住居問題	6件	2件	1件	0件	9件	
帰住先なし	0件	0件	0件	0件	0件	
経済関係	48件	12件	7件	0件	67件	
医療関係	30件	24件	17件	2件	73件	
その他	0件	0件	4件	0件	4件	
計	137件	124件	47件	4件	312件	

○ 家庭児童相談室事業費 7,339

児童にかかる教育相談、身体上・精神上の障がいに関する相談、家庭教育・非行・虐待などの家庭児童福祉に関するさまざまな問題を関係機関と連携の上、的確に対処した。

		処理件数 (平成20年度中)						計	
		面接指導			児童相談所送致	知的障害者福祉指導・社会的福祉指導	助産師の産科実地指導		その他
		助言指導	継続指導	他機関あつせん					
養護相談	児童虐待相談	20	60		2			82	
	その他の相談	52	40					92	
保健相談		9	5					14	
障がい相談	肢体不自由相談							0	
	視聴覚障がい相談	1						1	
	言語発達障がい等相談	3						3	
	重症心身障がい相談	2						2	
	知的障がい相談	111	6	1				118	
	自閉症等相談	3						3	
非行相談	ぐ犯行為等相談		2					2	
	触法行為等相談		1					1	

施策の成果及び執行実績

		処理件数（平成20年度中）							計	
		面接指導			児童相談所送致	知的障害者福祉事業	知識府の実施に係る母子通都	助産または母子保		その他
		助言指導	継続指導	他機関あつせん						
育成相談	性格行動相談	6	8						14	
	不登校相談	11	9						20	
	適性相談								0	
	育児・しつけ相談	4							4	
その他の相談		8	1	1					10	
計		230	132	2	2	0	0	0	366	

○ 一日里親事業費 59

家庭環境に恵まれず、児童養護施設に入所している児童が、一時的に篤志家の家庭で生活することにより、その温かい愛情と家庭環境の中で心身ともにより健やかに成長していくことを願って実施した。（8組）

○ みえこどもの城管理運営費補助金 62,090

こどもの科学するところを育て、健全に創造性豊かに育つための様々なプログラムを企画し事業を推進しているみえこどもの城事業を支援した。  
（管理運営費から事業収入等を控除した額の1/2を補助）

補助機関名 （財）三重こどもわかもの育成財団

○ 交通遺児入進学卒業祝金支給事業費 120

交通事故を起因として、両親あるいは片親を失った児童に対し、入進学ならびに卒業祝金を支給した。

小学校入学 30,000円×1名=30,000円

中学校入学 30,000円×2名=60,000円

中学校卒業 30,000円×1名=30,000円

○ 児童手当給付事業費 1,274,231

小学校修了前の児童の養育者に対して、児童手当を支給した。

延べ対象児童数 191,329人

○ 児童扶養手当給付事業費 671,550

父母の離婚などによって、父親と生計を同じくしていない児童について、母またはその養育者に対し、児童扶養手当を支給した。

児童扶養手当認定者数 1,666人

○ 児童虐待等防止ネットワーク連絡協議会事業費 200

子どもの虐待に対して適切な対応をするため保健、医療、福祉、教育、警察、地域などの関係機関・団体とのネットワークの強化を図った。

○ 次世代育成支援推進事業費 2,358

「松阪市次世代育成支援行動計画地域協議会」を設置し、「松阪市次世代育成支援行動計画」に基づく諸施策の進捗状況と評価、今後の取り組み方について協議した。

また、「松阪市次世代育成支援行動計画」の後期計画を平成21年度に策定するにあたって、市民が行政に求める子育て支援策に対するニーズを把握し、計画に反映するため、子育て家庭3,000世帯を対象に市民ニーズ調査を実施した。

○ 一人親家庭へのホームヘルパー派遣事業費 102

日常生活を営むのに著しく支障がある一人親家庭に、一定期間ホームヘルパーを派遣し、日常生活の世話等必要なサービスを行った。

3世帯 1,500円×68時間

施策の成果及び執行実績

- 一人親家庭への中学卒業祝金支給事業費 1,000

一人親家庭の児童に対し、卒業祝金を支給することで児童福祉の増進を図った。

10,000円×100人

- 児童福祉一般経費 154

- 児童福祉費国県支出金返還金 1,302

平成19年度国県負担金交付額確定に伴う返還金

- 子育て支援ショートステイ事業費 179

児童を養育している家庭の保護者が、疾病等の事由によって、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、その児童を児童養護施設において一時的に養育し、これらの児童とその家庭の福祉の向上を図った。

児童養護施設 4世帯 4人 26日間

- 放課後児童クラブ活動事業費 51,197

小学校に就学している概ね10歳未満で、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童の授業終了後の育成および指導に資するため、地域住民の積極的な協力のもと放課後児童クラブを設置し、児童の健全育成を図った。

名 称	委託金額	年間開設	人員
とくわアフタークラブ	3,316	293日	39人
松江放課後倶楽部	1,616	240日	25人
まつおキッズクラブ	1,657	240日	47人
ていすい子どもハウス	1,827	251日	32人
花岡キッズハウス	2,523	250日	58人
だいよんのびのびクラブ	4,902	286日	43人
第五ときわっこ	1,668	243日	39人
さいわいっこKIDSクラブ	1,636	240日	26人
O-FunKids	1,230	240日	5人
みなとこどもクラブ	1,731	240日	20人
天白キッズクラブ	2,631	251日	64人
飯南放課後児童クラブ	3,315	250日	24人
スマイルキッズ	990	239日	20人
わかすぎこどもクラブ	2,300	288日	27人
豊田キッズクラブ	990	243日	7人
中原キッズクラブ	2,432	290日	24人
すぎのここどもクラブ	2,516	288日	21人
第2とくわアフタークラブ	2,485	293日	21人
ひがしくるべ楽童	1,611	243日	23人
ひかりっこ広場	3,464	269日	36人
豊地キッズクラブ	1,478	246日	8人
サン・ガーデン	1,674	233日	9人
計22か所	47,992		618人

- 放課後児童クラブ連絡協議会補助金 243

研修会、連絡会議の実施により、各放課後児童クラブの運営の均衡を図るとともに、指導員の資質向上を図った。

- 地域子育て支援拠点事業費 23,291

子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置し、育児不安等についての相談・助言及び子育てサークルへの支援、情報提供等、他機関との連携を図りながら実施したことにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行った。

施策の成果及び執行実績

・利用実績

名 称	保護者	児 童	計
はっぴいはっぴい	7,027人	7,374人	14,401人
ふれんず	3,884人	4,295人	8,179人
森のくまさん	3,072人	3,822人	6,894人
ぽけっと	4,341人	4,886人	9,227人
げんきっこ	4,759人	5,521人	10,280人
かんがるー	2,311人	2,463人	4,774人
計6施設	25,394人	28,361人	53,755人

・活動内容

親子リフレッシュルームでの親子のふれあい、あそぼう会、面接・電話による子育て相談・絵本の貸し出し、出張ひろば、情報誌の発行（各センター月1回）、市内の公園紹介利用者アンケートの実施、支援センター合同会議の開催等。

※嬉野管内の子育て支援

「ふれんず」「げんきっこ」「ぽけっと」「森のくまさん」の合同企画として、月1回嬉野保健センターにおいて出張ひろばを実施した。（名称：にこにこタイム）

参加延人数 保護者 175人、児童 184人、計359人

※飯高管内の子育て支援

「はっぴいはっぴい」「かんがるー」の合同企画として、月2回飯高総合開発センター等において出張ひろばを実施した。（名称：サンサン広場）

参加延人数 保護者 121人、児童131人、計 252人

○ ファミリーサポートセンター事業費 8,509

育児の援助を行いたいという援助会員と育児の援助を受けたいという依頼会員で構成する会員組織として、「まつさかファミリーサポートセンター」を平成15年9月に設立し、（特）松阪子どもNPOセンターに運営を委託。仕事と家庭の両立支援と地域における子育て支援を行った。

活動件数 2,055件 援助会員数 195人、依頼会員 251人、両方会員 68人 計514人

○ 地域子育て支援拠点施設委託事業費 20,892

地域の子育て力を向上させるとともに育児不安等への相談体制の充実を図るため、私立保育園が実施する子育て支援センター事業に対して助成した。

名 称	実施主体	補助金額	開設年月
こどもセンターわかすぎ	わかすぎ保育園	2,576	H16. 4
なかよし広場	山室山保育園	4,803	H17. 4
わくわくの森	嬉野保育園	4,355	H17. 10
じゃれっこひろば	みどり保育園	4,803	H18. 4
あそぼクラブ	つくし第二保育園	4,355	H19. 4
計5施設		20,892	

○ 放課後児童クラブ施設整備事業費 24,609

港小学校区放課後児童クラブ施設を新築したことで、児童の安全、衛生面を確保するとともに、児童がのびのびと健全に育つ保育スペースを確保することができた。

区分	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	負担金	需用費
港小学校区放課後児童クラブ施設整備	工事設計業務委託及び施設新築工事 場所：松阪市荒木町16 面積：（鉄骨造平屋建） 103.32㎡	24,610	23,730	815	58	7

施策の成果及び執行実績

○ 病児・病後児保育委託事業費 6,724

病気の回復期に至らない場合又は、病気の回復期にあつて集団保育を受けることが困難な児童を持つ保護者が、安心して就労できる環境を整えた。また、医療機関による実施のため不測のときに迅速かつ適正な対応が図ることができる環境を整備した。

- ・委託先 医療法人おおはし小児科（大足町671-2）
- ・平成20年度登録児童数 66人 ・延利用児童数 48人

○ 母子生活支援施設入所事業費 8,265

保護者が配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情にある女子であつて、その者の監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合において、その保護者及び児童を母子生活支援施設において保護した。

入所者 3施設 5世帯

○ 助産施設入所事業費 3,469

保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対して、助産施設において入院助産を実施した。

助産入所措置 3施設 14人

(目) 2 私立保育園費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,462,498	410,044	199,747		378,480	474,227

○ 私立保育園補助金 154,643

事業名	保育園数	金額	備考
管理運営事業費補助金	11園	62,899	定員割 1,540人 児童割 1,777人
延長保育促進事業費補助金	11園	48,673	登録児童 延1,657人
障がい児保育事業費補助金	10園	24,104	対象児童 13人
一時保育促進事業費補助金	5園	1,181	利用児童 延349人
低年齢児保育推進事業費補助金	10園	17,786	対象児童 延3,769人
計		154,643	

○ 私立保育園運営事業費 1,307,855

保育園名	児童数 月別累計	扶助費	保育園名	児童数 月別累計	扶助費
愛護園	1,267人	90,811	さくら保育園	2,666人	160,151
若葉保育園	1,725人	103,741	つくし第二保育園	1,972人	112,156
みどり保育園	2,191人	140,768	山室山保育園	2,053人	117,263
つくし保育園	1,634人	97,641	わかすぎ保育園	1,309人	97,343
神戸保育園	2,324人	140,869	嬉野保育園	1,710人	118,682
久保保育園	2,125人	128,430	計	20,976人	1,307,855

(目) 3 公立保育園費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,042,734	3,800	8,090	26,600	412,570	1,591,674

○ 一般職員給 1,345,412

○ 外国語翻訳業務等事業費 4,747

外国籍児童の入園の増加に伴い、児童や保護者との通訳や「保育園だより」「保健だより」等の翻訳、面接・電話等による相談を行った。

施策の成果及び執行実績

対象児童…14保育園49人

外国語指導員通訳・相談業務員（ポルトガル語2人）

○ 保育園耐震事業費 20,054

地震災害から児童、保護者及び職員の生命を守るため、耐震補強未施工保育園に対して耐震補強工事を行った。また、同時に厨房改修工事を行った。

・耐震補強工事（1期）および厨房改修工事・・・ひかり保育園

○ 保育園嘱託医師報酬 8,243

・医師による定期健康診断（22保育園で年2回実施 延3,795人受診）

・歯科医師による定期健康診断（22保育園で年1回実施 延1,584人受診）

○ 保育園管理運営事業費 264,883

公立保育園の管理・運営経費

保育園名	児童数 年間累計	保育園名	児童数 年間累計	保育園名	児童数 年間累計
第一保育園	1,321人	花岡保育園	1,449人	三雲南保育園	1,546人
第二保育園	1,219人	みなみ保育園	489人	飯南ひまわり保育園	759人
白鳩保育園	1,212人	若草保育園	1,501人	飯南たんぽぽ保育園	983人
東保育園	635人	三郷保育園	1,217人	宮前保育園	543人
西保育園	1,497人	駅部田保育園	1,385人	赤桶保育園	298人
大河内保育園	924人	大津保育園	993人	かはだ保育園	181人
春日保育園	1,595人	ひかり保育園	1,063人	計	22,727人
つばな保育園	394人	三雲北保育園	1,523人		

○ 保育園臨時職員賃金等 286,716

正規職員の不足に伴う補充、職員の産休・育休・病休の代替として臨時職員を雇用し、保育の安定的な継続を図った。

臨時職員種別	人数	臨時職員種別	人数
補充保育士	93人	補充労務員	9人
産休代替保育士	12人	産休代替労務員	1人
育休代替保育士	28人	育休代替労務員	3人
病休代替保育士	12人	病休代替労務員	1人

○ フリー保育士等事業費 50,461

病気やケガ等により保育士、労務員に欠員が生じたときに、その代替を行うことにより保育の円滑な実施を確保した。

フリー保育士 16人

フリー労務員 4人

○ 休日保育事業費 146

日曜日や祝日等の保護者の勤務等により、保育園入園中の児童が保育に欠ける場合の保育ニーズに対応するため休日保育を実施した。

実施保育園	年間開所日数	3月末登録児童数	年間延利用児童数
西保育園	69日	60人	416人

○ 延長保育事業費 3,020

働き方の多様化等による延長保育に対するニーズの高まりに対応するため、午後6時から1時間の延長保育を実施した。

実施保育園	年間延利用児童数
第一保育園	105人
白鳩保育園	91人

○ 障がい児保育事業費 3,886

障がい児保育を担当する保育士の資質の向上のため、講師を招いて障がい児月例会を開催した。また、障がい児の入園している保育園を講師が巡回し、保育の実施にあたっての様々な相談に応じた。さらに、障がい児保育を実施するにあたって必要となる保育用器具を購入し、障がい児保育の環境整備を図った。

施策の成果及び執行実績

障がい児保育月例会の開催（年10回開催）  
障がい児保育巡回相談の実施（年20回実施）  
障がい児保育用器具の購入（白鳩保育園）

○ 保健師等配置事業費 2,762

日常生活における基本的な習慣や態度のかん養など、保育を実施する上で特に配慮が必要とされる児童及びその家庭に対して、保健・健康に関する指導・援助を行うため看護師を配置した。

家庭支援推進関係（看護師1人を東保育園を拠点に配置）

○ 松阪市同和保育研究協議会運営費補助金 130

保育園・幼稚園の職員が主体的に人権等における保育に取り組み、保育の推進と充実又資質の向上を図るため、運営管理に要する経費の一部を補助した。

交付先 松阪市同和保育研究協議会

○ 広域入所制度運営事業費 13,669

市内に居住する児童が、家庭の都合等により他の市町村の保育園に入園を希望した場合に、当該市町村の保育園に保育の実施を委託した。

8市町村・18保育園、児童数…27人、委託月数計…230月

○ 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 737

保育園で発生した災害に対して災害共済給付を行い、保護者の経済的負担の軽減を図り、保育園運営が円滑に進むようにする制度に対して、保護者と設置者（市）が共済掛金を負担した。

平成20年度当初分	生活保護世帯	65円×26人
	その他の世帯	375円×1,841人
平成19年度途中入園分	生活保護世帯	65円×7人
	その他の世帯	375円×120人

平成20年度中の災害発生件数 165件（医療費給付）

○ 病後児保育事業費 2,499

市内の認可保育園に在籍している児童で、病気の回復期にあるが集団保育が困難な児童を持つ保護者が、安心して就労できる環境を整えた。

実施施設 西保育園

平成20年度登録児童数 29人

延利用児童数 0人

○ 飯高東部保育園建設事業費 26,887

飯高管内における老朽化した木造保育園2園（宮前、赤桶）を移転、統合、改築し、多様化する保育ニーズに対応するとともに、防災・防犯面の措置を講じることにより、安心して保育を受けられる保育園を整備する。（平成22年4月開園予定）

平成20年度事業内容	事業費内訳
実施設計、地質調査、敷地造成工事、土地購入 場所：松阪市飯高町宮前112番地他 面積：(敷地面積)約3,533㎡ (木造平屋建床面積)693.41㎡	工事費 2,815 委託料 6,146 土地購入費 17,251 手数料 675
平成21年度事業内容（予定）	予算内訳
建設工事、工事監理委託、初年度消耗品購入、初年度備品購入、手数料、分担金、負担金	工事費 188,102 委託料 2,650 消耗品費 891 備品購入費 5,047 手数料、分担金等 2,156

○ 川俣保育園・波瀬保育園園舎解体事業費 7,205

平成20年4月に川俣保育園と波瀬保育園を森保育園（かはだ保育園）に統合したため、当該保育園の園舎は無人工化し、老朽化が著しい上に耐震性にも欠け、全てにおいて危険であることから解体を行った。なお、園舎解体については、川俣保育園のみ行い、波瀬保育園については、松阪飯南森林組合より利用したいとの申し出があり、賃貸を行った。



施策の成果及び執行実績

敷地境界確定手数料 1,613  
解体工事費 5,592

○ 各種団体等負担金 268

保育事業の円滑な推進を図るため、関係各種団体負担金を支出した。  
三重県社会福祉協議会負担金  
全国保育園保健師看護師連絡会負担金

○ 保育園一般経費 1,009  
・ 公用車借上料他

(目) 4 母子福祉費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,603	4,044				2,559

○ 自立支援教育訓練給付金事業費 37

職業能力を取得するための経費の一部を助成することで、母子家庭の雇用の安定と促進を図った。

対象者 2人

○ 高等技能訓練促進事業費 5,356

母子家庭の母の雇用に有利な国家資格等の高等技能を取得する際の一定期間の生活の負担を軽減するため、高等技能訓練促進費を支給し、母子家庭の生活の安定と経済的な自立を促進した。

対象者 9人

○ 各種補助金 976

事業名	事業費	市補助金	交付先	事業の成果
母子寡婦福祉会活動補助金	1,712	806	松阪市母子寡婦福祉会	母子及び寡婦家庭の経済的自立を支援し、生活の安定及び児童の健全育成を図った。
母子福祉協力員協議会活動補助金	292	170	松阪市母子福祉協力員協議会	母子家庭等の更生援護の相談・助言指導を行い、母子家庭及び寡婦の経済的、精神的な自立の促進を図った。
計	2,004	976		

○ 母子寡婦福祉資金貸付事業事務事業費 208

三重県の実施する母子寡婦福祉資金の貸付事業の受付等の窓口業務

○ 母子福祉一般経費 26

(目) 5 乳幼児医療費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
220,996		99,353		11	121,632

○ 医療費助成事業費 220,152

医療費助成金(手数料含)	211,940,165円
その他事務経費	8,212,033円
助成件数	107,045件
受給者数の月平均	10,051人
年間一人当たりの医療費助成金	21,086円
1件当たりの医療費助成金	1,980円

○ 児童福祉費国県支出金返還金 844

施策の成果及び執行実績

(目) 6 一人親家庭等医療費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
87,399		42,797		49	44,553

○ 医療費助成事業費 86,728

医療費助成金（手数料含）	85,567,629円
その他事務経費	1,160,158円
助成件数	33,118件
受給者数の月平均	3,536人
年間一人当たりの医療費助成金	24,199円
1件当たりの医療費助成金	2,584円

○ 児童福祉費国庫支出金返還金 671

(目) 7 児童センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,510				19	20,491

○ 一般職員給 17,314

○ 児童センター耐震事業費 1,107

大規模地震災害から児童の生命・身体を守るため、施設の耐震補強工事を実施するための設計を行った。

耐震補強工事設計委託（時田建築設計）

○ 児童センター管理運営事業費 2,074

・ 児童センター利用状況

区分	幼児	小学生	中学生	計	年間開館日数 302日
人数	815人	4,495人	1,288人	6,598人	来館児童一日平均 22人

野外活動事業等により、健全で情操豊かな心身ともに健やかな児童を育成することに努めた。

年月日	行事名	行事内容	参加対象者	参加人数
H20. 8. 9	地域行事	東地区夏まつり	児童・地域住民	50人
H20. 11. 1	地域行事	隣保館文化祭〔作品展示〕	児童	28人
H21. 3. 20	人権教育教室	ビデオ「リュウのめになみだ」	児童	32人
計				110人

○ 各種団体等負担金 15

区 分	事 業 主 体	市負担金	事 業 内 容
三重県児童館連絡協議会会費	三重県児童館連絡協議会	10	児童館相互の情報交換 児童厚生員等職員の各種研修
全国児童館連合会会費	(社)全国児童館連合会	5	児童館の運営に関する知識の普及啓発 児童厚生員等職員の各種研修 各種資料の配付
計		15	

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 生活保護総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
181, 159	3, 670				177, 489

○ 一般職員給 143, 855

○ 嘱託医師報酬 900

生活保護担当職員と医療検討会を10回開催し、延べ479人のレセプトを検討し、医学的な立場から稼働の可否等について指導助言を行ったほか、医療要否意見書等の内容について5, 895枚の書類審査を行った。

○ 生活保護適正実施推進事業費 2, 209

事業名	事業内容	事業費	成果
診療報酬明細書等点検充実事業	レセプト点検	1, 146	年間883件の再審査請求を行い、626件の過誤調整を行った。
収入資産・扶養義務調査等充実事業	収入資産・扶養義務調査	466	所得調査の実施。県外居住の扶養義務者を訪問し面接調査を行った。
関係職員研修啓発事業	所内研修の実施や各種研修会への参加等により、生活保護関係職員の資質向上を図る。	597	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市での社会福祉夏季大学への参加及び東京都内で開催の全国ワーカー研修会等へ参加し、知り得た内容については所内研修会で報告を行い資質向上を図った。</li> <li>・感染症対策研修会に済生会病院感染管理認定看護師による、新型インフルエンザについての基礎知識と予防についての研修を行った。</li> <li>・生活保護関係図書を購入し、保護の業務及び毎月の所内研修等で活用した。</li> </ul>
計		2, 209	

○ 生活保護費国庫支出金返還金 22, 917

平成19年度生活保護費国庫負担金精算による返還金 22, 653

平成19年度セーフティネット支援対策等事業費補助金精算による返還金 24

平成19年度生活保護法第73条県負担金精算による返還金 240

○ 自立支援プログラム実施推進事業費 1, 460

自立支援相談員を雇用し、稼働能力を有する被保護者に対し就労相談・支援を行い、就労可能対象32件に対し10件が就労開始となり、そのうち自立で廃止となったのが3件であった。

自立支援相談員 1名分 賃金 1, 304

共済費 156

○ 生活保護一般経費 9, 818

生活保護法の実施運営に伴う事務経費、人件費等

施策の成果及び執行実績

(目) 2 扶助費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,158,840	2,302,656	102,261			753,923

○ 生活保護扶助費 3,158,840

・ 扶助費 3,158,840

区 分	対象人員 (年間)	(月平均)	扶助費	構成比
生活扶助	22,492 人	(1874.3人)	988,401	31.29 %
住宅扶助	16,735 人	(1394.6人)	310,218	9.82 %
教育扶助	1,418 人	(118.2人)	8,706	0.28 %
介護扶助	3,532 人	(294.3人)	66,458	2.10 %
医療扶助	18,200 人	(1516.7人)	1,726,929	54.67 %
出産扶助	0 人	(0.0人)	0	0.00 %
生業扶助	454 人	(37.8人)	7,022	0.22 %
葬祭扶助	53 人	(4.4人)	8,237	0.26 %
施設事務費	279 人	(23.3人)	42,869	1.36 %
計	63,163 人	(5263.6人)	3,158,840	100.00 %

※生活保護の状況 (平成20年度平均)

被保護世帯	1,417 世帯
うち高齢世帯	704 世帯
被保護人員	1,947 人
保護率	11.5 パーミル

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 災害救助費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,159		81		178	900

## ○ 小災害見舞金 900

区 分	1件当たりの金額	件数	見舞金
全 焼	80千円	7世帯	560千円
半 焼	50千円	4世帯	200千円
重傷 (1ヶ月以上)	20千円	2人	40千円
死 亡	100千円	1人	100千円

## ○ 災害救助基金積立金 178 (平成20年度末現在高 30,727)

## ○ 被災者住宅復興資金貸付金利子補給事業費 81

平成16年9月29日からの台風21号に伴う大雨により、自ら居住していた住宅に被害を受けた者(被災者)に対して、被災した住宅の復興のために必要な資金の借入れにかかる利子を補給した。

- ・ 対象者 1人

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 保健衛生総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
243,684				5,335	238,349

○ 一般職員給 242,794

○ 松阪市民病院建設基金積立金 890 (平成20年度末現在高 48,136)

## (目) 2 環境衛生費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
234,406	46,858	50,278		4,243	133,027

○ 環境衛生事業費 226,971

事業名	概要・成果	事業費
浄化槽設置促進事業費		151,470
浄化槽設置整備補助金	合併処理浄化槽の普及を図り、公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の保全を図ることを目的として、合併処理浄化槽の設置者に対しその費用の一部を補助した。  補助金額      設置基数 5人槽            332,000円      235基 7人槽            414,000円      160基 10人槽           548,000円      12基	150,836
浄化槽設置整備事務費	合併処理浄化槽設置整備事業補助金制度導入に伴う補助金申請情報について、パソコン等を活用した地図情報管理システムにより、情報等の管理業務を行った。	634
埋火葬・浄化槽届出等受理事業費	胎児、臓器等の火葬取扱及び浄化槽等の届出受理業務 胎児27件、臓器30件、浄化槽設置届出書等605件	96
公衆浴場組合補助金	松阪浴場組合（9浴場）に対する補助金の交付 交付先 松阪浴場組合	1,215
行旅死亡人取扱事業費	行旅病人及行旅死亡人取扱法の適用者1名	155
公衆便所管理事業費	中町、本町、駅西公衆便所の維持管理	2,691
共同簡易飲料水確保施設設置補助金	市内3カ所にある飲料水供給施設（給水人口100人以下の水道施設）に対して、維持修繕等のために補助。飯高木樫小規模水道給水施設の次亜注入装置設置の更新により、安全で安定した飲料水の確保を図った。	1,914
環境衛生一般経費	市の防災計画に基づき、防疫薬剤の備蓄を行う等、各地域の公衆衛生に貢献。	2,116
戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金	飯南、飯高管内において実施する戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計にかかる繰出金 (公債費 49,261、事務費及び建設改良費 18,053)	67,314
計		226,971

施策の成果及び執行実績

○ 狂犬病予防等対策事業費 7,435

事業名	概要・成果	事業費
畜犬登録等事業費	狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。 犬の登録業務については、4月の集合注射時、随時市窓口、市内獣医等で行った。 登録頭数 1,102頭、狂犬病予防注射件数 9,713件	4,237
犬猫去勢避妊手術費補助金	捨て犬・捨て猫の予防策として繁殖を制限する去勢避妊手術費の一部を補助した。(平成17年4月1日より一律3,000円補助に改正) 犬 雄 137頭、雌 164頭 猫 雄 301匹、雌 464匹	3,198
計		7,435

(目) 3 環境保全費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,177		3,764			24,413

○ 大気環境調査事業費 1,246

市内の大気環境を把握し、大気汚染防止対策の資料とするため、二酸化硫黄、二酸化窒素、ダイオキシン類の調査を実施した。

区 分	調 査 項 目	調 査 地 点	測 定 回 数	測 定 結 果
大気環境調査	二酸化硫黄	2地点	連続	昨年度と同様顕著な変化はなく、環境基準値以下。
	二酸化窒素	14地点	12か月	
	ダイオキシン類	1地点	1回/年	

○ 水質環境調査事業費 10,196

市内の公共用水域の水質状況を把握するため河川等水質、海域水質、河川底質、ダイオキシン類の調査を実施した。

区 分	調 査 項 目	調 査 地 点	測 定 回 数	測 定 結 果
河川環境調査	生活環境項目	35地点	21河川 35地点 1回～6回/年	河川環境調査、海域水質調査については、有害物質の超過なし。地下水調査、河川底質調査、ダイオキシン類調査についても、基準値以下。
	健康項目	11地点		
	要監視項目	3地点		
	農薬水質評価指針	3地点		
	その他項目	11地点		
地下水調査	生活環境項目	2地点	1回/年	
	健康項目			
海域水質調査	6項目	5地点	4回/年	
河川底質調査	5項目	9地点	1回/年	
ダイオキシン類調査	ダイオキシン類	3地点	1回/年	

○ 騒音・振動調査事業費 830

市内の環境騒音、交通振動を調査し、環境騒音・交通振動を把握した。

区 分	調 査 項 目	調 査 地 点	測 定 回 数	測 定 結 果
環境騒音調査	環境騒音	9地点	1回/年	環境基準値以下。
交通振動調査	交通振動	2地点		

施策の成果及び執行実績

○ 事業場調査事業費 3,906

公害防止協定締結事業所等の排水・排ガス・騒音・振動の調査を実施した。

区分	事業所数	測定方法
排水調査（事業所）	50事業所	公害防止協定締結事業所の監視、指導のため抜き打ちで実施。 調査の結果、有害物質の超過なし。
排水調査（ゴルフ場）	6事業所	
排ガス調査	10事業所	
悪臭調査	8か所	
想定外の調査	1事業所	
騒音調査	51事業所	
振動調査	51事業所	

○ 環境啓発活動事業費 929

環境に関する市民の意識と認識を高めるために啓発活動を実施した。

- ・街頭啓発（環境月間）
- ・健康フェスティバルでの啓発
- ・景観修景用原材料費等
- ・緑のカーテン事業

○ 環境マネジメントシステム運用事業費 1,665

環境に配慮した事務事業活動の確立を目指し、環境マネジメントシステム（ISO14001及びエコフィスアクションプログラムまつさか）の継続的な運用を図った。

○ 家庭用新エネルギー設備設置支援事業費 5,369

- ・家庭用新エネルギー設備設置費補助金 5,340
- ・家庭用新エネルギー設備設置事務費 29

地球環境への負荷の少ないクリーンエネルギーである住宅用太陽光発電システムの普及と、住民の環境に対する意識づけを目的として平成14年度から実施。

太陽光発電システム設置補助件数 47件

エコキュート設備設置補助件数 32件

エコウィル設備設置補助件数 0件

○ 生活排水対策推進協議会事業費 77

協議会2回開催

○ 環境保全審議会事業費 460

白猪山周辺に風力発電の建設計画があり、自然環境、生活環境に及ぼす影響が大きいため審議会を5回開催した。

○ 環境審議会事業費 198

審議会2回開催

○ 環境パートナーシップ会議事業費 1,116

パートナーシップ会議1回開催

○ マイバッグ持参運動事業費 608

松阪市と近隣5町では、地球温暖化防止の推進と循環型社会の構築を一層充実させる行動として、住民・住民団体・事業者・行政が連携して、マイバッグ持参運動及びレジ袋削減に取り組む目的で「もってこに！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会」を設置し、平成20年11月11日から13事業者68店舗で、レジ袋有料化をスタートした。

21年3月 レジ袋辞退率 91.0%

○ 各種団体等負担金 2

○ 環境保全一般経費 1,575



施策の成果及び執行実績

(目) 4 火葬場墓地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
79,086				50,018	29,068

○ 特殊勤務手当 162

○ 施設管理運営事業費 78,924

事業名	概要・成果	事業費
市営葬儀業務事業費	葬儀飾り付け、葬祭室貸出、霊柩車の配送、火葬、犬猫火葬を行った。 葬儀飾り付件数 250件 納棺 257件 葬祭室貸出 252件（室1：164件、室2：88件） 火葬 1,453件 犬猫火葬 犬 1,026件、猫 697件	28,853
篠田山火葬場管理事業費	篠田山霊苑内施設（管理棟、火葬棟、納骨堂、公衆便所）の維持管理経費	14,082
篠田山墓地管理事業費	篠田山霊苑の維持管理経費 霊苑看板製作、草刈業務、苑内維持管理業務等	5,394
嬉野斎場管理事業費	「ヒプノス嬉野」火葬、通夜・告別式場貸出、犬猫の火葬業務 火葬 181件、通夜109件、告別式109件 犬猫火葬 犬 243件、猫 185件	19,061
三雲火葬場管理事業費	火葬業務の運営および施設の維持管理 火葬 51件(大人51件、胎児0件)	4,210
飯南火葬場管理事業費	飯南火葬場「さくら坂飯南」の施設の維持管理及び火葬業務運営 火葬 66件 犬猫火葬 犬 38件、猫 2件	7,324
計		78,924

(目) 5 予防費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
409,834	9,938	8,998		344	390,554

○ 一般職員給 150,292

○ 食生活改善推進員支援事業費 355

「食」を通じた健康づくりの活動を主体的に行うとともに市や地域が行う健康づくり等の行事への参加協力により、市民の健康増進に寄与する松阪市食生活改善推進員の活動を支援した。

・会員数 210人 活動回数延 294回

・活動内容 生活習慣病予防や親子・高齢者等の健康料理教室の開催や健康づくり事業への参加協力等。

○ 献血推進協議会運営費補助金 322

松阪市献血推進協議会が行う献血活動への一層の理解・協力を求めるための啓発活動及びイベント献血・定期献血等の取組に対して補助した。

施策の成果及び執行実績

- ・献血者数 2,482人
- ・マーム定期献血 12回
- ・イベント献血(歯の健康まつり・健康フェスティバル等) 3回
- ・市内及び事業所献血 85回

○ 予防接種事業費 234,197

予防接種法に基づいて、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、疾病の予防に有効であることが確認されているワクチン接種を医療機関に委託実施し、公衆衛生の向上及び増進を図った。

- ・乳幼児、児童生徒：法律に決められた各種予防接種を行った。
- ・今年度から平成24年度までの5年間、予防接種制度の一部変更に伴う時限措置として実施した。
- ・65歳以上の高齢者及び60歳から65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器等の障害を有する者の健康の保持増進とインフルエンザの流行を防止するため、インフルエンザ予防接種を行った。

予 防 接 種 区 分		接 種 者 数	予 防 接 種 区 分		接 種 者 数
乳幼児（個別）			児童・生徒（個別）		
急性灰白髄炎（ポリオ）	1回目	1,392人	日本脳炎	小4及び未接種者	886人
	2回目	1,483人		二種混合	2期小6
日本脳炎	1期初回	2,627人	MR	3期	1,363人
	1期追加	1,200人		4期	1,416人
風しん	1期	1人	風しん	3期	0人
	2期	1人		4期	3人
麻しん	1期	1人	麻しん	3期	0人
	2期	1人		4期	1人
MR	1期	1,521人	高齢者等（個別）		
	2期	1,500人	インフルエンザ	60歳～64歳	41人
三種混合	1期初回	4,661人		65歳以上	23,764人
	1期追加	1,502人			
BCG	生後6ヶ月まで	1,516人			

○ 感染症予防事業費 151

- ・65歳以上の方に住民結核検診を行った。  
住民結核検診 受診者数 … 203人

○ 予防接種事故対策事業費 11,998

- ・MMR及び種痘接種により健康被害を受け、厚生労働省より障害年金等受給の認定を受けた方に医療費・医療手当・障害年金を支給した。

○ 結核(BCG)予防接種費補助金 57

医学的な事由でBCG定期接種（生後6か月以内）を受けることができなかった乳児の保護者に対し、任意接種に係る費用の一部又は全部の助成を行った。（8件）

○ 食生活改善推進協議会補助金 1,134

「食」を通じた健康づくりの活動を主体的に行うとともに市や地域が行う健康づくり等の行事への参加協力により、市民の健康増進に寄与する松阪市食生活改善推進協議会の活動を補助した。

- ・会員数 210人 活動回数延 294回
- ・活動内容 生活習慣病予防や親子・高齢者等の健康料理教室の開催や健康づくり事業への参加協力等。

○ 新型インフルエンザ対策事業費 9,201

新型インフルエンザの発生に備え、発生当初1ヶ月間の業務において、最低限の行政運営及び要援護者対応を可能にする為の備蓄品を購入した。

(マスク・グローブ・ゴーグル・防護服等)

施策の成果及び執行実績

- 各種団体等負担金 289
- 予防一般経費 1,838

(目) 6 母子保健費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
88,240		654		100	87,486

○ 母子保健事業費 76,026

- ・ 母子健康手帳の交付  
妊娠届け時等に交付した。 発行数 1,640件
- ・ 妊婦健康相談  
母子健康手帳交付時に実施した。 相談件数 16件
- ・ 妊婦一般健康診査  
母体の健康保持・増進のため、医療機関に委託して健康診査を実施した。  
健診項目  
前期・後期：問診及び診察、血圧測定、尿検査、血液検査、超音波検査  
2・3・4回：問診及び診察、血圧測定、尿検査、超音波検査  
受診者数 (前期) 受診者数 1,635人  
(2回) 受診者数 2,105人  
(3回) 受診者数 1,866人  
(4回) 受診者数 1,638人  
(後期) 受診者数 1,456人
- ・ パパママ教室  
妊娠中の夫婦を対象に、妊娠模擬体験・沐浴実習・抱っこ体験・おむつ交換等の実習や母乳・食事・歯科等の内容で、妊婦の健康管理と父親の育児参加を促した。  
開催回数 34回 受講者数 447人
- ・ 妊産婦訪問指導  
妊婦一般健康診査の結果等をもとに実施した。
- ・ 新生児訪問指導  
生後4か月未満児を対象に、産科医・助産師からの連絡票、第1子出産又は、保護者からの連絡により、家庭を訪問し、身体計測や育児指導、情報提供を行った。
- ・ 乳幼児訪問指導  
乳幼児健康診査の結果または電話相談等により、訪問指導が必要と思われる家庭を訪問し、保健指導を実施した。

	延べ人数
妊婦	10
産婦	814
新生児	774
《内訳》未熟児	77
新生児期	67
4か月未満	630
乳児	117
幼児	272
小学生以上	5
中学生以上	1
合計	1,993

※ 新生児：出生から生後4か月まで  
 新生児期：生後28日まで  
 乳 児：生後4か月以降

・ 乳児一般健康診査(4か月、10か月)

医療機関に委託し、専門医により乳児の発育・発達が順調であるかを確認するとともに、異常の早期発見・離乳指導及び育児生活指導・予防接種の指導を行った。

区 分	対象者数	受診者数	受診率	受 診 結 果	
				異常なし	要指導等
4か月児	1,548人	1,511人	97.6%	1,381人	130人
10か月児	1,571人	1,461人	93.0%	1,331人	130人
計	3,119人	2,972人	95.3%	2,712人	260人

施策の成果及び執行実績

・ ことばの相談

言語発達の面で経過観察・指導を必要とする幼児とその保護者を対象に、言語聴覚士による相談、指導を実施した。

実施回数 11回 相談者延人数 18人

・ 幼児相談

健康診査等で言語発達や精神発達、情緒面において経過観察を必要とする幼児とその保護者を対象に、心理判定員による相談指導と発達検査を実施した。

対象児	1歳6か月児健診事後	3歳児健診事後	その他
相談者延人数	56人	73人	209人

・ 健康教育

子どもの発達段階に応じた育児、健康な習慣の確立のため必要な知識や情報を提供し、保護者同士の交流の場を設けることで保護者自身の育児の力を持てるようにした。また、子どもたちに生涯を通じた豊かな「こころ」と「からだ」の健康づくりが子ども自身で実践できるような機会を提供し、子どもの健康が保持増進されることを目的に実施した。

区分	対象者等	開催回数	人数
モグモグ教室	4～6か月(飯南・飯高は、3～8か月)の乳児と保護者	14回	531人
子育て教室	乳幼児と保護者(地区市民センター等で実施)	30回	1,634人
各地区乳幼児健康教育	各地区市民センターで対象年齢に応じて実施	38回	1,269人
学童への健康教育	小中学生(依頼があった場合に実施)	15回	299人
その他	主任児童委員交流会	1回	18人
計		98回	3,751人

・ 歯科健康教育

乳幼児・学童期における正しいブラッシングの方法について学び、う蝕予防につなげるため児童・保護者を対象に実施した。

区分	対象者等	開催回数	人数
ピカピカ教室	2～3歳の幼児と保護者	10回	179人

・ 乳幼児健康相談

発育の状況確認や乳幼児の健康的な生活習慣を身につけられるよう育児全般にわたって健全な発育ができるよう保健指導を実施した。

実施会場 9会場 実施回数 126回

参加人数 866人 参加延人数 4,084人

・ 離乳食・幼児食相談

離乳食・幼児食・体重増加等について、管理栄養士により必要な支援及び助言を行った。

実施回数 12回 実施延人数 73人

・ こども歯みがき相談

歯科衛生士による口腔状態の確認と口腔清掃方法の個別指導、また、1歳6か月児健康診査の事後指導の場として実施した。

実施回数 12回 実施延人数 84人

・ 電話相談

母子の健康や育児に関する相談について、電話相談を実施した。

相談件数 447件

施策の成果及び執行実績

・ 子育てサークル支援事業

いきいきと楽しく地域に根ざした子育てができ、子育てを支えあえる力量を身につけ、また、子育てサークルが活動の幅を広げられることを目的に実施した。

- ・ サークルの必要に応じて市と協働で子育ての情報発信を行った。
- ・ 子育て交流会・勉強会へ参加した。
- ・ サークルからの依頼により、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が健康教育を行った。(おもちゃなど運営に必要な物品の借用も含む。)

支援サークル

本庁	松尾キッズ、みゅーじっくサークルスマイル、ひまわり、トロキッズクラブ、大石っ子クラブ、くれっしえんど、げんキッズ
嬉野	おはなしグループ「わたぼうし」、子育てサークル「バルーン」
飯南	絵本サークル「ぐりとぐら」
飯高	おひさまとうりぼう

支援内容

サークル訪問	6サークル	9回	150人
サークル来所相談	1サークル	3回	
物品の貸し出し	3サークル	9回	
サークルへの健康教育	1サークル	2回	48人
サークルへの交流会	6サークル	3回	65人

・ 母子保健行事

4月27日 松阪こどもまつり 中部台公園芝生広場

参加者 450人(子ども 300人 大人 150人)

10月18日 2008 いっしょに遊ぼう子育てフェスタ in 松阪

参加者 350人(子ども 250人 大人 100人)

\*子育てフェスタでは、子育てサークルの情報発信の場としても活用

○ 1歳6か月児健康診査事業費 5,313

・ 1歳6か月児健康診査

月年齢に応じた発達・発育の確認と異常の早期発見や相談、育児・生活に関する保健指導、予防接種の指導を実施した。(問診、身体計測、小児科・歯科健診、保健指導等)

年41回実施 対象者数 1,570人、受診者数 1,483人、受診率 94.5%

総合判定	異常なし	要指導・要経過観察等
小児科	1,274人	206人
歯科	879人	603人
精神面	1,054人	429人

・ コアラ教室(1歳6か月児・3歳児健診事後教室)

1歳6か月児・3歳児健康診査で、運動発達・社会言語発達の面で経過観察を要する幼児と保護者を対象に集団の場を提供し、遊びを通じて保護者が幼児への関わりを振り返り、家庭での実践に結びつけ、幼児の豊かな発達を促すことを目的に実施した。

区分	対象登録児数	参加延人数				実施回数
		児(男)	児(女)	兄弟	保護者	
小さい子クラス	64人	175人	34人	10人	196人	12回
大きい子クラス	32人	126人	49人	36人	169人	12回
計	96人	301人	83人	46人	365人	24回

施策の成果及び執行実績

○ 3歳児健康診査事業費 5,593

- ・ 幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児の全てに対して、医師・歯科医師等による総合的な健康診査を実施し、その結果に基づき適切な指導及び処置を実施した。また、同時に予防接種の指導を実施した。

健康診査 41回 二次スクリーニング 11回  
 対象者 1,573人 受診者数 1,486人 受診率 94.5%

総合判定	異常なし	要指導・要精密・要治療等
小児科	1,309人	172人
歯科	680人	804人
精神面	1,220人	266人
耳鼻科	1,421人	65人
眼科	1,378人	108人

精密検査結果

	対象者数	受診者数
身体面	9人	7人
眼科	10人	7人
耳鼻科	5人	1人
精神発達	73人	73人

○ 特定不妊治療費補助金 1,308

特定不妊治療を受けられた夫婦に対し、その費用の一部助成を行った。  
 補助件数 14件

(目) 7 健康増進事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
192,392		5,634		24	186,734

○ 新・健康まつさか21推進事業費 1,408

市の健康づくり計画である「新・健康まつさか21」に基づいて、市民に健康づくりを普及させていく取り組みを推進した。今年度は、「歩くことが楽しいまちづくり」をテーマに、運動の推進を中心とした取り組みを展開した。  
 また、市民主体の健康づくり活動を支援し、市民の生涯にわたる健康増進と健康なまちづくりを推進した。

- ・ 広報・ケーブルテレビ等を活用した健康情報の発信、ウォーキングイベントの企画などを通じて運動推進を図った。  
 市民参画の推進部会の開催 8回
- ・ 健康づくり推進協議会の開催 1回
- ・ 健康づくり虹倶楽部の活動支援 会員数 255人
- ・ 健康づくり嬉野Uの会へ委託し、健康づくりシンポジウムの開催や医師による健康講座の巡回、幼児への食育の推進や健康体操等の運動の推進が展開された。  
 会員数 39人

○ 地域健康づくり虹倶楽部補助金 731

- ・ 住民が主体となった健康づくりの輪を広げる活動を支援した。
- ・ 小学校区単位を一地区とした本庁管内7地区と嬉野管内の5地区、飯南管内1地区で地域の特性を生かしたウォーキングや健康体操などの運動の普及や食育事業など多彩な活動がふれあいやつながりを基盤に展開された。

健康づくり事業回数：54回 事業延参加人数：9,615人

管内	会名	管内	会名
本庁	大河内地区ささゆり会	嬉野	宇気郷地区健康づくり虹倶楽部
	東黒部地区ひまわり会		豊田地区健康づくり虹倶楽部
	大石地区いきいきクラブ		豊地地区せんだんの会
	茅広江地区やまばと会		中原地区健康づくり虹倶楽部
	西黒部地区はまぼうクラブ		中郷地区虹クラブたちおか
	徳和地区徳和ヘルシー17クラブ	飯南	飯南地区プリ茶club
	櫛田地区てい水はつらつクラブ		

施策の成果及び執行実績

○ 健康手帳交付事業費 66

希望者に健康診査、医療、血圧等の記録、その他の生活習慣病予防及び老後における健康保持のための必要な事項が記録できる健康手帳を交付した。

○ 健康教育事業費 5,154

- ・ 各地区健康教育、依頼教育等

各地区の実情や要望に応じ、各地区公民館・市民センター・集会所、団体からの依頼により健康教育を実施した。

実施回数	参加延人員	実 施 内 容
309回	8,640人	集団健康教育として、歯周疾患・骨粗鬆症・病態別(高血圧等)・薬・一般健康教育等を実施した。

- ・ 生活習慣病予防教室

メタボリックシンドロームの知識の普及と予防のため、運動編・食事編・運動編&食事編・歯周病予防編・親子クッキング編として教室を開催した。

地 域	内 容	実施回数	参加延人数
本庁管内	運動編	4回	39人
	食事編	2回	20人
	食事編&運動編	3回	21人
	歯周病予防編	2回	5人
	親子クッキング編	1回	6人
嬉野管内	運動編	1回	8人
	食事編	1回	6人
三雲管内	運動編	1回	6人
	食事編	1回	5人

- ・ こんにちは！スリムなわたし教室OB会（三雲）

「こんにちは！スリムなわたし教室」（18・19年度開催）の終了者が、メタボリックシンドロームの予防のため運動を中心に自主的に開催。

地域	実施回数	参加延人数
三雲管内	7回	26人

- ・ 骨粗鬆症予防健康教育

20歳～70歳までの女性を対象とした骨粗鬆症予防検診の中で、骨粗鬆症を予防するための健康教育を実施した。

実施回数	参加延人員	実 施 内 容
11回	463人	ミニ講座・検診結果説明

- ・ 主要行事

事 業	開催月	場 所	参加者数
歯の健康まつり2008 よい歯のコンクール	6月	松阪子ども支援研究センター ほか	1,500人
健康フェスティバル2008 第26回救急医療を考える集い	9月	市民文化会館 ほか	3,600人
松阪市三雲嬉野ふれあい健康 まつり	10月	ハートフル三雲保健福祉セン ター	400人
ふれあい健幸ウォーキングin 飯高	3月	飯高町	94人

○ 健康相談事業費 694

- ・ 各地区健康相談

各地区公民館、市民センター、集会所等で実施した。

実施回数	参加延人員	実施内容
357回	4,655人	血圧測定、尿検査、日常生活指導等

施策の成果及び執行実績

○ 健康診査事業費 183,885

・ 健康増進法健康診査

平成20年度より、医療制度を見直し生活習慣病の予防を積極的に進めるため、従来、各市町が行っていた「基本健康診査」は廃止となり、「特定健康診査」に変更されて各医療保険者が実施することになった。これにあたり、医療保険未加入者の健康診査は、「健康増進法健康診査」として各市町が実施することとなった。

受診結果

対象者数 1,346人、

受診者数 129人（医療機関委託 127人、集団 2人）

40歳～74歳 97人、75歳以上 32人

受診率 9.6%

40歳～74歳のメタボリックシンドローム判定

（75歳以上は腹囲測定がないため、判定できず）

判定区分	メタボリック基準該当	メタボリック予備軍該当	メタボリック非該当	合計	
人数	23人	19人	55人	97人	
割合	23.7%	19.6%	56.7%	100%	
保健指導対象	動機付け	3人	6人	—	9人
	積極的	6人	2人	—	8人
保健指導対象外	治療中	14人	11人	19人	44人
	—	—	—	36人	36人

保健指導

対象者のうち3人の希望があり、保健指導を実施した。

・ 肝炎ウイルス検診

早期の発見により、肝炎による健康障がい軽減し、進行を遅延させることを目的としてB型、C型肝炎ウイルス検診を実施した。

節目検診対象者数 1,248人、受診者数 31人（受診率 2.5%）

区 分	節目検診		節目外検診	
C型肝炎ウイルス	31人	100.0%	1,883人	100.0%
感染確率の高い者	0人	0.0%	17人	0.9%
感染確率の低い者	31人	100.0%	1,866人	99.1%
B型肝炎ウイルス	31人	100.0%	1,883人	100.0%
陽性	1人	3.2%	8人	0.4%
陰性	30人	96.8%	1,875人	99.6%

・ がん検診

区 分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がんマンモ	乳がんエコー	前立腺がん
対象者数	59,612人			38,421人	30,632人	16,813人	13,529人
受診者数	6,953人	11,486人	10,612人	2,586人	2,355人	1,140人	1,132人
医療機関	5,840人	9,990人	9,306人	1,747人	984人	—	959人
集団	1,113人	1,496人	1,306人	839人	1,371人	1,140人	173人
受診率	11.7%	19.3%	17.8%	11.9%	11.7%	6.8%	8.4%

※子宮がん、乳がんマンモ検診の受診率（がん検診指針により）

受診率 = (「前年度の受診者数」 + 「当該年度の受診者数」 - 「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」) ÷ 「当該年度の対象者数\*」 × 100

\*対象者数は年1回行うがん検診の場合と同様の考え方で算出する



施策の成果及び執行実績

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がんマンモ	乳がんエコー	前立腺がん
結果 異常なし	6,040人	9,940人	9,816人	2,215人	2,014人	980人	1,076人
経過観察	—	1,167人	—	230人	158人	110人	14人
念のため精検	739人	—	—	—	—	—	—
要精検(二次含む)	157人	369人	796人	16人	183人	50人	42人
至急要精検	5人	—	—	—	—	—	—
要医療	—	10人	—	125人	—	—	—
判定不能	12人	—	—	—	—	—	—

各がん追跡調査結果(がん発見率)

区分	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がんマンモ	乳がんエコー	前立腺がん
がん発見率	0.10%	0.03%	0.21%	0.12%	0.30%	0.18%	0.35%

- ・ 歯周病検診(医療機関委託)

対象者数	受診者数	受診率
69,576人	557人	0.8%

- ・ 骨粗鬆症予防検診

受診者数	結果内訳		
	正常	経過観察	要精検
495人	183人	299人	13人

- 訪問指導事業費 454

- ・ 療養上の保健指導が必要である方に対して訪問指導を行った。

訪問指導実人数 25人

訪問指導延件数 94件

保健師・管理栄養士による訪問内容(重複あり)	
生活習慣病予防・栄養運動指導	54件
家庭における療養方法	33件
家族介護者の健康管理	5件
その他	51件

(目) 8 保健センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
45,410				539	44,871

- 施設管理運営事業費 38,048

	需用費	役員費	委託料	使用料	その他	計
健康センター	3,600	648	1,936	218		6,402
嬉野保健センター	3,020	32	2,340	477	36	5,905
三雲保健福祉センター	877	255	18,492	30		19,654
飯高保健センター	1,834	229	1,251	29	2,744	6,087
計	9,331	1,164	24,019	754	2,780	38,048

- ・ 健康センター管理運営事業費 6,402

- ・ 嬉野保健センター管理運営事業費 5,905

市民活動室登録団体数 20団体

利用回数 104回、1回平均利用人数 10人

プレイルーム開放(親子のふれあい広場)

開催回数 47回、利用人数 1,845人

施策の成果及び執行実績

- 三雲保健福祉センター管理運営事業費 19,654

利用状況

区 分	人 数	区 分	人 数
一般浴室（男子）	5,064人	カラオケ	1,201人
一般浴室（女子）	5,534人	栄養指導室	772人
マッサージ機	4,484人	プレイルーム	620人
ヘルストロン	2,548人		
		合計	20,223人

- 飯高保健センター管理運営事業費 6,087
  - うち 賃金 2,414 賃金共済費 259 備品購入費 71
  - 開館日数 295日、利用件数 193件、利用延べ人数 3,609人
- 健康センター施設整備事業費 2,114
  - 健康センター空調設備改修工事
- 嬉野保健センター施設整備事業費 1,048
  - 保健センタープレイルーム床改修工事
- 三雲保健福祉センター施設整備事業費 4,200
  - 保健福祉センター棟屋上防水改修工事

(目) 9 歯科センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,447				1,606	3,841

- 歯科センター管理運営事業費 5,447
  - 休日の歯科急病に対し応急診療を実施した。

診療日数	患者人数	歯科医師	歯科衛生士	事務員
70日	209人	1人	1人	1人
		延 70人	延 70人	延 70人

(目) 10 休日夜間応急診療所費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
140,846		8,524		85,668	46,654

- 一般職員給 17,897
- 一次救急医療体制事業費 4,044
  - 救急医療体制の充実を図って、休日・夜間における一次救急医療を委託し実施した。
  - 〔委託先〕 松阪地区医師会
- 病院群輪番制病院運営費補助金 34,523
  - 休日・夜間における二次救急医療の実施に対し、補助金を交付した。
  - 松阪市民病院 119日（うち、休日17日、土曜日19日）
  - 松阪中央総合病院 199日（うち、休日30日、土曜日14日）
  - 済生会松阪総合病院 168日（うち、休日24日、土曜日17日）
- 救急医療を考える集い事業費 658
  - 広く市民に対し救急医療及び救急業務のあり方について啓発を行うとともに、応急手当及び治療の訓練と知識の普及を図った。
  - 開催日 平成20年9月14日（日）
  - 開催場所 市民文化会館 ほか
  - 入場者 3,600人
  - 内容 健康フェスティバル2008とともに開催。応急手当の啓発と訓練、交通事故防止、救急車両展示、濃煙・地震体験等の参加体験型の催しを実施した。

施策の成果及び執行実績

○ 小児救急輪番制運営事業補助金 12,786

小児救急医療の二次体制の実施に対し補助金の交付を行い、将来にわたり質の高い医療サービスの供給を図った。

松阪中央総合病院 486日（うち、休日71日、土曜日50日）

○ 休日夜間応急診療所管理運営事業費 68,516

休日・夜間における一次応急診療体制の確立を図った。

区分	診療日数	患者数			
		内科	小児科	外科	合計
休日診療	70日	2,619人	2,656人	74人	5,349人
夜間診療	365日	3,864人	1,690人	12人	5,566人
計	延 435日	6,483人	4,346人	86人	10,915人

区分	従事者数			
	医師	薬剤師	看護師	事務員
休日診療	2人 延 144人	1人 延 91人	2人 延 144人	2人 延 145人
夜間診療	1人 延 383人	1人 延 379人	1人 延 383人	2人 延 736人
計	3人 延 527人	2人 延 470人	3人 延 527人	4人 延 881人

- ・開業医と勤務医の意思の疎通を図るため、10月1日、2月9日に三病院連絡会議を開催した。
- ・応急診療所の業務・運営等の協議のため、12月17日に薬剤検討委員会、3月27日に運営協議会を開催した。
- ・臨時職員の資質向上と円滑な運営のため、12月18日に研修会を開催した。
- ・一次救急の充実を図って、需要が高い外科一次救急を、年末年始(12月31日から1月3日)の4日間試行的に実施した。

○ 各種団体等負担金 922

三重県及び松阪市の救急医療情報システムに加入し、市民に救急医療の的確な情報を提供した。

松阪地域救急医療情報システム連絡会負担金 5

三重県救急医療情報システム負担金 917

○ 薬剤師会事務協力費補助金 1,500

休日夜間応急診療所運営に伴う薬局業務等に対する薬剤師の派遣協力補助金を支出した。

(目) 11 診療所費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,491		693		22,676	6,122

○ 一般職員給 20,516

○ 飯高診療所事業費 2,310

過疎地域における医療不安の解消と地域住民の健康を守るため、指定管理制度により運営する宮前・森・波瀬・飯高歯科の各診療所管理経費を支出した。

施策の成果及び執行実績

○ 飯南眼科クリニック事業費 6,571

山村地区における住民の医療不安解消のため、公設公営により眼科診療を行った。

年間総患者数 4,652人、診療日数 234日、1日平均患者数 19.9人

○ 嬉野宇気郷診療所事業費 94

山村地区における住民の医療不安の解消と健康を守るため開設した、嬉野宇気郷診療所の管理経費を支出した。

(目) 12 水道費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
222,992		15,000	32,600		175,392

○ 水道事業会計繰出金 108,280 (市町村合併支援交付金 15,000)

内訳		金額	内訳		金額
石綿管更新事業		32,600	激変緩和対策		15,166
統合水道建設改良事業		58,494	児童手当		2,020
			計		108,280

○ 簡易水道事業特別会計繰出金 114,712

・ 朝見簡易水道事業分 1,188 (事務費)

・ 飯高簡易水道事業分 113,524 (公債費 76,013、事務費及び建設改良費 37,511)

(目) 13 病院費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
838,634					838,634

○ 松阪市民病院事業会計繰出金 838,634

内訳		金額	内訳		金額
救急医療に要する経費		64,572	追加費用の負担に要する経費		44,996
高度医療に要する経費		12,948	建設改良に要する経費		11,135
研究研修に要する経費		9,407	看護学校運営に要する経費		2,000
企業債の元利償還に要する経費		451,926	リハビリテーション医療に要する経費		19,735
医師確保に要する経費		140,720	医療電算システム経費		54,198
基礎年金拠出金に係る公的負担経費		24,199	児童手当		2,798
			計		838,634

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 清掃総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
711,274				894	710,380

○ 一般職員給 647,570

○ 施設管理事業費 61,579

第一・第二清掃工場・最終処分場は安全衛生法に基づき、産業医の委嘱、健康診断等を実施し、職員の健康管理に努めるとともに、安全衛生関係研修を受講し、職員の安全衛生意識の向上に努めた。また、法に基づく施設等の保守点検を実施し、維持管理を行った。最終処分場周辺に整備された上川町遊歩道公園においては、市民の憩いの場として親しまれ、維持管理を継続して行った。また、北部処理場跡地に整備された松ヶ崎公園グラウンドにおいては、運動公園として位置づけ、都市化による避難場所となる防災公園、多目的グラウンド、芝生広場、また、子供から大人まで健康、体力づくりができる遊歩道公園として維持管理を平成19年度より実施し、今年度も継続して行った。

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			委託料	賃金等	需用費	その他
第一清掃工場 管理事業費	清掃委託、草刈委託、産業医委嘱、消防設備点検等	28,789	6,875	17,229	2,391	2,294
第二清掃工場 管理事業費	清掃委託、エレベーター保守管理業務委託等	9,118	4,385	3,974	330	429
最終処分場管理 事業費	清掃委託、草刈委託等	6,160	3,598	1,973	292	297
上川町遊歩道 公園管理事業 費	清掃委託、草刈委託、芝生管理委託等	7,629	6,682		641	306
松ヶ崎公園管 理事業費	清掃委託、草刈委託、芝生管理委託等	9,883	6,492		2,005	1,386
計		61,579	28,032	23,176	5,659	4,712

○ 私の町うれしのを美しくする運動事業費 814

嬉野管内における市民総出のごみゼロ運動(平成20年6月1日実施)

区分	参加人数	種類	回収量
小学生以下	988人	燃えるごみ	6,290kg
中学生	266人	燃えないごみ	4,130kg
高校生以上	5,279人	計	10,420kg
計	6,533人	鉄くず(コンテナ)	4台

○ 汚染負荷量賦課金 1,196

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項の規定に基づく申告納付

○ 減債基金積立金 115

ダイオキシン対策及び資源循環型の施設整備費用に係る地方債償還のため、県補助金の減債基金への積立。

(内訳) 利子 115

施策の成果及び執行実績

(目) 2 塵芥処理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,337,863				126,925	1,210,938

○ 焼却施設整備事業費 207,099

新焼却施設稼働までの間の延命を図るため、既に耐用年数を越えた現焼却施設の延命化整備を行った。

事業名	事業内容	事業費
焼却施設整備事業費	ガス冷却設備等整備	64,050
	灰押出装置整備	56,700
	1号炉築炉設備等整備	11,550
	灰コンベヤ整備	27,231
	2号炉設備等整備	17,325 他

○ 塵芥収集関連事業費 144,851

事業名	事業内容	事業費
塵芥収集事業費	一般廃棄物収集運搬業務委託料(合特事業)	89,232
	車両維持管理	
	車検、点検、車両等修理、修理部品等経費	13,381
	燃料(軽油[88,2570]、ガソリン[1,1460]他)	11,910
	自動車自賠責保険料、重量税(22台)	1,663 他
塵芥収集車購入事業費	塵芥収集車 [2t]2台	8,080
	[3.5t]2台	12,080
	車両の老朽化に伴い、年次計画に基づき買い替えを行い、運行安全対策及び収集事業の円滑な遂行を図った。	
塵芥処理一般経費	工場周辺水質検査等 第一清掃工場周辺の水質検査等を実施し、周辺環境の保全に努めた。結果は基準値以内であった。	8,294
計		144,851

ごみ収集事業(燃えるごみ 週2回、燃えないごみ 月4~5回、資源物回収 月1回、自治会等の清掃活動によるごみの回収など)の実施、収集車両の日常点検や車検、法定点検等車両整備を実施し、安全走行、安全作業に努めた。また、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に基づき市の許可を受けた浄化槽清掃業者への支援を目的とした合理化事業を平成20年度より実施した。

ごみ収集量

区分	直営等	持込
燃えるごみ	29,473 t	13,202 t
燃えないごみ	3,292 t	461 t
直接埋立物	36 t	1,074 t
資源物10品目	1,539 t	296 t
計	34,340 t	15,033 t

○ 不燃物処理事業費 34,822

燃えないごみの適正処理処分を遂行した。破砕機の日常点検や保守点検を実施し、設備の磨耗等早期発見に努めるとともに、定期修繕を行い、処理施設の円滑な運営を図った。また、汚水処理施設の管理委託、排水等の水質検査を実施し、周辺環境の保全に努めた。結果は基準値以内であった。

施策の成果及び執行実績

区 分	事 業 内 容	事 業 費
破砕機関係	本体機械修理、修理部品代	18,043
	電気代	8,526
小 計		26,569
汚水処理関係 (松ヶ崎含む)	汚水処理施設運転委託料、維持管理費等	904
	水質検査及び土壌手数料	2,181
小 計		3,085
運搬車関係等	車検、点検修理、燃料費等	5,168
合 計		34,822

破砕工場処理量

区 分	処理量	処理内容
直営収集	3,292 t	破砕3,656 t (破砕鉄981 t、アルミ32 t、埋立1,668 t、砕可燃物 975 t)
持ち込み	461 t	
計	3,753 t	その他97 t (粗大鉄91 t、乾電池4 t、その他2 t)

○ 焼却事業費 327,425

区 分	事 業 内 容	事 業 費
焼却関係	焼却炉排出物分析手数料	3,765
	焼却施設運転維持管理業務委託料	157,500
	焼却施設運転維持管理消耗品、光熱水費等	156,171
小 計		317,436
施設管理	ごみ焼却処理施設精密機能検査委託料等	3,852
運搬車関係	車検、点検修理、燃料費等	6,137
合 計		327,425

焼却処理量

焼却施設の運転管理を委託し、業務を円滑に遂行した。排ガス中のダイオキシン類濃度、塩化水素濃度、窒素酸化物濃度等有害物質濃度については、国および地元協定値をすべて下回り、良好であった。また、ダイオキシン類に係る作業環境測定を実施したが、結果は第一管理区分で正常の範囲であり、引き続き適正管理に努めた。

区 分	処理量	稼働
直営等収集	29,473 t	365日 120.1t/日
持ち込み	13,202 t	
破砕可燃物	975 t	
嬉野・三雲可燃物	195 t	
計	43,845 t	

○ 最終処分場関連事業費 58,664

事 業 名	区 分	事 業 内 容	事 業 費
最終処分場事業費	浸出水処理関係	浸出水処理施設運転管理業務委託料	7,823
		水質検査手数料	4,680
		処理薬品等、設備修繕費、活性炭取替再生業務委託、高圧受電設備保守委託料	17,223
	運搬車関係	運搬車、重機の維持管理費	1,325
その他	運営経費、光熱水費、土壌検査手数料等	7,939	
小 計			38,990
最終処分場施設整備事業費	施設工事請負費	シート保護コンクリート、集水桝嵩上げ工事費等 (保護コンクリートA=1,820㎡、集水桝2他)	13,489
		小 計	13,489
最終処分場車輛購入事業費	車輛購入費	油圧ショベル代 (1台)	6,185
		小 計	6,185
合 計			58,664

施策の成果及び執行実績

最終処分場は管理型の処分場として浸出水処理施設運転管理委託や浸出水の水質検査を実施し、継続的な水質の監視ならびに保全に努め、ごみの適正処理、処分場の適正運営に努めた。また、周辺環境調査の一環として最終処分場周辺の土壌分析検査を実施した。結果は基準値以内であった。

埋立処分量

区 分	処理量
焼却灰	5,164 t
破碎埋立物	1,909 t
直接埋立物	1,126 t
計	8,199 t

○ 嬉野地区ごみ処理事業費 216,024

一般廃棄物の回収処理事業（燃やせるごみ週2回、燃やせないごみ月2～3回、資源ごみ月1回、但し、容器包装プラスチックは、月3～4回）を実施した。なお、有価資源物については市指定の業者に搬入した。

区 分	事 業 内 容	事業費
収集運搬委託・不法投棄物の処理	一般廃棄物収集運搬委託・不法投棄物の処理費	74,203
可燃ごみ処理委託	津市クリーンセンターおたかへの委託料	141,219
その他	ごみカレンダー作成費（9,000部）ほか	602
計		216,024

ごみ量実績

区 分	処理量
燃えるごみ	4,425t
燃えないごみ	390t
直接埋立物	10t
資源物11品目	325t
合 計	5,150t

○ 三雲地区ごみ処理事業費 114,383

可燃ごみ及び不燃・資源ごみについて、適正に収集運搬処理を行った。また、ごみカレンダーを全戸に配布することによって、ごみの排出及び分別の意識高揚を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
可燃ごみ	収集運搬委託	14,994
	津市クリーンセンターおたかへの委託料	94,869
不燃・資源ごみ	収集運搬委託	4,032
ごみカレンダー	6,000部作成	447
家電リサイクル手数料		41
計		114,383

ごみ量実績

区 分	処理量
燃えるごみ	4,377t
燃えないごみ	130t
直接埋立物	6t
資源物15品目	309t
合 計	4,822t

○ 飯南地区ごみ処理事業費 1,781

管内から発生するごみを適正に処理し、不法投棄ごみを処理（5,380kg）することにより、環境美化に寄与した。

区 分	事 業 内 容	事業費
不法投棄	不法投棄ごみ処理関係（委託料、回収作業用消耗品費等）	1,020
管内一斉清掃	夏季道路清掃廃棄物処理委託、重機、汚泥仮置場土地借上、足場組立手数料等	761
計		1,781

ごみ量実績

燃えるごみ	1,074t
燃えないごみ	112t
直接埋立物	0t
資源物6品目	66t
有害ごみ（電池、蛍光管）	4t
合 計	1,256t



施策の成果及び執行実績

○ 飯高地区ごみ処理事業費 468

管内から発生するごみを適正に処理し、不法投棄ごみを処理することにより、環境美化に寄与した。また、飯高管内で実施される自治会、ボランティア団体等による清掃活動に、ごみ袋等を配布し、老人クラブ連合会、櫛田川上流漁業協同組合、森を考える会等の団体によるごみゼロ清掃活動を実施した。(参加人員延べ774人)

不法投棄ごみ処理量 1,920kg、不法投棄防止用看板設置10箇所

区分	事業内容	事業費
委託料	廃棄物(不法投棄)処理委託料	343
消耗品費	不法投棄防止看板代等	125
計		468

ごみ量実績

区分	処理量
燃えるごみ	871t
燃えないごみ	90t
直接埋立物	0t
資源物6品目	63t
有害ごみ (電池、蛍光管)	3t
合計	1,027t

○ 廃棄物集積所設置補助金 2,619

ごみ集積所・資源物集積所を建設する自治会に対し補助を行い、地区の美観及び衛生面の向上を図った。総工事費の1/2補助、最高限度額100,000円

区域別	件数	事業費	市補助金
本庁管内	23件	6,819	2,188
嬉野地域振興局管内	4件	1,755	399
三雲地域振興局管内	1件	63	32
合計	28件	8,637	2,619

○ 香肌奥伊勢資源化広域連合分担金 228,527

資源循環型社会を目指し、多気町、大紀町、大台町と飯南、飯高地区によりごみ処理施設を建設し、共同処理を行う広域連合への分担金

地域振興局	分担金	分担金内訳			
		普通建設	公債費	人件費	物件費等
飯南	121,244	0	42,461	18,080	60,703
飯高	107,283	0	40,072	15,413	51,798
計	228,527	0	82,533	33,493	112,501

○ 三重県中央卸売市場協力会運営補助金 1,200

県施設である中央卸売市場から排出されるごみを減量化・再資源化する費用を補助することにより、環境負荷を軽減した。

(目) 3 省資源再資源化事業費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
84,422				60,724	23,698

○ リサイクル事業費 48,426

家庭における資源物保管にかかる負担の軽減及び資源物持込の機会を増やすため、平成15年4月から第一清掃工場で、平成18年4月から第二清掃工場で、毎週日曜日に資源物9品目と空びんの持込受付を実施した。また、リサイクルの基本である分別排出、分別回収を徹底しリサイクル意識の向上を図り、選別による品質基準の保持に努めるよう再商品化等の処理の推進を図った。

施策の成果及び執行実績

区 分	事 業 内 容	事 業 費
再資源化事業	資源物再商品化委託	1,134
	資源物選別作業等委託	33,439
	乾電池等運搬処理委託	1,048
	小 計	35,621
運搬車関係	回収車、重機の燃料及び維持管理費	7,336
施設管理等	機械設備等修理、保守点検費、消耗品	5,469
	合 計	48,426

直 接 資 源 化 量				ごみからの資源化量	
種 類	資源化量	種 類	資源化量	種 類	資源化量
新聞紙	316 t	プラスチック容器袋	329 t	鉄	1,211 t
雑誌雑紙	353 t	白色トレイ	14 t	破砕アルミ	37 t
段ボール	154 t	アルミ缶	21 t	乾電池	10 t
古着	103 t	空ビン	700 t	その他	2 t
牛乳パック	4 t				
ペットボトル	160 t	小計 ①	2,154 t	小計 ②	1,260 t
				合計①+②	3,414 t

○ 嬉野地区リサイクル事業費 1,780

嬉野管内1か所に大型生ごみ処理機を1台設置し、生ごみを堆肥化することにより、ごみ減量とリサイクルを図った。約6.8tの生ごみを処理し、堆肥化した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
生ごみ回収	生ごみ回収業務委託	198
施設管理等	光熱水費	802
	機械保守点検業務委託	398
	修繕料（脱臭装置交換）	382
	小 計	1,582
	合 計	1,780

○ 三雲地区リサイクル事業費 11,841

三雲リサイクルセンターの適正な運営管理により、21品目の分別収集を実施し、再資源化の促進を図った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
再資源化事業	乾電池等運搬処理委託	593
	資源物選別作業委託	9,418
	小 計	10,011
施設管理等	リサイクルセンター運営管理（保守点検修理、消耗品、光熱水費、燃料費）	1,830
	合 計	11,841

・資源化量

種 類	資源化量	種 類	資源化量
新聞紙	81 t	プラスチック容器袋	33 t
雑誌雑紙	48 t	白色トレイ	1 t
段ボール	29 t	アルミ缶	1 t
古着	15 t	スチール缶	19 t
牛乳パック	2 t	乾電池・蛍光灯	6 t
ペットボトル	18 t	空ビン	56 t
		合計	309 t

施策の成果及び執行実績

○ 飯南地区リサイクル事業費 247

飯南管内における家庭用生ごみ堆肥化のための材料(米糠・プラスチックケース等)を購入した。87戸が実践し、約22tの生ごみを処理し堆肥化した。

○ 飯高地区リサイクル事業費 3,873

飯高管内5か所にある大型生ごみ処理機6台の運営管理経費。一般廃棄物可燃ごみのうち、重量の大きい生ごみを地域内で一次処理し、ごみ処理費用の軽減を図るとともに、そこから生産される堆肥を、地域の農作物、花植え活動に使用し、資源の循環を促進した。約29tの生ごみを処理し堆肥化した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
生ごみ回収・堆肥化	生ごみ回収業務委託(3地区)	1,314
	生ごみ堆肥化業務委託(二次生成)	445
	小 計	1,759
施設管理等	光熱水費、消耗品、修繕料	1,838
	機械保守点検業務委託	126
	生ごみ処理機周辺除草業務委託	150
	小 計	2,114
合 計		3,873

○ ごみ減量対策事業費 1,602

生ごみ堆肥化容器の無償貸与事業として61個を貸与し、生ごみの減量化に努めた。また、市内小中学校において、ごみ減量・リサイクルを推進することを目的として標語・ポスターを募集したほか、市広報、リーフレット等への掲載や自治会等団体への出前講座を実施するなど、ごみ減量化・リサイクルの啓発に努めた。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
再資源化事業	生ごみ堆肥化容器購入費	549
啓発	ごみ日割表 55,000部	379
	小学生用ごみ減量小冊子 2,500冊	228
	標語・ポスター募集	39
	啓発用消耗品費	407
小 計		1,053
合 計		1,602

○ 生ごみ処理機購入補助金 1,342

地 域	交付先	交付者数	事 業 費	市補助金	成 果
本 庁	購入対象者 70人 (購入費の1/3補助、最高限度額 30,000円)	40人	2,408	755	生ごみ処理機購入に対する補助を実施することで、家庭の生ごみを肥料として利用いただき、ごみの排出抑制とごみ減量化の推進に努めた。
嬉 野		20人	1,189	396	
三 雲		6人	333	106	
飯 南		2人	129	43	
飯 高		2人	125	42	
計		70人	4,184	1,342	

○ 資源物集団回収活動補助金 14,810

資源物の集団回収活動を行った団体に対して補助金を交付することにより、ごみ減量化と資源化を促進し、活動を通じてリサイクル意識の向上を図った。また、飯南・飯高管内においては、香肌奥伊勢資源化広域連合への負担金(RDF処理)の軽減を図った。4月より本庁管内開始。  
補助金の額 (4月～3月) 古紙類・布類：3円/kg、ビン類：3円/本。

施策の成果及び執行実績

事業名		資源物集 団回収活 動補助金 (本庁)	資源物集 団回収活 動補助金 (嬉野)	資源物集 団回収活 動補助金 (三雲)	資源物集 団回収活 動補助金 (飯南)	資源物集 団回収活 動補助金 (飯高)	合計
回収 実績	新聞	1,739,190kg	556,710kg	231,040kg	122,400kg	107,970kg	2,757,310kg
	雑誌雑紙	787,790kg	226,660kg	84,860kg	68,210kg	67,450kg	1,234,970kg
	段ボール	432,166kg	166,690kg	59,710kg	55,860kg	88,260kg	802,686kg
	古着	85,557kg	16,053kg	8,430kg	440kg	0kg	110,480kg
	牛乳パック	11,531kg	393kg	10kg	990kg	569kg	13,493kg
	計	3,056,234kg	966,506kg	384,050kg	247,900kg	264,249kg	4,918,939kg
交付 先	ビン類	3,367本	2,014本	16本	9,748本	2,638本	17,783本
	自治会	166団体	47団体	1団体	0団体	0団体	214団体
	こども会	17団体	10団体	26団体	0団体	0団体	53団体
	P T A	6団体	7団体	0団体	5団体	1団体	19団体
	その他団体	10団体	6団体	3団体	1団体	1団体	21団体
計	199団体	70団体	30団体	6団体	2団体	307団体	
市補助金(千円)		9,179	2,905	1,152	773	801	14,810

- 省資源再資源化一般経費 501  
事務経費、連絡車維持経費

(目) 4 ごみ処理施設建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,728		2,242			7,486

- リサイクルセンター建設事業費 6,728

循環型社会形成推進交付金を受けて、第一清掃工場に設置予定のリサイクルセンターに係る実施設計図書の作成と実施設計に必要な地質調査を行なった。

- ・ボーリング調査 50m×1本

区分	業務内容	事業費
委託	リサイクルセンター実施設計業務委託	5,229
委託	地質調査(ボーリング調査 50m×1本)	1,499
	合計	6,728

- ごみ処理基盤施設建設事業費 3,000

可燃・不燃ごみ処理施設の老朽化等に対応した施設建設計画について、事業期間を平成20年度から平成21年度とした「ごみ処理基盤施設建設基本計画等策定業務委託」の契約を行なう等、本事業に着手した。平成20年度は資料収集・整理を行なった。

(目) 5 し尿処理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
522,001				1,780	520,221

施策の成果及び執行実績

○ 衛生事業費 9,827

事業名	概要・成果	事業費
し尿業者許可事業費	し尿収集運搬業及び浄化槽清掃業の許可13業者の更新手続き（2年に1度）	225
し尿転送業務負担金	飯南・飯高地区にかかる処理し尿の大型車への積換え、運送業務への負担金として補助することにより、し尿汲み取り料金の抑制につながっている。	7,480
一般廃棄物処理基本計画策定事業費	市が、長期的・総合的視点に立ち、計画的に生活排水処理を行うことによる、し尿等の安定的な処理を目的とし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1号」の規定に基づき、新市の生活排水処理基本計画を策定した。  (成果) 基本計画の策定（印刷部数 200部）	2,122
計		9,827

○ 衛生施設運営事業費 512,174

事業名	概要・成果	事業費
嬉野地区し尿処理事業費	嬉野地区し尿処理に要する津市クリーンセンターくもずへのし尿処理委託料。  (成果) し尿 2,285k1 浄化槽汚泥 1,930k1 を処理。	84,985
松阪地区広域衛生組合分担金	松阪地区広域衛生組合分担金への分担金支出 通常経費 226,071、施設建設経費 201,118  (成果) 松阪地区広域衛生組合の健全な運営	427,189
計		512,174

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 労働諸費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
73,997				15,000	58,997

○ 一般職員給 16,122

○ 各種補助金 42,735

事業名	交付先	事業費	市補助金	成 果
勤労者総合福祉推進事業費補助金	(財)松阪市勤労者サービスセンター	249,666	29,000	勤労者に福利共済事業を実施することにより、勤労者の福利厚生面の向上を図った。
勤労青少年激励大会補助金	松阪商工会議所内新しい仲間を励ますつどい	475	220	新社会人の就職後の職場定着や勤労意欲の更なる向上に努めた。
松阪多気地区労働者福祉協議会補助金	松阪多気地区労働者福祉協議会	6,108	516	労働者の自主福祉と組合員相互の連携を図るための福祉事業の推進を図った。
労働者連帯活動補助金	連合三重松阪多気地域協議会	6,817	1,599	勤労者ゆとりフェスティバルや列島クリーンキャンペーンなどを実施し、勤労者福祉の推進や地域社会との連帯意識の向上を図った。
高齢者労働能力活用事業費補助金	(社)松阪市シルバー人材センター	41,463	11,400	高齢者の知識・経験・希望に添った就業の機会を確保し、生活の充実、福祉の増進を図った。
計		304,529	42,735	

○ 各種貸付金 15,000

事業名	貸付先	金額	事業内容
勤労者持家促進資金貸付金	東海労働金庫 松阪支店	10,000	勤労者の生活向上と住宅事情の緩和を図るため、東海労働金庫松阪支店に資金を貸し付けた。
勤労者教育資金貸付金	東海労働金庫 松阪支店	5,000	勤労者の教育資金の経費負担を緩和するため、東海労働金庫松阪支店に資金を貸し付けた。
計		15,000	

○ 高齢者職業相談室事業費 140

労働会館において、高齢者の職業相談、職業紹介に努めた。(求職相談者数 4,593人 職業紹介者数 513人 就職者数 128人)

## (目) 2 ワークセンター松阪費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64,354				7,229	57,125

○ 一般職員給 31,818

○ ワークセンター松阪管理運営事業費 32,459

※ 利用状況 (開館日数 308日)

施策の成果及び執行実績

区 分	利用件数	利用者数
勤労者総合福祉センター	1,136件	78,886人
労働会館	336件	8,459人
勤労青少年ホーム	577件	10,495人
勤労者体育施設テニスコート	1,526件	12,754人
勤労者体育施設多目的グラウンド	390件	20,732人
計	3,965件	131,326人

フリーレッスンとして、「カーディオキック」、「ヒップホップ」、「やさしいヨガ」の3レッスンを開講した。

気軽に参加できるフィットネスとして好評を得た。延利用者数4,149人（上記に含む）

- ・ ワークセンター松阪事業及び勤労青少年ホーム事業委託料 8,385

区 分	実施回数	受講者数
ワークセンター松阪事業	673回	13,755人
定期講座	623回	12,077人
短期講座	40回	911人
一日体験講座	6回	75人
利用者交流事業	2回	204人
研修事業、その他の事業	2回	488人
勤労青少年ホーム事業	686回	10,041人
定期講座	663回	8,980人
短期講座	10回	227人
利用者交流事業	3回	260人
その他の事業	10回	574人
計	1,359回	23,796人

- ・ ワークセンターフェスティバル開催事業 1,011

平成20年10月19日、ワークセンター松阪・勤労青少年ホームの各講座の作品展示・発表、実行委員会主催の模擬店等、20種の事業を実施し、当日は8,000人の来場者があった。

- ワークセンター松阪運営委員会事業費 63  
ワークセンター松阪運営委員会報酬（14人、1回開催）
- 各種団体等負担金 14

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 農業委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
82,625		8,385		827	73,413

- 一般職員給 60,940
- 農業委員会委員報酬 11,957  
会長 1人、会長職務代理 1人、農地部会長・農政部会長 2人、委員 43人
- 農業委員会会長交際費 3
- 農業者年金事務委託事業費 827  
農業者年金関係諸届の受付・処理・農業者年金基金への送付業務、被保険者や受給権者からの相談業務を行い、年金の適正な受給により農業者の老後の生活安定に努めた。  
経営移譲年金受給者 645人、老齢年金受給者 215人、被保険者 28人、待期者 68人
- 農業委員会活動事業費 6,356

総会・農地部会・農政部会・運営委員会等の開催、農業委員会だよりの発行、先進地視察研修の実施等を通じ、農業委員会業務の円滑・適正な運営を図るとともに、農業振興に関する啓蒙と委員及び職員の資質向上を図った。

## ・ 農地法関係 (許可、受理等) 事務

区 分		件数	面 積
農地法第3条	賃貸借権設定	5件	11,245 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
	使用貸借権設定	53件	447,737 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
	交換	20件	16,709 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
	贈与	32件	80,985 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
	所有権移転	108件	128,520 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
農地法第4条	受理	27件	18,029 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
	許可	51件	43,822 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
農地法第5条	受理	78件	70,807 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
	許可	157件	250,768 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
農地法第20条第6項(合意解約)		128件	279,572 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
農地法第25条第2項(契約変更)		15件	129,352 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
非農地証明		52件	80,060 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
競売等買受適格者証明		8件	2,148 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
計		734件	1,559,754 <sup>m</sup> <sup>2</sup>

- 農地調整事務処理事業費 41  
農業生産法人の要件適合性確保のために必要な調査等を行った。  
調査対象農業生産法人数 14法人
- 国有農地等管理事業費 65  
旧自作農創設特別措置法及び農地法により国が取得した自作農財産(国有農地等及び開拓財産)について、県が行う売渡し・売払い等の処分に関する事務の補助、測量及び境界確定の事務補助を行った。また、国有財産整理簿の整備等を行い、適正な維持管理に努めた。
- 農地流動化地域総合推進事業費 988  
農業経営の規模拡大を望む農家(受け手)と高齢化等による労働力不足で農業経営を縮小する農家(出し手)とを結びつけ、農地のあっせんによる売買と利用権設定(貸し借り)を促進し、農地の流動化を図り、担い手農家等への農地利用集積を進めた。

区 分	出し手	受け手	筆数	面 積
所有権移転	12戸	11戸	24筆	27,794 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
利用権設定	915戸	481戸	2,535筆	3,833,771 <sup>m</sup> <sup>2</sup>

- 各種団体等負担金 1,448  
三重県農業会議負担金 1,439、三重農林水産統計協会賛助会員費 9



施策の成果及び執行実績

(目) 2 農業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
381,066				19	381,047

- 一般職員給 379,837
- 各種団体等負担金 9
- 農業総務一般経費 1,220
  - ・ 旅費 156
  - ・ 消耗品費（コピーカウント料ほか） 858
  - ・ プリンター借上料 144
  - ・ その他事務費 62

(目) 3 農業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
234,410		131,416			102,994

○ 農業振興事業補助金 161,536

事業名	事業主体	事業量	市補助金	成 果
農業後継者対策事業補助金	松阪市農村青少年協議会	交流会、研修会等の開催	200	松阪市農村青少年協議会（会員18人）の視察研修、小学校の農業教育等の活動を通じて後継者間の連帯感が深まり、今後の地域農業の担い手育成が図れた。
特産振興事業補助金	松阪農協一志東部農協	松阪農協（限度額）2,430 一志東部農協（限度額）270	2,700	松阪農協（松阪赤菜他6品目）、一志東部農協（嬉野大根他3品目）の振興作物を対象に生産組織の育成を通じて、生産者相互の意識の向上と経営の安定が図れた。
茶防霜施設設置補助金	茶農家等	申請件数 4件 ファン設置数 13基 対象茶園面積 98a	700	防霜ファン設置により地域特産の「茶」の降霜被害を未然に防止し、生産の安定と品質向上が図れた。
茶業組合補助金	松阪市茶業組合	栽培研修等の開催	40	松阪市茶業組合（組合員数22名）の活動を通じて、地域農家が生産する「伊勢茶」の栽培意欲の増進及び品質向上が図れた。
茶品評会対策補助金	松阪市茶業組合	出品数 全国 25点 関西 53点	500	地域特産の「伊勢茶（深蒸し煎茶）」の銘柄確立のため、全国、関西、伊勢茶品評会への出展を促進し、個人の部の上位入賞と松阪市が産地賞を受賞するなどの評価が得られた。
茶加工施設整備事業補助金	茶来まっさか(株)	製茶プラントFA200Kライン導入	155,880	製品品質の向上と作業力の負担軽減を図った。
農山漁村再生モデル支援事業補助金	紅工房	地域資源（農作物）の加工施設整備78㎡他	1,516	農山漁村の魅力や地域資源を活用した都市との交流・共生を通じ、農山漁村を再生することを目的とする創意工夫を活かした先進的又はモデル的な取り組みに対する支援を行った。
計			161,536	

- 松阪飯多農業共済事務組合負担金 72,186
  - ・ 松阪飯多農業共済事務組合の運営に係る経費の応分の負担を行った。  
均等割10% 2,875、農家戸数割30% 21,977、規模点数割60% 47,334

施策の成果及び執行実績

- 各種団体等負担金 380
  - 松阪地域農業振興協議会（松阪市他3町、関係3農協で構成）分担金 220
  - 全国農業担い手サミットinみえ開催負担金 130
  - 全国棚田（千枚田）連絡協議会（飯南管内深野地区）会費 30
- 農業振興一般経費 308
  - ・ 松阪農協管内のなし、ストック品評会において市長賞を授与することにより、生産意欲の増進に寄与できた。
  - ・ 関西茶業振興大会（高知県）への関係職員の派遣を行った。
  - ・ 農業振興地域整備計画事務
    - 整備計画に基づく優良農地の適正管理を行った。（緊急変更 2回・除外 49件・編入2件、軽微変更 4回・用途変更 9件）

(目) 4 畜産振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,961					37,961

○ 畜産振興補助金及び負担金 36,651

区 分	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
松阪肉牛協会補助金	松阪肉牛協会	枝肉共進会開催 出品頭数35頭	1,207	350	松阪肉牛の振興と品質の向上及びその名声保持等を図った。
松阪肉牛広域生産奨励事業補助金	松阪肉牛共進会	対象頭数 49頭	3,920	3,920	松阪肉牛の生産奨励助成を行うことにより、松阪肉牛の名声保持を図った。（1頭あたり補助額 8万円）
特産松阪牛安定出荷促進事業補助金	(株)三重県松阪食肉公社	対象頭数 30頭	2,400	2,400	ITを活用し肉質の情報を提供することで特産松阪牛の安定供給を行い、生産振興を図った。
松阪牛協議会補助金	松阪牛協議会	技術研修会の開催、個体識別システムの利用促進等	1,324	100	松阪牛振興の基本的方向性や松阪牛個体識別管理システムの運用などを協議し、松阪牛の安全安心の情報発信を行った。
松阪食肉公社食の安全安心対策支援事業負担金	(株)三重県松阪食肉公社	衛生管理向上への施設改善等	65,000	19,631	松阪食肉公社の衛生管理向上に向けた施設改善や公社の安定経営のための経営改善を行った。
松阪肉牛共進会開催負担金	松阪肉牛共進会	来場者 約9,000人	6,700	6,700	松阪肉牛共進会を農業公園ベルファームにおいて開催し、特産松阪牛を広くPRするとともに生産技術の向上及び市内の農林水産物の振興を図った。
特産松阪牛推進事業補助金	松阪農業協同組合	対象戸数19戸 対象頭数71頭	3,550	3,550	特産松阪牛の長期肥育によるコスト負担を軽減し、国産稲わらを使用するなどで耕畜連携を推進などによって特産松阪牛の振興を図った。
計			84,101	36,651	

施策の成果及び執行実績

- 松阪牛PR推進事業費 1,200
  - ・市内の大手スーパーにおいて松阪牛個体識別管理システムのPRイベントの開催及び松阪牛かわら版を発行し、安全安心な取組などの情報発信を行った。  
委託先：松阪牛協議会
- 各種団体等負担金 42
  - ・9市町、6農協、5団体による構成で、松阪肉牛の質及び生産技術の向上並びに宣伝、流通の合理化を図った。  
交付先：松阪肉牛共進会
- 畜産振興一般経費 68

(目) 5 水田農業構造改革対策費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
65,100		2,065		17	63,018

- 新たな需給調整システム確立推進事業費 11,585
  - ・松阪地域水田農業推進協議会他4協議会が実施する米の生産目標数量配分及び産地づくり対策（生産調整）を計画的かつ円滑に実施するための指導、調整、配分及び確認等電算処理事務を各協議会毎に実施した。

米の生産目標達成状況

本庁管内	三雲管内	嬉野管内	飯南管内	飯高管内
110.8%	99.8%	98.9%	86.8%	83.5%

- 水田農業支援対策事業補助金 53,515
  - ・米の需給均衡を図るため、米の生産と生産調整が計画的かつ継続的に実施され、もって生産調整の実効を確保し、作物の生産振興と担い手育成を促進するための支援を行った。
  - ・協議会別補助の内容

協 議 会 名	助 成 内 容	対象面積	補助金
松阪地域水田農業推進協議会	小麦・大豆種子助成、転作超過達成	1,514.7ha	20,150
三雲地域水田農業推進協議会	集団麦作・生産調整推進助成	275.3ha	14,180
嬉野地域水田農業推進協議会	作物作付助成、高度利用助成	509.0ha	18,390
飯南地域水田農業推進協議会	作物作付・自己保全管理助成	4.5ha	488
飯高地域水田農業推進協議会	作物作付助成	2.0ha	307
計		2,305.5ha	53,515

(目) 6 地域農政推進活動費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,202		8,566			4,636

- 農地面的集積支援モデル事業費補助金 6,044
  - ・集落内で農地集積に対する合意形成や農地所有者への働きかけを行い、期間6年以上の利用権設定などにより、農地を面的にまとまった形で集積し、農地を効率的に利用する藤之木地区のモデル的な取組みに対し支援を行なった。
- 農業経営基盤強化促進事業費 211
  - ・農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に掲げる経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体（認定農業者）を育成するため、経営改善計画認定制度の普及、啓発及び対象者の掘り起こしと認定に向けた指導を実施した。

施策の成果及び執行実績

- ・ 集落営農組織の育成、支援を行い、地域農業の振興を図った。  
新規認定農業者数 9件、再認定（更新） 6件、20年度末認定件数 149件、  
集落営農組織数 29組織

○ 中山間地域等直接支払事業交付金 3,217

本庁、嬉野、飯南管内の中山間地域等における耕作放棄地の発生防止、農地等の多面的機能の確保のため、「直接支払制度」事業に取り組む関係地区の農業者への指導推進及び交付事務を実施し、地域の農業生産活動の継続を図った。

管内別	取り組み地区名			対象面積	交付額
本庁管内	広瀬	与原		8.9ha	1,498
嬉野管内	合ヶ野	矢下	滝之川	6.7ha	1,130
飯南管内	夏明			3.5ha	589
合計	6地区			19.1ha	3,217

○ 集落営農組織施設整備支援事業補助金 1,500

飯高町七日市の地域グループが、地元農産物の販売活動（朝市）を行う拠点として、産地直売所の施設整備を実施し、山間地域の活性化に向けた体制を整備した。

直売所新設（屋根・外壁・内装・電気・給排水・建具・基礎工事 各一式）

○ 農業経営基盤強化資金等利子補給促進事業補助金 2,230

効率的かつ安定的な農業経営体（認定農業者）の育成支援として、経営規模拡大や生産性を高めるため効率化を図ろうとする農業者に対し、農業経営基盤強化資金等の制度資金借入者に利子補給を実施し、経営改善の支援を行った。

農業経営基盤強化資金利子補給件数 13件

農業近代化資金利子補給件数 55件

(目) 7 農業施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
113,495				1,776	111,719

○ ベルファーム施設管理事業費 81,201

指定管理者制度により、「株式会社松阪協働ファーム」に委託した。

「地産地消」「スローフード」をテーマに、「食育」「緑育」「健育」の場を提供し、地域産業の支援及び季節や自然を身近で感じ取れる施設として定着を図った。

委託料80,000、ガラスハウス壁部曲面ガラス割替修繕料682

警報盤取替え修繕料120、技の工房エアコン修繕料399

※利用状況 計599,967人

月	人数	月	人数	月	人数
4月	58,011人	8月	48,146人	12月	46,662人
5月	65,155人	9月	47,342人	1月	38,494人
6月	45,065人	10月	59,136人	2月	42,503人
7月	38,092人	11月	55,299人	3月	56,062人

○ 多目的研修集会施設管理事業費 3,780

農業者、その他地域住民の生活改善及び健康増進等に寄与することを目的とした施設利用を推進するため、効率的な管理運営を行った結果、利用者が常に快適に利用できる環境を維持し、施設の利用促進を図った。

管理人賃金1,759、需用費669、施設管理委託料822 ほか

施策の成果及び執行実績

※利用状況（和室、会議室、調理室、トレーニング室、浴室）

区分 月	利用回数	利用者数	区分 月	利用回数	利用者数
4月	92回	724人	10月	87回	752人
5月	72回	605人	11月	97回	932人
6月	84回	730人	12月	84回	734人
7月	88回	800人	1月	78回	706人
8月	71回	635人	2月	101回	785人
9月	94回	796人	3月	96回	750人
			計	1,044回	8,949人

○ 飯南茶業伝承館管理事業費 2,229

関西茶品評会では農林水産大臣賞、優良産地として産地賞を受賞した。また茶の手もみ体験、お茶の淹れ方教室等を通し、茶の歴史と情報の発信を行った。

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
製茶場	件数	6	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	人員	34	18	52	11	0	0	0	0	0	0	0	0	115
仕上場	件数	6	14	1	3	1	0	0	1	2	0	0	0	28
	人員	34	33	1	15	1	0	0	2	3	0	0	0	89
研修室	件数	10	18	2	7	1	3	0	2	3	5	6	6	63
	人員	103	62	23	189	1	71	0	16	30	87	80	162	824
展示室	件数	5	5	2	2	3	2	1	2	0	0	0	2	24
	人員	17	11	52	146	5	21	2	11	0	0	0	94	359
計	件数	27	39	7	13	5	5	1	5	5	5	6	8	126
	人員	188	124	128	361	7	92	2	29	33	87	80	256	1387

○ 飯高産業振興センター管理事業費 4,731

特産品開発、試験研究、農産物の加工、市場調査、技術の習得に努めた。

賃金等2,059、需用費 2,055、役務費 73、委託料40、使用料 474、原材料30

施設名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
管理棟	件数	17	13	19	20	9	20	15	17	18	16	20	17	201	
	人員	41	29	62	58	21	34	40	30	91	61	39	62	568	
作業棟	こんにゃく製造室	件数	5	4	0	2	2	0	0	3	1	0	1	3	21
		人員	5	4	0	2	2	0	0	3	1	0	1	3	21
	餅製造室	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
		人員	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	16
研究開発兼体験室	件数	53	44	38	39	34	31	41	36	35	30	33	38	452	
	人員	177	149	127	111	95	110	120	126	97	90	111	134	1,447	
計	件数	75	61	57	61	45	51	56	57	54	46	54	59	676	
	人員	223	182	189	171	118	144	160	167	189	151	151	207	2,052	

○ 飯南和紙和牛センター管理運営事業費 706

深野和紙保存会による原料の調整、和紙づくり体験、松阪牛に関する展示、肥育技術の視察見学時等に活用した。

需用費 180、役務費 59、委託料 467

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
和紙体験	件数	0	0	2	1	0	3	7	3	1	3	4	2	26
	人員	0	0	25	2	0	26	39	20	22	14	21	10	179
和牛展示	件数	3	7	6	2	1	4	4	5	6	3	2	1	44
	人員	53	26	60	11	3	55	47	72	97	10	22	1	457
計	件数	3	7	8	3	1	7	11	8	7	6	6	3	70
	人員	53	26	85	13	3	81	86	92	119	24	43	11	636

施策の成果及び執行実績

○ 飯高地域資源活用交流施設管理事業費 20,848

指定管理者制度により「株式会社飯高駅」に委託した。

地場産業と観光、交流、癒し空間を有機的に結合させ、併せて就労の機会と市民のふれあいの場として地域活性化を推進した。

※利用状況 計374,107人

施設	人数
レストラン	86,445人
温泉館	139,889人
いいたかの店	147,107人
そば打ち体験館	666人

(目) 8 農地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
338,683		13,566	159,400	15,976	149,741

○ 市単土地改良事業費 56,072

区分	地区名	事業内容	金額
農道改良	立野町 外2件	安全施設、柵工一式等	2,657
用排水路改良	宮前地区 外17件		11,809
揚水機改良	粥見地区 外6件	揚水機取替、用水ポンプ改良等	6,863
ため池整備等	山添町 外1件	フトン管工、コンクリート擁壁工等	2,928
井堰整備	嬉野黒野町 外5件	油圧ユニット、取水ゲート等	2,788
重機借上		重機の借上50件	2,844
原材料支給		砕石、生コンクリート、U字溝、土のう等 農道整備80件、用排水路整備84件、井堰整備2件、ため池整備5件、揚水機整備4件、その他1件 計176件	26,183
計			56,072

○ 公共事業等附帯事業費 9,109

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	測試費	工事雑費	事務費
茅広江地区	アスファルト舗装工 L=946m	9,109	9,109			
計		9,109	9,109	0	0	0

○ 土地連合会賦課金 1,807

三重県土地改良事業団体連合会賦課金

○ 団体営基盤整備促進事業費 10,714

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	測試費	工事雑費	事務費
深長地区	深井戸設置工1基 送水管 L=96.3m	10,100	9,963		37	100
宮古地区	不動産鑑定評価	614		608		6
計		10,714	9,963	608	37	106

○ ふるさと・水と土保全対策基金積立金 754 (平成20年度末現在高 111,280)

○ 三雲農業集落排水管理事業費 6,788

三雲管内における農村総合整備モデル事業で整備を行った集落排水管路施設を良好な状態に保つため維持管理を行った。

施策の成果及び執行実績

○ 県営事業負担金 154,529

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営湛水防除事業負担金	西黒部地区	81,900	用地買収、排水路工一式	12,285
	榑田地区	3,675	再評価書類一式	551
	東黒部地区	15,225	場内整備工一式、スクリーン3基、ゲート3基	2,283
	小計	100,800		15,119
県営広域営農団地農道整備事業負担金	中勢2期 (松阪市、多気町、明和町、大台町)	651,000	トンネル工、測量試験費、道路工、用地買収一式	102,300
県営ため池等整備事業(農業用河川工作物応急対策)負担金	榑田川第一地区	1,050	実施設計委託一式	58
県営ため池等整備事業(小規模)負担金	八原池地区	19,425	堤体工、計画変更、用地測量・買収一式	3,931
	四郷池地区	11,550	ドレーン工、仮設工一式	2,337
	小計	30,975		6,268
県営地域用水環境整備事業負担金	中郷地区 (なめり湖)	18,900	進入路舗装工、張芝、管理道路舗装工一式	4,725
県営ため池等整備事業(湖岸堤防工事)負担金	五主地区	19,950	矢板護岸工一式	2,137
県営中勢広域営農団地農道整備事業負担金	中勢3期 白山工区	210,000	路体工、用地補償、測量試験業務一式 松阪市、津市で負担割(松阪市55.9%、津市44.1%)	18,447
県営基幹水利施設補修事業負担金	榑田川祓川沿岸地区	59,850	榑田川祓川統合頭首工改修工 ローラーゲート改造2門 スライドゲート改造2門 松阪市、明和町、多気町で負担割(松阪市は内64.04%)	5,475
合計		1,092,525		154,529

○ 特定農業用管水路等特別対策事業費 4,620

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	測定費	工事雑費	事務費
特定農業用管水路等特別対策事業費	アスベスト管布設替事業 計画書一式 パイプラインL=6.6km	4,620		4,620		
計		4,620	0	4,620	0	0

○ 市単土地改良施設保全管理事業費 2,294

GISを使用し、農道路線網図データ及びため池データを入力し、台帳の整備を行った。

農道台帳総括調書位置情報入力 22ブロック

農道路線網図新規認定路線(1.8km)及び農道網図データ修正一式(5.2km)

施策の成果及び執行実績

○ 県単土地改良事業費 17,968

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	測試費	工事雑費	事務費
笠松井地区	用水路改良工 L=168m	5,030	4,933		97	
美濃田地区	頭首工修繕工一式	3,520	3,518		2	
六軒地区	排水路底張工 L=329.5m	5,584	5,484		100	
市場庄地区	排水路改良工 L=224m	3,834	3,764		70	
計		17,968	17,699	0	269	0

○ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 1,195

事業名	交付先	事業内容	事業費	負担金	成果
土地改良施設維持管理適正化事業負担金	茅広江土地改良区	下茅原揚水機整備補修工事	8,000	800	施設管理者の管理意識の高揚を図るとともに、土地改良施設の機能保持と耐用年数の確保が図れた。
	松阪東黒部土地改良区	土古路揚水機整備補修工事	2,000	200	
	三重県土地改良事業団体連合会	唐部池改修工事	3,000	195 地元負担金	
計			13,000	1,195	

○ 各種補助金 2,931

事業名	交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
農地改良事業土地改良協議会補助金	三雲地域土地改良区合同事務協議会	三雲管内の2つの土地改良区（三雲土地改良区、三雲用水土地改良区）からなる三雲地域土地改良区合同事務協議会に対して事務運営経費を助成した。	6,390	2,000	土地改良区の円滑な運営と地元負担の軽減を図った。
小規模土地改良事業補助金	郷仏田水利組合	郷仏田揚水機修繕工事（幸生町）	338	101	事業の実施により稲作に必要な用水の確保が図れた。
	櫛田土地改良区	農業水路（パイプライン）漏水修理工事（菅生地区）	200	60	
	大正新田組合	大正新田灌漑用水掘削工事（獵師町）	1,911	573	
	三雲用水土地改良区	新井工区波瀬川樋管修繕（津市一志町）	263	78	
	三雲用水土地改良区	中道町揚水ポンプ整備補修工事	397	119	
小計			3,109	931	
合計			9,499	2,931	



施策の成果及び執行実績

○ 各種負担金 13,308

事業名	交付先	事業内容	負担金	事務費	成果
農地・水・農村環境保全向上活動事業費	三重県農地・水環境保全向上対策協議会	農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取組と、環境保全に向けた先進的な営農活動を総合的に支援するため、地域協議会へ負担金を支出した。負担割合(国1/2、県1/4、市1/4) 共同活動 16地区 営農活動 2地区	12,970	338	農村景観・生態系調査、池干し等地域の特性を生かし、一体となって取組みを行うことでまとまりができ、地域の活性化が図られた。
計			12,970	338	

○ 各種団体等負担金 412

○ 農地一般経費 2,164

ふるさと農道草刈業務委託、古田池公園管理委託、公用車維持管理経費ほか

○ 農業集落排水事業特別会計繰出金 54,018

(内訳) 公債費 34,918、事務費 19,100

(目) 9 ほ場整備事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,996			4,100	1,352	22,544

○ 各種補助金 13,474

事業名	交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
県営ほ場整備事業土地改良区補助金	榑田上土地改良区	職員3人の人件費及び土地改良区の運営費	3,720	3,000	土地改良区の円滑な運営と地元負担の軽減を図った。
	機殿下土地改良区	職員3人の人件費及び土地改良区の運営費	5,080	3,000	
	茅広江土地改良区	職員2人の人件費及び土地改良区の運営費	3,450	3,000	
	小 計			12,250	
ほ場整備事業新規地区推進助成補助金	松阪土地改良区連絡協議会	ほ場整備事業未整備地区の推進	1,191	250	通常総会、視察研修の実施
県営ほ場整備事業竣工式典補助金	機殿下土地改良区	記念碑、パンフレットの作成	421	400	竣工式典における地元負担の軽減を図った。
県営ほ場整備事業公共事業分補助金	榑田上土地改良区	舗装工	4,079	611	平成19年度に実施した道路、排水路等の公共事業分の事業費に対して補助し(榑田上、機殿下は補助工事費の15%、茅広江は補助工事費の7.5%)、地元負担の軽減を図った。
	機殿下土地改良区	排水機場内整備工一式	2,803	420	
	茅広江土地改良区	幹線道路工	1,880	141	

施策の成果及び執行実績

事業名	交付先	事業内容	事業費	市補助金	成果
	三雲土地改良区	県営土地改良総合整備事業で実施した公共施設（道路）相当分の地元負担分を旧三雲町の協定に基づき負担する。	146,000	2,652	道路の公共事業分の事業費に対して補助し、地元負担金の軽減を図った。
	小計		154,762	3,824	
合計			168,624	13,474	

○ 県営事業負担金 6,787

事業名	地区名	事業費	事業内容	負担金
県営経営体育成基盤整備事業負担金	榑田上地区	49,350	附帯工、換地業務一式	4,987
県営中山間地域総合整備事業負担金	茅広江地区	25,200	舗装工、換地業務、附帯工一式	1,800
計		74,550		6,787

○ 経営体育成基盤整備実施計画書作成事業費 4,490

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	測試費	工事雑費	事務費
経営体育成基盤整備実施計画書作成事業費	朝見上地区 実施計画調査業務一式 A=185ha	4,490		4,490		
計		4,490	0	4,490	0	0

○ 事業事務費 3,245

(目) 10 湛水防除施設費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
117,472				34,229	83,243

○ 湛水防除施設管理事業費 55,727

本庁、嬉野、三雲管内の39排水機場の年間維持管理費

地域	区分	内容	金額
本庁管内	管理委託	高須排水機場地下タンク貯蔵所点検委託	委託先: 榑中部環境技術センター 70
		排水機場管理委託	委託先: 自治会、水利組合 2,600
		電気保安管理業務委託	委託先: 中部電気保安協会 1,683
		浄化槽保守管理委託	委託先: 松阪環境衛生企業組合 86
	その他管理経費		
小計		計	20,326

施策の成果及び執行実績

地域	区分		内容	金額
嬉野管内	管理委託	排水機場管理委託	委託先:自治会	488
		電気保安管理業務委託	委託先:中部電気保安協会	771
	その他管理経費			5,615
	小計			6,874
三雲管内	管理委託	排水機場管理委託	委託先:三雲排水機管理組合連絡協議会	3,600
		電気保安管理業務委託	委託先:中部電気保安協会	1,690
	排水機場ゴミ等処理業務委託		可燃ゴミ、漂着ゴミ等	4,112
	その他管理経費			19,125
	小計			28,527
合計			55,727	

○ 土地改良施設維持管理適正化事業費 25,000

排水機場	事業内容	事業費	事業費内訳		
			工事費	測試費	工事雑費
東黒部排水機場	ポンプ整備補修一式	15,241	14,216	903	122
田村第2排水機場	水中ポンプ整備補修一式	3,000	2,460	504	36
曾原第2排水機場	ポンプ整備補修一式	6,759	5,515	903	341
計		25,000	22,191	2,310	499

○ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 8,125

市内の排水機場等のエンジン、ポンプの分解整備を計画的に実施し、適正な維持管理を図るため、事業費の30%を5か年で負担した。

事業費賦課金 7,500 事務費賦課金 625

○ 基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費 16,891

三重県土地改良事業団体連合会の管理技術者による本庁、嬉野、三雲管内の排水機場の技術的指導、点検整備、施設操作を実施して維持管理を行った。

基幹水利施設管理技術者育成支援事業特別賦課金 1,876

基幹水利施設技術管理強化特別指導事業委託業務 15,015

○ 湛水防除施設整備事業費 11,729

排水機場	事業内容	事業費	事業費内訳		
			工事費	測試費	工事雑費
小津排水機場	施設修繕一式	98	98		
曾原第2排水機場	ポンプ整備補修一式	8,638	8,638		
中ノ庄第2排水機場	常時ポンプ修繕一式	2,993	2,993		
計		11,729	11,729	0	0

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 林業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,660				16	1,644

## ○ 緑化推進事業費 342

公共施設用植栽苗木を自治会等に配布することにより、地域緑化への住民意識の高揚が図れたとともに、「松阪創造の森」を市民が安全に利用する為の施設管理を実施した。

## ・ 原材料費 (植栽苗木配布内訳) 133

大足町: コナラ5本、ヤマザクラ10本、トチ5本、シイ3本

大石地区公民館: ソメイヨシノ15本、ボタンザクラ15本

出鹿組: ソメイヨシノ10本、ヤマザクラ5本、ボタンザクラ5本

六呂木町: 西洋シャクナゲ40本、ソメイヨシノ20本

## ・ 原材料費 (施設管理用杭) 9

## ・ 緑化推進委託料 (委託先: 松阪に緑をふやす会) 200

## ○ 林業総務一般経費 1,318

非常勤職員賃金等 (1人)

## (目) 2 林業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
647,169		613,293		6,123	27,753

## ○ 森林再生CO2吸収量確保対策事業費 38,127

放置されたままの荒廃森林 (公共財と位置づけた環境林かつ水土保持林) において、間伐施業を実施することにより、森林の持つ公益的機能の促進を図った。

(間伐面積: 飯南15.35ha、飯高161.43ha 計176.78ha/委託先: 松阪飯南森林組合)

## ○ 森林環境創造事業費 26,900

公共財として位置づけた環境林において、間伐施業等を実施することにより、森林の持つ多様な公益的機能の発揮を促進した。

委託料 26,775

(間伐飯南64.38ha、飯高11.54haほか/委託先: 松阪飯南森林組合) 19,457

(間伐嬉野9.1ha 歩道整備嬉野470m/委託先: 中勢森林組合) 1,991

(間伐飯高10.34ha 受光伐飯高1.44haほか/委託先: 叶林業合名会社) 5,327

消耗品費 125

## ○ 森林整備地域活動支援交付金 9,772

適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者による森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、歩道の整備、施業実施地域の明確化作業等の地域活動に支援を行った。

	事業主体	事業量	事業費	市交付金	備考
本庁	伊勢寺林業	103.86ha	540	519	5,000円/ha
	勢津林業	105.91ha	538	529	〃
飯南	大西林業	65.32ha	367	327	〃
	村林林業	16.79ha	927	84	〃
	森本林業	32.97ha	178	165	〃
	杉本林業	8.19ha	63	41	〃
飯高	上田林業	129.03ha	709	645	〃
	叶林業	284.60ha	1,436	1,423	〃
	田中林業	468.12ha	2,356	2,341	〃

施策の成果及び執行実績

事業主体	事業量	事業費	市交付金	備考
栃川林業	19.92ha	111	99	//
富永林業	25.00ha	126	125	//
木原林業	172.37ha	940	862	//
橋本林業	38.98ha	196	195	//
沖中林業	414.68ha	2,122	2,074	//
中谷林業	38.23ha	192	191	//
木下林業	30.40ha	172	152	//
計	1,954.37ha	10,973	9,772	

○ 林業振興補助金 559,009

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
林業生産流通総合対策事業費	顔の見える松阪の家づくり推進協議会	住宅基本設計フォーラム開催	1,351	900	安心システムにより、地域材を使った3棟の木造住宅が完成。また、フォーラムを開催し、木の良さなどのPRを行った。
林業後継者地域活動推進事業補助金	うれしの森林林業活性化対策研究グループ	林業後継者が実施する畑わさびの栽培等	150	45	林業後継者及びそのグループの自主的な活動を推進するとともに、資質の向上が図れた。
林業労働者退職金共済掛金補助事業費	宮前林業外14事業所	15事業所計71人	7,852	778	経営困難な状況にある林業経営を支援し、労働者を確保していくことにより、林業の振興が図れた。
有害鳥獣駆除猟友会補助金	松阪猟友会	猪78頭	300	300	有害鳥獣駆除を効率的に行い、駆除従事者が負担する弾代等実施経費の高騰問題に対応し、効果的な農作物被害軽減が図れた。
	嬉野町猟友会	鹿243頭	105	105	
	飯南猟友会	猿43匹	675	675	
	松阪飯高猟友会		1,480	1,480	
	小計		2,560	2,560	
有害鳥獣駆除対策補助金	市内農家	84件	4,683	1,596	防護柵の材料費の一部を補助し、農家自らが防護し、前もって被害を防止していくことで効果的な被害軽減が図れた。
特用林産振興施設整備事業補助金	松阪飯南森林組合	特用林産物生産施設設置及び特用林産物生産用機械	178,605	85,050	菌床シイタケ栽培の規模拡大により菌床シイタケの安定供給を図り、地域林業の活性化が図れた。

施策の成果及び執行実績

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
シイタケ生産振興事業補助金	飯南町乾燥椎茸組合	市場視察 栽培研修	257	60	各組織において、特用林産物であるシイタケ生産技術の向上に関する研究を行い、生産者相互の意識の高揚と経営の安定が図れた。
	飯高生椎茸生産組合		313	90	
	小計		570	150	
生産林活性化モデル事業補助金	松阪飯南森林組合	協業化促進事業、地域森林計画精度向上事業	7,628	3,783	未整備林が多いことから、境界の明確化、及び面積確定を行い、森林の基礎データの確保が図れた。
木質バイオマス推進事業費（繰越分）	松阪木質バイオマス熱利用協同組合	エネルギー供給施設装置、エネルギー供給用機械	1,039,290	464,147	切捨て間伐材の処理や製材所からの木材端材の利活用が求められており、未利用資源を木質バイオマスエネルギーとして有効利用を図るため、製造されたチップを燃料としてボイラー施設により熱エネルギーとして活用が図れた。
合計			1,242,689	559,009	

○ 有害鳥獣対策事業費 2,049

野生鳥獣からの被害対策として、猟友会への委託による有害鳥獣駆除と住民自らが行う追い払いを効果的に実施することで、被害軽減を図った。

- ・ 消耗品費：サル脅し用ロケット花火を23自治会（21,776本）に支給 174
- ・ 委託料：各猟友会委託料 1,875

委託先	金額	実績(頭、匹、羽)						
		猪	鹿	猿	カラス	川鶺	鴨	青鷺
松阪猟友会	738	11	33	3	33			
嬉野町猟友会	355	14	5			29		
飯南猟友会	360	23	39	21		42	4	2
松阪飯高猟友会	422	30	166	19		4		
計	1,875	78	243	43	33	75	4	2

○ 野生動物との共生事業費 874

農作物被害の軽減と作物の生産振興を図ることを目的に、特別の訓練を受けた犬によるサルの追い払いを実施した。

- ・ 消耗品費：モデル地区用看板代等消耗品費 206
- ・ 委託料：モンキードッグ育成訓練委託料 660
- ・ 有料道路通行料 8

○ 飯高緑資源機構分収造林事業費 1,387

分収造林契約地において間伐等の森林施業を行い、森林の維持管理を実施することで、森林の持つ多様な公益的機能の発揮が促進できた。

委託料 176

(境界明確化 飯高町下滝野 杓子ヤコバ団地 26.48ha／委託先 松阪飯南森林組合)

施策の成果及び執行実績

負担金、補助及び交付金 1,211

- ・ 造林木販売分収金（飯高町赤桶 庄司唐谷団地 314）
- ・ 造林木販売分収金（飯高町栗野 小谷団地 113）
- ・ 造林木販売分収金（飯高町乙栗子 乙栗子団地 356）
- ・ 県営林道工事の立木補償金の分収金（野戸谷②団地 313）
- ・ 県営治山工事の立木補償金の分収金（局ヶ岳団地 115）

○ 飯高ふるさとの森管理事業費 2,309

分収育林契約に基づき、都市と山村の相互交流、山林の保育管理を通し地域活性化を図った。

- ・ ふるさとの森会員交流会 参加者数 104人
- ・ ふるさと小包（地域特産品）発送 199個  
報償費 55 需要費 1,741 役務費 513

○ 飯南希望の森づくり事業基金積立金 91（平成20年度末現在高 11,891）

○ 飯南希望の森づくり事業育林事業費 1,426

分収育林オーナーに、飯南地域の特産品を発送し、都市住民との交流が図れたとともに、優良材生産に向けた育林管理が実施できた。

事業名	口数	事業費	事業費内訳				
			報酬	報償費	需用費	役務費	委託料
飯南希望の森づくり事業 育林事業費（1号林）	175口	1,012	60	28	420	30	474
飯南希望の森づくり事業 育林事業費（2号林）	70口	414	30	14	176	12	182
計	245口	1,426	90	42	596	42	656

○ 松阪荒滝生活環境保全林管理事業費 723

保全林管理を適正に実施することにより、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

- ・ 委託料：下刈り作業 委託先／松阪飯南森林組合（20,900㎡×年2回刈り）

○ 松阪創造の森施設管理事業費 2,819

植栽を行った広葉樹の育成と、清掃、除草作業を実施することにより、利用者の安全確保を図った。

- ・ 森林国営保険料（対象面積108.92ha） 1,066
- ・ 管理委託料（清掃除草作業等） 348
- ・ 森林整備委託料 1,405  
（下刈り4.3ha、作業路除草3,000㎡×年2回刈り）

○ 松阪ちとせの森施設管理事業費 769

林内歩道の除草作業や公衆便所清掃を定期的に行い、利用者の快適利用と安全が確保できた。

- ・ 修繕料 100
- ・ 森林国営保険料（対象面積13.60ha） 111
- ・ 公衆便所清掃作業委託料 170
- ・ 除草作業委託料（9,450㎡×年2回） 388

○ 飯高ふるさとの森事業基金積立金 275（平成20年度末現在高 39,182）

○ 嬉野どんぐりの森管理事業費 50

清掃、除草作業を実施することにより、広葉樹の育成と市民が安全に利用できる保健休養の場を確保した。

- ・ 下刈り作業委託（3,800㎡×年1回）

○ 各種団体等負担金 589

三重県森林協会費 460、松阪地域林政推進協議会会費 76 ほか

施策の成果及び執行実績

(目) 3 林業施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
34,938				447	34,491

○ 森林公園管理運営事業費 29,564

指定管理者制度により、「松阪飯南森林組合」に管理運営業務を委託し、市民の憩いの場、健康作りの場として、保健休養機能の確保と増進、森林資源の保全・活用を図った。

- ・ 森林公園管理委託料 28,084
- ・ 照明灯柱建替え修繕料 295
- ・ 野外ステージ手すり取替え修繕料 205
- ・ 森林公園土地借上料(地権者14人、借上面積：50,220㎡) 980

※利用状況

区分 月	入園者数	テント 持込	テント 貸出	バンガロー 利用	木工教室
4月	21,638人	6件	3件	34件	36人
5月	12,368人	25件	15件	32件	56人
6月	6,396人	1件	6件	16件	46人
7月	10,965人	22件	17件	80件	251人
8月	14,079人	46件	71件	168件	57人
9月	7,357人	21件	4件	42件	35人
10月	8,928人	2件		23件	55人
11月	7,138人	6件		28件	58人
12月	6,501人	2件		28件	138人
1月	4,398人			19件	66人
2月	2,859人			10件	176人
3月	8,513人	2件		23件	82人
計	111,140人	133件	116件	503件	1,056人

○ 飯南林業総合センター管理運営事業費 382

多目的研修施設として、林業者及び地域住民の研修等で幅広く活用された。

- ・ 委託料：施設管理委託382（委託先／松阪飯南森林組合）

※利用状況

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
研修室1F	件数(件)	10	7	12	14	8	8	14	9	8	10	13	15	128
	人員(人)	215	148	373	403	259	168	778	148	138	231	253	223	3,337
研修室2F	件数(件)	0	0	0	1	0	0	4	0	0	1	0	0	6
	人員(人)	0	0	0	8	0	0	168	0	0	10	0	0	186
計	件数(件)	10	7	12	15	8	8	18	9	8	11	13	15	134
	人員(人)	215	148	373	411	259	168	946	148	138	241	253	223	3,523

○ 飯高林業総合センター管理運営事業費 4,992

地域の林業活動拠点として、林業家相互の交流や、研修等で幅広く活用を図った。

賃金等 878、需用費 2,453、施設維持管理等委託料 1,465 ほか

※利用状況

利用施設	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会所兼 運動場	件数(件)	4	5	5	3	4	6	3	5	1	1	0	1	38
	人員(人)	74	74	120	28	37	283	29	31	5	3	0	45	729
林業相談 室	件数(件)	3	4	6	9	5	7	1	5	6	11	9	8	74
	人員(人)	30	58	109	99	68	136	16	97	72	232	149	103	1,169



施策の成果及び執行実績

利用施設	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
和室会議室	件数(件)	5	4	4	6	6	7	7	8	6	4	6	6	69
	人員(人)	35	30	29	33	47	98	87	82	62	27	39	56	625
図書館	件数(件)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	人員(人)	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	18
調理実習室	件数(件)	1	0	0	0	0	2	2	1	1	2	1	1	11
	人員(人)	3	0	0	0	0	34	8	5	4	7	5	6	72
計	件数(件)	13	14	15	19	15	22	13	19	14	18	16	17	195
	人員(人)	142	172	258	162	152	551	140	215	143	269	193	216	2,613

(目) 4 林業構造改善対策事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
59,171	2,000	29,052	17,000	3,034	8,085

○ 林道・作業道等維持管理事業費 9,970

林道、作業道の補修及び維持管理、降雨による路面の荒廃、路肩崩壊等を防止するため、舗装工の実施、事業用重機使用料及び生コンクリート等の原材料を支給した。

- ・ 舗装工事費 飯高乙栗子地内西の谷線A=2020.76㎡ 4,924
- ・ 事業用重機借上料 8路線及び治山付帯工事箇所2か所 1,456
- ・ 原材料費 13路線及び治山付帯工事箇所2か所 3,590

○ 治山事業費 1,909

治山工事要望箇所(自然災害による森林崩壊地・荒廃溪流)を把握し、事業主体である県に対し、復旧及び予防工事を要望するため調査委託し、計画書を提出した。

本庁管内4か所(山腹3か所・溪間1か所)、飯南管内1か所(溪間)、飯高管内7か所(山腹2か所・溪間5か所) 計12か所

○ 県単林道事業費 7,030

舗装工施工により、木材生産の効率化と安全性の向上が図れた。

路線名	事業内容	事業費	事 業 費 内 訳			
			工事請負費	委託料	補償費	事務費等
林道大谷線	L=840.0m W=3.0m	7,000	6,867	0	0	133
単独事務費		30	0	0	0	30
計		7,030	6,867	0	0	163

○ 資源循環林整備事業費 40,118

路網整備により森林の適正な維持管理、木材生産コストの低減を図ることができた。

路線名	事業内容	事業費	事 業 費 内 訳			
			工事請負費	委託料	立木補償費	事務費等
林道佐原峠線	L=291.0m W=3.0m	10,560	6,856	518	2,746	440
林道福本線	L=552.0m W=3.0m	28,800	20,938	3,605	3,286	971
単独事務費		758	0	669	0	89
計		40,118	27,794	4,792	6,032	1,500

○ 市単林道施設保全管理事業費 144

林道、作業道を対象に全国市有物件災害共済(道路賠償責任保険)に加入した。

- ・ 共済加入金 144 (220路線/295km)

施策の成果及び執行実績

(目) 5 市有林管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
774					774

○ 飯南・飯高市有林管理事業費 774

市有林の巡視等を実施することにより、育成状況、風倒木等の災害状況が把握でき、適正な財産管理を行った。

(飯南管内・団地数16／市有林面積191.33ha)

(飯高管内・団地数66／市有林面積322.81ha)

- ・ 飯南・飯高市有林整備委託料（巡視104.558ha、歩道整備660m等） 767
- ・ 役務費（国営保険） 7

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 水産業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,452					7,452

- 一般職員給 6,945
- 各種団体等負担金 323
- 水産業総務一般経費 184
  - ・ 公用車ガソリン・保険料・車検代等

## (目) 2 水産業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,262					6,262

## ○ 水産業振興補助金 2,962

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
稚鮎等放流事業補助金	榑田川上流漁協	稚鮎 1,550kg	4,329	669	稚鮎等を放流して水産資源の保護育成に努めたことにより、漁獲量の増加に繋がった。また、各組合が自主的に河川清掃を実施し、漁場管理を行った結果、河川に棲息する生物の保護育成が図られ、川を美しくする運動の推進と観光資源として地域の活性化に寄与できた。
		あめご1,220kg	2,160	391	
	香肌峡漁協	稚鮎 1,279kg	3,483	529	
	榑田川河川漁協	稚鮎 1,200kg	3,600	560	
	榑田川第一漁協	稚鮎 100kg	330	62	
	阪内川漁協	稚鮎 150kg	435	70	
		あめご 160kg	320	53	
	中村川漁協	稚鮎 475kg	1,521	210	
		あめご 120kg	315	56	
	小計	稚鮎 4,754kg	13,698	2,100	
		あめご1,500kg	2,795	500	
		小計	16,493	2,600	
川鵜対策事業補助金	榑田川上流漁協	捕獲数 4羽	20	8	稚鮎等を食害する川鵜を捕獲することにより水産資源の保護育成が図られ漁獲量の増加に繋がった。
	香肌峡漁協	捕獲数 42羽	174	84	
	榑田川河川漁協	捕獲数 26羽	104	52	
	榑田川第一漁協	捕獲数 80羽	320	160	
	中村川漁協	捕獲数 29羽	145	58	
	小計	捕獲数181羽	763	362	
合計			17,256	2,962	

## ○ 水産資源増殖事業費 3,300

事業名	事業主体	事業量	事業費	市負担金	成 果
水産資源増殖事業負担金	八共協議会	ヨシエビ 17万1,000尾 放流	300	300	種苗放流により水産資源の増殖と漁獲量の増加に繋がった。
水産資源増殖事業負担金(あさり)	八共協議会	アサリ 10.4トン 放流	3,153	3,000	種苗放流により水産資源の増殖と漁獲量の増加に繋がった。
合計			3,453	3,300	

施策の成果及び執行実績

(目) 3 水産業施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
569					569

○ 漁港海岸施設管理事業費 569

- ・ 樋門等管理用消耗品費 6
- ・ 松ヶ崎漁港防潮ゲート修繕費 420
- ・ 狹師漁港照明設備修繕費 30
- ・ 樋門等管理委託費 36  
高潮・洪水等の異常気象に備え、松ヶ崎漁港防潮扉(2か所)と狹師漁港区域内の樋門(2か所)の日常点検や操作管理を委託し、災害防止に努めた。
- ・ グレーチング、施設防護用網の原材料費 77

(目) 4 海岸保全事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
72,693	40,000	17,330	5,400	0	9,963

○ 海岸保全施設整備事業費 72,693

狹師漁港海岸は、経年劣化による老朽化や地盤沈下が見られるため、抜本的かつ緊急的整備が必要であることから、周囲との景観、海浜地へのアクセスを考慮した多面的機能を備えた海岸整備を行い、背後地住民の生命、財産を守り国土保全に資する質の高い安全な海岸整備を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	事務費等
狹師漁港海岸保全施設整備事業工事	提体工 L=355.7m、 基礎工 L=280.5m、 水叩工 L=335.3m、 階段工 N=4か所	72,693	56,053		
狹師漁港海岸保全施設整備事業附帯工事等	揚水試験工事(その1) (1か月1回)12回、 ・満潮、干潮時 (8月、1月各1回)2回 ・井戸補修工 揚水試験工事(その2) ・打込調査井戸 5か所 ・揚水試験10回 狹師漁港除草工事 狹師漁港海岸樹木管理工事 ・薬剤散布3回、人力除草2回		2,457		
狹師漁港海岸保全施設整備事業認可設計作成業務委託	大正新田樋門認可設計一式			998	
狹師漁港設計業務委託	C工区B区間(係留護岸)設計委託一式			10,235	
事務費等	一般職員給 ほか				2,950
	計	72,693	58,510	11,233	2,950

施策の成果及び執行実績

(目) 5 漁港改修事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,000		1,600			2,400

○ 県単松ヶ崎漁港改修事業費 4,000

漁港背後地の民家の安全を確保するとともに、漁民の利便性を向上して漁船泊地としての機能回復を図った。

区分	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	事務費
松ヶ崎漁港舟入護岸改良工事	ブロック工 L=28.4m、階段工 L=2.6m 係船環工 5箇所	4,000	3,901	99

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 商工総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
110,065					110,065

- 一般職員給 107,976
- 企業内人権啓発事業費 117  
企業内の人権啓発を推進するため、ポスターの送付、研修会、企業訪問などを実施した。
- 消費生活関連事業費 133  
消費生活の向上と安定、消費者トラブルの未然防止を図るために、各地域に出向き出前トーク形式で啓発活動を行った。平成19年4月に国から示された「多重債務問題改善プログラム」を受けて、庁内の関連部署で構成する多重債務対策庁内連絡会議を設置し、多重債務者の早期発見と相談窓口への誘導等の連携を強化した。  
出前講座 15回 延べ656名が参加
- 各種団体等負担金 961  
松阪地域雇用対策協議会負担金 820 ほか
- 商工一般経費 878

## (目) 2 商工振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
147,129		21,011		24,373	101,745

- 廃止代替バス路線運行委託事業費 29,787  
廃止となった路線バス(嬉野線、宇気郷線、阿坂小野線)を三重交通に委託することにより運行。

路線名	嬉野線	宇気郷線	阿坂小野線
運行系統	上小川～小原～中川 駅前	松阪駅～辻原～柚原	松阪駅～藤の木台～ 小野
系統キロ	25.1 km	22.0 km	14.0 km
運行回数	1日1.5便	1日3.5便	1日4.5便

沿線住民の通院や通学等の交通手段の確保に努めた。

- 地域公共交通システム事業費 66,662 (市町村合併支援交付金 10,000)  
市街地循環線ほか市内コミュニティバスの運行経費。地域住民の買い物、通院等の交通手段の確保に努めた。
  - ・ 市街地循環線 右まわり1日8便、左まわり1日9便、年間利用者数 86,612人
  - ・ 宇気郷地区コミュニティバス  
(飯福田・柚原線) 予約制 1日1便 年間利用者数 154人  
(与原・深長線) スクールバス利用 1日2便 年間利用者数 181人
  - ・ 黒部・東地区コミュニティバス  
1日5.5便 年間利用者数 10,005人
  - ・ 空港アクセス・三雲松阪線  
1日9便 年間利用者数 30,274人
  - ・ 機殿・朝見地区コミュニティバス  
1日5便 年間利用者数 3,564人 20.7.14から運行を開始した。
- 飯南コミュニティバス運行事業費 2,773  
飯南コミュニティバスの運行経費。地域住民の交通手段の確保に努めた。
  - ・ 5系統 1日4便 年間利用者数 3,255人

## 施策の成果及び執行実績

- 商店街交通量調査事業費 692  
商店街振興のための基礎資料として活用。
    - ・ 調査日時 平成21年3月30日 午前8時～午後6時（10時間）
    - ・ 実施地点 市内商店街22ヶ所と3踏切
  - 小規模事業資金貸付金 1,200  
平成15年度までの貸付融資残高により、金融機関への運用資金の預託を行った。
  - 小規模事業資金保証料補給金 10,641  
三重県中小企業融資制度の小規模事業資金借入の際の信用保証料について、利用者に補給を行った。（借入者 82人、上限25万円）
  - 松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金 450  
中心部の7商店街の活性化を図るため、商店街連合会、商工会議所、行政等の関係団体で協力体制を確立し、ソフト事業の充実に取り組むことに対する支援。
  - 商店街活性化総合事業補助金 3,523  
各商店街が一体となり開催するイベント（にぎわいまつり、夜店等）や各商店街振興組合等が実施するイメージアップ事業、活性化対策事業、空き店舗対策事業等、商店街の活性化を図るための事業に対する支援、及び商店街連合会の運営に対する補助。
    - 事業費の1/3以内で補助。ただし、空き店舗対策については、事業費の1/2以内で補助。
    - ・ 松阪市商店街連合会補助金 450
    - ・ 商店街活性化イベント事業補助金 700
    - ・ 各商店街振興組合等が取り組む事業への補助金 1,723
    - ・ 空き店舗対策事業 650
  - 地域公共交通協議会事業費 357  
コミュニティバス等、公共交通システムに関する検討を行った。
    - ・ 委員会の開催 2回
  - 商工団体補助金 28,800  
商工業者の育成、振興に対する支援
    - ・ 交付先 松阪商工会議所 6,800
    - 松阪北部商工会 12,000
    - 松阪西部商工会 10,000
  - 商工業交流・活性化事業費 1,500  
広域商業環境調査研究業務委託 委託先:三重中京大学
    - ・ 松阪市の商業のあり方と可能性を広域的に考えるため、研究会を発足。
    - 研究会の開催 6回 市民アンケートを実施
  - 各種団体等負担金 412  
三重県発明くふう展負担金、日本貿易振興機構三重貿易情報センター負担金、三重県産業支援センター会費、三重県鉄道網整備促進期成同盟会分担金
  - 商工振興一般経費 332
- ※ 経営安定関連（セーフティネット）保証の認定
- 全国的に業況が悪化している等、経営の安定に支障を来している中小企業者が融資を受ける場合、市町村の認定が必要なため、中小企業信用保険法第2条第4項第1号から第8号までの認定を行った。緊急経済対策として、原材料価格高騰対応等緊急保証制度が導入され認定件数が大幅に増加した。
- ・ 中小企業信用保険法第2条第4項第5号の認定 517件
  - ・ 中小企業信用保険法第2条第4項第7号の認定 3件

施策の成果及び執行実績

(目) 3 産業振興センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,077				10,914	9,163

- 一般職員給 7,659
- 産業振興センター管理運営事業費 12,418

活力ある地域経済社会発展の中核を担う地場産業や地元企業等の連携を図り、その振興の拠点として産業振興センターの機能を最大限に発揮するため、次の事業を行った。

- ・ 展示販売、講演会、各種研修会・会議等の会場としての施設の提供
- ・ 伝統産業振興室における地域主要製造業の生産品の展示
- ・ ジェトロ三重貿易情報センターの協力による貿易相談の開催（毎月第3木曜日）

利用状況

会場区分	利用回数	利用者数	会場区分	利用回数	利用者数
常設展示場	278件	8,965人	和室（2）	356件	1,517人
人材育成講座室	442件	9,436人	研修ホール	219件	14,680人
情報資料室	496件	5,779人	小研修室	306件	1,810人
和室（1）	350件	1,633人	計	2,447件	43,820人

(目) 4 観光費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
104,145		3,870		1,729	98,546

- 観光客誘致事業費 9,380

雑誌・新聞に広告を掲載したほか、三重テレビにおいて松阪市観光情報番組を放送。東京・大阪で開催されたメディア交流会において観光マップ、パンフレットを配布し、出版社、テレビ等マスコミ関係者への情報発信を行った。また、三重県東京事務所、同大阪事務所、三重県観光連盟、三重県観光販売システムズ、松阪ベルライン松阪港旅客ターミナルおよびセントレア側ターミナルに観光マップを設置し、観光客の誘客を図った。新名神高速道路を利用した誘客を目的に、京滋地区を中心にFM放送や現地日刊紙を使って宣伝を行った。

- ・ 観光ポスターの製作（B1版 400枚）
- ・ 交通広告
  - J R 主要駅（200枚）
  - J R 北海道（100枚） H20. 11. 22～H20. 11. 28  
（札幌管内50枚、釧路管内20枚、旭川管内20枚、函館管内10枚）
  - J R 九州（100枚） H20. 11. 25～H20. 12. 1  
（福岡管内35枚、北九州管内20枚、長崎・大分・熊本管内各10枚、鹿児島管内15枚）
  - 名鉄線（10枚） H20. 12. 16～H20. 12. 22
  - 近鉄大阪線（24枚） H20. 12. 12～H20. 12. 18
  - 阪神電車（20枚） H20. 12. 16～H20. 12. 22
  - 神戸市営地下鉄（28枚） H20. 12. 18～H20. 12. 24
  - 福岡市地下鉄（39枚） H20. 12. 15～H20. 12. 21
- ・ 雑誌、新聞など広告媒体によるPR
- ・ 観光パンフレット等の製作・増刷と配布、情報提供等
- ・ 観光PR名刺印刷及び台紙の増刷
- ・ 東京・大阪開催のメディア交流会でのPR
- ・ 観光情報番組の放送



施策の成果及び執行実績

○ 各種補助金 33,625

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
観光協会運営費補助金	松阪市観光協会	13,897	13,450	松阪市観光協会運営事業及び観光協会職員雇用補助
観光協会事業費補助金	松阪市観光協会	21,983	16,675	各種まつり・イベント対策観光地整備及び清掃委託等観光協会事業の補助
香肌峡公衆便所設置補助金	大石観光協会	6,458	3,500	公衆便所設置により観光客の利便性の向上
計		42,338	33,625	

○ リバーサイド茶倉施設管理事業費 10,808

指定管理者制度により、専門的な技術ノウハウを有する団体に運営を委託することで利用者のサービス向上を図った。

○ リバーサイド茶倉施設整備事業費 351

- ・ 駐車場アスファルト舗装工事

○ リバーサイド茶倉事業基金積立金 10

平成20年度分利子（平成20年度末現在高 1,485）

○ 茶倉駅施設管理事業費 4,844

指定管理者制度により、専門的な技術ノウハウを有する団体に運営を委託することで利用者のサービス向上を図った。

○ 海上アクセス関連観光客誘致事業費 4,811

海上アクセス松阪ルートに伴う遠隔地の観光地及び空港周辺への観光PRを行った。

- ・ 広告掲出  
FMラジオスポットCM広告（H20.10.1～H21.3.31 朝・夕2回放送）  
旅行雑誌（るるぶ）への記事広告
- ・ 旅行会社へのセールス  
福岡市内の旅行会社への訪問（H21.3.4～H21.3.5）
- ・ 五條市・吉野町・東吉野村の各ガイドボランティア等観光関係者との交流会の開催  
五條市・吉野町・東吉野村の各ガイドボランティア等観光関係者15名と吉野町において松阪市ガイドボランティア28名が交流・研修を行った。（H21.2.5）

○ 観光施設管理運営事業費 10,086

観光施設（公衆便所・植栽・周辺掃除）、近畿自然歩道維持管理業務、登山道、遊歩道の維持管理業務を実施し、観光客の利便性の向上に努めた。

○ 観光情報センター管理運営事業費 1,788

観光情報センターの管理

- ・ 電話代・電気・水道・ガス・下水道料金の支払い
- ・ 委託料（保安警備・清掃・消防施設機器点検）の契約・支払い

○ 飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費 1,460

グリーンライフ山林舎施設の土地借上げ  
指定管理者制度による管理委託。

○ 飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費 1,316

飯高森林とのふれあい環境整備施設の土地借上げ  
指定管理者制度による管理委託。

○ 飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費 433

飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設の土地借上げ  
指定管理者制度による管理委託。

施策の成果及び執行実績

- 飯高ホテルスメール関連施設管理事業費 11,007  
指定管理者制度によって、専門的な知識や運営ノウハウを有する団体に委託することで利用者のサービス向上を図った。
- 飯高ホテルスメール関連施設整備事業費 5,191  
温泉水中ポンプ入替や空調機等設備の修繕及び、人工芝張替用原材料の支給を行った。
- 魅力ある観光地づくり支援事業費 6,899
  - ・ 松阪市観光アクションプラン推進委員会の開催  
委員数 17名 推進委員会2回、専門部会1回開催
  - ・ おもてなし処「夢休庵」・「鈴の音」の開設
  - ・ 観光案内看板の整備（5箇所）
  - ・ 三重県観光販売システムズへの観光戦略委託
- 指定管理者選定委員会事業費 14  
指定管理者選定委員会委員報酬
- 各種団体等負担金 1,526
  - ・ 社団法人三重県観光連盟負担金 ほか
- 観光一般経費 596

(目) 5 産業立地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
93,770					93,770

- 企業誘致推進事業費 3,510  
松阪中核工業団地西地区の完売と市内工場適地及び産業用地への優良企業の立地を推進し、積極的な企業誘致活動を行った。

- ・ 新規立地企業の状況

場所	松阪中核工業団地内跡地	松阪市飯高町
会社名	トライス株式会社	㈱HI-VAN三重先端技術研究所
敷地面積	45,831.37㎡	3,737.39㎡
本社所在地	松阪市櫛田町	四日市市垂坂町
業種	カーボンブラシ等製造業	耐火剤、カーボン生成炉製造業
取得日	平成20年4月14日取得	平成20年11月賃貸契約

- ・ 松阪中核工業団地内、平成20年度増設工場  
三菱重工業㈱・㈱トモ営業本部・松阪精工㈱
- ・ 松阪市内工場適地等、平成20年度増設工場  
三重金属㈱、パナソニック・エレクトロニック・デバイス㈱、㈱コスモスコーポレーション
- ・ 松阪地域産業活性化協議会事業

H19年6月に施行された「企業立地促進法」を受けて、三重県・松阪市・多気町・明和町・大台町・大紀町と関係する商工団体、大学、金融機関等により、松阪地域産業活性化協議会を立ち上げ、平成20年3月に策定した「松阪地域産業活性化基本計画」に基づき次の事業を実施した。

松阪地域産業振興フォーラム in 大阪 平成20年11月6日 大阪市で開催  
 参加者 企業関係者80名、中小企業基盤整備機構、三重県、市町関係者等 計113名  
 内容 講演会、松阪地域の企業の製品展示、物産品展示、交流会  
 松阪地域製造業者交流セミナー 平成21年2月13日 松阪市で開催  
 参加者 企業関係者64名、中小企業基盤整備機構、三重県、市町関係者等 計101名  
 内容 講演会、企業交流会

施策の成果及び執行実績

- ・ PR資料の作成  
松阪市内産業用地ガイドブック作成〔工場跡地・遊休地等の分譲用地〕
- ・ 企業立地意向調査の実施  
東海及び関西地区の製造業2,259社に対してアンケート調査を実施
- ・ 企業訪問活動  
引き合い企業への訪問、立地意向調査有効回答企業への再フォロー  
立地企業の本社訪問、企業立地情報に係る関連機関への訪問等  
企業訪問件数 41社 53回

- 松阪中核工業団地企業立地促進奨励金 82,227  
松阪中核工業団地西地区において、工場等の新設があった場合、工場用地取得価格の30%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交付先	交付金額	交付期間
健栄製菓株式会社	30,921	H20年度～H24年度
株式会社奥村ゴム製作所	12,099	H17年度～H21年度
株式会社長井技研	10,694	H18年度～H22年度
新日本工業株式会社	20,958	H18年度～H22年度
株式会社トーヨーフードサービス	3,457	H18年度～H22年度
株式会社トモ	4,098	H20年度～H24年度

- 企業立地促進奨励金 7,500  
松阪中核工業団地西地区以外の市内全域において、工場等の新設があった場合は、工場用地取得価格の25%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交付先	交付金額	交付期間
ダイキョーニシカワ株式会社	7,500	H20年度～H24年度

- 各種団体等負担金 533
- ・ 松阪地域産業活性化協議会負担金 388
  - ・ 中南勢工業用水建設促進協議会負担金 5
  - ・ 日本立地センター 140

(款) 8 土木費

(項) 1 土木管理費

(単位 千円)

施策の成果及び執行実績

(目) 1 土木総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
309,599				29	309,570

- 一般職員給 296,167
- 各種団体等負担金 25
- 用地対策一般経費 13,112
  - 測量業務手数料 4,241、登記業務手数料 1,133 ほか
- 営繕一般経費 295
  - 研修会等出席負担金 112、書籍・消耗品 182 ほか

(款) 8 土木費

(項) 2 道路橋りょう費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 道路橋りょう総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
213,005				81	212,924

- 一般職員給 202,968
- 交通事故賠償金 81
- 各種団体等負担金 1,818
- 道路橋りょう一般経費 8,138
  - ・ 設計積算システム賃借料 1,304
  - ・ 設計積算システム保守委託料 1,270
  - ・ 事務補助員賃金 1,028
  - ・ 消耗品費 2,919 ほか

## (目) 2 道路維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
530,850	0	30,000		43	500,807

- 交通安全施設設置修繕事業費 35,965
  - ・ 道路反射鏡設置 62基
  - ・ 道路反射鏡修繕 68基
  - ・ 防護柵設置 774.5m
  - ・ 防護柵修繕 452.8m
  - ・ 道路区画線修繕 13,444.4m
  - ・ 交通安全施設設置 11箇所
  - ・ 交通安全施設修繕 16箇所 ほか

## ○ 道路維持修繕事業費 327,376

区 分	件 数	事業費
施設設備修繕	124件	16,899
道路維持修繕工事	62件	144,106
下水溝渠修繕工事	22件	51,335
舗装修繕工事	30件	77,253
除草工事	6件	13,162
歩道修繕工事	2件	4,364
排水路修繕工事	2件	1,139
側溝修繕工事	1件	630
小規模修繕工事	101件	18,488
計	350件	327,376

- 道路清掃等委託事業費 8,121
  - 草刈 (地域振興局管内) 6,693
  - 清掃等 (本庁管内歩道及び地下道) 1,428
- 道路補修用資材費 32,696
  - 市民要望・通報及び道路パトロール中に発見した道路等の破損箇所を処理した。(処理件数 664件)
- 雪寒対策道路維持事業費 336
  - 冬期に交通障害となる路面凍結防止等を行った。(道路巡視16回、凍結防止剤散布1回)

施策の成果及び執行実績

- 道路台帳整備委託事業費 80,175 (市町村合併支援交付金 30,000)
- 街路樹剪定等委託事業費 6,981  
植栽管理業務委託料
- 道路維持一般経費 28,218
  - ・ 街路灯電気代 10,749
  - ・ 手数料 4,538
  - ・ アルバイト賃金 4,201
  - ・ 備品等修繕 2,468
  - ・ 消耗品費 1,416
  - ・ 道路管理者賠償責任保険 1,242
  - ・ 燃料費 1,230 ほか
- 中川駅前・連絡道管理事業費 10,982
  - ・ エレベータ・エスカレータ管理業務委託 4,130
  - ・ 光熱水費 3,442
  - ・ 清掃委託 1,355 ほか

(目) 3 道路新設改良費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
470,071	94,764		340,000	3,435	31,872

- 島田北10号線道路新設事業費 29,228

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地費	事務費
道路改良工事	20,404	20,404			
地質調査・設計業務	3,237		3,237		
用地買収 A=1,505m <sup>2</sup>	3,767			3,767	
一般職員給、消耗品費 ほか	1,820				1,820
合 計	29,228	20,404	3,237	3,767	1,820

- 道路整備単独事業費 198,568

路線(事業)名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
海会寺幸生線	18,567			17,704	863
郷津川港道線	5,109	5,109			
塩浜塚本線	6,978	6,978			
西林田村線外	281			281	
寺谷線	6,599	6,599			
小阿坂曲線	203				203
上川北浦線	5,301	5,301			
第3小学校通り線	8,307	8,307			
松崎浦中島線	2,046		2,046		
郷津高町線	4,439	4,175			264
小望支線8号線	12,871	12,871			
橋梁点検要領策定	893		893		
松阪駅松阪港線	10,812	1,680	8,662	470	
森本南5号線外2線	5,549	5,549			
島田北10号線	565	398		167	
西肥留舞出線	22,415			22,231	184
星合舞出線	3,718		3,718		
北出線	39,845	39,845			

施策の成果及び執行実績

路線(事業)名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
深野中央線	869		869		
森小1号線	9,537	9,537			
早馬瀬1号線外	2,274		2,274		
三渡橋架替工事	31,390		31,390		
合計	198,568	106,349	49,852	40,853	1,514

- 県施行道路事業負担金 1,494
  - 三重県が実施する道路事業についての地元負担金(負担率1/10)
    - ・ 松阪青山線 900.0
    - ・ 国道422号 500.0
    - ・ 佐原勢和松阪線 2.7
    - ・ 嬉野津線 91.2

- 松阪駅松阪港線道路整備事業費 240,781

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	補償費	事務費
電線共同溝工事	46,320	46,320			
修景整備工事	85,874	85,874			
道路排水整備工事	12,606	12,606			
電線共同溝工事委託	79,853		79,853		
事後評価業務委託	2,073		2,073		
審査委員会事務局運営業務委託	342		342		
物件移転補償	11,065			11,065	
一般職員給、消耗品費	2,648				2,648
合計	240,781	144,800	82,268	11,065	2,648

(目) 4 橋りょう新設改良費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
76,332	41,983		33,300	302	747

- 橋りょう耐震補強事業費 34,772

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	事務費
宇栗子橋耐震補強設計	2,458		2,458		
宇栗子橋耐震補強工事	23,571	23,571			
大淵橋耐震補強設計	1,877		1,877		
野々口橋耐震補強設計	4,699		4,699		
一般職員給、消耗品費外	2,167				2,167
合計	34,772	23,571	9,034	0	2,167

- 橋りょう耐震補強事業費(繰越分) 41,560

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	事務費
小田橋耐震補強工事	20,856	20,856			
千歳橋耐震補強工事	10,367	10,367			
千歳橋塗替塗装工事	10,310	10,310			
消耗品費	27				27
合計	41,560	41,533	0	0	27

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 河川総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,496					2,496

- 各種団体等負担金 1,409
  - ・ 三重県河川協会 265
  - ・ 三重県治水砂防協会 410
  - ・ 櫛田川祓川改修促進期成同盟会 294
  - ・ 三重県雲出川治水事業促進期成同盟会 299
  - ・ 伊勢湾西南海岸事業促進期成同盟会 55 ほか
- 河川一般経費 1,087
  - ・ 土砂災害相互通報システム保守業務委託 576 ほか

## (目) 2 河川維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
72,201	3,058	1,829		30,003	37,311

- 河川維持修繕事業費 53,774
  - ・ 準用河川前沖川外4件河川維持工事 18,977
  - ・ 宝塚排水路外5件維持工事 18,433
  - ・ 河川清掃・除草業務委託 15,273 ほか
- 樋門・樋管等管理事業費 14,806
  - ・ ポンプ場等電気料金 7,228
  - ・ 櫛田川排水樋管等操作業務委託 3,058
  - ・ 県管理樋門等操作業務委託 1,829
  - ・ 施設設備修繕 1,124 ほか
- 調整池管理事業費 3,621
  - ・ パークタウン学園前調整池外15池管理工事 2,750
  - ・ 調整池電気料金 300
  - ・ 調整池施設管理者賠償責任保険及び監視員傷害保険 233 ほか

## (目) 3 河川改良費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
139,852	5,000		123,300	2,615	8,937

- 県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金 9,188

箇所	種別	負担率	金額
西野地区	国補	1/10	5,300
下茅原2地区	国補	1/20	565
栢川地区	国補	1/20	3,323
合 計			9,188



施策の成果及び執行実績

○ 河川改良単独事業費 115,500

河川名	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
中川	66,395	4,005	61,974		416
富士見谷川	11,693	11,693			
九手川	1,298		1,298		
名古屋川	918			918	
真盛川	35,196			33,963	1,233
合計	115,500	15,698	63,272	34,881	1,649

○ 県施行海岸環境整備事業負担金 164

箇所	負担率	金額
吹井ノ浦地区海岸	1/5	164

○ 準用河川九手川改修事業費 15,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
鉄道橋補強工事詳細設計	15,000		15,000		

(目) 4 浸水対策費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
62,835			59,600	3,235	0

○ 浸水対策事業費 62,835

箇所	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
獺師排水路	6,699	6,699			
大津排水路	30,415	30,415			
新川・登志屋川	13,646	13,646			
津上排水路	12,075	12,075			
合計	62,835	62,835	0	0	0

(目) 5 水防費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,138					1,138

○ 水防施設管理事業費 831

・ 水防用資材 748 ほか

○ 水防一般経費 307

・ 消耗品費 182、水防研修旅費 57 ほか

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 港湾管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
85,886			29,000	3,694	53,192

## ○ 県施行松阪港改修事業負担金 36,271

箇 所	負担率	金額
国補港湾整備事業（航路浚渫）地元負担金	1/10	30,000
県単独港湾整備事業（航路浚渫）地元負担金	2/10	740
津松阪港埠頭用地造成事業（起債償還分）地元負担金	2/10	5,531
計		36,271

## ○ 海上アクセス旅客ターミナル管理事業費 19,647

- ・ 松阪港旅客ターミナル駐車場管理システム保守点検業務委託 504
- ・ 旅客ターミナル施設警備委託 11,702
- ・ 松阪港・セントレア旅客ターミナル定期清掃業務委託 420
- ・ 光熱水費 4,793
- ・ セントレア土地占用料 470 ほか

## ○ 海上アクセス利用促進事業費 29,411

期 間	人数 (人)	補助金額 (円)	内 容
H20. 9. 1 ~ H20. 9. 30	9,028	6,714,390	中部国際空港と津松阪港松阪港区大口地区を結ぶ海上アクセスの利用促進を図るため、急激な燃油高騰の状況に鑑み、海上アクセス利用者の負担となる燃料油価格変動調整金について補助した。
H20. 10. 1 ~ H20. 10. 31	11,285	8,336,840	
H20. 11. 1 ~ H20. 11. 30	10,643	7,830,920	
H20. 12. 1 ~ H20. 12. 31	8,930	2,195,180	
H21. 1. 1 ~ H21. 1. 31	8,284	2,038,840	
H21. 2. 1 ~ H21. 2. 28	9,299	2,295,110	
計	57,469	29,411,280	

## ○ 各種団体等負担金 487

- ・ 三重県港湾海岸協会会費 235
- ・ 日本港湾協会会費 100
- ・ 松阪港振興協議会負担金 50
- ・ 津松阪港直轄海岸事業促進期成同盟会会費 102

## ○ 港湾管理一般経費 70

- ・ 消耗品費 31 ほか

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 都市計画総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
207,724	0	0	37,700	9,625	160,399

○ 一般職員給 144,838

○ 屋外広告物事業費 2,242

屋外広告物の許可事務、また、はり紙・はり札・立看板などの違法広告物の簡易除却、業者等への指導を行い、良好な景観形成、風致維持、危険防止に努めた。

許可事務実績 新規194件、継続1,210件、除却届131件 計1,535件

簡易除却実績 はり紙308件、はり札194件、広告旗0件、立看板10件 計512件

指導事務実績 未許可物件220件

指定事務実績 禁止地域3路線、沿道景観地区1地区

・屋外広告物規制図印刷代 231

・松阪市ホームページ屋外広告物規制区域図作成業務委託 961 ほか

○ 都市計画審議会事業費 450

・松阪市都市計画審議会委員報酬（委員20名のうち18名 3回開催） 308 ほか

○ 都市景観推進事業費 9,642

松阪市景観計画の策定及び松阪市景観条例の制定を行った。松阪市景観計画で定めた景観形成基準や届出制度について、その目的や内容をわかりやすく市民や事業者に伝えるため、具体的な事例、図解などを用いて解説する「松阪市景観計画運用ガイドライン」を作成した。

・松阪市景観計画運用ガイドライン策定等業務委託 3,150

・平成20年度本町地区街道修整整備工事 5,635

・松阪市景観計画策定委員会委員報酬（委員14名中12名分） 147 ほか

○ 交通施設バリアフリー化設備整備補助金 39,779

「松阪市交通施設バリアフリー化設備整備補助金交付要綱」に基づき、近鉄伊勢中川駅構内のバリアフリー化を図るためのエレベーター設置（4基）等に対し補助金を交付した。

○ 都市計画区域等変更事業費 3,339

・松阪市都市計画区域等変更業務委託 3,339

○ 景観審議会事業費 130

・松阪市景観審議会委員報酬（委員10名のうち10名 2回開催） 126 ほか

○ 弁護士委託等事業費 518

・松阪駅西地区市街地再開発事業にかかる公金支出差止請求住民訴訟事件に伴う弁護士報酬 515 ほか

○ 各種団体等負担金 526

・三重県都市計画協会会費 300 ほか

○ 都市計画一般経費 6,260

・パソコン、プリンター、コピー機借上料 521

・GIS都市計画管理システム保守点検委託料 263

・都市計画図等印刷代 132

・旅費 227

・事務用消耗品費 628

・コピーカウント料 982 ほか

施策の成果及び執行実績

(目) 2 中心市街地活性化推進費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,530	0	1,128	0	0	5,402

- 中心市街地活性化事業費 4,082
  - ・ 松阪市中心市街地活性化基本計画策定業務委託 3,386 ほか
- 松阪駅西地区市街地再開発事業費 2,448
  - ・ 松阪駅西地区市街地再開発コーディネート業務委託 1,800
  - ・ 松阪駅西地区市街地再開発事業広報紙(第3号)作成業務委託 323 ほか

(目) 3 土地区画整理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
232,746	64,200	0	142,000	12,770	13,776

- 中川駅周辺区画街路整備基金積立金 12,770 (平成20年度末現在高 66,655)
- 中川駅周辺整備事業費(まちづくり交付金) 166,771

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	用地・補償	事務費
中川駅周辺整備事業費(まちづくり交付金)	松阪市中川新町地域交流センター新築工事監理業務委託1式	1,890		1,890		
	松阪まちづくり交付金事業事後評価業務委託 まちづくり交付金事業事後評価1式	1,602		1,602		
	松阪市中川新町地域交流センター新築工事(建築) 交流センターS造平屋建て 499.30㎡、自転車置場S造平屋建て 21.60㎡	126,252	126,252			
	松阪市中川新町地域交流センター新築工事(機械設備) 機械設備工事1式 他 交流センターS造平屋建て 499.30㎡	17,588	17,588			
	松阪市中川新町地域交流センター新築工事(電気設備) 電気設備工事1式 他 交流センターS造平屋建て 499.30㎡	10,823	10,823			
	人件費、消耗品費 他	8,616				8,616
	計	166,771	154,663	3,492	0	8,616

- 中川駅周辺整備事業費(単独) 53,205
  - ・ 松阪市中川新町地域交流センター施設建設に伴う用地費 47,987
  - ・ 三重県市町公共事業評価審査委員会事務局運営業務委託 342
  - ・ 松阪市中川新町地域交流センター新築工事に伴う水道給水分担金 293
  - ・ 松阪市中川新町地域交流センター新築工事に伴う施設備品購入 4,583

施策の成果及び執行実績

(目) 4 街路事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
163,313			151,100		12,213

○ 県施行街路事業負担金 163,313

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線 (地方交付金道路整備事業)	1/6	69,167
〃 (国庫補助事業)	1/6	67,500
〃 (地方特定道路整備事業)	1/6	18,833
〃 (県単独事業)	1/2	4,199
三渡樋田橋線 (地方特定道路整備事業)	1/6	3,614
合 計		163,313

(目) 5 公園管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
99,014					99,014

○ 都市公園維持管理事業費 93,905

- ・ 各種公園維持業務委託 71,480
- ・ 施設設備修繕 11,077
- ・ 光熱水費 8,949
- ・ 原材料 294
- ・ 消耗品費 1,196 ほか

○ 都市公園整備事業費 4,605

- ・ 荒木公園外都市公園整備工事 2,586
- ・ 八田団地公園外2公園整備工事 2,019

○ 各種団体等負担金 102

- ・ 日本公園緑地協会 55
- ・ 全国都市公園整備促進協議会 47

○ 公園一般経費 402

- ・ 消耗品費 251 ほか

(目) 6 公園建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
302,830	126,810		124,400	2,710	48,910

○ 公園建設事業費 302,830

事業名	事業内容	事業費	事業費用内訳			
			工事費	委託料	用地・補償	その他
総合運動公園 建設事業費 (単独)	附帯工事 進入路整備工事	25,603	25,603			
	用地買収 A=830.94m <sup>2</sup>	6,973		6,973		
	不動産鑑定手数料等	528			528	
	小 計	33,104	25,603	0	6,973	528

施策の成果及び執行実績

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	用地・補償	その他
総合運動公園建設事業費(補助)	公園建設工事	135,067	135,067			
	公園実施設計	12,333		12,333		
	一般職員給等事務費	6,800				6,800
	小計	154,200	135,067	12,333	0	6,800
宝塚古墳公園建設事業費(単独)	公園建設工事	3,409	3,409			
	用地買戻地価下落相当分	1,601			1,601	
	不動産鑑定手数料	42				42
	小計	5,052	3,409	0	1,601	42
宝塚古墳公園建設事業費(補助)	公園建設工事	32,325	32,325			
	用地買収A=459㎡物件移転補償	17,265			17,265	
	一般職員給等事務費	2,210				2,210
	小計	51,800	32,325	0	17,265	2,210
木場公園建設事業費	公園建設工事	4,554	4,554			
	設計業務	500		500		
	小計	5,054	4,554	500	0	0
総合運動公園建設事業費(補助)(繰越分)	公園建設工事	53,601	53,601			
	消耗品費	19				19
	小計	53,620	53,601	0	0	19
合計		302,830	254,559	12,833	25,839	9,599

(目) 7 建築開発費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
178,038	16,085	606		65,024	96,323

○ 一般職員給 113,916

○ 建築開発事業費 43,750

建築基準法、都市計画法、国土利用計画法に基づく建築確認申請、道路位置指定申請、開発許可申請、土地売買届出等の受付及び審査業務を行った。

施策の成果及び執行実績

・申請等件数

申請名	件数	申請名	件数
建築確認申請	624件	道路位置指定申請	13件
完了検査申請	545件	都市計画法に基づく許可申請	47件
構造計算適合判定申請	16件	優良宅地認定申請	0件
計画通知申請	23件	優良住宅認定申請	0件
三重県バリアフリーのまちづくり推進条例申請	58件	国土利用計画法届出	31件
建築等許認可申請	19件	開発許可申請	77件

○ 公共施設等基金積立金 20,131 (平成20年度末現在高 104,604)

宅地開発を行う業者から「松阪市開発行為に関する指導要綱」により開発納付金を徴収し、基金として積立てる。

- ・開発納付金(42件) 19,585
- ・公共施設等基金利子 546

○ 建築審査会事業費 241

特定行政庁の諮問に応じて、建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議させるために置かれている「建築審査会」を開催した。

建築審査会開催回数	内 容
第1回建築審査会 (H20.7.28)	包括案件報告 6件 個別案件 2件 ・報告事項 平成20年度東海ブロック建築審査会協議会について
第2回建築審査会 (H21.2.3)	包括案件報告 10件 ・報告事項 松阪市景観計画と景観条例について 第55回全国建築審査会長会議について 指定道路台帳の整備について

(目) 8 都市下水路費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
131,127					131,127

○ 都市下水路管理運営事業費 115,043

事業内容	事業費	管内別内訳		備考
		本庁	嬉野	
ポンプ場及び排水機場施設運転管理業務委託	86,310	60,480	25,830	
電気保安業務及び消防施設保守管理業務等委託	2,697	2,097	600	浄化槽維持管理、消防施設、電気保安、芝生管理
中川西部・東部排水機場除草業務委託	780		780	
都市下水路草刈業務委託	1,545	1,545		
山室都市下水路調整池草刈等施設管理業務委託	2,915	2,915		
ポンプ場及び排水機場施設修繕料	10,451	5,454	4,997	大口1,577 沖ス452 宮町3,014 外五曲411 中川東部2,048 中川西部2,949
燃料費、光熱水費、電話料金ほか	10,345	8,787	1,558	
計	115,043	81,278	33,765	

施策の成果及び執行実績

○ 都市下水路施設整備事業費 16,084

各ポンプ場の機械修繕、分解点検と導水路の整備を図った。

種別	工事名	工事内容	工事費
大口ポンプ場	大口ポンプ場No.1エンジンE点検整備工事	No.1エンジンE点検整備工事 1式	1,825
	大口ポンプ場放流ゲート制御盤整備工事	放流ゲート制御盤整備工事 1式	1,240
宮町ポンプ場	宮町ポンプ場屋上防水改修工事	屋上防水改修工事 1式	4,198
	宮町ポンプ場避雷設備整備工事	避雷針設備整備 1式	1,803
	宮町ポンプ場No.3エンジンE点検整備工事	No.3エンジンE点検整備工事 1式	2,082
沖スポンプ場	沖スポンプ場No.2エンジンE点検整備工事	No.2エンジンE点検整備工事 1式	2,088
導水路	導水路維持管理工事 (その1)	末広町地内 浚渫工 V=26.0m <sup>3</sup> 除草工 A=2,814m <sup>2</sup>	755
	導水路維持管理工事 (その2)	大口町地内 フェンス設置工 L=95.6m	1,758
	導水路維持管理工事 (その3)	東町地内 フェンス設置工 L=14.0m	335
計			16,084

(目) 9 下水道費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,282,474					2,282,474

○ 公共下水道事業会計繰出金 2,277,873

- ・ 事務費繰出金 190,748
- ・ 建設費繰出金 33,268
- ・ 公債費財源繰出金 (元金) 1,425,019
- ・ 公債費財源繰出金 (利子) 628,838

○ 高須町公園多目的広場施設管理事業費 2,795

- ・ 高須町公園多目的広場内木製テーブル修繕 34
- ・ 高須町公園多目的広場除草業務委託 2,761  
A=25,300m<sup>2</sup> 機械除草工 年3回、抜根除草工 年3回、施肥工 年1回

○ 高須町公園多目的広場施設整備事業費 1,806

- ・ 植樹 10本
- ・ 園路工 A=96.3m<sup>2</sup>
- ・ 暗渠排水工 L=60.0m



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 住宅管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
235,366				174,339	61,027

○ 一般職員給 85,605

○ 市営住宅管理運営事業費 29,781

市営住宅入居者募集状況

区 分	6月	12月	計
募集戸数	24戸	29戸	53戸
応募者数	55人	50人	105人

市営住宅管理状況

公営住宅	改良住宅	その他住宅	計
1,234戸	409戸	19戸	1,662戸

○ 市営住宅維持修繕費 89,271

- ・ 市営住宅修繕料 88,714
- ・ 修繕用原材料費 557

○ 市営住宅修繕工事費 28,169

- ・ 上川町団地C2・C3棟屋上防水改修工事 3,847
- ・ 清生町団地C10棟物置改修工事 4,575
- ・ 東町改良住宅ベランダ防水改修工事 4,971
- ・ 粥田団地2階建住宅屋上防水改修工事 7,320
- ・ 東町2町内公園整備工事 3,670
- ・ 宝塚団地C11棟他ガス管改修工事 3,786

○ 若者定住住宅管理事業費 603

・ 若者定住住宅入居者募集状況

区 分	2月	計
募集戸数	6戸	6戸
応募者数	13人	13人

・ 若者定住住宅管理状況

農林業就業者住宅	3戸
若者定住住宅	21戸

○ 公営住宅及び共同施設建設等基金積立金 92 (平成20年度末現在高 2,933)

○ 市営住宅火災等復旧事業費 777

- ・ 清生町団地5棟125号他火災復旧工事設計業務委託 777

○ 住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金 1,058

○ 各種団体等負担金 10

施策の成果及び執行実績

(目) 2 住宅建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
84,872	9,915		60,300	11,344	3,313

○ 公営住宅ストック改善事業費 40,128

箇 所		事業費	事業費内訳	
			工事費	事務費
バリアフリー工事	高田団地 7戸	40,128	12,915	834
	中万町団地 5戸			
	東町団地 32戸		26,379	
合 計		40,128	39,294	834

○ 若者定住住宅施設整備事業費 44,744

- ・ 水道設計審査及び工事検査手数料 9
- ・ 若者定住住宅新築工事設計業務委託 875
- ・ 若者定住住宅新築工事 43,696  
(若者定住住宅新築3戸)
- ・ 給水分担金 164

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 常備消防費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,150,833	18,000		55,800		2,077,033

## ○ 松阪地区広域消防組合分担金 2,150,833

人件費	1,750,737	物件費	160,901	維持補修費	1,524
補助費等	14,173	普通建設事業費	97,003	公債費	126,495

## (目) 2 非常備消防費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
197,400			15,500	27,944	153,956

## ○ 消防団員消防・水防手当 54,917

種別	人員	金額
ラッパ隊手当	12人	90
機械器具点検手当	延 1,420人	6,804
訓練手当	延 10,433人	36,515
水火災出動手当	延 2,877人	11,508
計		54,917

## ○ 消防団員報酬 40,664

種別	人員	金額
年手当	1,420人	40,664

## ○ 消防団長交際費 12

## ○ 消防団員家族感謝会補助金 2,130

事業名	事業主体及び事業量	事業費	市補助金	成 果
消防団員家族感謝会補助金	松阪市消防団員等共済会	2,130	2,130	消防団員等に対する厚生事業として、家族感謝会の開催に対し助成を行った。
計		2,130	2,130	

## ○ 消防団員退職報償金等 (91人分) 26,483

## ○ 消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 30,553

- ・ 消防団員等公務災害補償等掛金 3,289
- ・ 消防団員退職報償金掛金 27,264

## ○ 全国消防団員福祉共済制度加入掛金 4,260

- ・ 消防団員福祉共済掛金負担金 1,420人分

## ○ 小型動力ポンプ付積載車購入事業費 18,795

年次計画に基づき消防車両を更新配備し、迅速・確実な消火体制を整備した。

- ・ 積載車4台 18,795

普通車 (2WD) 2台 (松阪方面団宇気郷分団与原班、飯南方面団粥見分団 1班)

普通車 (4WD) 2台 (飯高方面団森分団2班、飯高方面団波瀬分団 1班)

## ○ 消防団員公務災害補償費 1,724

消防団員の遺族補償年金1人及び団員2人の療養等に対して補償を行った。

## ○ 消防団員健康診断事業費 207

消防団員69人に対し、健康の保持増進を図るため、健康診断を実施した。

施策の成果及び執行実績

- 各種団体等負担金 1,223  
三重県消防協会松阪支会分担金 1,097、三重県消防学校入校負担金 101 ほか
- 非常備消防一般経費 16,432  
消防団運営にかかる諸経費（需用費、旅費、公課費、報償費等）

(目) 3 消防施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
71,338	13,090		33,600		24,648

- 水道事業会計繰出金 15,466  
・ 新設消火栓（11基）の設置及び既設消火栓（29基）の維持管理を実施した。
- 消防施設管理事業費 5,687  
防火水槽の撤去及び消防車庫の補修修繕等を図った。
  - ・ 松阪市大黒田町地内防火水槽撤去 690
  - ・ 消防車庫シャッター修繕 182
  - ・ 車庫修繕 71
  - ・ 松阪市嬉野平生町警鐘塔解体撤去 153
  - ・ 市内の消火栓の点検を消防団に委託 4,445
  - ・ 原材料費 146

- 消防防災施設整備事業費 34,017  
耐震性貯水槽を本庁管内3基、嬉野・飯高管内各1基を地域の避難場所等の主要な場所への設置を図った。

- ・ 耐震性40t級有蓋二次製品耐震性貯水槽 5基 33,403

地域	設置場所	金額	地域	設置場所	金額
本庁	松尾小学校	6,370	嬉野	中原小学校	6,502
	徳和小学校	7,134	飯高	飯高林業総合センター	6,641
	射和小学校	6,756			
計					33,403

- ・ 防火水槽有蓋化工事（嬉野権現前・嬉野須賀領町） 460
- ・ 伊勢寺分団車庫ホース塔移設工事 154
- 消防・防災訓練センター管理運営事業費 215  
消防・防災訓練センター光熱水費 215
- 消防団機構改正施設整備事業費 15,953  
中高層建物火災の戦闘技術の一体制を確保するため消防・防災訓練センター敷地内に訓練施設の建設を図った。
  - ・ 地質調査業務委託 737
  - ・ 工事設計業務委託 556
  - ・ 工事監理委託 315
  - ・ 消防訓練塔新築工事 14,345

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 教育委員会費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,673					4,673

- 教育委員会委員報酬 4,152  
(委員長1人・委員3人、16回会議開催)
- 各種団体等負担金 232
- 教育委員会一般経費 289

## (目) 2 事務局費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
682,977	190			369	682,418

- 一般職員給 658,913
- 各種補助金等 4,297

事業名	事業内容	金 額	成 果
私立幼稚園就園奨励費補助金	146,200円×4人 129,000円×1人	714	保護者の経済的負担の軽減を行い、幼稚園教育の振興を図った。
私立高等学校振興費等補助金	1校 2,500円×957人 11校 1,500円×460人	3,083	私立高等学校の運営に要する経費の助成を行い、教育の振興を図った。
高等学校・大学入学援助金	入学援助金 高校20,000円×18人 高専20,000円×1人 短大20,000円×1人 大学20,000円×5人	500	市民税非課税世帯で高等学校・大学等に入学する生徒に入学援助金を支給し、入学時の経済的負担の軽減を図った。
計		4,297	

- 奨学基金積立金 339 (平成20年度末現在高 57,113)
- バスセンター運営事業費 4,533  
飯高管内において、スクールバスの運行により遠距離通学となる児童、生徒の通学手段の確保を図った。  
利用者：飯高西中 25人、宮前小 65人、香肌小 58人
- スクールバス運営事業費 2,212  
本庁・嬉野・飯南管内において、スクールバスの運行により遠距離通学となる児童、生徒の通学手段の確保を図った。  
利用者：伊勢寺小 3人、西中 1人、豊地小 33人、粥見小 5人
- 各種団体等負担金 571
- 教育委員会事務局一般経費 12,112

施策の成果及び執行実績

(目) 3 教育指導費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
164,254		6,140		86	158,028

- 外国語指導助手職給与 7,569  
(2人雇用)

- 国際化事業費 32,214

事業名	金額	成果
外国語指導助手 (ALT) 事業費	3,655	国際化時代における外国語教育の充実と国際理解を深めるために、外国語指導助手として外国人青年を招致し、外国語教育等の補助や国際交流活動を行った。 (中学校329回、幼稚園55回)
外国語指導助手派遣事業費	28,297	国際化時代における外国語教育の充実と国際理解を深めるために、外国語指導助手7名を委託派遣し、外国語教育等の補助や国際交流活動を行った。(中学校682回、小学校545回、幼稚園34回訪問)
友好都市交流事業費	262	中華人民共和国無錫市濱湖区との友好都市交流事業として濱湖区と松阪市の小中学生に風景画を募集し、「児童生徒絵画作品展」を双方で開催し、それぞれが自分たちの住む市に愛着を持ち、相互理解を深め、今後の発展の原動力とした。
計	32,214	

- 児童生徒指導事業費 116,922

事業名	金額	成果
わくわくワーク事業費	1,640	市内12中学校で3日～5日間のワーク週間を設け、中学生それぞれが校区内の事業所で勤労体験を通して、働くことの意義や苦勞を学び、地域の人々と交流することにより相互理解を図った。 (1,366人参加 401事業所)
教科書及び指導書導入事業費	3,844	小中学校において新学期のクラス編成に伴う増級分及び継続して使う教科で新版分の教師用教科書・指導書の購入配付により指導の充実を図った。また、バーコードリーダーを使用して、中学校の外国語授業を円滑に実施した。
副読本及び準教科書等活用事業費	1,431	中学校1年生の準教科書として「体育実技」1,366冊を購入配付した。 またホームページ化した社会科副読本「わたしたちの松阪市」の改編作業を実施した。
松阪市特別支援教育振興会補助金	450	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の個々のニーズに即した教育実践や生活体験を深めるための諸行事を行った。(実践交流会、交歓会、夏季合宿学習、校外学習、連合同窓会等)
特色ある学校づくり推進事業費	15,200	小中学校・幼稚園において、地域住民等の協力を得て、農業体験、国際交流活動、福祉施設訪問、環境保全・美化等の様々な特色ある体験活動を総合的な学習の時間等で展開して、確かな学力や豊かな人間性・社会性を育成した。

施策の成果及び執行実績

事業名	金額	成果
生徒指導緊急活動支援事業費	2,000	松阪市生徒指導連絡協議会へ事業を委託し、教職員の認識や対応を十分なものにし、学校と関係機関の連絡会議を開催し連携を図った。また、緊急時における対応を支援して問題行動の早期発見解決を図った。 家庭訪問や地域のパトロール等の時間外緊急活動 小学校延べ1,865件 1,377時間 6,383km 中学校延べ5,950件 7,031時間 31,386km 連携を図るための会議・研修会 10回
読書室いきいきプラン事業費	23,350	中学校の読書室に図書館司書を配置し、図書の整備を図るとともに生徒への読書案内や読書室の開閉、図書の貸し出し・返却業務を行うなどして生徒の読書活動の推進と充実を図った。 殿町中、鎌田中、久保中、中部中、大江中、東部中、西中、三雲中、飯南中、飯高西中、飯高東中へ配置
体育文化振興事業費	646	松阪市小中学校音楽会を開催し、音楽活動の振興と小中学校の相互の親睦を図り、児童生徒の豊かな人間性を育んだ。
児童生徒体育文化行事参加旅費等補助金	5,890	体育・文化各種大会への参加の振興を図った。 参加延人数 2,352人
児童生徒安全対策支援事業費	3,474	地域や保護者等と連携し、学校や通学路における事故や犯罪の未然防止を図り、児童生徒の安全確保に努め、保護者の負担軽減を図った。 (ヘルメット 2,253個、交通安全帽子 1,183個、防犯ブザー1,804個)
サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業費	3,000	久保中学校区をモデル校区として指定し、いじめ、暴力行為、非行などの問題行動に対し、学校・教育委員会・関係機関等が連携し、養育環境と学習環境の改善及び社会自立心の確立に向けた研究実践を行い、支援体制の構築を図った。
特別支援教育推進事業費	47,741	障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育実践や生活体験等の行事を積極的に行った。重度障がいやLD、ADHD、高機能自閉症等の支援が必要な児童生徒に対して学習面や生活面で特別な教育的支援を行う学校生活アシスタントを配置し、適切な指導及び支援を実施した。また、障がい児就学支援委員会へ委託し、就学児の適正な就学指導を実施した。
いじめ等対策事業費	7,106	不登校やいじめ、暴力行為等により、心に悩みや不安を抱えている児童生徒を直接的に支援するため、専門性を有するハートケア相談員8名を中学校区内の複数校15校に配置し、教職員と連携した心のケアを行うとともに相談活動を通して小中連携の推進に寄与した。大学教授を招いて研修会、事例検討会を行い、教職員のカウンセリングマインドの向上や教育課題についてのスキルアップを図った。学級満足度尺度調査(Q-U)を行うことにより、児童生徒の実態把握に努め、分析結果を今後の学級づくりに活用した。
学校・保護者コミュニケーション充実事業費	400	学校を保護者・地域のボランティア活動等の拠点として、学校・家庭・地域・関係機関等が一体となって生徒とともに美化活動・あいさつ運動などの総合的な取組を行い、コミュニケーションを通じて、生徒の規範意識や倫理観、道徳観の育成を図った。 モデル校 東部中学校・飯高東中学校

施策の成果及び執行実績

事業名	金額	成果
生徒指導総合連携推進事業費	750	中部中学校区を研究推進校区として指定し、教育委員会と学校・家庭・地域及び関係機関が連携及び協力し、生徒指導上の諸課題の解決に向けた研究実践を推進した。学級満足度尺度調査（Q-U）を活用した学級診断・分析により、学級運営や個々の生徒への指導力向上を図るとともに、専門的見識を有する助言者による事例検討会の実施や中学校区に配置した連携相談員の継続的な相談活動により、小中学校の連携を強化し、生徒指導体制の確立を図った。
計	116,922	

○ 教育指導事業費 5,061

事業名	金額	成果
学校評議員推進事業費	894	各小中学校において、学校評議員（149人）を設置し、教育活動の実施や学校と地域社会との連携の進め方などを協議し、学校運営に役立てた。各校において年2～3回開催し、延べ284回の助言や提言を受けた。
松阪市教育研究会補助金	1,000	市内幼小中の教員約1,120人で組織する教育研究会の授業研究等の活動に補助し、教職員の資質の向上を図るとともに、教育実践効果を高めた。
学力向上推進プロジェクト事業費	1,997	幼稚園・小学校・中学校の連携を密にして、確かな学力や豊かな人間性、社会性の育成などについて中学校区を単位とした研究推進体制を構築し、継続性のある教育活動を推進した。「松阪の教育を語るシンポジウム」を開催し、松阪の教育を推進していく指針となる「松阪市教育ビジョン」の実現に向け、教育関係者が議論を深めた。
学力アドバンス事業費	470	東部中学校区をモデル校区として指定し、豊かな表現力・コミュニケーション力の育成をめざし、校区の幼稚園・小中学校が共通理解を図り、相互の機能を効果的に発揮しながら、継続性のある生活、学習指導等の取組を実施し、連続した教育の研究を推進した。また、基礎学力の定着を目指し、柿野小学校を推進校として指定し、大学教授の指導のもと、算数を核とした研究を進め、学習意欲の向上や学習習慣の確立を図るとともに、授業を通して基礎的・基本的な知識・技能の習得や解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図った。
小学校における英語活動等国際理解活動推進事業費	700	米ノ庄小学校を拠点校として指定し、カリキュラムの作成やコミュニケーション能力育成のための効果的な指導方法の研究を行うとともに、研究授業や実践交流会を開催し、国際理解活動の指導力向上を図った。
計	5,061	

○ 各種団体等負担金 166

○ 教育指導一般経費 2,322

(目) 4 子ども支援研究センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
79,850	0	0	0	2,302	77,548

○ 一般職員給 47,615



施策の成果及び執行実績

○ 教育支援センター推進事業費 3,264

2つの教育支援センター（鈴の森教室・うれしの教室）において、不登校児童生徒の適応指導や保護者・関係者への教育相談を実施し、学校復帰や出席日数の改善を図った。

- ・相談及び通級指導対象児童生徒数 106人
- ・相談延べ件数 3,249件（面接2,114件、電話1,135件、学校訪問318回）

○ 教育研究事業費 237

今日的教育課題をもとに、教育実践に役立つ研究を行い、その成果をまとめ、指導資料として学校・園や教育関係機関に配付した。

- ・研究集録第115集 「自己や社会にある差別性を見抜く豊かな人権意識と、変革していくことができる行動力を創造するための人権・部落問題学習モデル授業案の作成」 300冊
- ・研究集録第116集 「小学校5・6年生の外国語活動として、学級担任が英語活動をどのようにすすめていくか -文部科学省の『英語ノート』を使った実践例から-」 300冊

○ 教職員研修事業費 669

幼稚園・小中学校の教職員を対象に29の講座を実施。日常の教育実践や教育研究、あるいは実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供することにより、教職員の指導力向上に寄与した。

実施日	講座名		参加人数
H20. 6. 6	特別支援教育	園・学校における特別支援教育体制づくり	69人
H20. 6. 19	児童生徒理解	子どもへのかかわりにあたって ～サインを見逃さない～	30人
H20. 7. 22	音楽科教育	子どもたちの感性を豊かに育てる鑑賞の指導とは ～たのしい音楽カルタづくり～	34人
H20. 7. 23	道徳教育	子どもの心に響く道徳教育の指導の工夫	68人
H20. 7. 24	英語活動	子どもが生き生きする英語コミュニケーション活動の秘密	34人
H20. 7. 25	体育科教育	子どもに達成感を味わわせる器械運動のコツ ～マット運動他（実技）～	31人
H20. 7. 28	特別支援教育	学校で取り組むソーシャルスキル・トレーニング（演習）	68人
H20. 7. 29	学力の基礎	「聞く力」・「言葉の力」をどう育てるか	182人
H20. 7. 30	図工科教育	子どもが生き生き取り組む図工教育のために	34人
H20. 7. 31	国語科教育	「書く」ことで子どもの学ぶ力を伸ばす	87人
H20. 8. 1	社会科教育	社会科副読本ホームページ「わたしたちの松阪市」を授業で活用する術	33人
H20. 8. 4	国語科教育	読み高める力をどうつけるか ～自力で読める子～	125人
H20. 8. 5	算数科教育	多様な子どもの考えをひき出す算数の授業	30人
H20. 8. 5	保護者対応	「クレーム」を保護者との連携につなげる	63人
H20. 8. 7	特別支援教育	通常学級に在籍する発達障がい児の個別指導	103人
H20. 8. 8	児童生徒理解	体験を通して学ぶ、構成的グループエンカウンター	31人
H20. 8. 8	家庭科教育	お菓子づくり実習を楽しくするアイデア（実習）	58人
H20. 8. 11	特別支援教育	発達障がいを持つ子の「いいところ」応援計画	81人
H20. 8. 12	郷土教育	豊かな松阪市の史跡を歴史学習の入口に（史跡めぐり）	18人
H20. 8. 18	情報教育	子どもを授業にひきつけさせるICTの活用	29人
H20. 8. 19	人権同和教育	わたしが出会った人々から学んだこと	79人
H20. 8. 20	英語活動	学級担任ならではの小学校英語活動 ～英語ノートを使った実践も含めて～	75人
H20. 8. 21	児童生徒理解	子どもの育ちを考える ～不登校・いじめ問題の視点から～（事例研究）	32人
H20. 8. 22	小1プロブレム	就学前・低学年の担任として互いに連携できること	29人
H20. 8. 25	総合的な学習	子どもと楽しむ新聞活用学習	37人
H20. 8. 26	読書活動	子どもと本とのしあわせな出会いのために	56人
H20. 8. 27	教育講演会	いま、子どもたちは。私たちにできること、しなければならないこと。	1,189人
H20. 8. 28	理科教育	楽しくなる理科の授業のアイデア（実技）	37人
H20. 10. 24	特別支援教育	事例を通して具体的な支援の在り方を考える（事例研究）	63人
	計		2,805人

施策の成果及び執行実績

○ 教育相談事業費 227

幼児・児童生徒の生活や学習、心の問題等について、子どもや保護者・教職員への教育相談を実施し、支援を行った。

相談延べ件数 1,206件（面接933件、電話 273件）

○ 教育情報活動事業費 192

要覧・たより等による広報活動を行うとともに、教育研究や教育実践に役立つ図書・資料を収集し、教職員への情報提供と貸し出しを行った。

センターだより 12回発行、図書の購入 60冊

○ 乳幼児教育研修事業費 665

保育園の保育士や幼稚園・小学校の教職員および保護者を対象に、5つの講座を実施。乳幼児教育や子育て支援、子ども理解に役立つ研修の場を提供することにより、保育士や教職員等の資質向上を図った。

実施日	講座名		参加人数
H20.6.21	ふれあい遊び	ふれあい遊びで保育・教育を楽しもう	191人
H20.7.12	食育	早寝・早起き・朝ご飯	129人
H20.8.23	特別支援教育	今、このときにできること	94人
H20.10.18	保育・子育て	笑顔の保育でみんな生き生き！	149人
H20.12.8	親子遊び	子どももおうちの人も先生もみんなつながって遊ぼう	238人
計			801人

○ 心のカウンセラー相談員配置事業費 1,347

臨床心理士や精神科医等、専門性を有したカウンセラーによる相談を3か所（子ども支援研究センター・嬉野教育事務所・飯南教育事務所）で実施し、困難な課題を抱えた幼児・児童生徒及び保護者・教職員への支援を行った。

相談実施回数 69回、相談延べ件数 182件

○ 子ども支援研究センター管理運営事業費 17,971

施設利用者の安全と市民の余暇・レクリエーション等の活動の場を保障するため、施設の円滑な管理運営に努めた。

（光熱水費 6,635、施設維持管理等委託料 4,000、修繕料 4,561、非常勤職員賃金 2,130 ほか）

- ・体育室利用者数（延べ 798団体 31,390人）
- ・ミーティングルーム利用者数（延べ 288団体 3,931人）

○ うれしの教室施設管理運営事業費 638

不登校児童生徒の心の居場所となるよう、うれしの教室施設の円滑な管理運営に努めた。

（光熱水費 182、施設維持管理等委託料 227、通信運搬費 181 ほか）

○ うれしの教室施設整備事業費 4,616

当該地域一帯の下水道整備事業により、平成20年度からの下水道の供給開始に合わせて当施設の排水設備工事を行い、衛生的で快適な環境を整えた。

（工事請負費 4,569、負担金 47）

○ 特別支援教育相談事業費 1,130

保育園・幼稚園・小中学校に発達障がい等の専門的知識を有する巡回相談員を派遣し、対象幼児児童生徒への指導に関する助言を行うとともに、必要に応じて心理アセスメントを実施した。（巡回相談 131回、心理アセスメント 38回）

○ 各種団体等負担金 35

全国・東海北陸・県内の各教育研究所連盟に加入し、他県・他市の教育諸機関と情報交換や研究協議を行うことにより、得た情報を活かして研修講座や教育研究等の事業を進めた。

教育研究所連盟負担金（全国 20、東海北陸 5、県 10）

施策の成果及び執行実績

- 子ども支援研究一般経費 1,244  
 子どもに係る総合的な支援研究機関として、効果的な運営に努めた。  
 (借上料 342、消耗品費 255、通信運搬費 309、燃料費 89 (ほか))

(目) 5 人権教育費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,671		1,200		236	29,235

- 外国人児童生徒いきいきサポート事業費 7,282  
 市内在住外国人12人を雇用し、外国人児童生徒の学校生活の適応支援および日本語学習支援等を行った。

事業内容	参加者数等
初期適応支援教室「いっぽ」	通級児童生徒数34人、内修了24人、帰国等5人
放課後日本語教室「にじ」等	開催数107回、参加者数957人
小・中学校巡回指導	対象校 小学校14校 中学校3校 支援状況697回 2,551時間
進路ガイダンス	開催数1回、参加者数96人

- 人権教育研修事業費 224  
 学校等人権教育担当者対象の人権・同和教育講座開催および人権大学講座への参加により資質向上を図った。

事業内容	回数	参加者数等
人権・同和教育講座	2回	269人
人権大学講座	25回	1人

- 人権教育ネットワーク推進事業費 1,540  
 学校等における人権フォーラム、中学校区内の交流会、人権教育の公開授業（公開保育）等の活動を通し各校区において、地域との連携を深め反差別の立場で行動できる児童・生徒の育成を図った。12中学校区人権・同和教育推進協議会等に委託。

- 人権教育地域促進事業費 2,338  
 市民自ら人権啓発に取り組めるよう、研修会、研究大会等への参加機会を提供し、地域を中心とした人権啓発活動を推進した。

事業内容	回数	参加者数等
人権問題研修講座、研究会等参加	5回	14人
人権啓発事業の委託	—	5団体

- 人権学習推進事業費 5,387  
 人権尊重社会の実現に向け、社会教育における人権に関する学習機会の提供や啓発活動及び住民主体の人権学習の支援を行った。

事業内容	回数	参加者数等
住民の人権教育のリーダー養成	19回	861人
住民主体の人権教育の推進	124回	11,320人
人権啓発冊子の発行（講演内容まとめ）	—	5,000部発行

施策の成果及び執行実績

○ 部落史編さん事業費 1,888

近・現代史料編等の今後の発刊に向け、計画の見直しを行うため「部落史編さん計画検討会議」を開催し新たな編さん計画を策定し「部落史編さん委員会」に諮り承認を受けた。

事業内容	回数	参加者数等
部落史編さん委員会（12月）	1回	10人
部落史編さん計画検討会議（6, 8, 9, 12月）	4回	延べ11人

前近代史料編配布・販売実績 配布(394部) 販売(38部) 計432部

○ 人権教育推進員事業費 7,673（人権教育推進員 3人）

人権教育、学習活動の普及ならびに指導、助言を行った。

○ 人権教育一般経費 660

○ 教育集会所管理運営事業費 3,679（17館）

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 学校管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
784, 107	542	36, 000		206	747, 359

※平成20年5月1日現在 学校数 38校 児童数 9, 352人

学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数
第一小	7学級	158人	朝見小	7学級	108人	天白小	14学級	383人
第二小	7学級	203人	掬水小	10学級	231人	鶺小	7学級	142人
第三小	10学級	211人	漕代小	6学級	107人	小野江小	7学級	155人
第四小	24学級	633人	花岡小	26学級	702人	米ノ庄小	7学級	114人
第五小	24学級	549人	松尾小	17学級	473人	仁柿小	3学級	17人
幸小	20学級	482人	大河内小	7学級	98人	柿野小	7学級	93人
松江小	19学級	485人	南小	6学級	99人	粥見小	7学級	141人
伊勢寺小	7学級	181人	射和小	6学級	196人	有間野小	3学級	14人
阿坂小	7学級	90人	山室山小	22学級	593人	香肌小	7学級	84人
松ヶ崎小	7学級	92人	徳和小	31学級	871人	宮前小	7学級	129人
港小	12学級	259人	豊地小	9学級	205人			
東黒部小	7学級	71人	中川小	19学級	495人			
西黒部小	6学級	129人	豊田小	7学級	144人			
機殿小	5学級	56人	中原小	8学級	159人	計	412学級	9, 352人

○ 一般職員給 166, 221

○ バリアフリー推進事業費 964

第三小学校、幸小学校階段手すり等設置工事

○ 小学校施設管理運営事業費 459, 317

・ 施設管理等委託料 78, 521

学校名	事業内容	金額
第一小 外34校	自家用電気工作物保守委託	5, 262
第二小 外34校	受水槽及び高置水槽清掃委託	1, 960
第一小 外39校	消防用設備等点検委託	3, 360
第一小 外39校	学校機械警備委託	12, 594
第五小 外28校	浄化槽保守管理業務委託	11, 371
幸小 外37校	学校プール浄化装置保守点検委託	4, 418
第一小 外27校	インターネット用コンピュータ保守管理及びコンピュータ機器保守委託	31, 785
第一小 外39校	遊具・体育施設に関する点検業務委託	304
第四小 外8校	樹木剪定・枝おろし等業務委託	2, 126
豊地小 外3校	エレベーター保守管理委託業務	2, 833
第一小 外23校	側溝等清掃委託	652
飯南・飯高・嬉野管内 12校	粗大ゴミ収集等委託料	1, 121
第一小 外35校	舞台装置保守点検	735
	計	78, 521

施策の成果及び執行実績

- ・ 使用料及び賃借料 81,061

学校名	事業内容	金額
第一小 外39校	教育用コンピューター借上料	75,565
第一小 外36校	印刷機借上料	2,261
第一小 外29校	ファクシミリ借上料	949
中川小 外3校	土地借上料	989
第四小 外6校	高所作業車借上料	424
第一小 外39校	NHK放送受信料	671
中原小 外3校	ケーブルテレビ使用料	151
粥見小	浄化槽使用料	51
計		81,061

- ・ 需用費 245,766 (消耗品 70,831 電気料 63,244 水道料 54,509 ほか)
- ・ 役務費 13,948 (電話料 6,735 インターネット通信料 4,016 ほか)
- ・ 賃金 32,848 (非常勤職員賃金)
- ・ 原材料費 1,950
- ・ 旅費等 5,223 (共済費 4,543 旅費 80 報償費 600)

- 小学校施設維持修繕事業費 71,121

学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
第一小	床張替工事、通級指導教室整備工事	11,215	11,215	
第二小 外4校	便所改修工事、温水シャワー設置工事他	4,957	4,957	
第三小 外3校	軒下剥離改修工事、非常階段手すり塗装工事他	10,731	10,731	
第五小 外3校	放送設備改修、インターホン設置工事他	6,066	6,066	
松江小 外3校	避難用シューター取替工事、教室改修工事他	4,345	4,345	
花岡小 外3校	給食調理室改修工事	11,502	11,502	
花岡小	特別支援学級空調整備工事	1,953	1,953	
漕代小 外2校	汚水処理施設改修工事、機器取替工事	3,045	3,045	
大河内小	プール給水管漏水修繕工事	970	970	
伊勢寺小	屋上防水改修工事	4,178	4,178	
中川小	プール日よけ取替工事	567	567	
中川小 外2校	教室改修工事他	6,368	6,368	
第一小 外5校	体育館電気スイッチ交換工事	2,988	2,988	
第一小 外19校	施設維持管理工事实施設計業務委託料	2,236		2,236
計		71,121	68,885	2,236

- 小学校空調設備整備事業費 3,383

学校名	金額	事業内容
中川小学校外2校	3,383	保健室空調設備設置工事
香肌小学校		校長室空調設備設置工事
計	3,383	

- 小学校管理備品整備事業費 35,975

区分	学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
				備品購入	手数料
学校管理 備品	第一小 外37校	事務機器	7,692	7,692	
	第一小 外37校	教用器具費	22,867	22,867	
	松江小 外6校	その他備品	3,477	3,477	
	第一小 外39校	備品関係手数料	1,939		1,939
合計			35,975	34,036	1,939

施策の成果及び執行実績

- 小学校防災防犯対策事業費 6,400  
不審者対策等、学校生活における児童等の安全・安心を確保するための整備を行った。  
無線防犯システム借上料（中川小・豊田小・中原小）  
緊急通報用無線IPシステム借上料（徳和小、花岡小、第五小、幸小、第四小、松尾小第三小、山室山小、港小）
- 地域材活用学校環境整備事業費 39,300（市町村合併支援交付金 36,000）  
木に親しむ環境づくりと地場産業の活性化を目的に整備を行った。  
木製の机・椅子 1,500組の購入
- 各種団体等負担金 1,426

(目) 2 教育振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,356	1,079				57,277

○ 扶助費 49,156

事業名	事業主体	事業量	事業費	成果
要保護及び準要保護児童生徒援助事業費	各保護者	804人	46,146	要保護及び準要保護と特別支援学級の児童に対して、学用品費、通学費、修学旅行費、給食費等の就学援助費を助成し、義務教育就学の保障を図った。
要保護（修学旅行費）		13人	258	
準要保護		791人	45,888	
特別支援教育就学奨励事業費		93人	3,010	
計		897人	49,156	

○ 各種補助金 7,366

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
遠距離通学費補助金	各小学校	4校 185人	4,550	4,550	4km以上の遠距離通学児童に対して（大河内・南・射和・豊地）バス代を助成し、通学の条件を整えた。
研修及び校外活動費補助金	全小学校	38校	2,816	2,816	教職員の研修会、研究会などの参加負担金等の補助、校内での研究や研修のための講師の招へい、図書購入等の経費を助成し、教育内容の充実及び教職員の資質の向上に努めた。また、修学旅行引率教員の旅行費用等を助成し、安全かつ円滑な修学旅行を実施した。
計			7,366	7,366	

○ 第四小学校遠距離児童通学輸送事業費 1,100

大口バス路線の廃止により、築港地区児童の通学について、大型タクシーを使用して遠距離通学児童の輸送を実施し、義務教育就学の整備を図った。  
(1回 1,800円 611回使用、対象児童12名)

○ 教育振興一般経費 734

就学時健康診断・入学通知書 就学援助支給通知書・認定通知書 印刷製本費・郵送料等

施策の成果及び執行実績

(目) 3 学校建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
383,285	101,638		227,000	31,467	23,180

○ 学校建設事業費 383,285

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳			
			工事費	委託料	建設備品	事務費等
山室山小学校校舎大規模改造事業費	校舎大規模改造工事、工事監理業務委託他	115,533	110,000	1,155	3,233	1,145
香肌小学校屋内運動場耐震補強事業費	耐震補強工事、工事監理業務委託	110,185	108,557	1,628		
南小学校屋内運動場改築事業費（繰越分）	改築工事、工事監理業務委託他	157,567	143,834	2,100	2,366	9,267
計		383,285	362,391	4,883	5,599	10,412



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 学校管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
378,875	362			98	378,415

※平成20年5月1日現在 学校数 12校 生徒数 4,096人

学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数
殿町中	14学級	368人	大江中	3学級	54人	飯高西中	4学級	59人
鎌田中	12学級	358人	西中	15学級	499人	飯高東中	4学級	58人
久保中	19学級	654人	嬉野中	14学級	424人			
中部中	23学級	669人	三雲中	14学級	458人			
東部中	14学級	368人	飯南中	6学級	127人	計	142学級	4,096人

○ 一般職員給 101,506

○ 中学校施設管理運営事業費 206,666

・ 施設管理等委託料 31,529

学校名	事業内容	金額
殿町中 外11校	自家用電気工作物保守委託	2,077
殿町中 外11校	受水槽及び高置水槽清掃委託	756
殿町中 外11校	消防用設備等点検委託	2,016
殿町中 外11校	学校機械警備委託	4,150
久保中 外8校	浄化槽保守管理業務委託	6,134
殿町中 外8校	インターネット用コンピュータ保守管理及びコンピュータ機器保守委託	12,918
飯南中 外1校	エレベーター保守管理業務委託	1,109
殿町中 外11校	体育施設に関する点検業務委託	90
殿町中 外6校	清掃業務委託	188
飯南中 外5校	植栽管理業務委託	1,734
三雲中 外1校	非常通報装置管理システム	92
殿町中 外11校	舞台設備保守点検	265
	計	31,529

・ 使用料及び賃借料 38,005

学校名	事業内容	金額
殿町中 外7校	ファクシミリ借上料	273
殿町中 外11校	一体型輪転機借上料等	625
殿町中 外11校	教育用コンピューター借上料	36,522
嬉野中	電話分配システム借上料	111
殿町中 外11校	NHK放送受信料	240
殿町中 外6校	ケーブルテレビ使用料	234
	計	38,005

・ 需用費 112,131 (消耗品 38,362 電気料 36,003 水道料 13,801 ほか)

・ 役務費 5,400 (電話料 3,076 インターネット接続料 1,337 ほか)

・ 賃金 16,270 (非常勤職員賃金)

・ 共済費 2,268

・ 原材料費 1,063

施策の成果及び執行実績

○ 中学校施設維持修繕事業費 27,620

学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	委託料等
殿町中	特別教室改修、自転車置場改修	5,523	5,523	
鎌田中 外1校	手すり取付工事、保健室流し改修工事	1,063	1,063	
東部中	体育館改修工事	11,074	11,074	
嬉野中	職員便所改修工事	1,619	1,619	
飯南中 外1校	屋上防水工事、校舎壁面修繕工事	5,928	5,928	
鎌田中 外2校	体育館電気スイッチ交換工事	1,505	1,505	
東部中 外2校	施設維持管理工事実施設計業務委託料	908		908
計		27,620	26,712	908

○ 中学校管理備品整備事業費 17,556

区分	学校名	事業内容	事業費	事業費内訳	
				備品購入	手数料
学校管理 備品	殿町中 外11校	事務機器	3,778	3,778	
	殿町中 外11校	教用器具費	13,465	13,465	
	殿町中 外11校	備品関係手数料	313		313
計			17,556	17,243	313

○ 多気中学校分担金 23,090

内訳

区分	金額
均等割(20%)	10,293
生徒数割(40%)	10,176
世帯数割(40%)	11,621
是正分	△9,000
計	23,090

○ 中学校防災防犯対策事業費 302

嬉野中 校内無線システム装置借上料

○ 中学校空調設備整備事業費 1,676

学校名	金額	事業内容
飯高東中学校外1校	1,676	飯高東中学校、飯高西中学校校長室への空調設備設置工事

○ 各種団体等負担金 459

(目) 2 教育振興費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,447	481				30,966

○ 扶助費 27,366

事業名	事業主体	事業量	事業費	成果
要保護及び準要保護児童生徒 援助事業費	各保護者	460人	26,530	要保護及び準要保護と特別支 援学級の生徒に対して、学用 品費、通学費、修学旅行費等 の就学援助費を助成し、義務 教育就学の保障を図った。
要保護(修学旅行費)		10人	491	
準要保護		450人	26,039	
特別支援教育就学奨励事業費	27人	836		
計		487人	27,366	

施策の成果及び執行実績

○ 各種補助金 3,822

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
遠距離通学費補助金	各中学校	3校 21人	1,664	1,664	6km以上の遠距離通学生徒（対象校 中部・大江・嬉野）に対してバス代を助成し、通学の条件を整えた。
研修及び校外活動費補助金	全中学校	12校	2,158	2,158	教職員の研修会、研究会などの参加負担金等を補助し、教育内容の充実を図った。また、校内での研究や研修のための講師の招へい、図書の購入等の経費を助成し、教職員の資質の向上に努めた。また、修学旅行引率教員の旅行費用等を助成し、安全かつ円滑な修学旅行を実施した。
計			3,822	3,822	

○ 教育振興一般経費 259

入学通知書、就学援助支給通知書・認定通知書 印刷製本費・郵送料等

(目) 3 学校建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
125,466			95,700		29,766

○ 学校建設事業費 125,466

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	事務費等
中学校給食配膳施設整備事業費	実施設計業務委託、設計意図伝達業務委託、建築工事	125,466	116,029	9,437	0

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 幼稚園管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
722,863	136			98,457	624,270

※ 平成20年5月1日現在 園数 23園、園児数 1,452人

幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数
鎌田幼	58人	機殿幼	9人	射和幼	94人	中川幼	198人
伊勢寺幼	101人	朝見幼	21人	大石幼	15人	豊田幼	47人
阿坂幼	10人	掬水幼	25人	松江幼	111人	中原幼	50人
港幼	36人	漕代幼	13人	阪内幼	0人	三雲北幼	91人
西黒部幼	64人	花岡幼	102人	山室幼	23人	三雲南幼	179人
東黒部幼	8人	松尾幼	139人	豊地幼	58人	計	1,452人

○ 一般職員給 530,662

○ 幼稚園施設管理運営事業費 173,603

・ 施設管理等委託料 5,881

幼稚園名	事業内容	金額
鎌田幼 外21園	遊具に関する点検業務委託	168
鎌田幼 外17園	幼稚園機械警備委託	2,852
鎌田幼 外15園	消防用設備等点検委託	393
花岡幼 外8園	浄化槽保守管理業務委託	643
松江幼 外1園	支障木伐採業務委託	299
鎌田幼 外16園	コンピュータ保守点検委託	1,311
松尾幼 外7園	清掃業務委託	90
松江幼	その他設備保守管理業務委託	125
計		5,881

・ 使用料及び賃借料 4,745

幼稚園名	事業内容	金額
鎌田幼 外20園	パソコン借上料	1,450
鎌田幼 外21園	印刷機借上料	1,570
鎌田幼 外20園	コピー機借上料	766
鎌田幼 外15園	ファクシミリ借上料	579
鎌田幼 外16園	NHK放送受信料	253
西黒部幼	送迎用駐車場借上料	100
大石幼	ケーブルテレビ使用料	27
計		4,745

・ 需用費 28,695 (消耗品 10,279 電気料 6,567 燃料費 2,738 ほか)

・ 役務費 3,527 (電話料 1,790 インターネット接続料 1,021 ほか)

・ 賃金 116,070 (非常勤職員賃金)

・ 原材料費 372

・ 旅費等 14,313 (共済費 13,638 旅費 508 負担金 23 報償費 144)

施策の成果及び執行実績

○ 幼稚園施設維持修繕事業費 8,475

幼稚園名	事業内容	工事費
港幼稚園外4園	テラス屋根、フロア改修他工事	1,927
豊田幼稚園外4園	トイレ改修他工事	3,173
中川幼稚園	間仕切り等設置工事	3,375
計		8,475

○ 幼稚園管理備品整備事業費 7,594

幼稚園名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			備品購入	手数料等
鎌田幼 外21園	教用器具費	6,148	6,148	
松尾幼	その他備品購入費	479	479	
鎌田幼 外21園	備品関係手数料	967		967
計		7,594	6,627	967

○ 幼稚園防災防犯対策事業費 1,748

不審者対策等、園内における幼児等の安全・安心を確保するため、整備を行った。  
無線防犯システム装置借上料（鎌田幼 外19園） 1,748

○ 各種団体等負担金 781

(目) 2 幼児園費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,673					16,673

○ 幼児園施設管理運営事業費 16,673

・ 施設管理等委託料 2,004

幼児園名	事業内容	金額
三雲南・北幼	機械警備委託	328
三雲南・北幼	電気保安業務委託	795
三雲南・北幼	プールろ過機点検業務委託	52
三雲南・北幼	雨水濾過装置保守点検業務委託・自動扉保守点検業務委託・空調設備保守点検	829
計		2,004

・ 使用料及び賃借料 258

幼児園名	事業内容	金額
三雲南・北幼	コピー機借上料	50
三雲南・北幼	印刷機借上料	76
三雲南・北幼	ケーブルテレビ使用料	25
三雲南・北幼	NHK放送受信料	60
三雲南・北幼	清掃用品等賃貸借	47
計		258

・ 需用費 13,857（電気料 9,941 下水道料 2,136 水道料 1,780）

・ 役務費 554（電話料 441 インターネット接続料 113）

施策の成果及び執行実績

(目) 3 幼稚園建設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,711					1,711

○ 幼稚園建設事業費 1,711

事業名	事業内容	事業費	事業費内訳		
			工事費	委託料	事務費等
中川幼稚園園舎増築事業費	実施設計業務委託	1,711	0	1,711	0

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 社会教育総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,536				8	3,528

- 社会教育委員事業費 215 (社会教育委員 19人)
- 各種団体等負担金 229
- 社会教育一般経費 3,092

## (目) 2 公民館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
183,994				3,258	180,736

- 一般職員給 29,243
- 公民館長設置費 (40人) 38,209
- 生涯学習振興事業費 15,400

教育・学術文化に関する各種の事業を行い、地域住民の教養の向上・健康の増進等を図り、生活文化の振興・社会福祉の増進に寄与するために定期講座等を開催した。

	事業費	事業数	開催日数	受講者延数	施設数
本庁管内	5,571	266講座	665日	19,563人	26施設
嬉野管内	3,709	156講座	531日	7,792人	7施設
三雲管内	2,191	147講座	581日	7,541人	5施設
飯南管内	1,602	21講座	251日	3,177人	1施設
飯高館内	2,327	75講座	373日	3,587人	6施設
合計	15,400	665講座	2,401日	41,660人	45施設

- 各種補助金 8,446

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
P T A 連合会 運営費補助金	松阪市 P T A 連合会	4,002	960	保護者と教師が協力して学校及び家庭における教育に関し理解を深め、児童生徒の健全な育成に寄与した。 (トーク21「保護者と教職員の語る会」、家庭教育講演会等を支援)
松阪を美しく する運動推進 事業補助金	松阪を美しく する運動推進 本部	306	306	市民総参加の美しい都市づくりを推進した。(ゴミゼロ運動等を支援)
地域連帯支援 事業補助金	地区公民館運 営委員会 (33 団体)	16,791	7,180	地域住民の相互の思いやりと生きがいに満ちた、活力ある地域づくりを推進した。(スポーツレクリエーション活動等を支援)
計		21,099	8,446	

- 公民館事業費 70,530

公民館施設の適正な管理運営を推進

(共済費 4,597、賃金 34,803、燃料費 1,258、光熱水費 10,204、修繕料 3,080、通信運搬費 2,571、委託料 9,367、使用料及び賃借料 701 ほか)

施策の成果及び執行実績

- 中川コミュニティセンター事業費 4,557  
 中川コミュニティセンターの適正な管理運営を推進  
 (賃金 1,022、燃料費 1,089、光熱水費 983、修繕料 76、通信運搬費 103、  
 委託料 809、使用料及び賃借料 147 ほか)
- 生涯学習センター事業費 17,609  
 生涯学習センターの適正な管理運営を推進  
 (賃金 805、光熱水費 8,108、修繕料 778、通信運搬費 197、委託料 5,274、  
 使用料及び賃借料 1,753 ほか)

(目) 3 図書館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
125,497				369	125,128

- 一般職員給 49,288
- 図書館管理運営事業費 44,798  
 図書館コンピュータシステムの利用による、図書館業務の効率化と迅速化を推進した。

	貸出冊数	利用者数	登録者累計
松阪図書館	454,432冊	94,556人	58,734人
嬉野図書館	229,990冊	52,391人	14,289人
三雲図書室	13,276冊	3,736人	1,507人
計	697,698冊	150,683人	74,530人

- 図書館協議会事業費 84  
 ・ 図書館協議会委員報酬 (12人、1回開催)
- 図書等充実事業費 27,864  
 ・ 高度情報化社会の多様なニーズに対応するため、蔵書等の充実を図った。

種別	金額	内 訳					
図書購入	24,326	購入内訳					
		一般図書	児童図書	紙芝居	計		
		松阪図書館	7,581冊	2,704冊	63冊	10,348冊	
		嬉野図書館	2,287冊	696冊	12冊	2,995冊	
		三雲図書室	955冊	577冊	23冊	1,555冊	
		飯南図書室	129冊	23冊	6冊	158冊	
計		10,952冊	4,000冊	104冊	15,056冊		
平成20年度末蔵書数							
		松阪図書館	198,112冊				
		嬉野図書館	94,560冊				
		三雲図書室	18,331冊				
		飯南図書室	5,988冊				
		計	316,991冊				
新聞・雑誌等購入	3,538	新聞 25紙 (3施設)、雑誌 216種 (2施設)、法令追録 2種 (1施設)、最新行政大事典追録 (1施設)、全国博物館総覧追録 (1施設)、官報等					
計	27,864						



施策の成果及び執行実績

○ ブックスタート事業費 3,372

1歳6か月児健康診査時に絵本などが入った「ブックスタートパック」をメッセージを伝えながら手渡し、絵本を介して親と子が「心」と「言葉」を通わせあい、そのかけがえないひとときを実感してもらうことにより、地域の子育ての支援を推進した。

ブックスタートパック手渡し数

松阪会場	1,065個
嬉野会場	323個
飯南会場	59個
計	1,447個

ブックスタートパック購入費等 2,946

ブックスタート用絵本ガイド等印刷費 426

○ 各種団体等負担金 35

○ 指定管理者選定委員会事業費 56

・指定管理者選定委員報酬（4人、2回開催）

(目) 4 文化振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
45,794				5,963	39,831

○ 地域文化振興事業費 4,379

各地域の特性を生かした文化振興を推進するため太鼓、大神楽といった郷土芸能や、地域の文化祭を開催した。

○ 文化振興事業補助金 30,205

事業名	補助金額	成 果
本居記念館管理運営等補助金	29,215	本居宣長、旧宅、宅跡その他関係史蹟及び遺墨、遺品の保存事業の調査研究と顕彰に努めた。
松阪市民謡民舞連合会補助金	200	第9回松阪市民謡民舞まつりの補助。日時：平成20年9月7日（日）午前9時40分～ 場所：市民文化会館 入場者：約800人 19団体出場
合唱フェスティバル補助金	790	松阪合唱フェスティバルの補助。 日時：平成20年11月9日（日）午後0時20分～ 場所：市民文化会館 入場者：約900人 26団体出場
計	30,205	

○ 市美術展覧会開催事業費 2,819

文化財センターの3つのギャラリーを利用し、2部制で行った。

区分	開催日	成 果
第1部 日本画・洋画・彫塑	H20. 9. 20～ H20. 9. 28	出品数：427点 展示数：391点 合評会参加者数：126人
第2部 美術工芸・写真・書道	H20. 10. 11～ H20. 10. 19	会期中入場者数：3,972人

○ 文化活動奨励金・勲功賞交付事業費 10

市民文化の振興を図るため、芸術文化活動奨励金を交付した。

第32回全国高等学校総合文化祭（将棋部門）出場

○ 埴輪制作事業費 485

市民の手による「はにわづくりの会」に事業を委託し、実物大のレプリカ埴輪等を製作した。また、はにわづくりの体験教室、幼稚園、小学校への出前講座を実施した。

○ 音楽文化活動事業費 1,100

吹奏楽フェスティバルを行い、音楽を通して文化振興を推進した。

日時：平成21年1月18日（日）午後1時～4時 場所：市民文化会館

市内小学校から市民団体まで、20団体約550人が出演。来場者985人

施策の成果及び執行実績

- 竹川竹斎（2009年）生誕200年記念事業費 600
 

「射和文庫」を創設するなど教育家あるいは文化人として大きな足跡を残し、また文明開化の先駆者的存在である竹川竹斎が、平成21年に生誕200年を迎えることから、記念事業の準備年と位置づけ、準備と顕彰事業を行った。

  - ・ 関係資料展示会の開催 平成20年10月26日（日） 射和小学校 約200人参加
  - ・ 茶会と散策の開催 平成20年11月16日（日） 射和町「竹川邸射陽書院」約150名参加
  - ・ 竹川竹斎冊子の復刻 1,000冊
- 文化芸術振興審議会事業費 218
 

文化芸術振興審議会にかかる経費
- 小津安二郎青春館管理運営事業費 3,906
 

「小津安二郎青春館」の管理運営を松阪小津組に委託し、「まちかど博物館」として公開した。  
休館日：火・水・木曜日 入館者数1,671人（県外からの来館者が多い）
- 小津安二郎青春館イベント事業費 883
 

「浮草」鑑賞会・展示会 平成21年3月21日（土）展示会350名、映画会104名参加  
小津監督 少年時代ゆかりの地「散策」 平成21年3月22日（日）約30名参加
- 文化振興一般経費 1,189

(目) 5 文化財保護費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
48,361	5,261	1,188		3,493	38,419

- 文化財保護審議会事業費 567
 

文化財保護審議会を開催し、文化財に関して諮問した。また、文化財保護指導委員を各地域に置き文化財パトロールなどの啓発活動を行った。
- 歴史的建造物公開事業費 2,672
 

重要文化財御城番屋敷の一戸及び土蔵、市場庄町伊勢街道沿いの町屋「いちのや」を借り受け、一般公開を行った。「いちのや」入館者は約1,800人、御城番屋敷は県内外から年間25,527人の見学者があり好評を得た。
- 文化財保護事業補助金 3,870

事業名	補助金額	成 果
景観保全整備事業補助金	2,880	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金(26件) 880 苗秀社及び、本殿町・上殿町 御城番屋敷及び本殿町、上殿町の武家屋敷町並みを保全するため、生垣や庭木の刈り込み、剪定、補植に対する補助。 景観保全整備事業補助金(1件) 2,000 松阪城周辺の歴史的景観を保全するため、景観保全整備基準に基づいて建設される建物、門扉等外観に対する補助。
無形民俗文化財保存活用補助金	990	無形民俗文化財の保存、継承を図るための保持団体に対する補助(90×11団体)。 獺師かんこ踊り保存会・松ヶ崎かんこ踊り保存会・小阿坂かんこ踊り保存会・松阪しょんがい音頭と踊り保存会・射和祇園祭保存会・曾原かんこ踊り保存会・笠松かんこ踊り保存会・でこさん保存会・黒野神楽保存会・新屋庄かんこ踊り保存会・てんてん保存会
計	3,870	

施策の成果及び執行実績

- 無形文化財保存活用事業費 269  
 慶長年間から伝わると言われている「深野紙」の優れた製紙技術の伝承保存を目的に「深野和紙保存会」に委託し、管内小中学生等を対象に紙漉き体験を実施したり、各種イベントへの参加を行った。
  - ・飯南ふれあい祭りでの紙漉き体験を実施。 211人参加
  - ・小中学校の児童生徒等に製紙原料の説明や製紙技術の伝承と紙漉き体験を実施。 92人参加
- 天然記念物活用事業費 248  
 ムシトリスミレのパトロール活動、エドヒガンザクラの養生委託、月出の中央構造線の草刈などを行い、天然記念物の保護に努めた。
- 地域文化財普及事業費 1,066  
 文化財説明看板の設置を行い、文化財の普及活動に努めた。
  - ・文化財説明看板……5か所  
 [御城番屋敷土蔵、清光寺仏像、甘棠亭建物、横滝寺銅鐘、山茶花(飯南町粥見所在)]
- 史跡管理事業費 1,729  
 市が管理する指定史跡の草刈等を行い環境整備に努めた。  
 [草刈等実施箇所] 向山古墳、松浦武四郎誕生地、粥見井尻遺跡
- 埋蔵文化財発掘調査事業費 3,395  
 市内の民間開発に伴う発掘調査を2件実施した。  
 田村古墳群(古墳～中近世)、村竹コノ遺跡(弥生～古墳)
- 市内遺跡緊急発掘調査事業費 3,397  
 文化財保護法93条に基づく届出のあった遺跡について、試掘調査・範囲確認調査を34件行った。
- 宝塚古墳公園保存管理事業費 2,985  
 古墳公園として一般公開している国史跡宝塚古墳の維持、管理を行い、古墳の保護、啓発に努めた。
- 天白遺跡保存整備事業費 1,452  
 史跡地内整備を目的にした実施計画の変更を行った。
- 埋蔵文化財活用事業費 733  
 主に市内の小中学生を対象に、夏休みの古代生活体験講座、粥見井尻遺跡公園での古代体験(粥見の遺跡まつり)、ドングリまつりを行った。また、はにわ館で中国古楽器(二胡・古箏)の演奏会を開催した。
 

・粥見の遺跡まつり	10月11日(土)	参加人数 274名
・ドングリまつり	11月2日(日)	参加人数 938名
・夏休み古代生活体験講座 (勾玉作り・土器作り)	7月24日(木)～27(日)	合計参加人数 137人
・中国古楽器の演奏会(天天二胡会)	11月29日(土)	参加人数 150名
- 郷土資料室資料保存管理事業費 2,926  
 所蔵資料、受贈資料等の整理・保存・目録化及び、郷土資料の収集、研究を行った。  
 [刊行物] 松阪市史料叢書第三集 小津清左衛門長柱日記(三)……500冊
- 文化財収蔵事業費 995  
 増加している所蔵遺物を収蔵し、適正な管理を行った。
- 文化財保存整備事業補助金 12,366  
 重要文化財御城番屋敷の保存修理に対して、補助金を交付した。
- 重要文化財宝塚1号墳出土品保存修理事業費 4,761  
 家形埴輪2点の修理を行い、重要文化財の保護に努めた。
- 原田二郎旧宅保存整備活用事業費 1,968  
 原田二郎旧宅の建物及び庭園の整備を進めるため、測量業務、境界杭設置及び詳細図面の作成を行った。

施策の成果及び執行実績

- 長谷川家文書調査事業費 2,512  
長谷川家において14回の文書調査を行い、文書2,200点、書籍24箱分を終了した。
- 歴史・文化・伝統保存整備基金積立金 400（平成20年度末現在高 21,000）  
歴史的景観や環境及び文化遺産を継承・保存する事業を市民と協働して取り組むため、寄附1件を基に積み立てた。
- 各種団体等負担金 50

(目) 6 文化センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
294,622		25,165		26,447	243,010

- 一般職員給 58,165
- 松阪市民文化会館管理運営事業費 60,160  
市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的として会場を提供した。

・市民文化会館使用状況

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等			1			1				2			4
講演会			1	1	4	1	3	3			1	2	16
集会	1		1	1	1	1	1		1	2		3	12
コンサート		2			1	1	4	6		1	1	1	17
演劇	1	1	1		1								4
映画	1		1	1			2		1				6
芸能発表会	2		2	2	1	4	1	2	2		2	3	21
市・学校行事	1		2	1		2	1	1	4			4	16
リハーサル	6	3	6	13	7	8	7	7	10	5	10	8	90
計	12	6	15	19	15	18	19	19	18	10	14	21	186

(延人員 82,005人)

- 松阪市民文化会館施設整備事業費 58,759

工事名	事業内容	事業費
松阪市民文化会館北面・西面外壁改修工事	文化会館北面・西面雨漏り改修工事	39,334
松阪市民文化会館舞台機構改修工事	吊物幕地取替、箱レール改修	19,425

- 松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費 39,438

市民文化会館とともに、市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的として会場を提供した。

・コミュニティ文化センター使用状況

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等			1	1	1	1		1		2			7
講演会			1				2	1		3	1	2	10
集会	2	5	4	5	6	1	2	2	2	5	3	2	39
コンサート	5	1	2	3	6	1	7	4	2	1	3	3	38
演劇			2	2		1			3				8
映画				1				2	1	1			5
芸能発表会	1	5	1	2	2		3	6	3	2	6	2	33
市・学校行事	1		1									2	4
リハーサル	6	7	7	6	8	7	12	17	10	10	9	10	109
計	15	18	19	20	23	11	26	33	21	24	22	21	253

(延人員 53,206人)

施策の成果及び執行実績

○ 嬉野ふるさと会館管理運営事業費 37,051

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的として会場を提供した。

・嬉野ふるさと会館使用状況 大ホール

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等		3		1	4	5	3	9	3	1	9	1	39
講 演 会	1	1	2						2	2		2	10
集 会										2	1		3
コ ン サ ー ト													0
リ サ イ タ ル													0
演 劇			1							1			2
映 画													0
芸能発表・練習	3	3		1	2	1	4	5	4		2	3	28
学 校 行 事			2		2	2	4	2	2	1	2		17
リハーサル	3	3	2	1	1	1	1	1			1	2	16
計	7	10	7	3	9	9	12	17	11	7	15	8	115

(延人員 26,158人)

・嬉野ふるさと会館使用状況 多目的ホール

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市主催式典等	1	2	1	3	4	4	4	8	4	2	7	1	41
講 演 会	2	1	2		3	1	3	2				1	15
集 会					3	1			1	4	3	2	14
コ ン サ ー ト													0
リ サ イ タ ル						1						3	4
映 画													0
芸能発表・練習	5	11	13	17	15	19	13	10	8	10	9	10	140
学 校 行 事					1		4			1		1	7
リハーサル	4	6		1		1	1	2	1	1	1		18
物 品 販 売	1	2	5						6	2			16
計	13	22	21	21	26	27	25	22	20	20	20	18	255

(延人員 7,094人)

○ 嬉野ふるさと会館施設整備事業費 11,913

工事名	事業内容	事業費
嬉野ふるさと会館浄化槽その他改修工事	下水道接続等改修工事	3,803
嬉野ふるさと会館舞台機構改修工事	リミットスイッチ、ロープロックの取替改修工事	3,570
嬉野ふるさと会館受電設備改修工事	劣化した電気部品の取替え	921
計		8,294

空調機中央監視装置修繕 627

浄化槽汚泥抜取手数料 1,137

下水道事業受益者負担金 1,855

施策の成果及び執行実績

○ 飯南産業文化センター管理運営事業費 10,423

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的として会場を提供した。

・飯南産業文化センター使用状況

(単位：件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会													0
コンサート								1	1				2
芸能発表会	1							1					2
リハーサル	1								2			1	4
市・学校行事	6	8	11	3	4	6	6	15	13	2	13	4	91
公民館教室等	40	57	56	54	44	51	71	55	40	47	51	44	610
公民館主催行事													0
その他	12	10	18	22	25	17	14	11	11	10	12	11	173
計	60	75	85	79	73	74	91	83	67	59	76	60	882

(延人員 22,958人)

○ 自主事業費 18,527

音楽会、舞踊会、演劇など芸術文化活動を推進した。

施設	実施日	行 事 名	出 演 者	入場料	入場人員
市民文化 会館	H20. 8. 24	NHK「行くよ！後輩 ほいき た！先輩	金沢明子、マギー審司、 伍代夏子	無料	1,075人
	H20. 9. 5	秋川雅史コンサートツアー ～一期一会～	秋川雅史	有料	1,247人
	H20. 10. 4	トライトーンコンサート in松阪	トライトーン	有料	941人
	H20. 10. 8	綾小路きみまろ爆笑スーパ ライブ	綾小路きみまろ	有料	1,284人
	H20. 10. 11	中部フィルハーモニー交響楽 団 演奏会	中部フィルハーモニー楽 団	有料	928人
	H20. 11. 24	寺井尚子ジャズヴァイオリン コンサート	寺井尚子	有料	600人
	H21. 2. 21	現代狂言Ⅲ	南原清隆、野村万蔵ほか	有料	641人
計					6,716人
コミュニ ティ文化 センター	H20. 4. 13	米良美一「ネオ・ジャパネス ク」～日本の歌～	米良美一	有料	434人
	H20. 7. 20	スタインウェイピアノ体験	一般	無料	25人
	H20. 8. 6				25人
	H20. 10. 30	2MARINBA&PIANO「凜」コン サート	加納里奈、加納美栄子、 大塚宏美	有料	205人
	H20. 11. 14		浦山桐郎監督作品	有料	233人
	H20. 11. 15	優秀映画鑑賞会 なつかしの映画鑑賞会	鈴木清順監督作品 藤田敏八監督作品 西河克己監督作品	有料	292人
計					1,214人
嬉野ふる さと会館	H20. 8. 10	スタインウェイピアノ体験	一般	無料	24人
	H20. 8. 28				21人
	H20. 10. 18	金沢明子民謡コンサート	金沢明子 三味線-本條秀太郎 他	有料	403人

施策の成果及び執行実績

施設	実施日	行事名	出演者	入場料	入場人員
嬉野ふるさと会館	H20. 11. 24	第11回嬉野おどろまいかコンテスト	一般参加の18チーム (参加 256人)	有料	257人
	H21. 3. 1	おやじバンドコンテスト 嬉野の陣 最後の決戦	審査通過の10バンド (参加 46人)	有料	363人
計					1,068人
ハートフルみくも	H20. 12. 21	イリュージョン&ハッピードリムカーニバル	新井宗平、山本かずみ 他	有料	145人
計					145人
飯南産業文化センター	H20. 12. 20	飯南 てんこもり寄せ	米朝一門の会	有料	379人
計					379人

○ 文化センター運営委員会事業費 186

松阪文化センターの運営に関し、調査及び審議を行った。(運営委員10人、3回開催)

(目) 7 文化財センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,292				6,047	32,245

○ 文化財センター管理運営事業費 34,769

市内の埋蔵文化財の保存と活用を図り、文化財保護と保管資料の保存活用を推進した。芸術・文化振興のための場所及び機会を提供し、利用者に楽しく気持ちよく利用でき、文化に興味を深め、親しんでもらう環境作りに寄与した。センターでの企画に加え、貸し館事業を行い、広く作品の発表場所を提供した。

○ 文化財センター特別企画展等事業費 3,493

松阪市の文化財保護と芸術文化の振興を図るため、はにわ館では常設展を通年、企画展を年3回、特別展を年2回開催した。またギャラリーでは、貸し館に加え常設展を業務委託し、特別展を年2回開催した。

企画展名等	実施日	日数	入館者
はにわ館常設展「宝塚古墳の謎」	H20. 4. 1 ~ H21. 3. 31	310	8,727
はにわ館後期企画展(H20. 1. 12から開催) 「こんなの出ましたパート2新発見まつさか」	H20. 4. 1 ~ H20. 4. 13	12	551
はにわ館前期企画展 「松阪市内の弥生時代～米・COME・コメ～」	H20. 4. 19 ~ H20. 6. 15	51	2,021
はにわ館前期特別展 「人物はにわの世紀」	H20. 7. 12 ~ H20. 8. 31	44	1,327
はにわ館後期特別展 「祈り・呪・まじない～古代・中世の祈りの情景～」	H20. 10. 12 ~ H20. 12. 7	51	1,552
はにわ館後期企画展1 「松阪多気バイパスの考古学」	H21. 1. 17 ~ H21. 2. 22	31	898
はにわ館後期企画展2 「新発見まつさか07～こんなの出ました!?Part3～」	H21. 3. 7 ~ H21. 3. 31	21	460
ギャラリー第1期常設展「地元作家の今日展」	H20. 6. 8 ~ H20. 6. 29	19	1,352

施策の成果及び執行実績

企 画 展 名 等	実 施 日			日数	入館者
ギャラリー第2期常設展 「木游人展 流木竜宮城」	H20. 6. 29	～	H20. 7. 21	20	1, 312
ギャラリー特別展「飛矢コレクション展」	H20. 12. 5	～	H20. 12. 25	17	718
ギャラリー第3期常設展「地元作家の今日展」 『志村高弘 鉄・立体造形1991～2009』	H21. 2. 1	～	H21. 3. 1	24	1, 088
ギャラリー「第49回松阪市展優秀作品展」	H20. 12. 3	～	H20. 12. 21	17	494
2008灯りコンサート『徳山弦泉演奏会』	H20. 9. 27			1	約200
はにわ館後期特別展特別講演会 講師：水野正好（奈良大学名誉教授）	H20. 11. 29			1	100
はにわ館後期企画展特別講演会 講師：吉水康夫（三重県埋蔵文化財センター所長）	H21. 2. 21			1	65

○ 各種団体等負担金 30

三重県博物館協会年会費、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会年会費

(目) 8 歴史民俗資料館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27, 151				3, 556	23, 595

○ 一般職員給 3, 714

○ 歴史民俗資料館管理運営事業費 7, 217

松阪市の民俗資料を中心に紹介する場として、常設展は通年、企画展は年4回実施した。

休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始 開館日数291日 入館者数15, 134人

・ 企画展、館蔵品展等の開催

展 示 内 容	実 施 日	入館者数
企画展 「松阪」商人と木綿	H20. 4. 1 ～ H20. 5. 25	3, 900人
企画展 「緑ふかき飯南路」	H20. 6. 3 ～ H20. 9. 15	3, 348人
開館30周年記念企画展「韓天寿とその周辺」	H20. 9. 23 ～ H21. 1. 18	4, 822人
企画展「春よ来い！ふるさと春景」 期間中美しい国三重ひな街道に参加し射和の 旧家萬部家の雛人形を展示。	H21. 1. 27 ～ H21. 3. 31	3, 064人
計		15, 134人

・ 体験教室

体 験 教 室	講 師	実施日	参加者数
夏休み藍染め体験	松阪木綿手織り伝承グループ ゆうづる会	H20. 8. 2	30人

・ 開館30周年記念行事

行 事 名	内 容
小・中学生絵画コンクール「描こう！お城と歴史民俗資料館を」	応募作品数 32点 入賞作品数 14点 表彰式 11月15日（土）
抹茶サービス	11月15日（土） 先着100名



施策の成果及び執行実績

- 歴史民俗資料館施設整備事業費 9,286

工事名	事業内容	事業費
歴史民俗資料館屋根葺替工事	屋根葺替工事・漆喰補修	9,286

- 各種団体等負担金 5

- 松阪商人の館管理運営事業費 6,929

「松阪商人の館」（旧小津清左衛門家住宅）の管理運営を小津家保存会に委託し、一般公開を行った。

開館日数 307日、入館者数 18,384人 休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始

- 企画展、展示

展示内容	実施日
「松阪商人」と題して三井高利夫妻肖像画を展示	H20. 5. 30 ～ H20. 9. 30
小津茂右衛門コレクション 第五弾	H20. 10. 4 ～ H20. 12. 14
小津茂右衛門コレクション 第六弾	H20. 12. 18 ～ H21. 3. 31
美し国三重ひな街道に参加し、歴史民俗資料館の館蔵品の雛人形を展示	H21. 2. 7 ～ H21. 3. 7
久留家旧蔵・芳野山実景図屏風 初公開	H21. 3. 1 ～ H21. 3. 31

- 「松阪商人を語る会」

毎月第四土曜日に学習会を行っている（事務局：歴史民俗資料館）

(目) 9 松浦武四郎記念館費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,245				2,633	21,612

- 一般職員給 7,181

- 松浦武四郎記念館管理運営事業費 12,072

松浦武四郎記念館の管理・運営に係る業務を行った。

入館者数

一 般	8,202人
6歳以上18歳以下	2,163人
合 計	10,365人

開館日数 306日

入館者数 一日平均 約34人

運営審議会の開催（委員9名、年2回開催）

- 松浦武四郎記念館特別企画展等事業費 778

展示活動、教育普及活動を通して、松浦武四郎とアイヌ文化の紹介に努めた。

展示期間	展示名	入館者数
H20. 4. 29～H20. 7. 6	武四郎と尊王攘夷思想	1,253人
H20. 7. 8～H20. 8. 31	アイヌ民族へのまなざし	1,011人
H20. 9. 2～H20. 10. 19	松浦武四郎 八面六臂の大活躍	782人
H20. 10. 21～H20. 12. 14	武四郎と文人たち	1,715人
H20. 12. 16～H21. 2. 8	収集家 武四郎	407人
H21. 2. 10～H21. 4. 5	北海道人 松浦武四郎	4,841人

- アイヌ文化体験教室 アイヌ文様刺繍体験 平成20年11月29日～30日 講師 宇梶 良子 参加者15名
- 講演会「銀の滴ふるふる～知里幸恵の生涯～」 平成21年3月8日 講師 横山 むつみ 参加者55名
- 松浦武四郎関係資料紹介冊子作成(2,000部印刷)

## 施策の成果及び執行実績

- 松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費 604  
重要文化財「松浦武四郎関係資料」等の保存・管理に必要な業務を行った。
  - ・ 展示室および収蔵庫における文化財害虫調査 年3回実施
  
- 松浦武四郎生誕190年等記念事業費 1,800  
松浦武四郎の生誕190年、没後120年、6回目の北海道調査から150年を記念する事業を行った。
  - ・ 松浦武四郎生誕190年等記念事業実行委員会の開催（委員18人、年9回実施）
  - ・ 連続講座 全9回実施 参加者のべ525人
  - ・ 武四郎の足跡を訪ねてin北海道 平成20年10月15日～18日 参加者 35名
  - ・ 武四郎の足跡を訪ねてin大台ヶ原 平成20年10月29日 参加者 39名
  - ・ 武四郎ホームページおよび武四郎看板の作成
  - ・ 伊勢街道ウォーク 平成20年11月8日 伊勢中川～松ヶ崎駅間 参加者 518人
  - ・ 武四郎研究成果速報会 平成21年2月11日 松阪市産業振興センター 参加者 約160人
  
- コスモス文化振興基金積立金 1,135（平成20年度末現在高 24,191）  
寄附金（2件 1,007,166円）、基金利子（128,078円）の積み立て
  
- 松浦武四郎誕生地保存整備活用検討事業費 675  
市史跡「松浦武四郎誕生地」の保存・活用を図る上で必要な整備に関する検討を行った
  - ・ 松浦武四郎誕生地整備検討委員会の開催（委員8人、年3回実施）
  - ・ 建物詳細調査および建物図面作成委託

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 学校保健体育費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
109,336		130		14,750	94,456

## ○ A E D 設置事業費 10,116

市内幼稚園・小学校にA E D (59台)を設置し、操作方法等の講習会を学校職員対象に実施。

## ○ 校医報酬 (学校医 46人) 21,281

## ○ 歯科医報酬 (学校歯科医 46人) 21,302

## ○ 薬剤師報酬 (学校薬剤師 32人) 6,288

## ○ 就学時健康診断医報酬 (学校医・歯科医 65人) 1,201

## ○ 学校保健事業費 18,572

事業名	検診名等	対象者	事業費	事業費内訳			
				委託料	手数料	需用費	報償費等
結核対策事業費	結核精密検査 (ツ反・レントゲン)	小・中全 学年	166		34	132	
園児・児童・ 生徒の健康診 断事業費	蟻虫卵検査	幼、小1・ 2・3	1,034		1,034		
	尿検査	幼・小・中	2,609		2,609		
	心電図撮影	小1、中1	3,057	3,057			
	専門医検診	小1・5中1	4,494			17	4,477
	血液 (貧血) 検査	中1	487	487			
	小計		11,681	3,544	3,643	17	4,477
学校職員健康 診断事業費	学校職員健康 診断	学校職員	5,783	5,783			
	教職員胃検査 (40歳以上)	40歳以上 の教職員	942	942			
	小計		6,725	6,725			
合計			18,572	10,269	3,677	149	4,477

## ○ スポーツエキスパート活用事業費 1,098

中学校運動部活動の指導に外部指導者を活用し、学校における体育指導の充実を図った。

## ○ 各種補助金 3,543

事業名	事業内容	交付先	事業費	市補助金	成果
中学校体育連盟補助金	市中学校 体育連盟 年間行事	市中学校体育 連盟	2,152	1,679	体育活動により青少年の 健全育成と競技力向上を 図った。
学校プール夏季休業 中管理運営補助金	各小学校 プール管 理運営	各小学校 P T A	3,404	1,700	学校プールの有効利用と 児童等の健康保持及び体 力向上を図った。
松阪市学校保健会補 助金	市学校保 健会年間 行事	市学校保健会	261	164	児童生徒園児の健康保持 増進及び学校保健の充実 を図った。
計			5,817	3,543	

## ○ 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 12,967

小学校分 8,776、中学校分 3,758、幼稚園分 433

## ○ 予防接種事故対策事業費 173

国の認定を受けた予防接種健康被害者(1名)に給付金等を支給した。

施策の成果及び執行実績

- 各種団体等負担金 223
- 学校保健体育一般経費 12,572

区 分	内 容	金 額
園児・児童・生徒の健康増進のための学校保健の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校保健委員会医師手当等 357</li> <li>・ 学校保健備品の購入 2,309 視力検査器（久保中外2校）・身長計（豊田小外2園）・座高計（阿坂小外2校）・体重計（鎌田中外1園）等</li> <li>・ 学校保健備品の修理・定期点検 598 オージオメーター等</li> <li>・ 学校救急医薬品の購入等 1,476</li> <li>・ 学校保健事務用品購入等 1,150</li> </ul>	5,890
食中毒防止等のための衛生指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲料水及び学校プール水質検査等 1,302</li> <li>・ 食中毒防止関係消耗品（石鹼）購入費 488</li> </ul>	1,790
学校環境衛生の維持・改善	学校環境衛生検査手数料（シックハウス検査）	189
学校体育の振興	学校プール薬品購入費	3,260
その他	全国市長会学校災害賠償補償保険料等	1,443
計		12,572

(目) 2 学校給食費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,087,371	76,137	460	437,400	3,896	569,478

- 一般職員給 272,161
- 三雲学校給食センター耐震事業費 425
  - ・ 三雲給食センター耐震診断調査業務委託料 425
- 学校給食単独調理場管理運営事業費 169,595
  - ・ 非常勤調理員共済費 13,898
  - ・ 非常勤調理員賃金 96,935
  - ・ 給食施設及び設備の維持管理費 27,151  
ガス代等燃料費 9,539、設備修繕費 3,037、消耗品 8,173  
印刷製本費 366、光熱水費 3,617、通信運搬費 28、食材検査料検便手数料 1,951  
生ゴミ処理発酵機借上料 440
  - ・ 調理の迅速化、能率化のための委託等 30,106  
炊飯・食缶洗浄・米飯加工委託 29,297、昇降機保守点検委託 794  
運転管理業務委託 15
  - ・ 給食調理済食品及び原材料の保存委託 1,505
- 学校給食単独調理場備品等整備事業費 9,900
  - ・ 給食用什器（什器、箸ほか）の更新による食環境の改善 4,381
  - ・ 給食備品購入による作業能率の向上 5,519  
真空冷却機（第五小）、球根皮むき器 2台（第五小・第二小）  
電気式食器消毒保管庫（徳和小）ほか
- 学校給食センター運営委員会事業費 90（5学校給食センターで各1回開催）
- 学校給食センター管理運営事業費 72,558  
嬉野学校給食センター、三雲学校給食センター、飯南学校給食センター、飯高等学校給食センター（宮前調理場・森調理場）の管理運営にかかる経費

施策の成果及び執行実績

- ・ 非常勤調理員共済費 3,657
- ・ 非常勤調理員等賃金 27,683
- ・ 給食施設及び設備の維持管理費 31,525
  - 燃料費 7,671、設備修繕費 4,309、その他消耗品 5,312
  - 飲料水検査、検便等手数料 1,437、光熱水費 11,932、重量税 223
  - 通信運搬費 319、保険料 185、使用料及び賃借料 137
- ・ 調理の迅速化、能率化のための委託 9,693
  - 浄化槽保守点検委託 970、昇降機保守点検委託 184、保存食委託 588
  - 警備業務委託 655、炊飯委託 5,465、食缶洗浄・残飯処理委託 1,261
  - ボイラー定期点検委託 199、その他委託 367
- 学校給食センター備品等整備事業費 5,116
  - ・ 給食用什器（什器、箸ほか）の更新による食環境の改善 941
  - ・ 給食備品購入による作業能率の向上 4,174
    - ガス給湯器（三雲）、真空冷却機（嬉野）、給食用牛乳保冷库（飯高） ほか
- 学校給食センター施設整備事業費 844
  - ・ 三雲給食センター電気設備改修工事 844
- 中学校等給食センター建設事業費 493,455
  - ・ 中学校等給食センター建設工事 472,030
  - ・ 中学校等給食センター建設に伴う機器の工場試験の視察旅費 45
  - ・ 屋外附帯工事 17,000
  - ・ 工事監理業務委託料 3,300
  - ・ 工事設計意図伝達業務委託 1,080
- 中学校等給食センター建設委員会事業費 161
  - ・ 中学校等給食センター建設委員会委員報酬 161
- 食に関する指導事業費 460
  - ・ 料理教室等講師謝礼金、その他消耗品 ほか
- 各種団体等負担金 66
  - ・ 全国学校栄養士協議会・三重県栄養教諭学校栄養職員協議会 66
- 中学校等給食センター建設事業費（繰越分） 62,540
  - ・ 中学校等給食センター建設用造成工事 62,540

(目) 3 社会体育振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,753				14,137	10,616

- 体育指導委員報酬 1,601
  - 各地域より選出 期間 2年間 60人
- 体育指導委員活動事業費 579
  - 各地域住民を中心にスポーツ・レクリエーションの指導、新しいスポーツの紹介、助言等を行い、生涯スポーツ・レクリエーションの振興に努めた。
- 全国大会等出場派遣支援事業費 6,342
  - スポーツ振興基金の運用規則に基づき、対象者への激励金及び優秀選手に対し勲功賞を授与し競技者の向上心を高め、市民スポーツの振興を図った。
  - ・ 全国大会等参加激励金内訳

	件数	参加人員
団 体	21件	293人
個 人	86件	287人
計	107件	580人

施策の成果及び執行実績

・ 勲功賞の授与

	件数・人員	備 考
団 体	4団体 74人	松阪リトルリーグ・バトントワーリング・レスリング・日本拳法・ソフトテニス・テニス・サッカー・ソフトボール
個 人	26人	

○ スポーツ大会等運営事業費 2,630

市民により多くのスポーツに参加する機会を提供し、健康で豊かな生活を送ることを目的に、様々なスポーツ大会等のイベントを開催した。

種目	開催日	参加人員	会場	事業費
「市長杯」松阪市家庭婦人バレーボール大会（春季）	H20. 4. 13	255人	総合体育館ほか	88
「市長杯」松阪市家庭婦人バレーボール大会（秋季）	H20. 9. 14	225人		
松阪市児童水泳記録会	H20. 8. 8	137人	松阪公園プール	47
「市長杯」市民ソフトバレーボール大会	H20. 10. 13	496人	松阪工業高校体育館ほか	166
「市長杯」市民グラウンドゴルフ大会	H20. 10. 26	175人	阪内川多目的グラウンド	106
「市長杯」市民卓球大会	H21. 2. 15 H21. 2. 14	558人	総合体育館	173
三嬉交流ニュースポーツ大会				
「キンボール大会」	H20. 6. 15	9チーム	スポーツ文化センター	250
「シャフルボード大会」	H20. 8. 31	12チーム	嬉野体育センター	
「グラウンドゴルフ大会」	H20. 10. 19	12チーム	スポーツ文化センター	
「フォータッチバレーボール大会」	H20. 11. 30	15チーム	嬉野体育センター	
「チャレンジカップ」	H21. 3. 8	12チーム	嬉野体育センター	
計				830

地域振興局管内における地域性を生かしたスポーツ事業を開催し、健康増進を図るとともに、スポーツを通じて地域づくりを目的に、様々なスポーツ大会等のイベントを開催した。

地域	種 目	実施日	参加人員	会 場	事業費
嬉野	ふれあいフェスティバル	H20. 8. 4	227人	西日本セブンスリーゴルフクラブ	450
	初心者ゴルフ教室	H20. 11. 3～5回開催	延 213人	スポーツプラザマツダ(久居)	
	マラソン&ウォーキングなめり湖	H20. 11. 16	250人	なめり湖周辺	
	体力づくりゴルフ大会	H21. 2. 17～19 3回開催	延 520人	西日本セブンスリーゴルフクラブ	
三雲	地区グラウンドゴルフ大会	H20. 9. 28	18人	ハートフルみくもパターゴルフ場	450
	地区駅伝大会	H21. 1. 18	241人	ハートフルみくも周辺	
	第1回地区スポレク祭	H21. 3. 22	30人	スポーツ文化センター	

施策の成果及び執行実績

地域	種 目	実施日	参加人員	会 場	事業費
飯南	ふれあいフェスティバル	H20. 6. 29	250人	飯南中グラウンド	450
	ソフトボール大会	7月～8月 4回開催	60人	飯南中グラウンド	
	ジョギング大会IN茶倉	H20. 10. 26	290人	リバーサイド茶倉周 辺	
	ふるさとの山に登ろう	H20. 11. 9	60人	鳥岳	
	地区ゲートボール大会	H20. 11. 10	150人	飯南そまびとグラウ ンド	
	地区ゴルフ教室	H20. 11～21. 2	延 160人	スポーツセンター松 阪	
	地区駅伝大会	H20. 12. 7	60人	飯南管内全域	
	地区ソフトバレーボール 大会	H21. 2. 21	80人	飯南体育センター	
	地区ゴルフ大会	H21. 3. 15	32人	名松ゴルフクラブ	
飯高	地区ソフトボール大会 (前期)	H20. 5. 23	63人	飯高東中グラウンド ほか	450
	地区ソフトボール大会 (後期)	H20. 10. 3	66人		
	地区ソフトテニス大会	H20. 8. 21	39人	ホテルスメールコー ト	
	地区ユニカール大会	H20. 9. 18	65人	B&G海洋センター	
	地区ドッチビー講習会	H21. 3. 4	65人		
計					1,800

○ シティマラソン大会事業費 3,000

市民の総体力づくりと健康保持増進を目指し、幅広い年齢層を対象に参加者を募集して、スポーツを通じて交流・親睦の場を提供するとともに、感動と満足感を分かち合えるマラソン大会を開催した。

開催日 H21. 2. 1、 会場 中部台運動公園周辺、 参加者数 1,029人

○ 各種補助金 7,592

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
みえスポーツフェスティバル派遣費補助金	松阪市体育協会	1,077	より多くの人々が、スポーツ・レクリエーション活動に参加でき、日頃の練習の成果を交換し、技術の向上を図るとともに、生涯にわたり健康で生き生きとしたスポーツライフの実現を目指すために大会参加旅費を支給した。 ・参加人員19種目 総勢472人、会場 県内各地
市体育協会加盟団体育成強化補助金	松阪市体育協会	1,260	加盟種目団体独自の事業を開催し、種目団体はもとより市全体のスポーツ振興を図った。
スポーツ少年大会等補助金	松阪市スポーツ少年団、松阪地区柔道会、嬉野剣道連盟	513	県下で開催されるスポーツ少年団大会への参加支援、及び地区柔道大会、嬉野剣道大会への支援により、青少年へのスポーツ振興と健全育成を図った。
スポーツ少年団補助金	松阪市スポーツ少年団	2,017	各地域において活動するスポーツ少年団への活動を支援することにより、低年齢からの体力づくりと健康増進を図り、青少年の健全育成に寄与した。

施策の成果及び執行実績

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
地区体育祭事業補助金	第四公民館 外22館	575	地域住民にスポーツに参加する機会を提供し、健康で豊かなゆとりある生活、また世代を超えたふれあいの場づくりを構築するために、地域性を生かした地区体育祭の開催を支援し、住民の活性化に寄与した。 23公民館で実施
地区体育振興会補助金	地区体育振興会各支部	1,350	管内における地区体育振興会各支部を対象に地域性を生かした体育事業の開催を支援し、住民の活性化に寄与した。 12支部において実施
総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金	まつさか TAIKYOスポーツクラブ	800	国のスポーツ振興計画に基づき、会員が受益者負担のもと運営する総合型地域スポーツクラブの設立推進により、円滑な自主運営による事業活動ができるよう支援を行った。
計		7,592	

○ 学校開放事業費 156

幅広く市民にスポーツ活動のできる機会と場所を提供し、スポーツ振興を図るために、市内中学校体育館を開放し、地域でのスポーツ活動に貢献した。  
(6中学校で月・木曜日の夜間を開放)

○ 総合型地域スポーツクラブ推進事業費 150

- ・ レクリエーション協会による啓発事業  
レク協フェスティバル 150人参加  
グラウンドゴルフ大会 123人参加
- ・ 射和公民館による啓発事業  
テーピング講習会 32人参加

○ 三重県市町対抗駅伝大会事業費 1,300

三重県と県内29市町が共同で「美し国三重市町対抗駅伝大会」を開催した。その大会周知を図るとともに、松阪市代表選手を選考し、大会の参加支援を図った。  
成績は「市の部7位」であったが、市町間の交流と市民のスポーツに対する意識高揚を図れた。

開催日 H21. 2. 22、 三重県庁前～県営総合競技場 42.195km、 10区間

○ 各種団体等負担金 523

○ 体育振興一般経費 880

(目) 4 体育施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
57,210				8,580	48,630

○ 体育施設管理運営事業費 20,352

松阪公園・雲出川河川敷・飯南グラウンド、東部・阪内川・三雲軟式テニスコート、嬉野体育施設、飯南体育センター、波留運動公園等体育施設の管理経費

施設管理委託料 4,670、嬉野体育施設指定管理委託料 10,520、  
光熱水費 1,323 ほか



施策の成果及び執行実績

※利用状況

施設名	利用件数	施設名	利用件数
公園グラウンド	3,242人	嬉野テニスコート	521人
嬉野グラウンド	28,036人	三雲軟式テニスコート	20人
雲出川河川敷グラウンド	6,772人	嬉野体育センター	28,127人
飯南グラウンド	3,134人	飯南体育センター	8,420人
東部テニスコート	5,474人	波留運動公園施設	304人
阪内川テニスコート	187人	計	84,237人

- 体育施設整備事業費 916
  - ・ 「嬉野グラウンド法面修復工事」  
柵板修繕工 L=42m

- 松阪公園プール管理運営事業費 13,359

- ・ プール管理委託 8,837
- ・ 光熱水費 2,728
- ・ 修繕費 1,097 ほか

※松阪公園プール利用状況

	7月	8月	計
大人	1,717人	1,931人	3,648人
小人	2,869人	2,523人	5,392人
団体	132人	189人	321人
無料	3,636人	897人	4,533人
計	8,354人	5,540人	13,894人

- 阪内川スポーツ公園管理運営事業費 22,583

- ・ 公園維持管理委託 17,649
- ・ 光熱水費 2,728
- ・ 修繕費 601 ほか
- ・ 多目的グラウンド補修工事 1,029
  - 内野補修工事 3,500.0 m<sup>2</sup>
  - 不陸修正転圧 700.0 m<sup>2</sup>

※阪内川スポーツ公園利用状況

	施設名	件数	人数
武道館	第一道場	811件	30,353人
	第二道場	897件	15,165人
	第三道場	1,266件	3,990人
	会議室	104件	1,458人
	多目的グラウンド	208件	8,713人
	テニスコート	1,909件	8,222人
	ゲートボール場	336件	2,832人
	計	5,531件	70,733人

(目) 5 中部台運動公園施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
168,684		525		20,853	147,306

- 一般職員給 36,740

- 中部台運動公園施設管理運営事業費 109,610

自然環境、教養文化に対する意識を高め、文化活動の場、また家族の憩いの場、各団体のスポーツ・レクリエーションの場として、施設の管理運営を行った。

- ・ 施設管理委託料 74,182

区 分	事業内容	成果	事業費
公園芝生管理委託	A=32,872m <sup>2</sup> 芝刈ほか	年間 50万人利用	14,063
公園内枯松伐採業務委託	伐採工		6,492
公園内樹木管理委託	樹木手入工一式		6,216
流水プール管理委託	6月上旬から9月上旬	入場者 16,703人	7,600

施策の成果及び執行実績

区 分	事業内容	成 果	事業費
施設清掃委託	運動公園内清掃業務		3,980
施設警備委託	夜間休日の警備業務		7,174
天文台管理運営委託	施設管理運営業務	年間 約1,000人利用	428
猿舎清掃業務委託	施設管理運営業務		3,518
受付管理業務委託	施設管理運営業務		9,219
草刈等施設管理業務委託	施設管理運営業務		11,621
その他	施設管理運営業務		3,871
計			74,182

- ・ 使用料及び賃借料 3,647
  - ソフトボール場グラウンド不陸重機賃借料 977
  - 中部台管理事務所天文台便所レンタル料 1,751
  - 桂瀬ソフトボール場便所賃借料 646
  - 体育館年間個人使用券発行用パソコンシステム賃借料 102
  - AEDリース料 86
  - 複写機賃借料 70
  - テレビ視聴料 15
- ・ 備品購入費 60 (草刈機)
- ・ 施設光熱水費 12,241
- ・ 作業員共済費 302
- ・ 作業員賃金 6,121
- ・ 消耗品費等 3,003
- ・ 燃料費 911
- ・ 印刷製本費 236
- ・ 通信運搬費 398
- ・ 修繕費 5,620
- ・ 手数料 1,834
- ・ 保険料 104
- ・ 原材料費 924
- ・ 自動車重量税 27

- 中部台運動公園施設整備事業費 22,334
  - ・ 野球場グラウンド不陸修正工事 A=4,073.9m<sup>2</sup> 2,053
  - ・ テニスコート改修工事 14,750
  - ・ 機関車施設塗装工事 2,319
  - ・ 流水プール塗装工事 1,679
  - ・ 用地測量業務委託 1,533

(目) 6 スポーツ文化センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,592					24,592

- スポーツ文化センター管理運営事業費 24,592
  - ハートフルみくもスポーツ文化センター管理経費
    - ・ 指定管理委託料 23,600
    - ・ 修繕料 972 ほか

施策の成果及び執行実績

※利用状況

施設名	件数	人数
パターゴルフ	51件	187人
テニスコート	477件	1,615人
アスレチックジム	675件	3,667人
会議室等	187件	7,806人
アリーナ	673件	18,576人
計	2,063件	31,851人

(目) 7 海洋センター費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,210				658	15,552

- 一般職員給 7,374
- 海洋センター管理運営事業費 8,641
  - B & G 海洋センター管理経費
    - ・ 賃金・共済費 4,308
    - ・ 施設光熱水費 1,323 ほか

※海洋センター利用状況

利用状況	有料	無料	計
体育館	2,862人	3,492人	6,354人
プール	2,473人	1,568人	4,041人
計	5,335人	5,060人	10,395人

- 海洋センター事業参加補助金 195

B & G 財団が実施する体験事業への児童の参加を支援し、参加者の自己管理能力の向上や心身の育成を図るとともに、青少年の健全育成に寄与した。

体験セミナー参加者負担金 (小学生4人の参加)

B & G 全国ジュニア水泳競技大会参加補助金 (小学生5人の参加)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 青少年育成費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,684		1,947		97	31,640

- 青少年問題協議会事業費 56
  - ・ 青少年問題協議会委員報酬 (8人、1回開催)
- 青少年健全育成事業費 5,496
  - ・ 青少年育成のつどい講演会の開催  
(H20.10.16 松阪市民文化会館 参加人員 900人)
  - ・ 市内26育成会でそれぞれの地域にあった育成活動を委託。
- 新成人のつどい開催事業費 1,576
 

郷土の将来を担う新成人に、自立と自覚の節目となるように、「新成人のつどい」を開催した。(H21.1.11 市民文化会館 参加人員1,359人)
- こどもまつり大会事業費 2,267
 

創作や遊びを通じて、子どもたちが家族や友達と1日楽しく過ごすことができる催し物を提供した。(H20.4.27 中部台運動公園 参加人員 18,000人)

## ○ 各種補助金 2,500

青少年の健全でかつ情操豊かな、心身ともに健やかな青少年を育成することに努めた。

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
青少年育成市民会議補助金	松阪市青少年育成市民会議	200	松阪市との共催事業として、青少年育成のつどい講演会を開催した。
	松阪市青少年育成市民会議松阪支部	300	親子ふれあいのつどい、非行防止パトロール、環境浄化事業、街頭啓発等を行った。
	松阪市青少年育成市民会議嬉野支部	400	家庭教育研修会、親子ふれあい事業、非行防止パトロール、絵画・ポスターの募集等を行った。
	松阪市青少年育成市民会議三雲支部	300	家庭教育講演会、非行防止パトロール、健全育成看板設置等を行った。
	松阪市青少年育成市民会議飯南支部	400	ふれあいフェスティバルいいなん、体験教室、健全育成作品募集、非行防止パトロール、街頭啓発等を行った。
	松阪市青少年育成市民会議飯高支部	400	家庭教育講演会、研修会、非行防止パトロール、私の主張発表会等を行った。
	小計		2,000
子ども会育成指導者連合協議会補助金	松阪市子ども会育成指導者連合協議会	300	ジュニアリーダー研修会、キャンプ、球技大会、オセロ大会等を行った。
松阪子どもセンター補助金	松阪市子どもセンター協議会	200	情報誌の発行、自然体験、体験学習等を行った。
合計		2,500	

施策の成果及び執行実績

○ 放課後子ども教室推進事業費 2,921

すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、交流活動等の取組を推進するため実施した。(運営委員会2回開催、放課後子ども教室4ヶ所開設)

○ 青少年センター運営事業費 18,840

非行化する恐れのある少年を早期に発見し、青少年の健全育成活動に努めるとともに、環境浄化活動・補導活動などを実施した。(参加人員 延べ2,243人)

○ 青少年センター運営協議会事業費 28

- ・ 青少年センター運営協議会委員報酬 (4人、1回開催)

(目) 2 堀坂山の家施設費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
1,074				160	914

○ 堀坂山の家管理運営事業費 1,074

- ・ 青少年を中心とした宿泊研修施設として運営した。  
 利用状況 (5月～10月：利用者受入期間)  
 利用者数 1,303人 (うち宿泊者数288人)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 農地等災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,150		564		833	4,753

## ○ 農地等災害復旧事業費 6,150

- ・ 原材料費 1,400  
農地または施設等の復旧に用いた。  
農地 6件、施設 11件

- ・ 重機借上 705  
農地 2件、施設 1件

- ・ 団体営災害復旧事業 1,129

工 事 名	事 業 内 容	事業費	事 業 費 内 訳			
			工事費	測試費	工事雑費	事務雑費
飯南町上仁柿 112-1田(畦 畔)復旧工事	練ブロック積工L=8.0m A=27.6㎡、雑工(練石積 工)A=4.3㎡	1,129	1,097		16	16
計		1,129	1,097	0	16	16

- ・ 市単災害復旧事業 2,916

工 事 名	事 業 内 容	事業費	事 業 費 内 訳			
			工事費	測試費	工事雑費	事務雑費
嬉野岩倉町田 畦畔災害復旧 工事	練石積工 A=8.3㎡	284	284			
飯南町粥見田 畦畔災害復旧 工事	練石積工 L=3.0m A=7.7㎡	210	210			
山添町農道災 害復旧工事	積ブロックSL=1.68m、 A=11.76㎡	408	408			
矢津町農道災 害復旧工事	L型擁壁工 L=15.0m、 コンクリートブロック積 工 L=15.0m	1,032	1,032			
大阿坂町真池 用水管災害復 旧工事	用水路修繕 L=10.0m、 用水ゲート300 1門	428	428			
山室町排水路 災害復旧工事	排水路浚渫 L=26m	323	323			
六呂木町農道 災害復旧工事	積ブロックSL=1.78~ 1.88m、L=3.0m A=5.6㎡	231	231			
計		2,916	2,916	0	0	0

施策の成果及び執行実績

(目) 2 林業施設災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,315					5,315

○ 林道施設災害復旧事業費 5,315

自然災害を受けた林業施設の復旧用重機使用料及び原材料を支給した。

- ・ 事業用重機借上料 19路線 4,139
- ・ 原材料費 2路線 1,176

## (款) 11 災害復旧費 (項) 2 公共土木施設災害復旧費

(単位 千円)

## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 道路橋りょう災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,343	11,797		5,900		646

## ○ 道路橋りょう災害復旧事業費 18,343

・ 豪雨 (平成20年4月7・8日) による災害

路 線 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
出郷3号線	2,714	2,714			
合 計	2,714	2,714	0	0	0

・ 台風13号及び豪雨 (平成20年9月18・19日) による災害

路 線 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
木梶落方線	7,552	7,452	100		
名倉線	3,000	3,000			
東又線	2,047	2,047			
木梶旧国道線	1,200	1,200			
勢津通学道線	735	735			
事務費	775				775
合 計	15,309	14,434	100	0	775

・ 豪雨 (平成21年1月31日) による災害

路 線 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
日川線	320	320			
合 計	320	320	0	0	0

## (目) 2 河川災害復旧費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,187	3,098		1,500		589

## ○ 河川災害復旧事業費 5,187

・ 豪雨 (平成20年4月17・18日) による災害

路 線 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
里谷川	1,790	1,790			
事務費	93				93
合 計	1,883	1,790	0	0	93

・ 台風13号及び豪雨 (平成20年9月18・19日) による災害

路 線 名	事業費	事 業 費 内 訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
古茂喜谷川	2,597	2,597			
矢下川	543	543			
事務費	164				164
合 計	3,304	3,140	0	0	164



## 施策の成果及び執行実績

## (目) 1 元金

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,095,259			639,680		5,455,579

## ○ 長期債償還元金 6,095,259

うち、公的資金補償金免除繰上償還 391,676

(財政融資資金 390,168、旧郵政公社資金 1,508)

うち、借換分 639,680

借入先	借換前利率	借入先	借換後利率	借換額
市中銀行	1.900%	市中銀行	1.100%	15,980
市中銀行	2.150%	市中銀行	1.500%	43,300
市中銀行	2.200%	市中銀行	2.030%	374,000
財政融資資金	6.200%	その他の金融機関	0.865%	11,200
財政融資資金	6.600%	その他の金融機関	0.865%	63,350
財政融資資金	6.600%	市中銀行	1.200%	40,000
財政融資資金	6.700%	その他の金融機関	0.865%	91,850

## ※ 市債の状況

平成19年度末 現在高	平成20年度末 現在高	増減額
59,485,118	57,927,033	△ 1,558,085

## ※ 借入先別利率別市債現在高

借入利率区分	財政融資資金		旧郵政公社資金		地方公営企業等 金融機構資金		市中銀行	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1.0%未満	23	2,118,453	11	394,849			33	2,989,480
1.0%以上 2.0%未満	138	19,981,927	66	4,126,027	12	1,238,641	67	6,863,394
2.0%以上 3.0%未満	85	5,069,827	20	1,185,640	21	1,153,808	2	644,800
3.0%以上 4.0%未満	49	889,590	16	417,568	21	434,826	1	43,900
4.0%以上 5.0%未満	40	760,176	19	348,195	9	194,061		
5.0%以上 6.0%未満	10	518,868	6	84,651	1	17,060		
6.0%以上 7.0%未満			17	310,518				
7.0%以上 8.0%未満								
合 計	345	29,338,841	155	6,867,448	64	3,038,396	103	10,541,574
借入利率区分	その他の金融機関		共 済 等		三 重 県		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1.0%未満	7	712,009	8	754,944	1	1,000	83	6,970,735
1.0%以上 2.0%未満	37	5,330,006	15	881,438			335	38,421,433
2.0%以上 3.0%未満	12	435,751	1	25,626			141	8,515,452
3.0%以上 4.0%未満							87	1,785,884
4.0%以上 5.0%未満							68	1,302,432
5.0%以上 6.0%未満							17	620,579
6.0%以上 7.0%未満							17	310,518
7.0%以上 8.0%未満								
合 計	56	6,477,766	24	1,662,008	1	1,000	748	57,927,033

施策の成果及び執行実績

(目) 2 利子

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,017,468					1,017,468

○ 長期債償還利子 1,017,443

○ 一時借入金利子 25

(款) 14 諸支出金 (項) 1 基金費

(単位 千円)

施策の成果及び執行実績

(目) 1 財政調整基金費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
363,000					363,000

- 財政調整基金積立金 363,000 (平成20年度末現在高 6,163,265)  
地方財政法第7条第1項に基づく積立金

# 特 別 会 計

競 輪 事 業

(単位 千円)

○ 決算状況

収 入		支 出	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
1 事業収入	11,870,268	1 総務費	272,210
1 入場料	10,014	2 事業費	12,319,634
2 勝者投票券売上金	11,860,254	3 施設費	70,152
2 材料及び手数料	2,871	4 公債費	467
3 財産収入	2,472	5 諸支出金	44,066
4 繰越金	14,395	6 予備費	0
5 諸収入	883,093		
収 入 合 計 (A)	12,773,099	支 出 合 計 (B)	12,706,529
収 益 金 (A) - (B)			66,570
上記収益金のうち一般会計への繰出金			0
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			66,570

○ 平成20年度 車券売上状況等

区分	売 上 額						等	
	平成20年度						平成19年度	
	本場	川越場外	電話投票	臨時場外	計	入場者数	売上額	入場者数
1 回	104,731	121,483	44,752		270,966	5,702人	495,444	5,029人
2 回	99,382	148,169	97,034	234,809	579,394	4,622人	250,389	5,110人
3 回	108,655	149,165	101,893	495,789	855,502	5,397人	318,393	4,775人
4 回	81,286	90,473	92,660	8,236	272,655	5,084人	529,181	5,449人
5 回	88,838	107,502	38,893		235,233	4,519人	441,358	4,435人
6回記念	148,052	151,375	894,714	6,544,991	7,739,132	6,134人	316,177	5,194人
7 回	34,074	43,612	17,630		95,316	1,837人	11,516,482	9,551人
8 回	132,677	156,633	117,944	6,424	413,678	7,469人	339,421	4,882人
9 回	78,463	90,677	55,228		224,368	5,005人	409,110	7,649人
10 回	64,639	72,835	137,454	541,269	816,197	2,700人	352,081	5,871人
11 回	46,778	60,398	19,298		126,474	2,746人	960,319	5,092人
12 回	46,588	60,842	74,899	49,010	231,339	2,190人	570,819	3,196人
計	1,034,163	1,253,164	1,692,399	7,880,528	11,860,254	53,405人	16,499,174	66,233人

○ 広告宣伝事業費 40,530

○ 各種負担金、補助及び交付金 210,795 (記念競輪等除く)

事業名	交付先	金額
全国施行者協議会分担金	(社)全国競輪施行者協議会	64,970
スポーツ振興研修センター補助金	(財)松阪スポーツ振興研修センター	27,500
日本競輪選手会三重支部補助金	(社)日本競輪選手会 三重支部	2,240
日本自転車振興会交付金	(財)JKA (日本自転車振興会)	72,019
川越町納付金	川越町	44,066
計		210,795

- 普通競輪開催事業費 516,737
- 選手賞金及び賞金等賞賜金 727,704
- 従事員賃金等 136,542
- レース中継事業費 39,512
- 普通競輪払戻金 3,091,114
- 記念競輪開催事業費 1,511,006

開設58周年記念競輪を11月に開催し、売上7,739,132千円、入場者6,134人を記録し、新規ファンの開拓や客離れの歯止めを図った。

- ・ 広告宣伝費 33,624
- ・ 各種負担金、補助及び交付金 875,967

内 訳	交付先	金額
全国施行者協議会分担金	(社)全国競輪施行者協議会	46,587
日本自転車振興会交付金	(財)JKA (日本自転車振興会)	284,126
臨時場外負担金	全国40競輪場55専用場外等	538,599
川越町納付金	川越町	6,055
その他	鈴の音バス協賛金	600
計		875,967

- ・ 事業運営委託料 310,025
- ・ 選手賞金等 87,412
- ・ 臨時場外従事員賃金 131,823 ほか

- 記念競輪払戻金 5,804,349
- ファンサービス事業費 42,907

- ・ 松阪競輪イメージアップ事業

区分	事業内容
インターネット活用事業	インターネットを活用したファンサービス事業。ホームページ上での専門予想紙の情報配信を行う電子新聞事業やレース実況等を行うインターネットライブ事業等を組み合わせることで、自宅にしながらパソコンひとつで、予想・配当オッズ・車券購入・レース・払戻に至るすべてを楽しめるもので、電話投票・インターネット投票加入者等から多数のアクセスをいただき、若い新規ファンの好評を得た。
記念競輪場内イベント事業	開設58周年記念競輪に際し、従来の開会・閉会等の式典やレース予想会等に加え、地元演歌歌手による歌謡ショーや、選手会三重支部の協力のもと地元選手によるトークショーや選手管理棟ツアーなど選手とファンが共に楽しめる様々なイベントを実施し、ファンの来場促進や事業活性化を図った。

- 設備改善費 70,152

事業名・区分・工事名	事業内容	事業費
施設整備事業費		56,875
川越	無停電電源装置改修工事設計委託	設計委託料 535
川越	無停電電源装置改修工事	無停電電源装置改修 56,340
施設維持修繕事業費 (修繕料)	不良、老朽施設の改修等	12,536
その他	駐車場管理経費等	741
合計		70,152

区分	事業内容
川越場外無停電電源装置改修	競輪運営に不可欠な安定した電力供給の根幹を成す無停電電源装置が耐用年数を過ぎ老朽化が著しいため、改修工事を行った。

※ 収益金の繰出状況

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
繰 出 額	100,000	0	0	0	0	0	0

※ 松阪サイクルシアター利用状況

入館者数 3,299人、入館料 1,650千円

※ 特別観覧席利用状況

入館者数 6,013人、入館料 1,804千円

※ 川越場外特観席(新館2F)利用状況

入館者数 3,890人、入館料 3,890千円

○ 財政調整基金積立金 169,216 (平成20年度末現在高 701,016)

国民健康保険事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 国民健康保険税	4,071,804	1 総務費	309,441
2 使用料及び手数料	1,745	1 総務管理費	306,660
3 国庫支出金	4,215,749	2 徴税費	1,930
1 療養給付費等負担金	3,044,393	3 運営協議会費	260
2 高額医療費共同事業負担金	65,030	4 趣旨普及費	591
3 特定健康診査等負担金	10,362	2 保険給付費	10,867,216
4 財政調整交付金	1,093,318	1 療養諸費	9,675,542
5 医療諸費国庫補助金	2,646	2 高額療養費	1,092,774
4 療養給付費交付金	562,813	3 移送費	0
5 前期高齢者交付金	3,632,692	4 出産育児諸費	84,300
6 県支出金	702,029	5 葬祭諸費	14,600
1 高額医療費共同事業負担金	65,030	3 後期高齢者支援金	1,906,126
2 特定健康診査等負担金	10,362	4 後期高齢者納付金	2,567
3 財政調整交付金	626,637	5 老人保健拠出金	320,517
7 共同事業交付金	1,981,902	6 介護納付金	796,860
8 財産収入	2,376	7 共同事業拠出金	1,846,099
9 繰入金	1,225,012	8 保健事業費	95,076
10 繰越金	157,416	9 公債費	0
11 諸収入	61,671	10 諸支出金	21,009
		11 予備費	0
歳 入 合 計	16,615,209	歳 出 合 計	16,164,911
歳 入 歳 出 差 引 額			450,298
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源			0
実 質 収 支 額			450,298

総務費

○ 総務管理費 306,660

- ・ 一般職員給 174,592
- ・ 一般管理経費 132,068

国民健康保険事業に係る国民健康保険税の賦課通知・委託料・共同電算処理手数料等、一般事務経費。

○ 徴税費 1,930

- ・ 賦課徴収費 175 (保険税の徴収等にかかる経費)
- ・ 納税奨励費 1,755 (金融機関に対する保険税の口座振替手数料)

・ 保険税の状況

区 分	調 定 額	収 納 額	収 納 率
現年課税分	4,344,846,100円	3,793,675,249円	87.31%
一般分	4,095,094,236円	3,548,815,881円	86.66%
退職者分	249,751,864円	244,859,368円	98.04%
滞納繰越分	2,096,245,761円	278,128,319円	13.27%
一般分	1,914,533,230円	263,980,033円	13.79%
退職者分	181,712,531円	14,148,286円	7.79%
計	6,441,091,861円	4,071,803,568円	63.22%



・ 保険税率

区 分	医療分	支援金分	介護分
所得割	6.9%	2.0%	1.7%
均等割	25,000円	7,000円	8,000円
平等割	20,000円	6,000円	4,400円
課税限度額	470,000円	120,000円	90,000円

○ 運営協議会費 260 (国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するための経費)

○ 趣旨普及費 591 (国民健康保険事業の趣旨を普及させるための啓発経費)

**保険給付費**

(国民健康保険団体連合会を通じて保険医療機関等へ支払う費用)

- 療養諸費 9,675,542 (国民健康保険団体連合会の診療報酬審査に対する費用含む)
- 高額療養費 1,092,774
- 出産育児諸費 84,300 (出産に対する一時金の費用)
- 葬祭諸費 14,600 (葬祭に対する一時金の費用)

・ 保険給付の状況

区 分	件 数	決算額
療養の給付	一 般	583,089件
	退 職	43,689件
	計	626,778件
療養費	一 般	10,915件
	退 職	919件
	計	11,834件
高額療養費	一 般	26,576件
	退 職	2,929件
	計	29,505件
その他の給付	出産育児給付	237件
	葬 祭 給 付	292件
	移 送 費	0件

※ 一般状況

保険者負担率	一般・退職70% 義務教育就学前80% 70歳以上74歳までの方90%(一定以上所得者70%)	
加入世帯数 (H21.3末現在)	26,186 世帯	
被保険者数	一 般	44,710 人
	退 職	1,729 人
	計	46,439 人
一世帯当り保険税調定額	165,922 円	
被保険者1人当り保険税調定額	93,560 円	
受診率	1021.02 %	
被保険者一人当り保険給付費	234,011 円	
保険税調定額の保険給付費に対する割合	39.98 %	
保険税調定額の歳出に対する割合	26.88 %	

**後期高齢者支援金等**

医療保険者数(0歳から74歳の加入者数)に応じて負担、社会保険診療報酬支払基金へ支払い、支払基金が後期高齢者の交付金として広域連合に交付 1,906,126

**前期高齢者納付金等**

前期高齢者（65歳から74歳）の偏在による保険者間の不均衡を各保険者の加入数に応じて調整。社会保険診療報酬支払基金へ支払う経費 2,567

**介護納付金**

介護保険の第2号被保険者にかかる介護保険料を社会保険診療報酬支払基金へ支払う経費 796,860

**共同事業拠出金**

高額医療費共同事業医療費拠出金を国民健康保険団体連合会へ支払う経費 1,846,099

**保健事業費**

被保険者の健康の保持増進に関する教育指導事業に要する経費 95,076

- ・ 特定健康診査等事業費 48,849

メタボリックシンドロームの発見、予防、改善、生活習慣病の予防、健康保持と増進の自覚を高め、生活習慣病の有病者および予備群の方を減らし医療費の適正化を図る経費

特定健診対象者数

29,811人 実施件数6,216人 受診率20.9%（目標35%）

動機付け支援及び積極的支援者数

893人 実施件数165人 受診率18.5%（目標25%）

特定健康診査事務経費 6,406

委託料 42,443

- ・ 保健衛生普及費 27,743

レセプト点検事務経費 18,614

健康フェスティバル補助金 2,165

歯の健康まつり補助金 900

医療費のお知らせ通知 6,064

- ・ 疾病予防費 600

啓発用事務経費 600

- ・ 貸付事業（高額療養費及び出産育児一時金支給時に相殺を行う。） 17,884

事業名	件数	金額
高額医療費資金貸付金	196件	13,684
一般	173件	12,956
退職	23件	728
出産費資金貸付金	15件	4,200
計	211件	17,884

**諸支出金**

21,009

- ・ 保険税過誤還付金等 18,633
- ・ 国保支払準備基金積立金 2,376（平成20年度末現在高 119,110）

※ 市債の状況

平成19年度末 現在高	平成20年度末 現在高	増減額
41,500	41,500	0

老人保健事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 支払基金交付金	662,743	1 総務費	11,465
2 国庫支出金	431,052	2 医療諸費	1,289,205
3 県支出金	98,840	3 公債費	0
4 繰入金	0	4 諸支出金	145,810
5 繰越金	239,756	5 予備費	0
6 諸収入	39,128		
歳入合計	1,471,519	歳出合計	1,446,480
歳入歳出差引額		25,039	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実質収支額		25,039	

総務費

○ 一般管理経費 3,609

後期高齢者医療制度開始による、「老人保健法医療受給者証」の回収にかかる郵送経費及び健康保険組合等各保険者に医療費の状況を通知するための委託経費など、老人保健事業に伴う一般事務経費。

○ 老人医療費適正化対策事業費 7,856

老人医療費の給付等の際し、医療費の通知及びレセプト点検作業の実施など支給基準の適正化を図った。

医療諸費

○ 老人医療現物給付費 1,228,206

○ 老人医療現金支給費 56,385

・ 医療費の状況

老人医療費	1,284,590,960 円
受給者数 (平成20年3月31日現在)	20,102 人
年間一人当たり医療費	63,904 円
1件当たり医療費	25,864 円

・ 医療費の内訳

診療内訳	件数	金額
医療給付費	42,168件	1,228,205,843円
入院	1,326件	596,038,068円
入院外	27,957件	452,677,043円
歯科	2,529件	32,915,802円
調剤	10,316件	137,308,237円
施設・訪問看護	40件	2,130,740円
歳入還付分		7,135,953円
医療支給費	7,499件	56,385,117円
補装具	185件	4,463,198円
柔道整復施術	906件	9,484,232円
高額医療費	6,371件	41,803,945円
その他	37件	633,742円
合計	49,667件	1,284,590,960円

- 審査支払手数料 4,614
  - レセプト審査に伴う審査支払手数料
    - 三重県国民健康保険団体連合会分 3,721,632円
    - 社会保険診療報酬支払基金分 892,665円

**諸支出金**

- 過年度分返還金 145,810
  - 平成19年度交付分の各種交付金、負担金における返還金及び会計内剰余金の返還金

項 目	金 額	返 還 先
平成19年度医療費県負担金	8,472,697円	三重県
平成19年度審査支払手数料交付金	646,880円	社会保険診療報酬支払基金
剰余金返還金	136,690,000円	松阪市(一般会計)
計	145,809,577円	

介護保険事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 保険料	1,996,811	1 総務費	346,066
2 使用料及び手数料	251	2 保険給付費	10,956,892
3 国庫支出金	2,892,075	3 財政安定化基金拠出金	10,524
4 支払基金交付金	3,472,227	4 地域支援事業費	166,136
5 県支出金	1,649,836	5 基金積立金	222,900
6 財産収入	23	6 公債費	0
7 繰入金	1,735,755	7 諸支出金	29,523
8 繰越金	172,010		
9 諸収入	27,479		
歳入合計	11,946,467	歳出合計	11,732,041
歳入歳出差引額			214,426
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			214,426

総務費

- 一般職員給 125,170
- 一般管理経費 54,691
- 三重県国民健康保険団体連合会負担金 16
- 賦課徴収事業費 6,994

保険料の状況	区 分	調 定 額	収 納 額	収納率
	現年度分		2,012,531,801円	1,988,940,845円
	特別徴収	1,811,040,342円	1,811,040,342円	100.00%
	普通徴収	201,491,459円	177,900,503円	88.29%
	滞納繰越分	46,102,861円	7,870,556円	17.07%
	普通徴収	46,102,861円	7,870,556円	17.07%
	計	2,058,634,662円	1,996,811,401円	97.00%
	特別徴収	1,811,040,342円	1,811,040,342円	100.00%
	普通徴収	247,594,320円	185,771,059円	75.03%

- 認定調査等事業費 58,114
- 認定審査会運営事業費 85,292

※ 一般状況

	H21年4月1日現在	H20年4月1日現在	増 減	増減率
総人口	170,883人	171,320人	-437人	-0.26%
65歳以上人口	40,504人	39,550人	954人	2.41%
高齢化率	23.70%	23.09%	0.61%	

※ 要介護（要支援）認定者数

平成21年3月末日現在

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
第1号被保険者	476人	848人	1,610人	1,593人
65歳以上75歳未満	71人	135人	231人	226人
75歳以上	405人	713人	1,379人	1,367人
第2号被保険者	7人	15人	30人	46人
総 数	483人	863人	1,640人	1,639人

要介護3	要介護4	要介護5	計
1,319人	1,082人	881人	7,809人
160人	144人	100人	1,067人
1,159人	938人	781人	6,742人
34人	38人	31人	201人
1,353人	1,120人	912人	8,010人

※ 要介護（要支援）認定申請件数

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	159	162	103	156	138	150	199	119	160	205	178	176	1,905
更新申請	404	347	427	424	475	400	430	414	446	433	386	467	5,053
変更申請	57	43	45	44	36	29	53	44	62	61	41	56	571
計	620	552	575	624	649	579	682	577	668	699	605	699	7,529

※ 要介護（要支援）認定審査件数

	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
件数	49	653	1,176	1,541	1,572
構成比	0.64%	8.47%	15.25%	19.98%	20.38%

要介護3	要介護4	要介護5	計
1,194	824	703	7,712
15.48%	10.68%	9.12%	100.0%

※ 所得段階別第1号被保険者数

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
賦課期日(平成20年6月1日)	891人	7,065人	5,550人	13,410人
年度末現在(平成21年3月31日)	922人	6,820人	5,540人	13,614人

第5段階	第6段階	第7段階	計
8,470人	3,588人	700人	39,674人
8,902人	3,867人	766人	40,431人

○ 趣旨普及費 2,054

○ 地域密着型サービス運営委員会費 221

○ 保健福祉審議会費 569

○ 認知症地域支援体制構築等推進事業費 3,638

※ 県より10/10の委託事業

事業名	実施回数	延べ参加人数
物忘れ相談会	8回	25人
認知症講演会(医師等対象)	1回	72人
(一般住民対象)	6回	489人
キャラバン・メイトの集い	3回	94人
認知症サポーター養成講座	33回	1,243人
脳の健康チェック	6回	63人
認知症予防教室(ひらめき教室)	10回	102人

○ 要介護認定モデル事業費 9,305

### 保険給付費

○ 保険給付費 10,956,892

・ 保険給付の状況

区 分		件 数	回数(延日数)	給 付 額
介護サービス等	居宅介護サービス給付費	97,085件	1,299,224日	4,728,072,665円
	特例居宅介護サービス給付費	119件	884日	6,674,374円
	地域密着型介護サービス給付費	3,683件	94,513日	767,814,561円
	特例地域密着型介護サービス給付費	0件	—	0円
	施設介護サービス給付費	15,437件	449,944日	3,858,678,839円
	特例施設介護サービス給付費	0件	—	0円
	居宅介護福祉用具購入費	696件	—	17,227,647円
	居宅介護住宅改修費	659件	—	61,730,332円
	居宅介護サービス計画給付費	46,653件	—	533,212,320円
	特例居宅介護サービス計画給付費	2件	—	20,000円
介護予防サービス等	介護予防サービス給付費	8,028件	60,046日	217,275,750円
	特例介護予防サービス給付費	1件	5日	32,697円
	地域密着型介護予防サービス給付費	143件	2,225日	11,353,842円
	特例地域密着型介護予防サービス給付費	0件	—	0円
	介護予防福祉用具購入費	101件	—	2,122,773円
	介護予防住宅改修費	154件	—	14,647,084円
	介護予防サービス計画給付費	6,933件	—	28,521,000円
	特例介護予防サービス計画給付費	0件	—	0円
その他	審査支払手数料	175,185件	—	16,642,575円
高額介護	高額介護サービス費	19,763件	—	194,531,453円
	高額介護予防サービス費	30件	—	42,415円
特定入所者介護サービス	特定入所者介護サービス費	15,349件	396,219日	497,085,938円
	特例特定入所者介護サービス費	49件	599日	749,910円
	特定入所者介護予防サービス費	35件	306日	455,910円
	特例特定入所者介護予防サービス費	0件	—	0円
計		390,105件	2,303,965日	10,956,892,085円

### 財政安定化基金拠出金

○ 財政安定化基金拠出金 10,524

### 地域支援事業費

○ 介護予防特定高齢者施策事業費 44,662

\* 特定高齢者年間発生数 1,448人 \* 介護予防プランを作成した者 183人  
通所型介護予防事業のまとめ

介護予防プログラム名	実施箇所	実施回数	延べ参加人数	内特定高齢者延べ参加人数
運動器機能向上	16か所	120回	1,418人	550人
栄養改善	3か所	18回	228人	98人
口腔機能向上	6か所	36回	405人	202人
計	25か所	174回	2,051人	850人

○ 介護予防一般高齢者施策事業費 1,721

プログラム	実施回数	延べ参加人数
講演会等（介護予防教室等を含む）	249回	5,963人
相談会等	39回	637人
イベント	1回	—
ボランティアの育成	60回	1,303人
地域活動組織への支援・協力	46回	—
介護予防に資する地域活動の実施	24回	369人

○ 地域包括支援センター事業費 88,007

第一地域包括支援センター（委託先：松阪地区医師会）  
 第二地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）  
 第三地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）  
 第四地域包括支援センター（委託先：嘉祥会）  
 第五地域包括支援センター（委託先：太陽の里）  
 協力機関 在宅介護支援センター 10ヵ所へ委託  
 地域包括支援センター運営協議会の開催 4回

○ 任意事業費 31,746

適正化事業	介護給付費用の通知	延べ18,801件	1,444千円
	ケアプラン研修事業	2回	100千円
家族介護支援	高齢者虐待防止ネットワーク事業	—	737千円
	徘徊高齢者家族支援サービス	2件	23千円
	紙オムツ給付事業	延べ4,618人	18,648千円
	家族介護慰労金支給	4件	400千円
	家族介護者教室	16回	130千円
その他の事業	成年後見利用支援事業	実人数8人	623千円
	介護相談員派遣事業	延べ272回	2,005千円
	福祉用具・住宅改修支援事業	270件	540千円
	配食サービス	延べ16,567食	6,230千円
	自立支援ホームヘルパー派遣事業	延べ116人	767千円
	生活管理指導短期宿泊事業	延べ16日	99千円

**基金積立金**

- 介護保険給付費支払準備基金積立金 128,874（平成20年度末現在高 238,983）
- 介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金 94,026（平成20年度末現在高 94,026）

**諸支出金**

- 第1号被保険者保険料過年度還付金 2,632
- 過年度分償還金等 26,891（平成19年度介護給付費等精算に伴う返還金）



後期高齢者医療事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 保険料	886,921	1 総務費	77,838
2 使用料及び手数料	248	2 後期高齢者医療広域 連合納付金	2,234,572
3 繰入金	1,464,747	3 公債費	0
4 諸収入	5,745	4 諸支出金	0
5 国庫支出金	0	5 予備費	0
歳 入 合 計	2,357,661	歳 出 合 計	2,312,410
歳 入 歳 出 差 引 額		45,251	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実 質 収 支 額		45,251	

○ 制度創設の趣旨

75歳以上の方々に、「生活を支える医療」を提供するとともに、これまで長年、社会に貢献してこられた方々の医療を国民みんなで支え、「長寿を国民皆が喜ぶことができる仕組み」の制度を創設した。

○ 対象者(被保険者)の状況

75歳以上のすべての方及び65歳以上で一定の障がいがあり、制度に加入することを選択した方。(生活保護受給者を除く)

(平成20年9月30日現在)

区 分	被保険者数		一部負担割合			
		うち65歳 以上75歳 未満障が い者	1 割	比 率	3 割	比 率
松 阪 市	20,391人	714人	19,373人	95.01%	1,018人	4.99%
三重県全体 (松阪市分含む)	211,982人	7,478人	199,209人	93.97%	12,773人	6.03%

○ 保険料の状況

・ 計算方法

所得割額 (前年の総所得金額等－基礎 控除33万円)×6.79%	+	被保険者均等割額 36,758 円	=	保険料 賦課額	賦課限度額 50万円
--	---	----------------------	---	------------	---------------

・ 所得の低い方に対する軽減措置

低所得世帯に属する方は、世帯の所得水準に応じて一定の計算に基づき保険料の被保険者均等割部分の軽減措置(7割軽減、5割軽減、2割軽減)があるとともに、平成20年度については制度の円滑な運営を図るため、新たな保険料軽減策である「高齢者医療の円滑な運営のための負担の軽減等について」が、政府与党において取りまとめられ実施した。

・ 軽減の基準及び判定所得の計算方法

同一世帯の世帯主及び被保険者の軽減判定所得の合計額が、下記別表の基準額以下の方

- ①65歳以上の方の公的年金所得は15万円を控除
- ②営業等、農業、不動産所得のある方は専従者控除前の所得
- ③専従者給与は所得に算入しない
- ④土地建物等の譲渡所得があった場合は特別控除前の所得

## 別表

軽減割合	軽減の基準
7割軽減	33万円以下
5割軽減	33万円+24.5万円×当該世帯の被保険者の人数 (被保険者である世帯主を除く)
2割軽減	33万円+35万円×当該世帯の被保険者の人数
新たな軽減策	
均等割8.5割軽減	H20年度において、均等割額7割軽減世帯の方を一律8.5割軽減
所得割50%軽減	基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の方を所得割額50%軽減

・保険料の徴収方法は、制度開始時には原則、特別徴収(年金天引き)であったが、申し出により口座振替に変更できることが決定され実施した。

## ・賦課、収納状況

区分	松 阪 市		三 重 県 全 体 (松阪市分含む)	
	調定額	収納率	調定額	収納率
特別徴収	614,812,128円	100.00%	7,411,243,071円	100.00%
	614,812,128円		7,411,243,071円	
普通徴収	278,121,170円	97.84%	3,304,466,937円	96.48%
	272,108,614円		3,188,118,029円	
計	892,933,298円	99.33%	10,715,710,008円	98.91%
	886,920,742円		10,599,361,100円	

## 総務費

- 一般職員給 49,500  
一般職員 9人
- 一般管理経費 22,783  
後期高齢者医療制度の運用に伴う、電算システム委託経費及び一般事務経費。
- 徴収事業費 5,555  
保険料徴収に伴う、各種通知物郵送経費及び口座振替手数料。

## 後期高齢者医療広域連合納付金

- 共通経費負担金 15,330  
広域連合における一般会計運営経費(広域連合議員及び一般職員等人件費、運営協議会開催経費等)のうち、県下29市町において負担する分を、均等割10%、人口割45%、高齢者人口割45%の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 一般管理事務費負担金 53,540  
広域連合における特別会計運営経費(被保険者証交付、医療費通知、電算システム管理経費等)のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 健康診査事業費負担金 7,345  
健康診査に係る保険給付分のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 健康診査事業事務費負担金 5,905  
健康診査に係る事務経費(審査支払手数料、受診券交付、システム導入経費等)のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。
- 保険料負担金 859,437  
松阪市被保険者から徴収した保険料を、広域連合に納付した。

○ 保険基盤安定制度負担金 277,307

松阪市被保険者における、低所得者及び被用者保険の被扶養者の保険料軽減分負担金を広域連合に納付した。(特別対策を除く 7割、5割、2割軽減分)

保険料軽減分における負担割合 県 軽減総額×3/4、市 軽減総額×1/4

○ 療養給付費負担金 1,015,708

松阪市被保険者の療養給付費における、松阪市負担分(1/12)を広域連合に納付した。

※下記の表(療養費の状況)と決算額の相違は、翌年度に精算により調整される。

・療養費の状況

区 分	松 阪 市		三 重 県 全 体 (松阪市分含む)	
	件 数	金 額	件 数	金 額
現物給付費	450,914件	12,519,163,096円	4,837,983件	129,557,016,404円
療養給付費	450,914件	12,519,163,096円	4,837,983件	129,557,016,404円
現金支給費	18,639件	161,286,051円	211,801件	1,873,111,429円
柔道整復師の施術	4,280件	45,186,879円	60,152件	651,317,314円
高額療養費	13,568件	97,753,234円	139,048件	954,039,345円
標準負担額差額	(20件)	106,550円	(128件)	650,400円
その他療養費	791件	18,239,388円	12,601件	267,104,370円
合 計	469,553件	12,680,449,147円	5,049,784件	131,430,127,833円
被保険者数 (平成20年9月30日現在)	20,391人		211,982人	
年間一人当り医療費	621,865円		620,006円	
1件当り医療費	27,005円		26,027円	

簡易水道事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	1,147	1 総務費	43,386
2 使用料及び手数料	17,496	2 事業費	318,145
3 国庫支出金	87,891	1 業務費	26,295
4 繰入金	114,712	2 建設改良費	291,850
5 繰越金	3,548	3 公債費	76,013
6 諸収入	8,803	4 予備費	0
7 市債	209,000		
歳入合計	442,597	歳出合計	437,544
歳入歳出差引額			5,053
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			5,053

飯高簡易水道における市の直営化の実施

H20. 10. 1より 統合波瀬簡易水道（加波、月出桑原、波瀬、落方）

H21. 1. 1より 東部簡易水道（下滝野、宮前、赤桶、田引）

(目) 一般管理費

- 一般職員給 41,467
- 朝見簡易水道一般経費 8
- 飯高簡易水道一般経費 1,911

(目) 施設管理費

- 朝見簡易水道管理事業費 4,223
  - ・ 朝見簡易水道水質検査等手数料 2,364 ほか
- 飯高簡易水道管理事業費 22,072
  - ・ 飯高簡易水道水質検査等手数料 7,456 ほか

(目) 簡易水道整備費

- 飯高簡易水道整備事業費 6,503
  - 飯高簡易水道の老朽部分、緊急漏水箇所の修繕、改修等を図った。
  - ・ 施設修繕 6,503
- 飯高簡易水道統合事業費 285,347
  - 簡易水道再編推進のため統合事業を実施し、老朽施設の改善改修を図ると共に旧浄水場施設の取り壊し撤去並びに今後の統合事業計画の策定を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
宮前浄水場改修工事	取水口改修 1式 導水管布設工 φ75～φ150 L=549.8m 既存浄水場改修 1式	25,699
野々口地内配水管布設工事	配水管布設工 DIPNS φ75 L= 15.5m HPPE φ75 L=398.7m HPPE φ50 L= 96.4m 消火栓設置工 φ75×60 5基 舗装復旧工 A=1410.0㎡ 各戸給水 PP φ20 19戸	17,442
木地小屋ポンプ場配水池築造工事	送水ポンプ設備RC造 1棟 送水管布設工NS φ75 L=140.6m 高区配水池場内整備 1式 配水池SUS製 1式 配水管布設工 HPPE φ75 L=141.6m 排水管布設工TS, VU φ75 L=134.2m 低区配水池配水管布設工HPPE φ75 L=29.0m 配水流量計室築 造レジコン製 1式 フェンス設置工 1式 消火栓設置工 φ75 ×60 1基	52,488

区 分	事 業 内 容	事業費
木地小屋ポンプ場配水池機械電気設備工事	機械電気設備工 1式	41,977
宮前浄水場電気計装工事	電気計装工、薬注設備工、照明設備工 1式	30,975
遠方監視システム設備工事	遠方監視システム設備工 8施設 1式	83,446
田引浄水場取水施設改修工事	取水口改修 1式 浄水場改修工 1式 導水管布設工PPφ100 L=418.2m	10,826
旧簡易水道施設取り壊し撤去工事	旧田引浄水場、旧宮前浄水場取り壊し撤去工 1式	4,391
田引浄水場取水施設設計業務委託	浄水場取水施設改修設計業務 1式	2,295
統合波瀬簡易水道事業基本計画策定業務委託	基本計画策定業務 1式	9,286
事務費		6,522
	計	285,347

(目) 元金

○ 長期債償還元金 55,356 ( 内繰上償還 33,421 )

(目) 利子

○ 長期債償還利子 20,657

※ 施設の状況

地区名	本庁管内	飯 高 管 内		
	朝 見	東 部	西 部	統合波瀬
戸 数	300戸	939戸	935戸	243戸

※ 市債の状況

平成19年度末 現 在 高	平成20年度末 現 在 高	増減額
1,039,087	1,192,732	153,645

戸別合併処理浄化槽整備事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	914	1 総務費	23,439
2 使用料及び手数料	103,031	2 事業費	162,895
3 国庫支出金	19,217	1 業務費	103,290
4 県支出金	16,849	2 建設改良費	59,605
5 財産収入	468	3 公債費	59,184
6 繰入金	67,314		
7 繰越金	4,399		
8 諸収入	41		
9 市債	34,200		
歳入合計	246,433	歳出合計	245,518
歳入歳出差引額			915
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			915

(目) 一般管理費

- 一般職員給 15,732
- 一般管理経費 312
- 市町村整備型浄化槽減価基金積立金 7,235 (平成20年度末現在高 69,068)
- 市町村整備型浄化槽基金積立金 160 (平成20年度末現在高 27,746)

(目) 施設管理費

- 施設維持管理事業費 103,290  
 管理基数 1,728基 (清掃委託料 69,221、浄化槽保守管理業務委託料他 26,283)  
 (浄化槽法定点検業務手数料7,014、浄化槽システム委託料他 772)

(目) 生活排水処理施設整備費

- 生活排水処理施設整備事業費 59,605

区 分	内 容	事業費	事業費内訳	
			工事費	その他
需用費	消耗品、印刷代	149		149
役務費	切手	20		20
工事請負費	5人槽 44基	37,667	37,667	
	7人槽 21基	21,769	21,769	
計		59,605	59,436	169

(目) 元金

- 長期債償還元金 45,036

(目) 利子

- 長期債償還利子 14,148

※ 市債の状況

平成19年度末 現 在 高	平成20年度末 現 在 高	増減額
835,094	824,259	△ 10,835

農業集落排水事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 使用料及び手数料	17,681	1 総務費	5,922
2 繰入金	54,018	2 事業費	31,627
3 繰越金	175	3 公債費	34,918
4 諸収入	240		
5 分担金及び負担金	564		
歳 入 合 計	72,678	歳 出 合 計	72,467
歳 入 歳 出 差 引 額		211	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実 質 収 支 額		211	

(目) 一般管理費

- 一般職員給 4,847  
農業集落排水事業における担当職員1人分の人件費
- 一般管理経費 1,026
- 各種団体等負担金 49

(目) 施設管理費

- 小野地区施設維持管理費 8,961

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の維持管理	使用戸数 63戸、使用人数 219人	5,690		5,690
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 月1回	2,921	2,921	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	312	312	
農業集落排水処理施設使用料徴収業務委託	徴収業務委託	38	38	
計		8,961	3,271	5,690

- 高木地区施設維持管理費 15,377

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の維持管理	使用戸数 128戸、使用人数 438人	9,907		9,907
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 14日に1回	4,926	4,926	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	312	312	
農業集落排水処理施設使用料徴収業務委託	徴収業務委託	76	76	
自家用電気工作物保安管理業務委託	保安管理業務委託	156	156	
計		15,377	5,470	9,907

○ 須賀・川北地区施設維持管理費 7,289

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の維持管理	使用戸数 133戸、使用人数 434人	3,824		3,824
須賀・川北クリーンセンター汚水処理施設保守点検委託業務	マンホール中継ポンプ点検 月1回、処理場定期点検 月2回 緊急時 随時	3,465	3,465	
計		7,289	3,465	3,824

(目) 元金

○ 長期債償還元金 23,996

(目) 利子

○ 長期債償還利子 10,922

※ 市債の状況

平成19年度末 現在高	平成20年度末 現在高	増減額
462,046	438,050	△ 23,996



住宅新築資金等貸付事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 事業収入	85,708	1 総務費	4,074
2 県支出金	9,045	2 公債費	120,905
3 財産収入	1,718		
4 繰入金	32,049		
5 繰越金	3,055		
6 諸収入	0		
歳 入 合 計	131,575	歳 出 合 計	124,979
歳 入 歳 出 差 引 額		6,596	
翌年度へ繰越すべき財源		0	
実 質 収 支 額		6,596	

(目) 一般管理費

- 一般職員給 1,912
- 一般管理経費 420
  - 平成8年度に貸付制度が終了したことによる貸付金回収のための事務経費
- 住宅新築資金等貸付事業基金積立金 1,717 (平成20年度末現在高 269,936)
- 各種団体等負担金 25

(目) 元金

- 長期債償還元金 98,897(うち繰上償還元金 4件 4,774 補償金免除繰上償還 12件 21,298)

(目) 利子

- 長期債償還利子 22,008

※ 市債の状況

平成19年度末 現 在 高	平成20年度末 現 在 高	増減額
458,780	359,883	△ 98,897

※ 貸付金の状況

平成19年度末 現 在 高	平成20年度末 現 在 高	増減額
631,636	555,984	△ 75,652

ケーブルシステム事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 分担金及び負担金	750	1 総務費	34,183
2 使用料及び手数料	36,163	2 事業費	71,334
3 財産収入	41	3 公債費	49,002
4 繰入金	117,215		
5 繰越金	515		
6 諸収入	474		
歳 入 合 計	155,158	歳 出 合 計	154,519
歳 入 歳 出 差 引 額			639
翌年度へ繰越すべき財源			0
実 質 収 支 額			639

※ ケーブルシステム加入状況等(加入者数は平成21年3月末現在)

	契約者数	収入額
ケーブルテレビ(維持管理費)	3,776件	22,287
ケーブルインターネット(維持管理費)	732件	13,546
過年度分		330
計	4,508件	36,163

(目) 一般管理費

- 一般職員給 34,107  
ケーブルシステム職員の給与(5人)
- テレビ放送番組審議委員会事業費 35  
放送番組審議会の開催
- ケーブルシステム基金積立金 41(平成20年度末現在高 6,342)

(目) 運営費

- ケーブルシステム施設管理運営事業費 71,334  
市営ケーブルシステムの適正な維持管理により、飯南・飯高地区のテレビ視聴環境を確保した。また、行政情報番組「アイウェーブまつさか」を制作・放送し、行政情報や地域の話題などを分かりやすく情報提供した。  
制作本数 通常番組・・・98本(1時間番組として1週間のリピート放送 週2回更新)  
特集・・・50本、特別番組・・・17本

(目) 元金

- 長期債償還元金 45,514

(目) 利子

- 長期債償還利子 3,488

※ 市債の状況

平成19年末 現在高	平成20年度末 現 在 高	増減額
303,041	257,527	△ 45,514

定額給付金給付事業

(単位 千円)

○ 決算状況

歳 入		歳 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
1 国庫支出金	2,781	1 総務費	116
		2 給付費	0
歳 入 合 計	2,781	歳 出 合 計	116
歳 入 歳 出 差 引 額			2,665
翌年度へ繰越すべき財源			2,665
実 質 収 支 額			0

・ 事業内容

住民への生活支援とあわせて、地域の経済対策に資するため、基準日(平成21年2月1日)に住民基本台帳に記録されている者等を給付対象者とし、その給付対象者の属する世帯の世帯主等に対し、給付対象者1人につき1万2千円(基準日において65歳以上の者及び18歳以下の者については、1人につき2万円)を口座振込等の方法により給付するものである。

(目) 一般管理費

○ 定額給付金給付事務費 116

- ・ 職員手当等  
定額給付金事業推進室職員4人の時間外手当 3
- ・ 需用費  
定額給付金給付に係る消耗品等事務経費 74
- ・ 役務費  
電話代等通信運搬費 11                      ほか

(目) 定額給付金給付費

負担金補助及び交付金

定額給付金の給付に向けて、給付リスト及び申請書等を作成し、準備を行ったが、年度内に給付事務を開始することができなかったものである。

- ・ 給付対象者・・・171,329人
- ・ 申請書発送世帯数・・・68,711世帯

※ 収入未済額は、2,711,214,000円で、収入済額の2,781,000円を含め、全額国庫補助金である。

※ 歳出は、2,713,879,417円を翌年度へ繰越し、翌年度早々の給付開始を目指すものである。

## 地方自治法第241条第5項の規定による書類

基金の運用状況

(H21. 3. 31現在)

土地開発基金

(単位:金額 千円、地積 m<sup>2</sup>)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
現金	現 金	336,308	△59,191	277,117
	土地開発公社運用金	1,082,611	124,998	1,207,609
	計	1,418,919	65,807	1,484,726
土地	地積	30,849.36	△4,428.79	26,420.57
	価格	737,581	△62,393	675,188
合 計		2,156,500	3,414	2,159,914

嬉野小原簡易郵便局運営基金

(単位:千円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
現 金	61	△18	43
切 手	139	18	157
合 計	200	0	200